

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成十九年度年報

第四十卷五号

福井県環境放射能測定技術会議

ISSN 0285-9424
FERC 第40巻5号

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成19年度年報

(2007)

平成20年9月

福井県環境放射能測定技術会議

はじめに

福井県環境放射能測定技術会議は、平成19年度（2007年度）の調査結果を四半期毎にとりまとめ、平成19年度第1報～第4報として、第160回～第163回福井県原子力環境安全管理協議会に報告し公表してきました。この報告書はこれらを総合してとりまとめ、年報としたものです。

この報告書には、「平成19年度調査計画（FERC第39巻6号）」に基づく定期的な調査結果のほか、調査の過程で環境をよりよく把握するために追加した調査など四半期報告書で報告していないものもすべて収載しました。

また、調査結果の詳細な技術的検討を「4.付」に、発電所の運転状況や放射性廃棄物の放出管理の状況などを「5.参考資料」にそれぞれ示しました。ご参照下さい。

平成19年度中の環境モニタリングに係る出来事としては、原子力発電所に起因するコバルト-60が、平成17年度から3カ年継続して、年間のどの試料からも、検出されませんでした。

このような状況も踏まえながら、本会議は、今後とも一層の信頼が寄せられるような綿密な環境放射線（能）調査を行い、原子力発電所周辺環境の放射線安全の確保・確認に万全を期してまいりたい所存です。

なお、平成20年3月に原子力安全委員会により「環境放射線モニタリング指針」が新たに策定されましたが、平成19年度調査は、これまでの「環境放射線モニタリングに関する指針」に基づいて実施しました。

平成20年9月

福井県環境放射能測定技術会議

福 井 県 環 境 放 射 能 測 定 技 術 会 議

構 成 機 関

福 井 県 安 全 環 境 部 原 子 力 安 全 対 策 課

福 井 県 原 子 力 環 境 監 視 セ ン タ ー

福 井 県 水 産 試 験 場

日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社

関 西 電 力 株 式 会 社

独 立 行 政 法 人 日 本 原 子 力 研 究 開 発 機 構

目 次

1. 環境放射線モニタリングの目的と調査概要	1
2. 調査結果	4
2.1 調査結果の概要	4
2.1.1 周辺公衆の線量評価	5
2.1.2 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	7
2.2 線量評価に関連した調査	9
2.2.1 空間線量	9
2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分	14
2.2.3 陸水	14
2.2.4 農産物、指標植物	14
2.2.5 海産食品、指標海産生物	15
2.2.6 海水	16
2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	16
2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定	16
2.3.2 陸土	17
2.3.3 指標植物、松葉	18
2.3.4 降下物	19
2.3.5 海底土	20
2.3.6 指標海産生物	21
(参考) 今年度のセシウム-137分析結果	22

3. 添付資料

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点(概要)	23
3.1.2 調査方法(概要)	23
3.1.3 調査の分担実績	25
3.1.4 測定値の取り扱い	26

3.2 調査地点図表

第1図 県環境放射線監視テレメータシステムおよび原子力環境情報ネットワークシステムの 主なデータ収集・送信系統図	31
第2図 積算線量測定・空間線量率連続測定地点(全域)	32
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター周辺の試料採取地点	34
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点	35
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点	36
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点	37
第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点	38
第8図 対照地区(嶺北地域)の試料採取地点	39
第1表 調査地点の詳細	40

3.3 測定法

第2表 空間線量測定法	44
第3表 浮遊じん放射能の連続測定法	45
第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法	46
第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値	47
第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法	47
第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法	47
第7表 測定器	48

3.4 測定結果

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム	49
第9表 " その2 施設者のテレメータシステム	55
第10表 積算線量測定結果	76
第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果	83
第12表 大気中のヨウ素-131分析結果	89
第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん	91
第14表 " その2 陸水	96
第15表 " その3 陸土	98
第16表 " その4 指標植物	99
第17表 " その5 松葉	101
第18表 " その6 農産物	102
第19表 " その7 降下物	103
第20表 " その8 海水	107
第21表 " その9 海底土	109
第22表 " その10 海産食品	112
第23表 " その11 指標海産生物	114

第24表	核種分析結果	その12	海底土分布調査（浦底湾・白木地区）	117
第25表	”	その13	ホンダワラ広域調査（浦底湾）	118
第26表	トリチウム分析結果	その1	陸 水	119
第27表	”	その2	大気中水分	121
第28表	”	その3	雨 水	127
付表	雨水トリチウムの定期外調査結果			129
第29表	トリチウム分析結果	その4	海 水	130
第30表	放射化学分析等による ^{90}Sr , ^{137}Cs , ^{239}Pu 分析結果			133
第31表	年間降下物の ^{90}Sr , ^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{239}Pu 分析結果（参考：定期外調査）			137
第32表	各地の積雪量（2007年12月～2008年3月）[参考データ]			138

4. 付

4.1	空間放射線の構成成分	141
4.2	県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果	143
	各地の気象 その1 降雨（降雪）、風速、気温	145
	各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率	153
	空間線量率と降雨量の測定結果	157
	各地の風配図	166
4.3	大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について	170
4.4	環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果	172

5. 参 考 資 料

5.1	平成19年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過	177
5.2	(1)各発電所の設備の概要、建設経過	182
	(2)主要設備の改造および新設工事	184
5.3	高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況	186
5.4	各発電所の運転実績	187
5.5	各発電所の発電停止状況	189
5.6	各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）	191
5.7	各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）	196
5.8	各発電所の液体廃棄物中の核種存在比	199
5.9	各発電所の年度別放射性廃棄物放出量	203
5.10	緊急時モニタリングルートでの線量率調査	207

平成19年度に刊行した技術会議報告書の訂正	218
-----------------------	-----

1. 環境放射線モニタリングの目的と調査概要

原子力発電所周辺で行う環境放射線・環境放射能モニタリングの基本目標は、地域住民の健康と環境の安全を守ることにある。具体的には「環境放射線モニタリングに関する指針（平成元年3月（平成13年3月一部改訂）、原子力安全委員会）」に示されているように、

- (a) 周辺公衆の線量の推定、評価
 - (b) 環境における放射性物質の放射能水準の変動傾向、蓄積状況の把握
 - (c) 施設からの予期しない放射性物質の放出による環境への影響の判断に資すること
 - (d) 平常時のモニタリングの強化と緊急時モニタリングの準備
- を具体的目標に掲げて、調査を行っている。

各種試料等の測定の間々の目的は下記の通りである。

- ① 空間線量：線量率一連続測定による環境放射線の短期的変動の把握および体外からの放射線による外部被ばく線量の推定
：積算線量一体外からの放射線による外部被ばく積算線量の推定（3ヶ月毎）
：モニタリングカー緊急時モニタリングルートでの線量率確認
- ② 大気・浮遊じん、大気中水分：空気の吸入による内部被ばくの把握
- ③ 陸水、農産物、海産食品：飲食物の摂取による内部被ばくの把握
- ④ 指標植物、指標海産生物：放射能水準の把握および農産物、海産食品の調査の補完
- ⑤ 陸土、海底土：環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- ⑥ 海水：放射能水準の把握（および海産食品への濃縮を通じての潜在的な内部被ばくの推定）
- ⑦ 降下物：放射性物質の降下量の把握、検出された核種の起源の推定

このうち①の空間線量については、平常の変動幅との比較等から必要に応じて更に詳細な調査を行って発電所寄与の有無を判断することとしている。また内部被ばくに係わる③の飲食物等については、地区別年間平均核種濃度を算出し、それをもとにまず核実験等の寄与分も含めた線量を推定して放射線安全を確認し、次いで起源の判断を加え県内の原子力発電所寄与分を推定している。④の指標生物は内部被ばくに関する線量推定の際の補完的試料として評価しているほか、上記(c)の目的にも役立っている。

各地区毎では、大別して以下のような調査を行った。

- (イ) テレメータシステム等による線量調査
- (ロ) ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による核種分析調査
- (ハ) 陸水等のトリチウム調査
- (ニ) 放射化学分析によるストロンチウム-90、プルトニウム-239(注1)等の調査

今年度の調査地点・測定の総数を第1表(p.2~p.3)に示す。

なお、この報告書では、空間放射線モニタリングにおける自然放射線のレベル、および環境試料中の放射能モニタリングにおける核実験影響等の外因によるレベルをバックグラウンドレベルと表記した。

(注1) アルファ線スペクトロメトリーによるプルトニウム分析では、プルトニウム-239 およびプルトニウム-240のアルファ線を分離できないため、正確にはプルトニウム-239(+240)と表記すべきであるが、本報告書では簡略にプルトニウム-239と表示する。

(ア) 福井県環境放射能測定技術会議構成機関である独立行政法人日本原子力研究開発機構の新型転換炉ふげん発電所は、2008年2月12日に廃止措置計画の認可を受け、原子炉廃止措置研究開発センター（通称；ふげん）に改組した。

(イ) 本報告書で用いる調査機関の略称名称は、以下のとおりとする。

- ① 福井県原子力環境監視センター：県または福井県（記号；A）
- ② 日本原子力発電株式会社：原電（記号；B）
- ③ 関西電力株式会社：関電（記号；C）
- ④ 独立行政法人日本原子力研究開発機構：原子力機構または機構（記号；D）

第1表 調査地点・測定の数

(イ) 連続測定調査

調査項目	調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
線量率(テレメータシステム)		20	7	14	16	14		71	連続
積算線量(3ヶ月積算値)	地点数	26	14	22	26	25	10	123	4
	測定数	104	56	88	104	100	40	492	
浮遊じん(テレメータシステム)		2	2	2	2	3		11	連続

(ロ) 核種分析調査

・定期調査

調査項目	調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)	
大気中ヨウ素-131	地点数	1	1	1	1	1		5	12	
	測定数	12	12	12	12	12		60		
浮遊じん	地点数	5	3	3	3	5	1	20	4~12	
	測定数	52	28	28	28	44	12	192		
陸水	水道水	地点数	2	1	2	1	2	1	9	2~8
		測定数	8	8	6	6	8	4	40	
	河川水	地点数			1				1	2
		測定数			2				2	
陸土	地点数	2	1	1	2	2	2	10	2~4	
	測定数	8	4	4	4	4	3	27		
指標植物(ヨモギ)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	7	
	測定数	7	7	7	7	7	7	42		
松葉(2年葉)	地点数	2	1	1	1	1	1	7	1~2	
	測定数	4	2	2	2	2	1	13		
農産物(大根葉)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1	
	測定数	1	1	1	1	1	1	6		
降下物(雨水・ちり)	地点数	2	1	2	2	2	1	10	12回(白木では、同一地点で県と機構が各々12回測定)	
	測定数	24	24	24	24	24	12	132		
海水	地点数	3	2	2	1	2	1	11	2~6	
	測定数	10	6	12	6	12	2	48		
海底土	地点数	8	5	8	4	7		32	1~8	
	測定数	32	14	24	11	21		102		
海産食品	魚類(近海魚)	10	6	9	6	6	2	39	1~2	
	貝類(サザエ、アワビ)	4	4	5	4	4	1	22	1~2	
	藻類(ワカメ、モズク)	4	4	5	4	4	1	22	1~2	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	6	1	2	2	4	1	16	2~8	
	測定数	32	8	16	8	20	4	88		
測定数合計		208	128	157	123	169	50	835		

・広域分布調査

調査項目	調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
海底土	地点数	16	5					21	1
	測定数	16	5					21	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	3						3	1
	測定数	3						3	

(ハ) トリチウム分析調査

調査項目	調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
陸水(水道水)	地点数	2	1	2	1	2	1	9	2~8
	測定数	8	8	6	6	8	4	40	
大気中水分(除湿水)	地点数	5	2	2	2	2	1	14	12
	測定数	60	24	24	24	24	12	168	
雨水(降下物)	地点数	2	1	2	2	2	1	10	4
	測定数	8	8	8	8	8	4	44	
海水(表層水)	地点数	3	2	4	2	4	1	16	2~11
	測定数	14	8	16	8	31	2	79	
測定数合計		90	48	54	46	71	22	331	

(二) 放射化学分析による⁹⁰Sr、²³⁹Pu調査

⁹⁰Sr

調査項目		調査地区		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
指標植物(ヨモギ)	地点数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計				2	2	2	2	2	2	12	

²³⁹Pu

調査項目		調査地区		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
陸土	地点数		1						1	2	1~4
	測定数		4						1	5	
農産物(大根葉)	地点数		1							1	1
	測定数		1							1	
指標植物(ヨモギ)	地点数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1~7
	測定数	1	7	1	1	1	1	1	1	12	
海底土	地点数	2	6	1	1	1				11	1~5
	測定数	2	15	1	1	1				20	
海産食品	魚類(近海魚)		6							6	1~2
	貝類(サザエ、アワビ)		4							4	1~2
	藻類(ワカメ)	1	4	1	1	1	1	1	1	9	1~2
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	1	1	2	1	1	1	1	1	7	1~4
	測定数	1	4	2	1	1	1	1	1	10	
測定数合計				5	45	5	4	4	4	67	

(ホ) ¹³⁷Cs(アンチコインシデンス測定)

調査項目		調査地区		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
海底土	地点数	1	1	3	1		1	2		8	1
	測定数	1	1	3	1		1	2		8	
海産食品	貝類(サザエ)	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1
	藻類(ワカメ)	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	5	1	1	1	1	1	1		9	1
	測定数	5	1	1	1	1	1	1		9	
測定数合計				8	4	6	4	5	2	29	

(ハ) 定期外調査

・トリチウム

調査項目		調査地区		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
雨水	地点数	2						1		3	2~4
	測定数	12						3		15	

・年間降下物

調査項目		調査地区		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)	
γ線スペクトロメトリ (²² Na, ⁶⁰ Co, ²³⁹ Pu)	地点数	2	1	2	2	2	2	2	1	10	1回(白木地区では、同一地点で県と機構が各々1回測定)	
	測定数	2	2	2	2	2	2	2	1	11		
放射化学分析	⁹⁰ Sr	地点数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	
	²³⁹ Pu	地点数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計				4	4	4	4	4	3	23		

※各地点における月間降下物測定試料(パウデックス樹脂)の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物コンポジット試料として測定

2. 調査結果

2.1 調査結果の概要

本年度の調査結果を要約すれば次のとおりである。

(1) 周辺公衆の線量

県内の原子力発電所の運転に起因する放射線による周辺公衆の線量に関しては、線量限度（年間1ミリベクト）はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値（年間0.05ミリベクト）をはるかに下まわっていた。

① 外部被ばくに関して

- ・ 県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定では、県内の発電所からの放射性物質の放出に起因する有意な線量率上昇は認められなかった。
- ・ 年間積算線量では、各地区のいずれの地点でも自然線量と比較して有意な線量上昇は認められなかった。

② 内部被ばくに関して

- ・ 内部被ばくを評価するために核種分析を行っている試料（大気・浮遊じん、飲料水、農産物および海産食品）およびその補完となる試料（指標植物、指標海産生物）からは原子力発電所に起因する核種は検出されなかった。
- ・ 放射性ヨウ素はあらゆる試料から全く検出されなかった。
- ・ 大気中水分から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

(2) 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

- ・ この目的で調査している試料（陸土、指標植物、降下物、海水、海底土、指標海産生物）については、原子力発電所に起因する核種は、全く検出されなかった。これらの試料の核実験に由来する核種の濃度は従来と同程度かそれ以下であった。
- ・ 雨水、海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

したがって、今年度の県内各原子力発電所の運転による影響は、全く無視し得るとみなすことができる。

注2に参考として、発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に相当する放射能濃度を示す。

(注2) 成人の預託実効線量が0.05ミリベクトとなる食品中の核種濃度（単位：Bq/kg 生）

	魚 類	無脊椎動物	藻 類	葉 菜
⁵⁸ Co	930	9,300	4,600	3,700
⁶⁰ Co	200	2,000	1,000	810
¹³⁷ Cs	53	530	260	210
³ H	16,000	160,000	82,000	33,000
⁹⁰ Sr	25	250	120	98
²³⁹ Pu	2.7	27	14	11
摂取量(g/日)	200 g	20 g	40 g	100 g

1日当たり最下段の量を1年間食べ続けるとした場合の濃度。葉菜の除染係数を0.5とした。海藻や葉菜の保存後の放射能の減衰は考慮されていない。トリチウム（³H）は、有機結合型とした場合の値。

2.1.1 周辺公衆の線量評価

調査結果の概要で既に明らかなように、特に線量を評価する必要はないが、公衆の線量限度等の規定が年間で定められているのでそれと対比できるように、また、核実験の影響として検出されているセシウム-137等の濃度に目安をつけるために、外部被ばくと内部被ばくに区分して線量の評価を行った。

評価の結果、今年度の県内発電所の運転による発電所周辺公衆の線量については、外部被ばくと内部被ばくを合計しても、いずれの地区とも年線量限度はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値をはるかに下まわっていた。

(1) 外部被ばく

第1-1表に、今年度の空間線量測定結果から評価された発電所寄与による外部被ばくの推定線量をまとめた。県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定ならびに積算線量測定結果では、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。また、各発電所の放射性廃棄物の放出量から計算した外部被ばく線量は0.001ミリシーベルト以下であった。したがって、発電所に起因する線量影響は無視できる程度であった。

第1-1表 検出値の実効線量換算値（外部被ばく） (ミリシーベルト/年)

	放射線監視テレメータシステムによる調査結果	積算線量の調査結果 *1	(参考) 放出量から計算した外部被ばく
敦賀発電所	—	—	0.001以下
ふげん	—	—	(ミリシーベルト/年)
もんじゅ	—	—	0.001以下
美浜発電所	—	—	0.001以下
大飯発電所	—	—	0.001以下
高浜発電所	—	—	0.001以下
※: 核実験影響	—	—	/

(注) —は検出限界値未満。 /は調査対象外であることを示す(以下同様)。

*1: 検出限界はほぼ0.05ミリシーベルト/年。

(2) 内部被ばく

内部被ばくに係る試料から、発電所に起因するコバルト-60は、全く検出されなかったが、トリチウムや核実験の寄与と考えられるセシウム-137などが検出されていること等より、参考として、検出された値に目安をつけるため、例年と同様、各種試料中の年間平均濃度をもとに内部被ばくに関する預託実効線量の計算を行った。計算に当たっての具体的事項は注3に示した。

内部被ばくに関する預託実効線量の計算結果を第1-2表に、計算に用いた各試料毎の平均値を第2表から第4表に示す。評価の結果、発電所の運転に起因する内部被ばくは無視できる程度であった。

Ge半導体検出器による核種分析の目的核種(添付資料第4表(p.46)参照)のうち、検出された核種はいずれもセシウム-137のみであり、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができるレベルである(第2表)。

(注3) 通常食用とはしない指標生物のホンダワラ等を食品と同等に摂取するものとして取扱い、地区別の年平均核種濃度の計算に加えた。年平均値の算定には検出値のあるものだけを用いたので、実際の食品レベルよりは高くなっており、安全側に見積られている。線量計算は、原子力安全委員会の「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(以下、評価指針という)」に従い、上記の年平均核種濃度の食品を、成人で1日当たり葉菜100g、魚200g、無脊椎動物20g、海藻40gずつ1年間摂取し続けると仮定して計算を行なった。成人の呼吸量は22.2m³/日、飲料水の摂取量はICRP Publ.23により2.65ℓ/日とした。

第1-2表 検出値の預託実効線量換算値 (内部被ばく) (ミリシーベルト)

	内部被ばくの預託実効線量*1			
	呼吸 *2	飲料水	葉菜	海産物
敦賀発電所 ふげん	0.001以下	—	—	—
もんじゅ	0.001以下	—	—	—
美浜発電所	0.001以下	—	—	—
大飯発電所	0.001以下	—	—	—
高浜発電所	0.001以下	—	—	—
註: 核実験影響	0.001以下	0.001以下*2	0.001以下*3	0.001以下*3

*1: 1年間の摂取に基づく、摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量。

計算の基礎として指標植物(ヨモギ)および指標海産生物(ホンダワラ等)を含む。

*2: 各発電所近傍で観測した大気中水分等のトリチウムによるもの。付4.3、4.4参照

*3: 核実験影響のセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムによるもの。

第2表 検出された目的核種の試料毎の平均値 (いずれもセシウム-137)

	試料	単位	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	浮遊じん	mBq/m ³	—	—	—	—	—	—
	陸水(飲料水)	mBq/l	—	—	—	—	—	—
	指標植物	Bq/kg 生	0.2	0.2	0.2	—	—	—
	農産物	"	0.0	0.0	—	—	—	—
海洋	海水	mBq/l	2.0	1.8	1.7	1.9	1.8	1.8
	海産食品(魚類)	Bq/kg 生	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
	海産食品(貝類)	"	—	—	0.0	0.0	—	—
	海産食品(藻類)	"	—	—	—	—	—	—
	指標海産生物	"	0.1	—	0.1	0.1	0.1	0.1

(注) ①—は検出されなかったことを示す。(以下同様)。

②平均値は検出されたもののみから計算した。0.0は0.05未満であることを示す(以下同様)。

第3表 トリチウム測定結果(平均値) 単位: 陸水 Bq/l、大気中水分 Bq/m³

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸水(飲料水)	1.1	0.9	0.9	0.7	0.9	—
大気中水分	0.054	0.024	0.029	0.047	0.15	0.0082

(注) 大気中水分のトリチウム濃度については、検出された水分あたりの平均濃度(Bq/l)を年間平均気温、年間平均相対湿度を基に大気中濃度(Bq/m³)に換算した。

(注4) 成人の預託実効線量0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度

飲料水	大気中水分
2,900 Bq/l	340 Bq/m ³

第4表 Sr-90, Pu-239の測定結果(全地区平均値)

単位: Bq/kg 生

核種	指標植物	大根葉	魚類	貝類	藻類	指標海産生物
Sr-90	0.48	/	/	/	/	0.046
Pu-239	0.00041	0.00036	-	0.040	0.0022	0.021

各地区の陸水(飲料水)のトリチウムは、いずれもバックグランドレベルであった(添付資料、測定値の取り扱い(5)(p.29)参照)。また、大気中水分のトリチウムは、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった(以上第3表)。参考として、成人の預託実効線量が0.05ミリシベルトになるトリチウム濃度を前ページの脚注4に示した。

ストロンチウム-90とプルトニウム-239は、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比(参考資料5.7~5.8(p.196~p.202)参照)から核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度はこれまでと同程度であった(第4表)。

2.1.2 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

(1) 浮遊じん放射能の連続測定

大気中の発電所由来の人工放射性核種を連続的に監視する目的で行っている浮遊じん連続測定の結果では、その指標となるベータ/アルファ放射能濃度比において、発電所の運転に起因する変動は観測されなかった(添付資料第11表(p.83~p.88)参照)。

(2) 核種分析

第5表に、Ge半導体検出器による核種分析の結果検出された目的核種の試料毎の平均値を示す。陸上モニタリング関係では、セシウム-137が検出されたが、バックグランドレベルであった。海洋モニタリング関係では、セシウム-137がバックグランドレベルで検出されたのみで、2004年度まで敦賀地区浦底湾内の海底土から検出されていたコバルト-60は、2005年度、2006年度に引き続いて、今年度も検出されなかった。

第5表 検出された目的核種の試料毎の平均値

	試料	核種	単位	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	陸土	Cs-137	Bq/kg 乾土	18	1.5	4.0	27	6.9	46
	指標植物	Cs-137	Bq/kg 生	0.2	0.2	0.2	-	-	-
	松葉	Cs-137	"	-	-	-	-	-	-
	降下物	Cs-137	Bq/m ²	-	-	-	-	-	0.1
-				-	-	-	-	-	
海洋	海水	Cs-137	mBq/ℓ	2.0	1.8	1.7	1.9	1.8	1.8
	海底土	Cs-137	Bq/kg 乾土	1.3	-	5.6	2.7	1.0	/
		Co-60		-	-	-	-	-	/
	指標海産生物	Cs-137	Bq/kg 生	0.1	-	0.1	0.1	0.1	0.1

(注) ①対照地区の陸土では、勝山市池ヶ原の結果を含めて計算した。

(3)トリチウム

第6表にトリチウム測定結果のまとめを示す。雨水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

海水のトリチウムは過去の核実験の影響で、発電所寄与がなくても検出値がおよそ2.0Bq/ℓ程度となる可能性がある(注5)。今年度、このレベルを超えるトリチウムが検出されたのは、美浜地区の4例(2.9～4.0Bq/ℓ)と高浜地区の1例(2.3Bq/ℓ)を合わせた5例(添付資料第29表(p.130～p.132)参照)であったが、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであり、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった(注6)。

第6表 トリチウム測定結果(平均値)

単位：Bq/ℓ

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
雨水	3.2	1.2	2.0	2.5	4.8	—
海水	1.0	0.9	2.1	1.1	1.1	0.9

(4)放射化学分析

放射化学分析の結果の概要を第7表に示す。ストロンチウム-90とプルトニウム-239が、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比(参考資料5.7～5.8(p.196～p.202)参照)から核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度はこれまでとほぼ同程度であった。

第7表 Sr-90, Pu-239の測定結果(全地区平均値)

核種	陸土 Bq/kg 乾土	指標植物 Bq/kg 生	降下物 Bq/m ² ・年	海底土 Bq/kg 乾土	指標海産生物 Bq/kg 生
Sr-90	/	0.48	0.23	/	0.046
Pu-239	0.91	0.00041	0.0063	0.38	0.021

(注) 陸土では、勝山市池ヶ原の結果を含めて計算した。

以下に、線量評価に関連した調査、変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査について、調査試料毎に詳細に述べる。

(注5) 「測定値の取り扱いについて(5)」(p.29)参照

(注6) トリチウムが海水から海産物へ移行し、それを成人が年間摂取した場合に預託実効線量が0.05mSvとなる海水中濃度は約13,000Bq/lである。ただし、濃縮係数を1とし、有機結合型トリチウムの実効線量係数 4.2×10^{-8} mSv/Bq を用いた。

2.2 線量評価に関連した調査

2.2.1 空間線量

(1) 線量率連続測定

第1表と第1図に、今年度のテレメータシステムによる線量率の連続測定結果の概要を示す。線量率の短期的変動の評価として第1表に示したように、「平均値+標準偏差(σ)の3倍」(測定値の取り扱い(1)(p.26)参照)を超えたものについて原因の調査を行っている。今年度の「平均値+3 σ 」は、春から秋にかけてはほぼ平均値+9.6nGy/hであり、冬期は、およそ平均値+17nGy/hであった。今年度は冬期に雪が少なかったため「平均値+3 σ 」は、例年の値(20~30nGy/h)に比べて小さくなった。また、「平均値+3 σ 」を超える線量率が、各観測局で年間148~247時間観測されているが、すべて降雨、降雪等の自然現象によるものであった。県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量率上昇は観測されなかった。降雨・降雪以外のものとして、敦賀地区の1地点で、静穏時の

第1表 テレメータシステムによる線量率連続測定結果の概要 線量率単位:nGy/h

地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数*			地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数*		
				降雨	降雨以外*2	発電所					降雨	降雨以外*2	発電所
敦賀	敦賀A	53.6	92.3	176	2	0	美浜	新庄C	60.5	103.9	188	0	0
	浦底A	66.2	112.1	208	0	0		郷市C	36.7	86.7	233	0	0
	立石A	62.6	94.8	190	0	0		早瀬C	35.4	68.8	215	0	0
	河野A	43.7	94.4	222	0	0		日向C	42.2	84.8	230	0	0
	ふげん北D	60.7	104.2	191	0	0		三方C	32.1	76.0	232	0	0
	立石B	89.0	113.5	142	6	0		小浜A	43.1	72.3	227	0	0
	立石山頂B	78.6	118.8	191	0	0		日角浜A	39.3	84.8	219	0	0
	ふげん西D	38.7	82.9	219	0	0		宮留A	33.1	69.4	228	0	0
	猪ヶ池B	80.0	143.2	196	0	0		阿納尻A	30.5	63.9	238	0	0
	浦底B	78.0	133.3	205	0	0		長井A	35.6	77.6	229	0	0
	水試裏B	79.3	130.9	209	0	0	宮留C	40.4	87.5	237	0	0	
	色ヶ浜B	79.9	129.1	214	0	0	日角浜C	38.1	84.0	229	0	0	
	沓D	59.4	118.9	201	0	0	本郷C	43.2	80.6	240	0	0	
	赤崎D	50.1	101.7	220	0	0	加斗C	47.3	88.8	233	0	0	
	五幡B	46.7	94.9	216	0	0	小浜C	47.5	90.3	239	0	0	
	阿曾D	49.2	107.4	221	0	0	西津C	36.6	88.9	233	0	0	
	杉津B	52.4	125.4	207	0	0	聖海C	39.9	89.3	234	0	0	
	甲楽城B	45.3	101.4	217	0	0	川上C	48.8	92.0	234	0	0	
	今庄B	39.2	100.0	188	0	0	鹿野C	42.8	92.2	224	0	0	
	越前厨D	41.4	93.1	228	0	0	名田庄C	44.6	97.5	184	0	0	
白木	白木A	72.6	116.2	212	0	0	上中C	37.1	80.3	223	0	0	
	白木峠A	71.9	106.0	219	0	0	小黒飯A	37.4	69.8	243	0	0	
	松ヶ崎D	64.7	113.4	202	0	0	音海A	40.1	100.9	245	0	0	
	白木ID	67.3	106.7	192	0	0	神野浦A	27.9	66.3	242	0	0	
	白木IID	39.8	83.2	218	0	0	山中A	26.9	60.7	247	0	0	
	白木IIID	56.5	94.7	200	0	0	音海C	44.5	92.3	247	0	0	
	白木IVD	47.4	91.3	199	0	0	田ノ浦C	39.2	82.7	240	0	0	
美浜	丹生A	54.4	94.9	228	0	0	小黒飯C	38.1	75.2	245	0	0	
	竹波A	62.5	107.6	226	0	0	神野浦C	29.4	75.6	246	0	0	
	坂尻A	55.6	100.7	219	0	0	日引C	36.1	92.5	226	0	0	
	奥浦C	63.3	110.5	216	0	0	青郷C	40.3	105.4	244	0	0	
	丹生C	53.0	102.4	217	0	0	高浜C	36.7	87.1	216	0	0	
	丹生寮C	57.7	107.0	220	0	0	和田C	37.3	74.2	237	0	0	
	竹波C	74.5	128.3	217	0	0	田井C	43.9	90.5	240	0	0	
	菅浜C	37.5	79.3	228	0	0	夕潮台C	31.0	64.7	219	0	0	
	佐田C	54.8	88.2	240	0	0							

(注) 表中に示した結果は1時間値を基に算出した。降雨には降雪も含まれる。

*1: 月毎に算出した数の和である。Mは月平均値、 σ は月間標準偏差である。

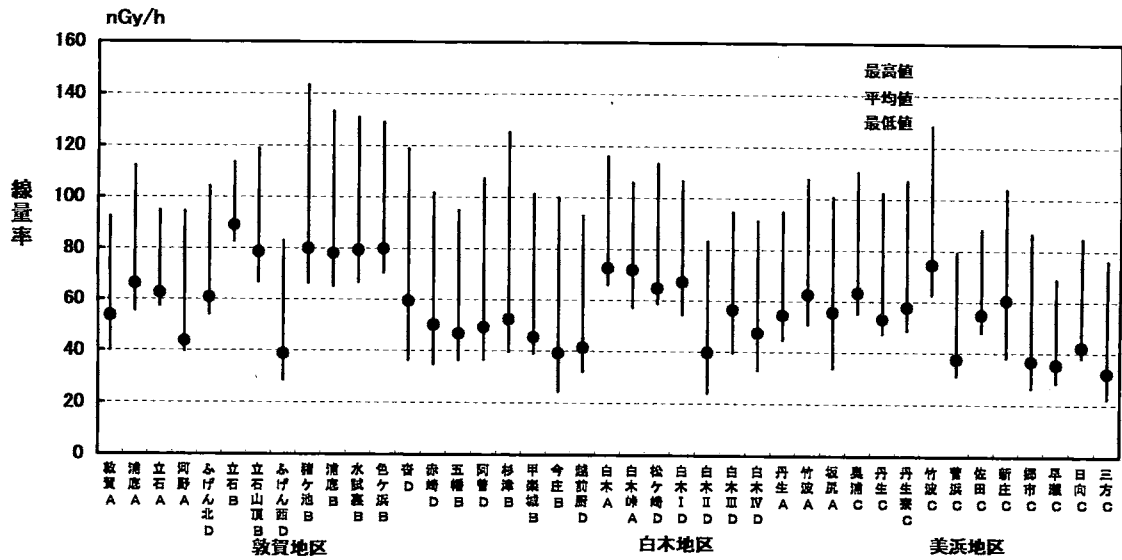
*2: 降雨以外の欄は、長時間降雨がなくかつ静穏な気象が続くことに伴う空気中ラドン娘核種濃度の上昇による。

*2続き: 降雨以外の欄の立石Bは、晴天の継続により天然放射性核種による線量率の変動幅が小さくなったことと土壌の乾燥化に伴い、線量率が僅かに上昇したことによるものである。

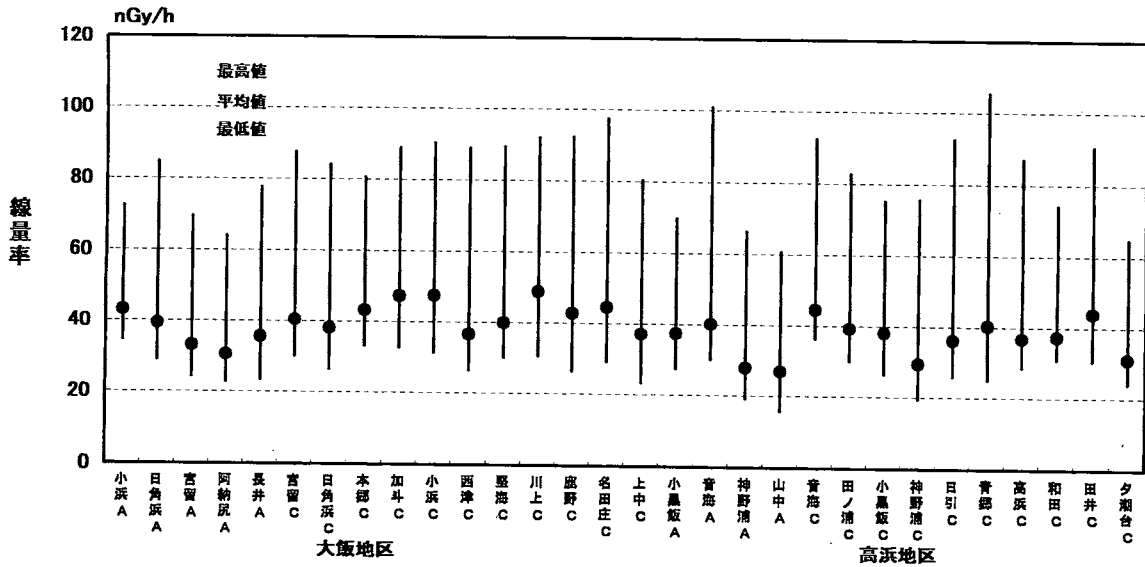
大気中ラドン娘核種濃度の上昇による影響が2時間認められた。また、同じく敦賀地区の1地点で、晴天の継続により、天然放射性核種による線量率の変動幅が小さくなったことと土壌の乾燥化に伴い、線量率が僅かに上昇したことによる影響が6時間認められた。

図1に、各測定地点の1時間値を基に算出した年間の平均値、最高値、最低値を示した。

第1図(1) 空間線量率連続測定結果 (敦賀、白木、美浜地区)



第1図(2) 空間線量率連続測定結果 (大飯、高浜地区)



(2) 積算線量

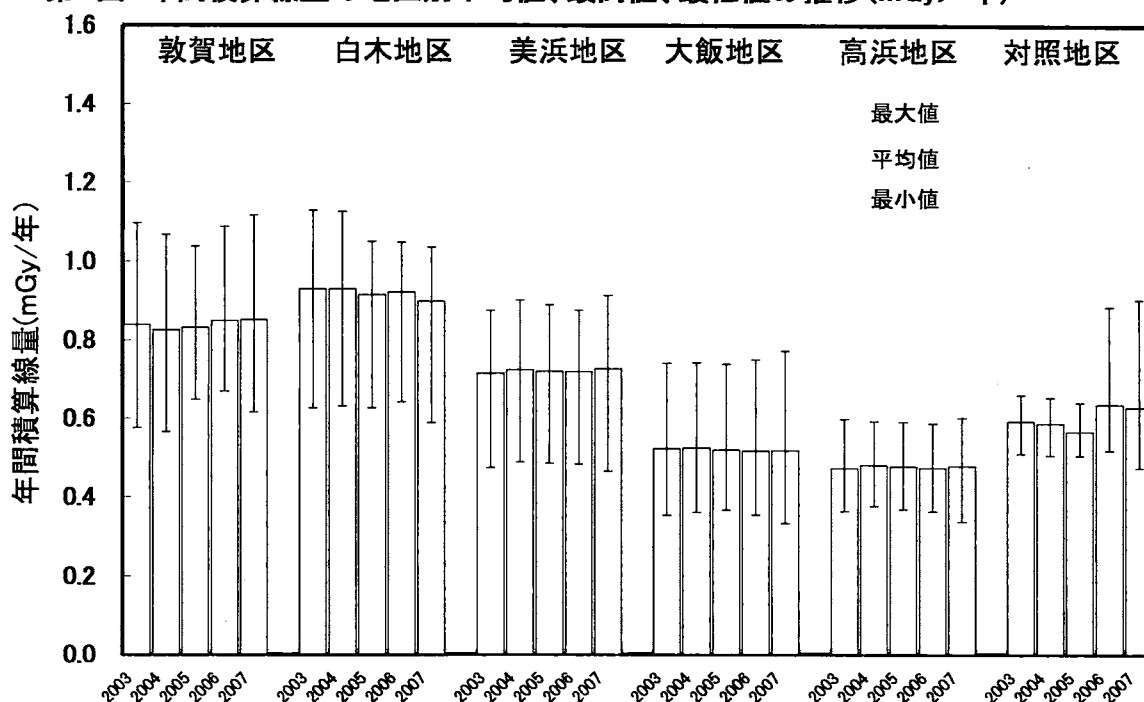
熱ルミネッセンス線量計 (TLD)、電子線量計および蛍光ガラス線量計を用いた3ヶ月毎の積算線量については、すでに四半期毎に報告したとおり、県内の発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。以下に年間積算線量について述べる。

第2表に今年度の年間積算線量の各地区の平均値、最高値、最低値を、第2図に地区別の平均値、最高値、最低値の5年間の推移を、それぞれ示す。年間積算線量は3ヶ月値の和である。

第2表 今年度の各地区の年間積算線量 単位：mGy/年

	敦賀地区	白木地区	美浜地区	大飯地区	高浜地区	対照地区
平均値	0.85	0.90	0.73	0.52	0.48	0.63
最高値	1.12	1.04	0.91	0.77	0.60	0.90
最低値	0.62	0.59	0.46	0.33	0.34	0.47

第2図 年間積算線量の地区別平均値、最高値、最低値の推移 (mGy/年)

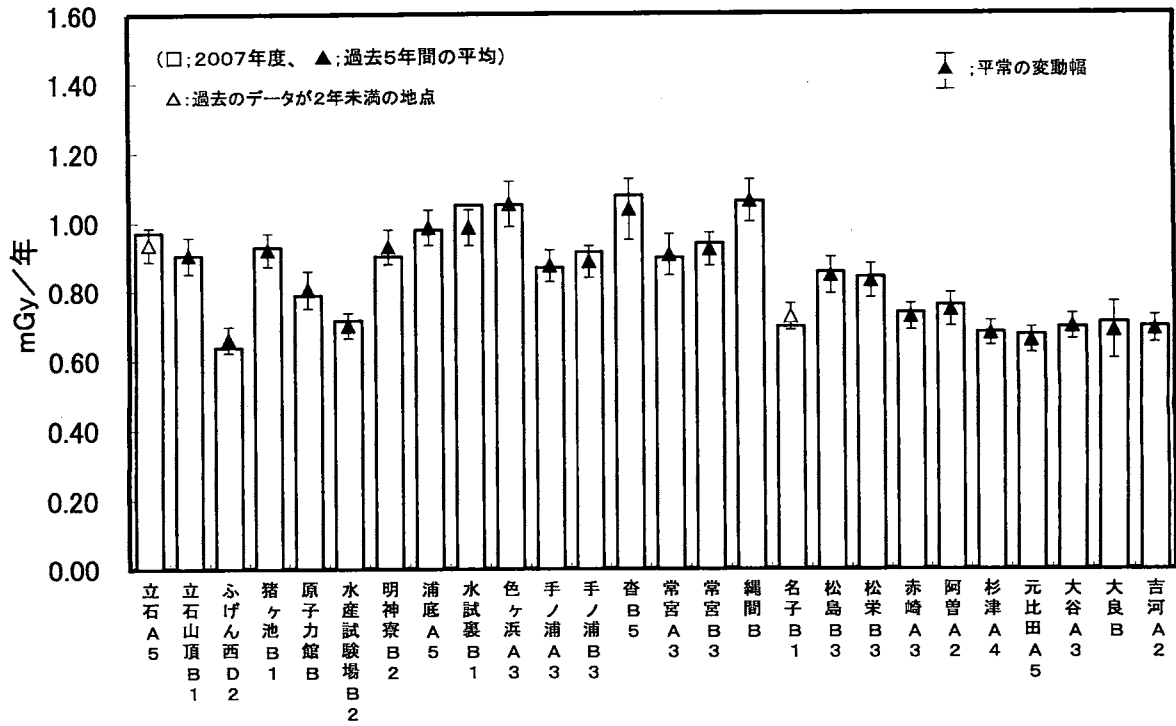


地区および地点により大きな差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島先端部の花崗岩地帯は、第9表の陸土の測定結果 (p. 17) に示すとおり、カリウム-40、トリウム系列核種、ウラン系列核種が高濃度であるため線量が高くなっている。

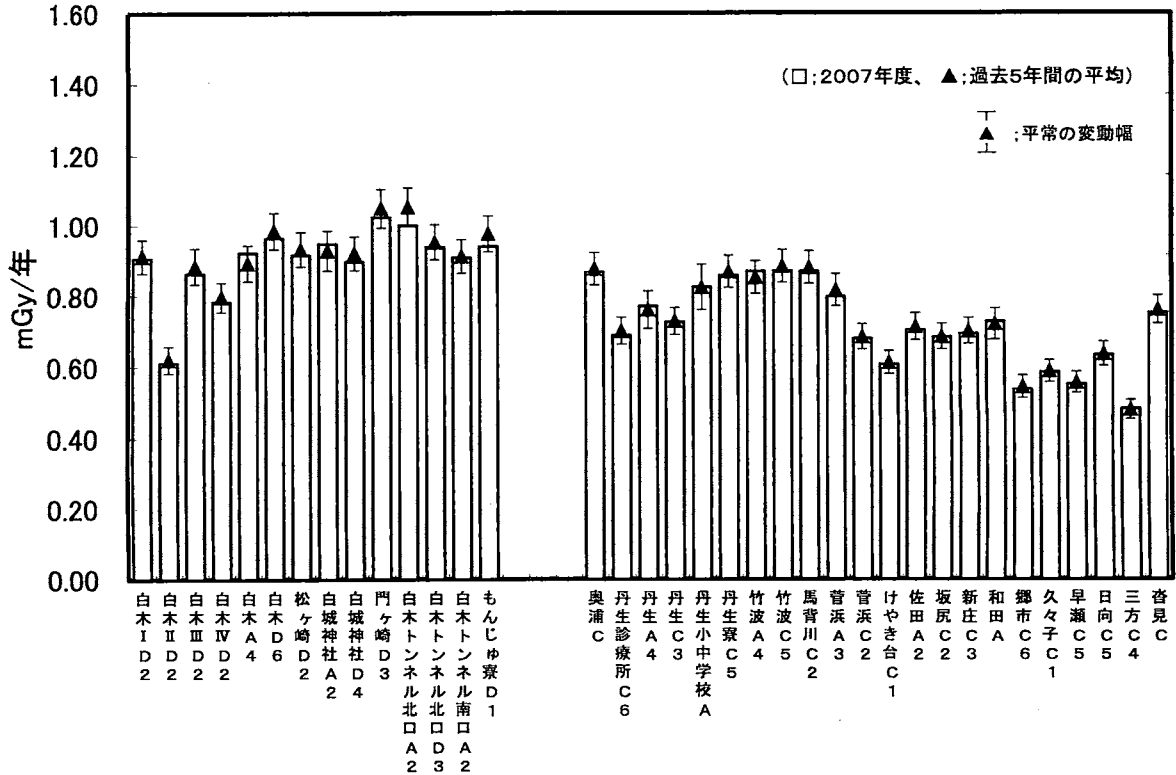
第3図(1~4)に地点毎の今年度の年間積算線量と過去(5ケ年)の平均値およびその平常の変動幅(注7)との比較を示す。今年度の測定値は、高浜地区の1地点において、周辺環境の変化により過去の平常の変動幅をわずかに上回った以外は、過去の平常の変動幅を上回るものはなかった。

(注7) 積算線量の平常の変動幅については、基本的に「標準偏差 (σ) の3倍」の考え方に従って、各地点の過去5ケ年の測定結果の変動から求めている。「測定値の取扱い(2) (p. 26)」参照。

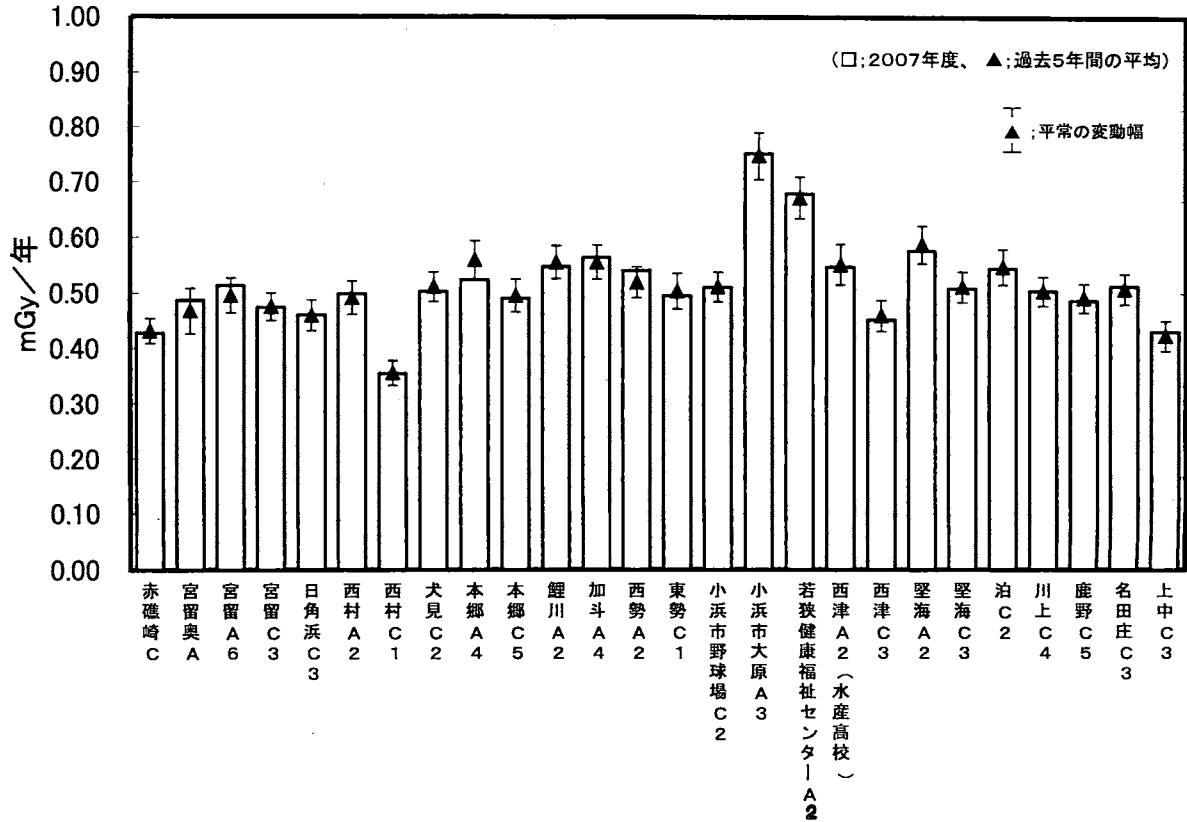
第3図(1) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (敦賀地区)



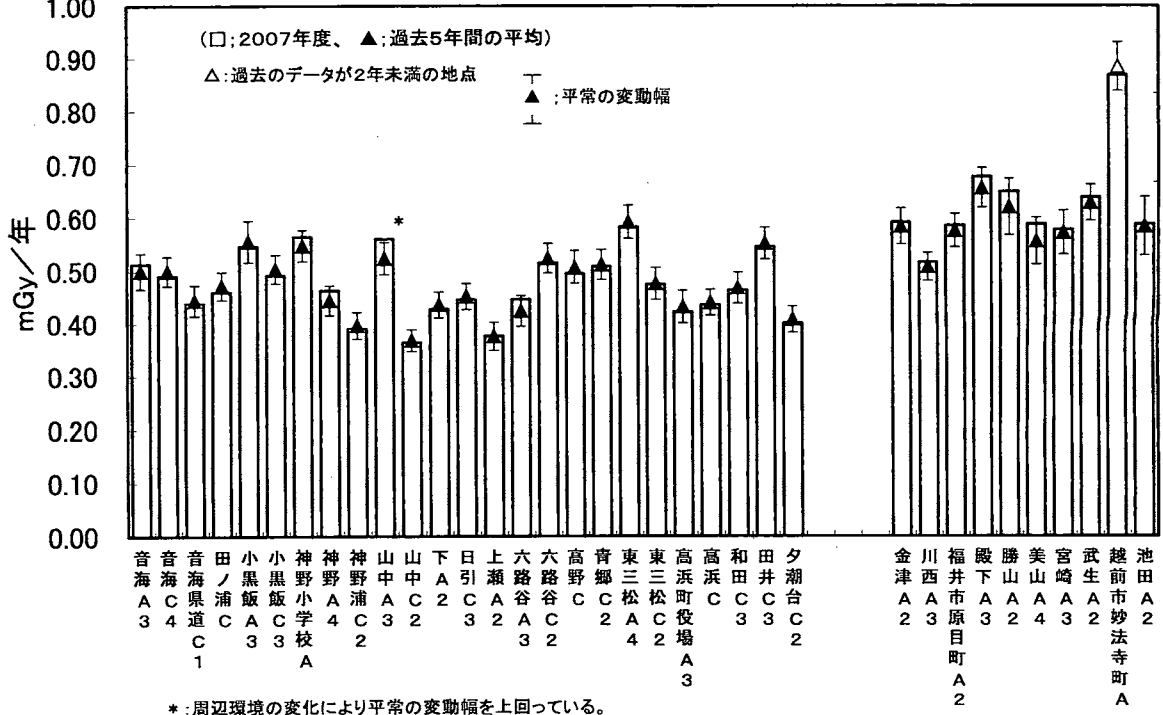
第3図(2) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (白木-美浜地区)



第3図(3) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (大飯地区)



第3図(4) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (高浜・対照地区)



* ; 山中 A 3 は、周辺環境の変化により、過去の平常の変動幅をわずかに上回った。

2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分

第3表に今年度の大気・浮遊じん、大気中水分の調査結果の概要を示す。大気・浮遊じんはGe半導体検出器による核種分析を、大気中水分はトリチウム分析をそれぞれ行っている。大気・浮遊じんの調査結果では、天然放射性核種であるベリリウム-7を除けば、各地区とも放射性核種は全く検出されず、県内発電所の影響は認められなかった。対照地区を除く各地区の大気中水分に、発電所寄与のトリチウムが検出されたが、すでに述べたように(p.6)、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第3表 大気中核種の地区別濃度範囲

単位： Bq/m³

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	—	0.012～0.14
白木	—	—	—	—	—	—	0.010～0.046
美浜	—	—	—	—	—	—	0.017～0.055
大飯	—	—	—	—	—	—	0.019～0.11
高浜	—	—	—	—	—	—	0.036～0.53
福井	—	—	—	—	—	—	ND～0.010

(注) —は検出例が1例もないもの、NDは検出限界値未満を示す(以下各表同様)。

トリチウム濃度については、年間平均気温、年間平均相対湿度をもとに算出(付4.3参照)。実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する大気中トリチウム濃度は340 Bq/m³である。

2.2.3 陸水

第4表に今年度の陸水(飲料水)の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、各地区とも県内の発電所に起因する核種は検出されなかった。トリチウムは今年度、バックグラウンドと判定されるレベル(p.29参照)であり、環境安全上の問題はなかった。

第4表 飲料水の地区別核種濃度範囲

核種分析：m Bq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	ND～1.4
白木	—	—	—	—	—	ND～1.1
美浜	—	—	—	—	—	ND～1.1
大飯	—	—	—	—	—	ND～0.8
高浜	—	—	—	—	—	ND～0.9
福井	—	—	—	—	—	—

(注)実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する飲料水のトリチウム濃度は2,900 Bq/lである。

2.2.4 農産物、指標植物

指標植物(ヨモギ)は通常食用とはしないが、農産物が入手困難な季節でも各発電所近傍で採取が可能なこと、および形状も比較的葉菜に近いので、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第5表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、Ge半導体検出器による核種分析で検出されたものはセシウム-137のみであった。放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、すでに述べたように(p.6)、これらの核種は核実験のフォールアウトによるものであり、県内の発電所に起因する放射性核種は検出されなかった。

第5表 葉菜、指標植物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	—	—	—	—	ND～0.2	—	0.18	0.00047
白木	—	—	—	—	ND～0.2	—	0.22	ND～0.00036
美浜	—	—	—	—	ND～0.3	—	1.2	0.00034
大飯	—	—	—	—	—	—	0.20	—
高浜	—	—	—	—	—	—	0.75	—
福井	—	—	—	—	—	—	0.34	—

(注) ⁹⁰Sr、²³⁹Puは放射化学分析の結果。

2.2.5 海産食品、指標海産生物

指標海産生物(ホンダワラ)は通常食用とはしないが、食用魚貝藻類が入手困難な季節でも各発電所近傍の定点で採取が可能なこと、および生態が食品と似ていて濃縮係数も比較的高いと考えられるので、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第6表に今年度の海産食品(近海魚、サザエ、アワビ、ワカメ、モズク等)、指標海産生物の測定結果の概要を示す。今年度の調査結果では、Ge半導体検出器による核種分析で検出されたのはセシウム-137のみで、放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、すでに述べたように(p.6)、これらの核種は核実験のフォールアウトによるものであり、県内の発電所に起因する放射性核種は検出されなかった。

第6表 海産食品、指標海産生物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	種類	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	魚	—	—	—	—	0.0～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.1	—	—	0.0016～0.0093
白木	魚	—	—	—	—	0.1	/	/	—
	貝	—	—	—	—	—	/	/	0.014～0.056
	藻	—	—	—	—	—	—	0.039	ND～0.018
美浜	魚	—	—	—	—	ND～0.1	/	/	/
	貝	—	—	—	—	ND～0.0	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.2	—	—	0.0017～0.095
大飯	魚	—	—	—	—	0.1～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	ND～0.0	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.034	ND～0.015
高浜	魚	—	—	—	—	ND～0.1	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.040	0.0045～0.0059
福井 対照	魚	—	—	—	—	0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.088	0.0023～0.010

(注)① Cs-137の0.0は0.05未満を示す(以下各表同様)。

② 指標海産生物のホンダワラは、藻類に含めた。

③ ⁹⁰Srと²³⁹Puは放射化学分析により求めた。

2.2.6 海水

第7表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、検出されたのはセシウム-137とトリチウムであった。

セシウム-137の平均濃度は各地区ともいずれも2mBq/l程度で昨年度までと同様の値であり、対照の福井地区とも同レベルであることから核実験影響とみなすことができる。

トリチウムについては、今年度、発電所寄与と考えられる値が検出されたのは敦賀地区、美浜地区および高浜地区で合わせて6例あったが、(第29表(p.130～132)参照)、通常の放射性廃棄物管理に伴うものであり、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第7表 海水の地区別核種濃度範囲 核種分析：mBq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	³ H (注)
敦賀	—	—	—	1.5～2.3	ND～1.8
白木	—	—	—	1.3～2.1	ND～1.0
美浜	—	—	—	ND～2.0	ND～4.0
大飯	—	—	—	ND～2.0	ND～1.9
高浜	—	—	—	ND～2.1	ND～2.3
対照	—	—	—	1.8	0.9

(注；8ページの(注6)参照)

2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定

第8表に年間の測定結果の概要を示す。各地点の今年度の放射能濃度測定値はいずれも天然放射能(空気中のラドン娘核種濃度)のレベルであった。発電所由来の人工放射性核種を監視する指標としているベータ/アルファ放射能濃度比では、「平均値(M)+標準偏差(σ)の3倍」を超えるものが、各観測局で5例～16例観測されている。いずれも「平均値(M)+標準偏差(σ)の3倍」をわずかに超えたものであること、もしくは濃度が低い時に観測されていること、またGe半導体検出器による核種分析結果でも原子力発電所に起因する核種は検出されなかったことから、すべて天然放射能の変動によるものと考えられる。詳細データは添付資料の第11表(p.83～p.88)に示した。

第8表 浮遊じんの連続測定結果の概要 単位：Bq/m³

地区	観測局	ベータ(β)		アルファ(α)		β/α放射能濃度比(%)		β/α比のM+3σを超えた数
		放射能濃度		放射能濃度		濃度比(%)		
		年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	
敦賀	浦底A	3.7	51.5	7.3	107.4	51	65	6
	立石A	3.1	15.8	6.3	34.6	50	61	7
白木	白木A	3.4	35.1	6.7	72.7	51	68	11
	白木峠A	2.5	11.2	5.0	22.8	52	66	6
美浜	丹生A	3.2	15.6	6.2	30.4	53	64	8
	竹波A	3.9	25.9	8.1	56.9	49	66	16
大飯	日角浜A	3.4	16.0	6.6	34.6	52	63	9
	宮留A	3.4	16.6	6.7	32.9	51	63	14
高浜	小黑飯A	2.7	10.0	5.4	22.3	50	61	10
	音海A	2.8	10.4	5.6	21.5	50	64	5
	神野浦A	2.7	10.5	5.3	21.3	50	61	10

2.3.2 陸 土

今年度の調査結果では、各地区ともいずれも県内の発電所に由来する核種は検出されなかった。第4図に各地区の陸土のセシウム-137濃度（年間平均値、以下のグラフでも同様）の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験の影響が蓄積したものである。地点により差があるのは、周辺環境や土質が異なるためであり、それぞれの地点ではいずれも従来との測定値と同程度であった。

なお、第9表に示すように、陸土にはかなり高い濃度の天然放射性核種が含まれていて、自然の放射線源となっており、空間線量の測定値の大部分はこれらの寄与によるものである。

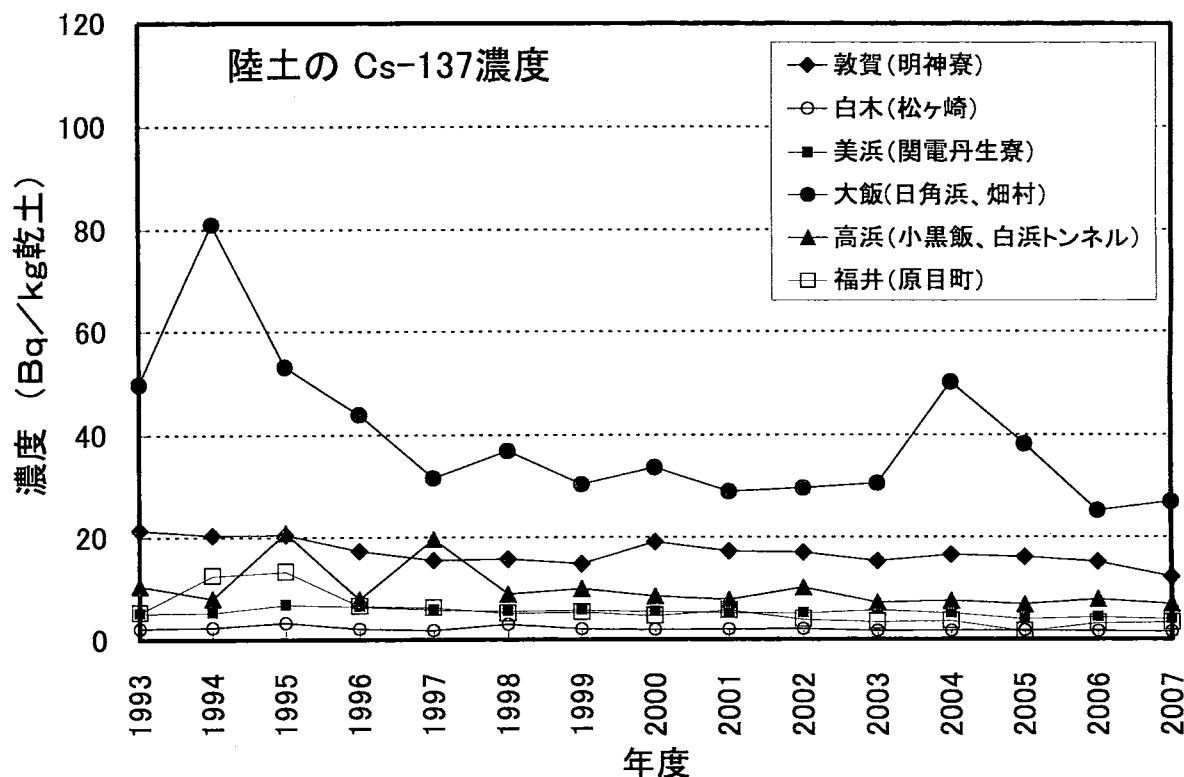
これら Ge 半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析によるプルトニウムの分析を白木地区の陸土について行っている（添付資料第30表その5(p.135)参照）。今年度の結果は昨年度までと同程度であった。

第9表 陸土中の天然放射性核種の平均濃度

単位：Bq/kg 乾土

地 区	地 点	カリウム-40	トリウム系列	ウラン系列
敦 賀	浦底・敦賀発電所北端	1 1 0 0	7 5	4 7
白 木	白木（松ヶ崎）	1 2 0 0	9 5	5 0
美 浜	丹生（関電丹生寮敷地内）	1 2 0 0	9 5	5 1
大 飯	日角浜・畑村	3 3 0	2 5	2 4
高 浜	小黑飯（旧道脇・白浜トンネル上）	6 0 0	4 1	3 0
対 照	福井市原目町	4 9 0	2 4	1 7

第4図 陸土のセシウム-137濃度の推移



2.3.3 指標植物、松葉

指標植物(ヨモギ)については、被ばく評価に関連した調査として既に農産物のところで述べたが、松葉も含め改めて変動傾向について述べる。

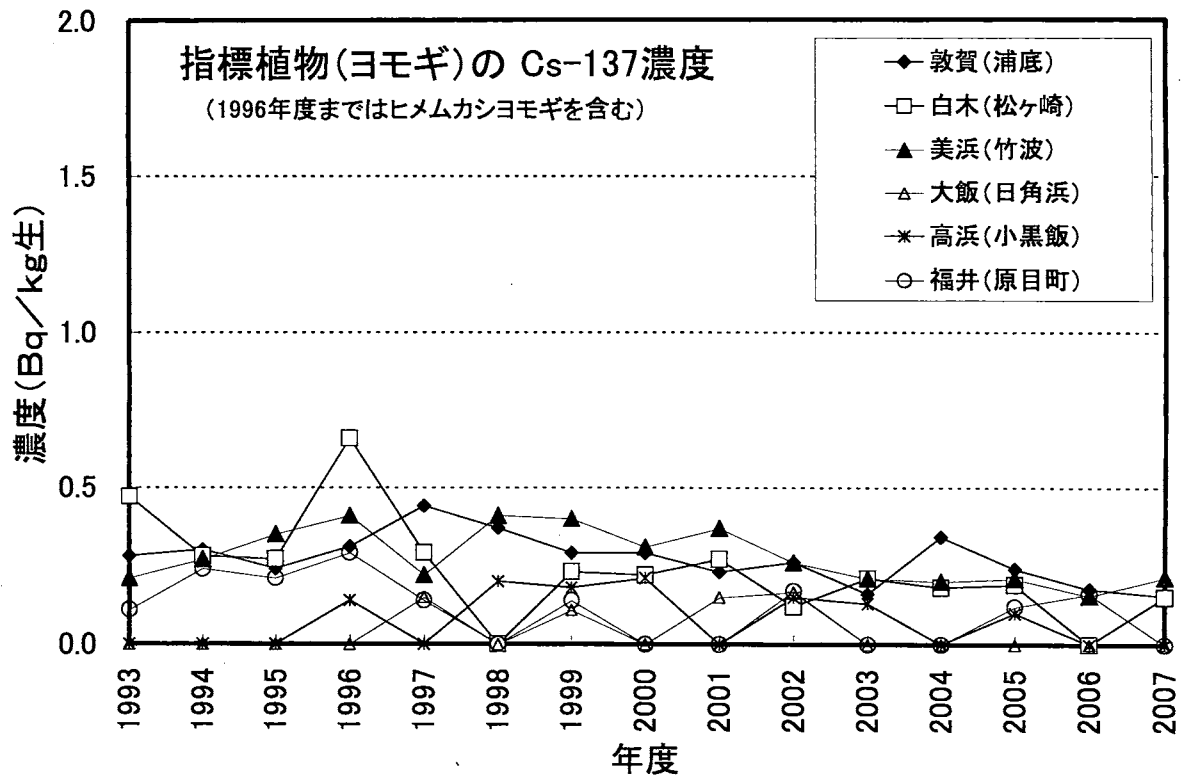
今年度の調査結果では各地区とも県内の発電所に起因する核種は検出されなかった。

指標植物で検出されたのは、天然放射性核種のベリリウム-7を除けば、従来と同程度のセシウム-137のみであった。また、松葉から検出されたのは天然核種のみであった。

第5図に代表的な地点の指標植物のセシウム-137濃度の推移を示す。

なお、松葉のセシウム-137は今年度も含めて、1990年度以降検出されていない。

第5図 指標植物のセシウム-137濃度の推移



(注) 上記の図は、検出値があるものだけの平均値。
測定値が ND(検出限界値未満) の場合、図では0のところに表示されている。
(第7図においても同様である)

2.3.4 降下物

今年度の毎月の調査結果では、コバルト-60等の発電所に起因する核種は、いずれの地区からも検出されなかった。

月毎の試料では、対照地区でセシウム-137が検出された。降下量は、 $0.1\text{Bq}/\text{m}^2$ であった。原子力発電所周辺地域で検出されていないことから、対照地区で検出されたセシウム-137は、核実験に由来するフォールアウトと判断した。

また、地点毎に月間試料を合わせ年間集合試料として改めて測定しているが、いずれの地点の年間集合試料からも発電所に起因する核種は検出されなかった。

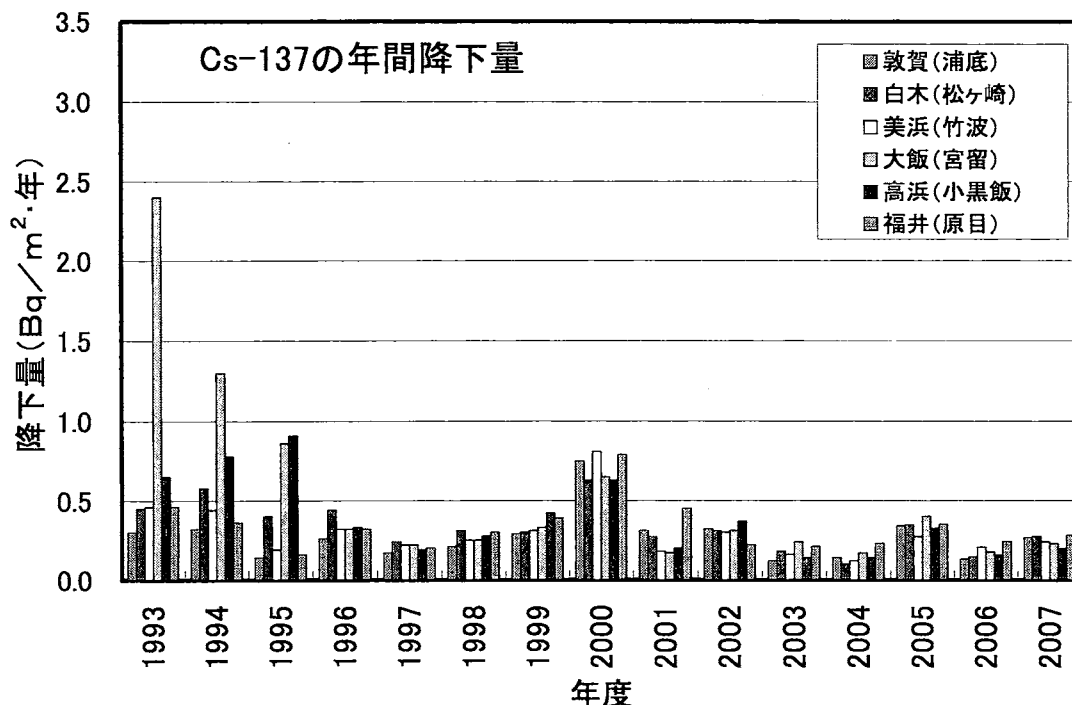
今年度の各地区のセシウム-137の年間降下量は、 $0.095 \sim 0.29\text{Bq}/\text{m}^2 \cdot \text{年}$ （添付資料第31表(p.137)参照）であり、2004～2006年度とほぼ同程度であった。第6図に、県が採取した年間集合試料から得られたセシウム-137の15年間の降下量の推移を示す。

なお、天然放射性核種のベリリウム-7は、例年の傾向どおり秋から冬にかけて降下量が増加しており、最大で、 $1100\text{Bq}/\text{m}^2 \cdot \text{月}$ （添付資料第19表(p.103)参照）の降下量が観測されている。ナトリウム-22は宇宙線によるもので、 $0.24 \sim 0.53$ （平均 0.39 ） $\text{Bq}/\text{m}^2 \cdot \text{年}$ （添付資料第31表(p.137)参照）観測されており、ベリリウム-7の約 $1/10,000$ 程度の降下が見られる。（今年度のベリリウム-7の年間降下量の全地区の平均値は、約 $3,500\text{Bq}/\text{m}^2 \cdot \text{年}$ である。）

これらGe半導体検出器による核種分析のほか、雨水のトリチウム濃度、及び年間集合試料を用いた放射化学分析による各地区のストロンチウム-90とプルトニウム-239の年間降下量を求めている（添付資料第31表(p.137)参照）。

雨水のトリチウム濃度は、過去の実績とほぼ同程度の値が検出されたが、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであった。また、放射化学分析による結果は、ここ数年のレベルと同程度であり、過去の核実験由来のフォールアウトによるものと判断される。

第6図 セシウム-137の年間降下量の推移



(注) 1993～1995年度の地域差は、再浮遊の違いによる。

備考) 2006年度の測定結果については、各地区で試料の一部に欠損があったことから、参考値とする。

2.3.5 海底土

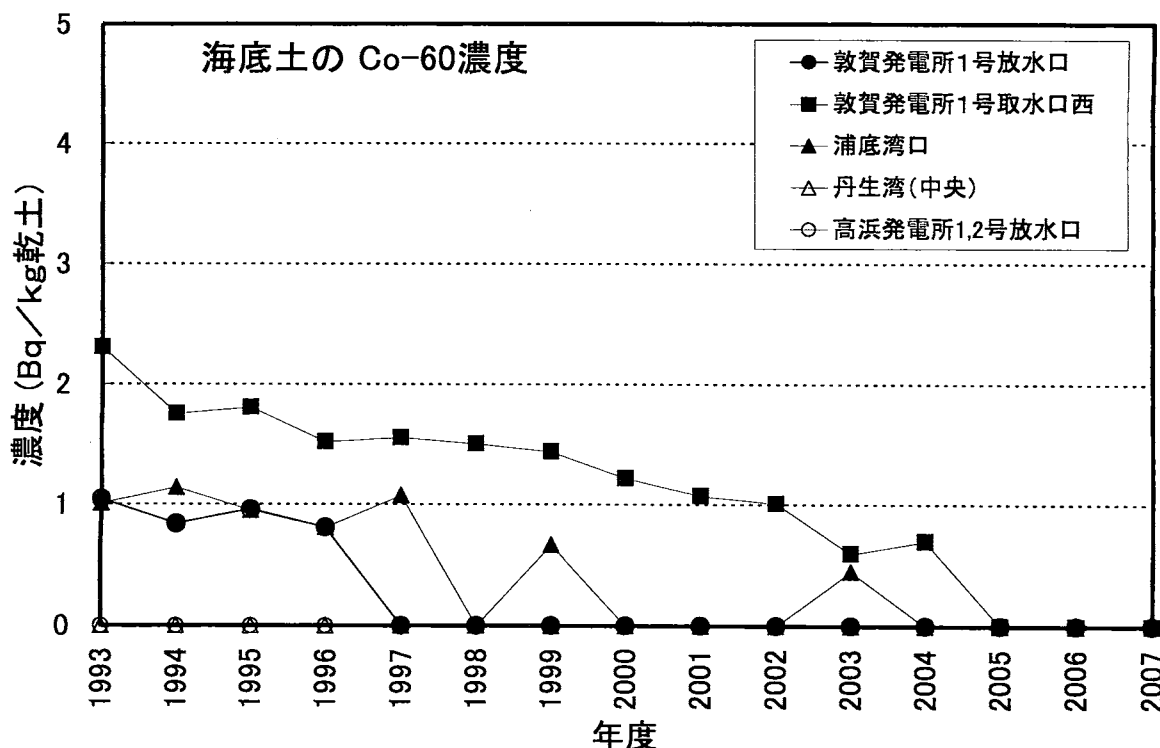
今年度の定期調査の結果では、敦賀地区浦底湾内の海底土からコバルト-60は、検出されなかった。また、浦底湾内の16地点で濃度分布調査を行なったが、コバルト-60は、検出されなかった。

なお、参考までに、1993～2007年度までの浦底湾（敦賀発電所1号放水口、敦賀発電所1号取水口西、浦底湾口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のコバルト-60濃度の推移を第7図に示す。

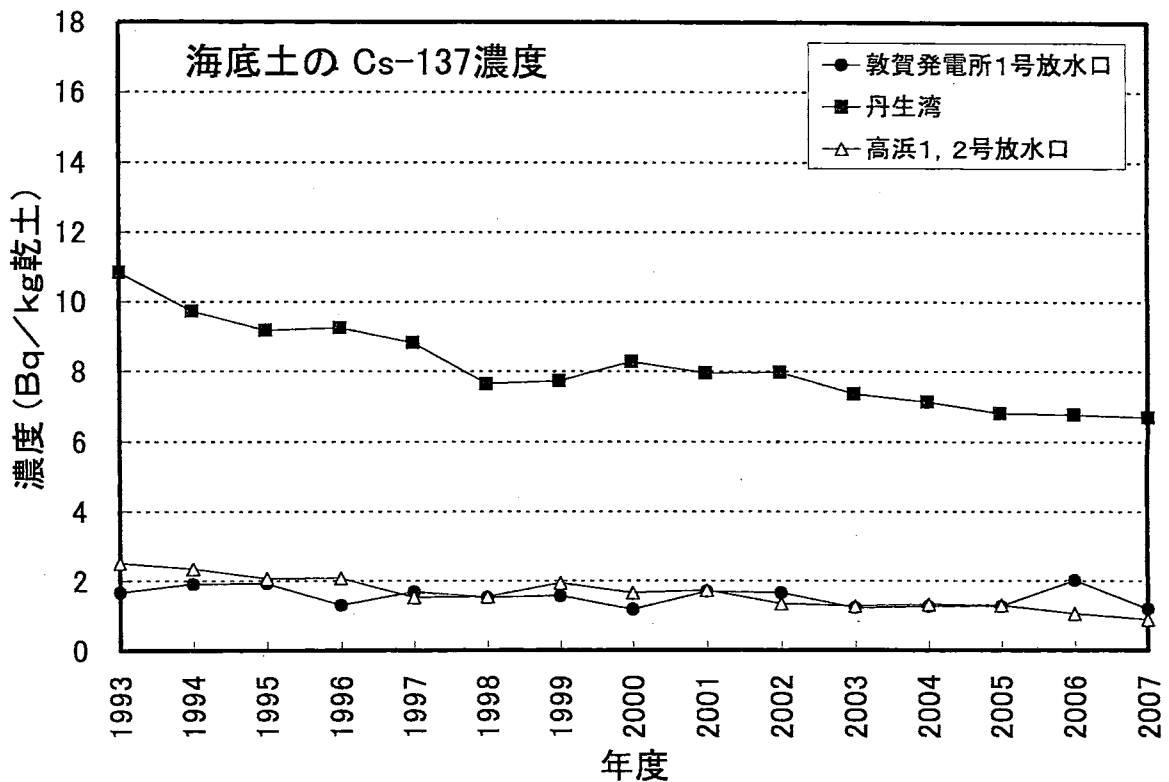
第8図に浦底湾（敦賀発電所1号放水口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のセシウム-137濃度の推移を示す。セシウム-137は核実験由来であり、各地点とも今年度の測定結果は従来と同程度であった。この図に示した地点以外の各地区の海底土からもセシウム-137が検出されているが、底質が有機質に富んだ腐敗泥のところの濃度が高く、砂質のところは低くなっており、いずれも発電所稼動前の調査と同様の傾向を示している。

これら Ge 半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析により海底土についてプルトニウム-238、プルトニウム-239の濃度を求めている（添付資料第30表その3(p.134)、その7(p.136)参照）。今年度の結果は、プルトニウム-238、プルトニウム-239とも昨年度までと同程度であった。

第7図 海底土のコバルト-60濃度の推移



第8図 海底土のセシウム-137濃度の推移



2.3.6 指標海産生物

指標海産生物の調査結果は、海産物についての預託実効線量の評価の際にも役立っているため、既に2.2.5海産食品で取扱ったが、発電所に起因する核種の変動傾向を把握するため、改めて今年度の指標海産生物の調査結果について述べる。

今年度のホンダワラの定期調査の結果では、いずれの地区からもコバルト-60は検出されなかった。また、定期調査以外に、浦底湾内でホンダワラのコバルト-60の濃度分布調査を行なったが、コバルト-60は検出されなかった。ホンダワラについては、1993年度以降は、コバルト-60は、いずれの地区からも検出されていない。

ホンダワラのセシウム-137については、いずれの地区でも従来と同程度の0.2Bq/kg生以下の極めて低い濃度となっており、核実験影響のレベルであった。

(参考) 今年度のセシウム-137 分析結果

序論(p.1)で、環境モニタリングの目的に「放射能水準の変動傾向、蓄積状況の把握」を掲げていることでもあり、以下に環境で最も多く検出されているセシウム-137について、各試料区分毎の今年度の結果と過去3ヶ年の検出実績の比較のまとめたものを示す。

今年度の検出実績は、いずれも過去と同程度で、増加傾向は認められない。また、対照地区も含め各地区でほぼ同一水準であるという結果は、「今年度の値はいずれも過去に行なわれた核実験によるフォールアウト」というこれまでの評価を裏づけるものであり、原子力発電所に起因するものは認められなかった。

今年度のセシウム-137 分析結果

単位:浮遊じん(mBq/m³)、降下物(mBq/m²)、陸水・海水(mBq/l)、その他(Bq/kg)

試料	敦 賀		白 木		美 浜	
	07年度	04~06年度	07年度	04~06年度	07年度	04~06年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	9.4~26	2.1~32	1.2~1.9	1.3~2.2	3.1~4.8	3.4~6.7
指標植物	ND~0.2	ND~0.9	ND~0.2	ND~0.2	ND~0.3	ND~0.4
松葉	—	—	—	—	—	—
農産物	0.0	ND~0.0	0.0	ND~0.0	—	ND~0.1
降下物	—	ND~0.2	—	ND~0.1	—	ND~0.2
海水	1.5~2.3	1.3~3.0	1.3~2.1	ND~2.4	ND~2.0	ND~2.8
海底土	ND~4.0	ND~4.0	—	—	ND~7.8	ND~10
海産食品(魚類)	0.0~0.2	ND~0.2	0.1	ND~0.2	ND~0.1	0.0~0.1
〃(貝類)	—	ND~0.0	—	ND~0.0	ND~0.0	ND~0.0
〃(藻類)	—	—	—	ND~0.0	—	—
指標海産生物	ND~0.1	ND~0.1	—	ND~0.1	ND~0.2	ND~0.2

試料	大 飯		高 浜		対 照	
	07年度	04~06年度	07年度	04~06年度	07年度	04~06年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	2.3~57	1.5~100	4.8~8.8	2.8~13	3.0~130	1.6~180
指標植物	—	—	—	ND~0.1	—	ND~0.2
松葉	—	—	—	—	—	—
農産物	—	ND~0.0	—	ND~0.0	—	—
降下物	—	—	—	ND~0.1	ND~0.1	ND~0.2
海水	ND~2.0	ND~2.5	ND~2.1	ND~2.5	1.8	ND~1.8
海底土	ND~4.5	ND~5.5	ND~2.2	ND~4.1	/	/
海産食品(魚類)	0.1~0.2	ND~0.2	ND~0.1	0.0~0.2	0.2	0.1~0.2
〃(貝類)	ND~0.0	—	—	ND~0.0	—	—
〃(藻類)	—	—	—	—	—	—
指標海産生物	ND~0.1	ND~0.1	ND~0.1	ND~0.1	ND~0.1	—

(注) —またはNDは「検出されず」を、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を示す。

04~06年度の欄で、—と記したものは検出実績が1例もないものである。/は調査対象外を示す。

3. 添付資料

3. 1 調査方法

3. 2 調査地点図表

第1図～第8図 調査地点図

第1表 調査地点の詳細

3. 3 測定法

第2表～第7表 測定法、測定器

3. 4 測定結果

第8表～第10表 空間線量測定結果

第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

第13表～第25表 核種分析結果

第26表～第29表 トリチウム分析結果

第30表 放射化学分析等による ^{90}Sr , ^{137}Cs ,
 ^{239}Pu 分析結果

第31表 年間降下物の ^{90}Sr , ^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{239}Pu
分析結果 [参考：定期外調査]

第32表 各地の積雪量 (2007年12月～2008年3月)
[参考データ]

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点（概要）

調査地点はおおむね以下のとおりである。

①調査対象地区：（調査地区）敦賀、白木、美浜、大飯、高浜
（対照地区）福井市等嶺北地方

②陸上試料採取地点：ほぼ主風向下の各発電所から約1～2 kmの集落近傍の定点

③海洋試料採取地点：各放水口および放水口沖約1 kmの定点

これらの定期調査以外に、発電所由来核種の分布状態など環境をよりよく把握するために一部の地区で広域分布調査を行なった。

調査の分担実績を3.1.3 (p. 25)に示す。また、調査地点図を第1図～第8図 (p. 31～p. 39)に、調査地点の詳細を第1表 (p. 40～p. 43)に、それぞれ示す。

3.1.2 調査方法（概要）

空間線量測定法、浮遊じん放射能の連続測定法、ゲルマニウム検出器による核種分析測定法および各種試料の対象核種と検出目標値、各機関で用いている測定器を第2表～第7表 (p. 44～p. 48)に示す。

核種濃度の測定は大部分がゲルマニウム検出器による核種分析である。ゲルマニウム検出器による核種分析の目的核種はマンガン-54 (^{54}Mn)、コバルト-58 (^{58}Co)、コバルト-60 (^{60}Co)、セシウム-137 (^{137}Cs) およびヨウ素-131 (^{131}I) である。その他に、ナトリウム-22 (^{22}Na) も平成7年度より対象核種としている。

ヨウ素-131を対象とする試料については、試料の前処理および測定までに要する日数に特に留意した。また、セシウム-137は、一部の試料についてゲルマニウム検出器を用いたアンチコインシデンス測定も行なっている。

ゲルマニウム検出器による核種分析では、ガンマ線を放出する核種が同時に分析できるので、起源の判断や自然放射線の寄与などの参考とするため、ルテニウム-106 (^{106}Ru)、セリウム-144 (^{144}Ce)、カリウム-40 (^{40}K)、ベリリウム-7 (^7Be)、トリウム系列、ウラン系列等の核種の濃度も測定結果に併記した。

以上のほかに、ストロンチウム-90 (^{90}Sr)、プルトニウム-238 (^{238}Pu)、プルトニウム-239 (^{239}Pu) の放射化学分析およびトリチウム (^3H) 分析を行なっている。

前処理法および分析測定法は、以下に列挙する方法に準拠した。

なお、測定結果の評価等に関する取扱いは「3.1.4 測定値の取扱い (p. 26～p. 30)」に一括して記載した。

<前処理法>

(1) 降下物

・月間降下物（水盤法）の前処理法

（昭和58年3月：福井県環境放射能測定技術会議 資料）

<分析測定法>

(1) 積算線量

・TLD測定マニュアル^{*1}

（昭和55年1月：福井県環境放射能測定技術会議）

（平成6年3月：一部改訂^{*2}）

（平成8年3月：一部改訂^{*2}）

- ・熱ルミネセンス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成2年2月1訂: 科学技術庁 放射能測定法シリーズ)
 - ・蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成14年7月: 文部科学省 放射能測定法シリーズ)
 - ・蛍光ガラス線量計測定マニュアル
(平成19年2月: 福井県環境放射能測定技術会議)
- (2) ゲルマニウム検出器による核種分析測定法
- ・Ge(Li)検出器による環境試料の核種分析法
(昭和50年8月: 福井県衛生研究所 調査研究報告)
 - ・ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー
(平成2年11月2訂: 科学技術庁 放射能測定法シリーズ)
(平成4年8月3訂: 科学技術庁 放射能測定法シリーズ)
- (3) トリチウム
- ・トリチウム分析法
(昭和52年10月: 科学技術庁 放射能測定法シリーズ)
(平成8年3月1訂: 科学技術庁 放射能測定法シリーズ)
 - ・トリチウム迅速分析法*³
(平成9年12月: 福井県環境放射能測定技術会議)
- (4) ストロンチウム-90
- ・放射性ストロンチウム分析法
(昭和55年1月: 福井県環境放射能測定技術会議)
(昭和60年3月: 一部改訂*⁴)
 - ・放射性ストロンチウム分析法
(昭和58年12月3訂: 科学技術庁 放射能測定法シリーズ)
- (5) プルトニウム
- ・プルトニウム・アメリシウム逐次分析法
(平成2年11月: 科学技術庁 放射能測定法シリーズ)

(*1) 昭和60年度から TLD 測定マニュアルの p.9 第1表(棄却限界表)として ASTM:E178-80 を用いている。

(*2) 平成6年度より3ヵ月平均値の標準偏差の算出を、従来の一次回帰から求める方法から個々の測定地点より求める方法に改訂した。さらに、平成8年度より基本的に全地点の平均的な相対標準偏差3.5%を用いる方法に改訂した。

(*3) 試料調整から3時間以内で74 Bq/l(当時の公衆の年実効線量当量限度1ミリシーベルトの1000分の1に相当する濃度)を確認できる方法である。

(*4) 昭和60年度から土壌試料の抽出方法として熱塩酸抽出法を用いている。

3. 1. 3 調査の分担実績

区分	定期調査（分布調査等を含む）												放射化学分析等 県, 原子力機構
	県						原電	原子力機構			関電		
調査機関	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区
調査項目	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区
線量率(年間連続)	4	2	3	5	4		10	6	5	11	11	10	
積算線量	11(44)	4(16)	6(24)	11(44)	10(40)	10(40)	14(56)	1(4)	10(40)	16(64)	15(60)	15(60)	
浮遊じん(年間連続)	2	2	2	2	3								
<核種分析>													
大気中ヨウ素-131	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)								
浮遊じん	2(16)	2(16)	2(16)	2(16)	3(20)	1(12)	3(36)		1(12)	1(12)	1(12)	2(24)	
陸水	飲料水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)	
	河川水									1(2)			
陸土	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	2(3)	1(2)	1(4)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	
指標植物	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)							
松葉						1(1)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	
農産物	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)							
降下物	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	
海水	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	2(8)	1(4)	2(8)	
海底土	19(30)	5(11)	7(8)	3(3)	7(9)		3(10)	2(8)	2(8)	4(16)	2(8)	3(12)	
海産食品	魚類	(8)	(4)	(5)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(2)	(4)	(2)	(2)
	貝類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)
	藻類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)
指標海産生物	ホンダラ	6(15)	1(4)	2(8)	1(4)	2(8)	1(4)	5(16)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(12)
	ムラサキイガイ												
核種分析合計	(117)	(81)	(85)	(73)	(89)	(50)	(89)	(21)	(52)	(72)	(50)	(80)	
<トリチウム>													
陸水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)	
大気中水分	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(13)	1(12)	2(24)	2(24)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	
月間雨水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	
海水	3(7)	2(4)	4(8)	2(4)	3(6)	1(2)	1(4)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(24)	
トリチウム合計	(27)	(24)	(28)	(24)	(27)	(22)	(36)	(28)	(24)	(26)	(22)	(44)	
放射能調査 合計	(144)	(105)	(113)	(97)	(116)	(72)	(125)	(49)	(76)	(98)	(72)	(124)	

(注) 調査地点数を示す。()内は年間試料数である。

3. 1. 4 測定値の取り扱いについて

(1) テレメータシステムによる線量率連続測定結果

- ① 空間線量率は空気吸収線量率とし、テレメータシステムにより収集された10分値等をもとに計算された1時間値を、nGy/hで報告する。
- ② 測定値は小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、各月の $M+3\sigma$ を超えたデータについては、降雨等の気象状況、近接局の結果、放射線のエネルギー情報等を調査し、変動原因を報告する。
なお、原子力施設からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。
- ④ 変動原因の報告において「降雨」とする条件は基本的に以下の場合とし、気象観測装置の設置状況等考慮して総合的に判断する。
 - (a) 雨量計(0.5mm以上)の指示値があった場合、指示開始1時間前から指示終了後2時間までを「降雨あり」とする。
 - (b) 感雨計の指示があった場合、指示開始から指示終了後1時間までを「降雨あり」とする。
 - (c) 空間線量率測定地点で気象観測をおこなっていない地点では、近接局の降雨信号で「降雨あり/なし」を判断する。

参考：テレメータシステムによる空間線量率測定では、10分等の短い周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。

これらのリアルタイム情報は、福井県原子力環境監視センターのホームページ (<http://www.houshasen.tsuruga.fukui.jp/>) で公開している。

(2) 積算線量測定結果

- ① 積算線量は空気吸収線量を、mGy/92日 単位で報告する。
- ② 測定値は、小数点以下第3位まで表示し、第4位を四捨五入する。
- ③ 地点毎の過去5ヶ年の平均値(M)を求め、平常の変動幅($M-3 \times C.V. \times M$) ~ ($M+3 \times C.V. \times M$)の範囲を超えた場合は、周辺環境等の変化等の原因の調査を行う。なお、相対標準偏差(C.V.)は、過去の平均的な値である3.5%を用いる。
ただし、自然放射線の変動等でこの平均的な変動範囲を上回る固有の変動幅がある地点については、地点毎に求めた過去5ヶ年の標準偏差(σ)を用いる。周辺環境等の変化により過去の蓄積データが2年に満たない地点の相対標準偏差(C.V.)は、3.5%とする。表-1に今年度の変動幅を示す。

表-1 積算線量における平常の変動幅(平成19年度用)

<敦賀地区>

※2年未満の期間では、評価用 $\sigma=3.5\%$ 固定

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	$M-3\sigma$	$M+3\sigma$	データ個数
A	立石A5(八坂神社)	0.234	0.01500	6.40	3.5	0.210	0.259	4
D	ふげん西D2(西敷地境界)	0.165	0.00635	3.85	3.8	0.146	0.184	15
A	浦底A5(剣神社)	0.246	0.00847	3.44	3.5	0.220	0.272	20
A	色ヶ浜A3(本隆寺)	0.263	0.01090	4.14	4.1	0.231	0.296	20
A	手ノ浦A3(舟幸寺)	0.218	0.00766	3.51	3.5	0.195	0.241	20
A	常宮A3(常宮小学校)	0.226	0.01003	4.45	4.4	0.196	0.256	20
A	赤崎A3(赤崎小グランド)	0.181	0.00593	3.28	3.5	0.162	0.200	20
A	阿曾A2(ふれあい会館)	0.186	0.00796	4.28	4.3	0.162	0.210	20
A	杉津A4(東浦小中学校)	0.169	0.00580	3.42	3.5	0.152	0.187	20
A	元比田A5(集落掲示板横)	0.164	0.00616	3.76	3.8	0.145	0.182	20
A	大谷A3(八幡神社)	0.174	0.00598	3.44	3.5	0.156	0.192	20
A	吉河A2(原子力センター)	0.172	0.00655	3.81	3.8	0.152	0.191	20
B	立石山頂B1(山頂付近)	0.226	0.00890	3.94	3.9	0.199	0.253	12
B	猪ヶ池B1(敦賀原子力館下)	0.230	0.00640	2.78	3.5	0.206	0.255	12
B	原子力館B(原子力館敷地)	0.201	0.00906	4.51	4.5	0.174	0.228	12
B	水産試験場B2(水試)	0.175	0.00433	2.47	3.5	0.157	0.194	12
B	明神寮B2(明神寮)	0.232	0.00843	3.64	3.6	0.206	0.257	12
B	水試裏B1(水産試験場裏)	0.246	0.00813	3.30	3.5	0.220	0.272	12
B	手ノ浦B3(舟幸寺)	0.221	0.00759	3.43	3.5	0.198	0.244	12
B	沓B5(常福寺)	0.259	0.01471	5.67	5.7	0.215	0.304	12
B	常宮B3(常宮神社敷地)	0.230	0.00808	3.51	3.5	0.206	0.254	12
B	縄間B(宗清寺)	0.265	0.01008	3.81	3.8	0.234	0.295	12
B	名子B1(名子バス停)	0.181	0.00465	2.57	3.5	0.162	0.200	4
B	松島B3(原電松島寮)	0.211	0.00885	4.20	4.2	0.184	0.237	12
B	松栄B3(敦賀合同庁舎)	0.207	0.00835	4.04	4.0	0.181	0.232	12
B	大良B(大良集会所)	0.171	0.01361	7.94	7.9	0.131	0.212	12

<白木地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
D	白木ID2 (北東敷地境界)	0.228	0.00576	2.53	3.5	0.204	0.252	15
D	白木IID2 (東南東敷地境)	0.155	0.00629	4.06	4.1	0.136	0.174	15
D	白木IID2 (南南東敷地境)	0.221	0.00845	3.82	3.8	0.196	0.246	15
D	白木IVD2 (南西敷地境界)	0.199	0.00685	3.44	3.5	0.178	0.220	15
A	白木A4 (白木観測局)	0.223	0.00841	3.78	3.8	0.197	0.248	20
D	白木D6	0.246	0.00488	1.98	3.5	0.220	0.272	15
D	松ヶ崎D2 (機構MS)	0.233	0.00526	2.26	3.5	0.209	0.257	15
A	白城神社A2 (神社鳥居横)	0.232	0.00943	4.07	4.1	0.203	0.260	20
D	白城神社D4 (鳥居横)	0.230	0.00617	2.68	3.5	0.206	0.254	15
D	門ヶ崎D3	0.262	0.00637	2.43	3.5	0.234	0.290	15
A	白木トンネル北口A2 (池横)	0.263	0.00925	3.51	3.5	0.236	0.291	20
D	白木トンネル北口D3	0.238	0.00771	3.24	3.5	0.213	0.263	15
A	白木トンネル南口A2	0.228	0.00749	3.29	3.5	0.204	0.252	20
D	もんじゅ寮D1 (もんじゅ寮)	0.244	0.00769	3.15	3.5	0.218	0.270	11

<美浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
C	奥浦C (奥浦公園奥)	0.219	0.00520	2.38	3.5	0.196	0.242	20
C	丹生診療所C6	0.175	0.00635	3.63	3.6	0.156	0.194	20
A	丹生A4 (中村旅館)	0.190	0.00883	4.64	4.6	0.164	0.217	20
C	丹生C3 (丹生漁港)	0.182	0.00638	3.51	3.5	0.163	0.201	20
A	丹生小中学校A	0.206	0.01080	5.24	5.2	0.174	0.238	12
C	丹生寮C5 (関電丹生寮)	0.217	0.00528	2.43	3.5	0.194	0.240	20
A	竹波A4 (竹波集落センター)	0.213	0.00774	3.63	3.6	0.190	0.236	20
C	竹波C5 (高那弥神社)	0.221	0.00636	2.88	3.5	0.198	0.244	20
C	馬背川C2 (ポンプ場)	0.220	0.00728	3.31	3.5	0.197	0.243	20
A	菅浜A3 (菅浜保育所)	0.204	0.00770	3.78	3.8	0.181	0.227	20
C	菅浜C2 (民宿藤田横)	0.171	0.00480	2.81	3.5	0.153	0.189	20
C	けやき台C1	0.153	0.00534	3.50	3.5	0.136	0.169	20
A	佐田A2 (山東保育所)	0.178	0.00632	3.55	3.6	0.159	0.197	20
C	坂尻C2 (三谷商店前)	0.171	0.00469	2.74	3.5	0.153	0.189	20
C	新庄C3 (日吉神社)	0.175	0.00511	2.93	3.5	0.156	0.193	20
A	和田A (ふる里交流センター)	0.180	0.00731	4.06	4.1	0.158	0.202	12
C	郷市C6 (美浜町役場)	0.136	0.00529	3.89	3.9	0.120	0.152	20
C	久々子C1 (県園芸試験所)	0.147	0.00458	3.12	3.5	0.131	0.162	20
C	早瀬C5 (水無月神社)	0.139	0.00433	3.11	3.5	0.124	0.154	19
C	日向C5 (日向漁業センター)	0.159	0.00531	3.33	3.5	0.143	0.176	20
C	三方C4 (町役場三方庁舎)	0.120	0.00454	3.77	3.8	0.107	0.134	20
C	沓見C (訓練センター)	0.190	0.00595	3.14	3.5	0.170	0.209	12

<大飯地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
C	赤礁崎C (あかぐり崎カブ)	0.108	0.00374	3.46	3.5	0.097	0.120	12
A	宮留奥A (海釣公園)	0.117	0.00687	5.85	5.8	0.097	0.138	12
A	宮留A6 (学園前バス停)	0.124	0.00526	4.26	4.3	0.108	0.139	20
C	宮留C3 (パーク大飯下)	0.119	0.00411	3.46	3.5	0.106	0.131	18
C	日角浜C3 (大島公民館)	0.115	0.00463	4.02	4.0	0.101	0.129	18
A	西村A2 (常禅寺)	0.123	0.00503	4.08	4.1	0.108	0.138	20
C	西村C1 (トシ南口県道脇)	0.089	0.00381	4.27	4.3	0.078	0.101	20
C	犬見C2 (集落手前道端)	0.128	0.00417	3.26	3.5	0.114	0.141	20
A	本郷A4 (町営住宅)	0.140	0.00577	4.13	4.1	0.122	0.157	20
C	本郷C5 (おおい町役場)	0.124	0.00498	4.02	4.0	0.109	0.139	11
A	鯉川A2 (牛尾神社)	0.139	0.00492	3.55	3.6	0.124	0.153	20
A	加斗A4 (加斗小学校)	0.139	0.00511	3.67	3.7	0.124	0.155	20
A	西勢A2 (民宿つどい前)	0.130	0.00467	3.59	3.6	0.116	0.144	20
C	東勢C1 (旧道脇)	0.126	0.00534	4.23	4.2	0.110	0.142	20
C	小浜市野球場C2	0.128	0.00406	3.19	3.5	0.114	0.141	18
A	小浜市大原A3 (栖雲寺)	0.187	0.00713	3.81	3.8	0.166	0.209	15
A	若狭健康福祉センターA2	0.168	0.00630	3.75	3.8	0.149	0.187	20
A	西津A2 (水産高校)	0.138	0.00606	4.39	4.4	0.120	0.156	19
C	西津C3 (西津支所)	0.115	0.00467	4.06	4.1	0.101	0.129	18
A	堅海A2 (堅海小学校跡)	0.147	0.00562	3.83	3.8	0.130	0.164	20
C	堅海C3 (県栽培漁業センター)	0.128	0.00464	3.62	3.6	0.114	0.142	18
C	泊C2 (大谷旅館前)	0.137	0.00530	3.88	3.9	0.121	0.153	20
C	川上C4 (川上公民館)	0.126	0.00433	3.43	3.5	0.113	0.139	19
C	鹿野C5 (佐分利小学校)	0.123	0.00405	3.28	3.5	0.110	0.136	18
C	名田庄C3 (名田庄観光館)	0.127	0.00459	3.60	3.6	0.114	0.141	18
C	上中C3 (上中体育館)	0.106	0.00451	4.26	4.3	0.092	0.119	18

<高浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
A	音海A3 (児玉旅館)	0.125	0.00605	4.85	4.8	0.107	0.143	20
C	音海C4 (音海漁港奥)	0.125	0.00466	3.73	3.7	0.111	0.139	20
C	音海県道C1 (セ江高浜前)	0.111	0.00491	4.43	4.4	0.096	0.125	20
C	田ノ浦C (関電MS)	0.118	0.00445	3.76	3.8	0.105	0.132	20
A	小黑飯A3 (寿奎寺旧道脇)	0.139	0.00650	4.66	4.7	0.120	0.159	20
C	小黑飯C3 (白浜トシ北口)	0.126	0.00448	3.57	3.6	0.112	0.139	20
A	神野小学校A	0.137	0.00495	3.62	3.6	0.122	0.151	12
A	神野A4 (桃源寺)	0.111	0.00473	4.27	4.3	0.097	0.125	20
C	神野浦C2 (集落道路脇)	0.099	0.00427	4.30	4.3	0.087	0.112	20
A	山中A3 (内浦小中学校)	0.131	0.00501	3.81	3.8	0.116	0.146	20
C	山中C2 (内浦農協)	0.092	0.00348	3.80	3.8	0.081	0.102	20
A	下A2 (産霊神社)	0.109	0.00415	3.81	3.8	0.096	0.121	20
C	日引C3 (日引小学校)	0.113	0.00415	3.67	3.7	0.101	0.126	20
A	上瀬A2 (山神神社)	0.094	0.00449	4.78	4.8	0.081	0.108	20
A	六路谷A3 (ふれあい会館)	0.106	0.00486	4.56	4.6	0.092	0.121	20
C	六路谷C2 (杉森神社横)	0.131	0.00454	3.47	3.5	0.117	0.144	20
C	高野C (青郷小高野分校)	0.127	0.00513	4.04	4.0	0.112	0.143	12
C	青郷C2 (青郷小学校)	0.128	0.00472	3.69	3.7	0.114	0.142	20
A	東三松A4 (東三松グランド)	0.148	0.00498	3.37	3.5	0.133	0.164	20
C	東三松C2 (民宿萩の家)	0.119	0.00510	4.28	4.3	0.104	0.134	20
A	高浜町役場A3 (前庭)	0.108	0.00515	4.79	4.8	0.092	0.123	20
C	高浜C (高浜小学校)	0.110	0.00414	3.76	3.8	0.098	0.122	20
C	和田C3 (和田小学校)	0.117	0.00491	4.19	4.2	0.102	0.132	20
C	田井C3 (コミュニテイセンタ)	0.138	0.00499	3.61	3.6	0.123	0.153	20
C	夕潮台C2 (夕潮台公園)	0.102	0.00416	4.10	4.1	0.089	0.114	20

<対照地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ個数
A	金津A2 (健康福祉セタ)	0.146	0.00563	3.86	3.9	0.129	0.163	20
A	川西A3 (川西中学校)	0.127	0.00398	3.13	3.5	0.114	0.141	20
A	福井市原目町A2 (福分室)	0.144	0.00521	3.60	3.6	0.129	0.160	20
A	殿下A3 (殿下小学校)	0.164	0.00618	3.76	3.8	0.146	0.183	20
A	勝山A2 (健康福祉セタ)	0.155	0.00885	5.71	5.7	0.128	0.182	20
A	美山A4 (美山児童館)	0.139	0.00734	5.26	5.3	0.117	0.161	20
A	宮崎A3 (宮崎中学校)	0.143	0.00690	4.82	4.8	0.123	0.164	20
A	武生A2 (武生土木事務所)	0.157	0.00564	3.60	3.6	0.140	0.174	20
A	越前市妙法寺町A	0.221	0.01163	5.27	3.5	0.198	0.244	4
A	池田A2 (池田町役場)	0.146	0.00915	6.26	6.3	0.119	0.174	20

この表では、基本的には2002年度から2006年度までの5年間で計算している。
データ数が20であるところは、5年分の全データで統計計算している。
それ以外の地点は、現在と同じ状況となった後の最新データで計算している。

(3) テレメータシステムによる浮遊じん放射能の連続測定

- ① 浮遊じん放射能濃度はラドン娘核種に等価で各娘核種 (RaA~RaC') の比を1と仮定した放射能濃度で、測定サイクルである3時間値を測定値 (報告値) とする。
単位は、ベータ (β) 放射能濃度およびアルファ (α) 放射能濃度は、Bq/m³とし、 β/α 放射能濃度比は%とする。
- ② 測定値は小数点以下第1位まで、放射能濃度比は整数とし、いずれもその次の位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値 (M) および標準偏差 (σ) を記載するとともに、濃度比が各月のM+3 σ を超え β 放射能濃度が高いデータについては、近接局の結果、空間線量率等を調査し、変動原因を報告する。なお、原子力施設等からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。

参考：浮遊じん放射能が天然放射性核種のみの場合、放射能濃度は通常0.1~数10Bq/m³程度変化するが、 β/α 放射能濃度比はほぼ一定である。一方、主に β 線放出核種である発電所由来の人工放射性核種がこれに加わった場合、 β/α 放射能濃度比は高くなる特徴を持っている。テレメータシステムによる浮遊じん放射能測定は、環境の空気を吸引しながら同時に測定を行い、10分周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。

(4) ゲルマニウム検出器による核種分析結果

- ① 各試料区分毎の報告単位は、核種分析結果の各表に示されている。
- ② 測定値は原則として、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ 放射能濃度をN、その誤差を ΔN とした時に $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値~最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、過去の核実験影響および発電所寄与について検討する。
- ④ 各種環境試料中の放射性核種濃度については、試料の種類によっても、また核種や環境条件によっても異なるため、関連する核種 (例えばセシウム-137の場合はセシウム-134) の有無等も考慮し、起源を判断する。

(5) トリチウム分析結果

- ① 各試料区分毎の報告単位は、Bq/lで報告する。
- ② 測定値は、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ トリチウム濃度をN、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。
- ④ 発電所影響の調査を行う検討基準として、海水の調査結果のうち、2.0Bq/l以上のデータを除いた過去3年間の調査結果 (およびそのバックグラウンドレベル) を基に平均値 (M) + 3 \times 標準偏差 (σ) を算出し、(M+3 σ) が2.0Bq/l未満の時は、(M+3 σ) を検討基準とする。

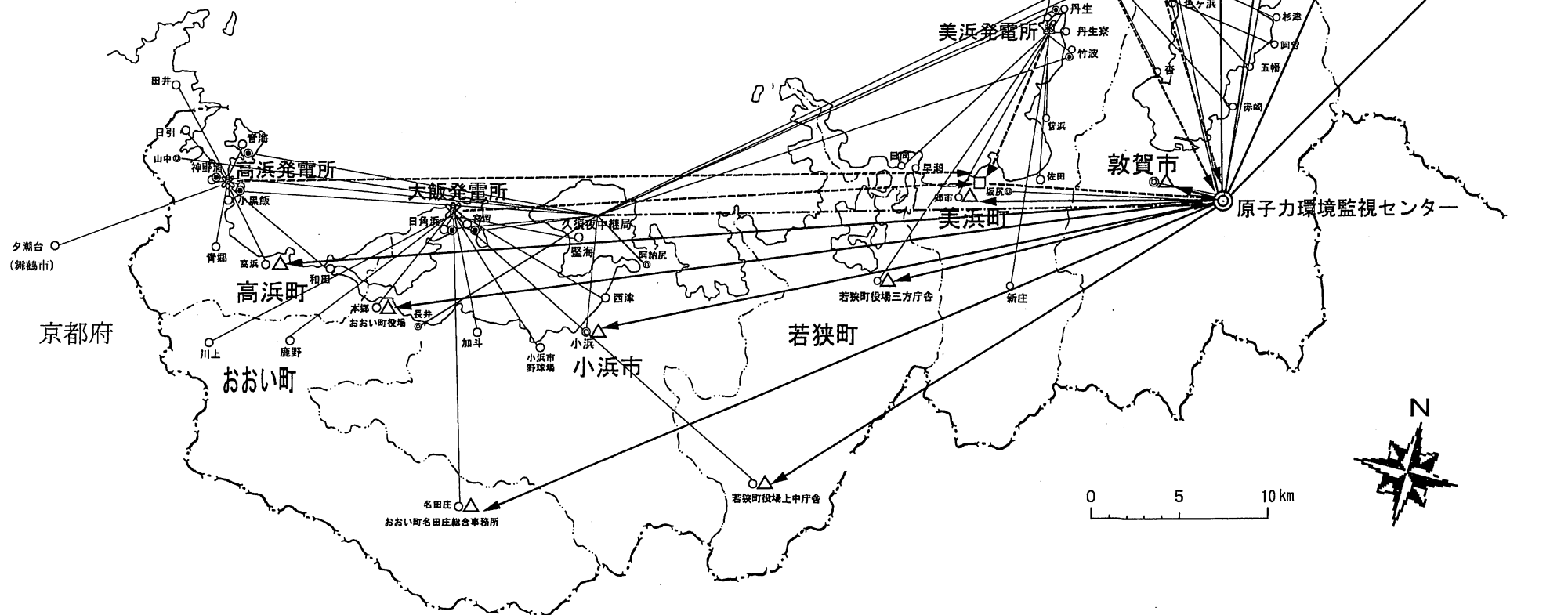
また、(M+3 σ) が2.0Bq/l以上の時は、2.0Bq/lを検討基準とする。
2004~2006年度の214試料の統計計算結果では、海水のトリチウム濃度の平均値は0.78Bq/l (標準偏差 (σ) 0.48) となっており、(M+3 σ) は、2.2Bq/lであるため、今年度の検討基準は2.0Bq/lとなる。2004~2006年度に行った対照地点の陸上試料 (陸水、大気中水分、雨水の60試料) の測定結果は、 0.46 ± 0.23 Bq/lとなっている。

(6) 放射化学分析による ^{90}Sr 、 $^{239(+240)}\text{Pu}$ 、 ^{238}Pu 分析結果

放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。各試料区分毎の報告単位は、第30表～第31表 (p.132～p136) の各表に示されている。測定値は原則として、有効数字2桁とする。

第1図 県環境放射線監視テレメータシステムおよび原子力環境情報ネットワークシステムの主なデータ収集・送信系統図

- ◎ 中央監視局
- 関西電力（株）原子力事業本部
- △ 副監視局（各市町役場等に設置）
- 副監視局へのデータ送信系統
- 原子力環境情報ネットワークシステムの主なデータ収集系統
- - - -> 県環境放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集系統
- 各テレメータ収集系統
- ☼ 原子力発電所
- 線量率および浮遊じん連続測定地点（県）
- ◎ 線量率連続測定地点（県）
- 線量率連続測定地点（施設者）



第2図 積算線量測定・空間線量率連続測定地点（全域）

- ☼ 原子力発電所
- ◎ 線量率および浮遊じん連続測定地点（県）
- 線量率連続測定地点（施設者）
- 積算線量測定地点（県・施設者）
- ◎ 線量率連続測定地点（県）
- ☆ 県テレメータ中央監視局
- △ 副監視局

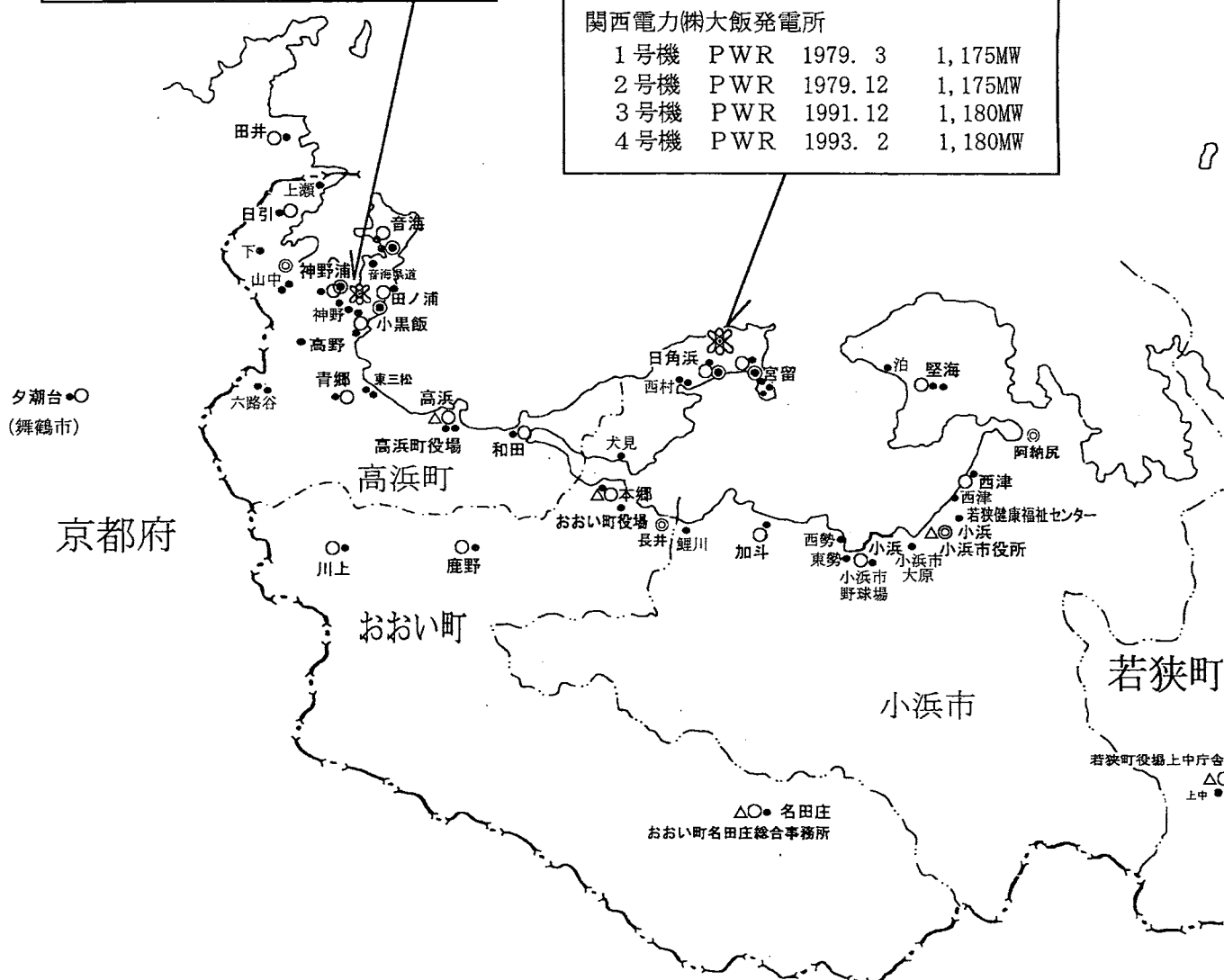
線量率（県、施設者）および浮遊じん（県）連続測定の結果は、「環境放射線監視テレメータシステム」と「原子力環境情報ネットワークシステム」により、原子力環境監視センターに一括収集・表示するとともに、12箇所の副監視局（県庁および市町役場等に設置）にも表示している。

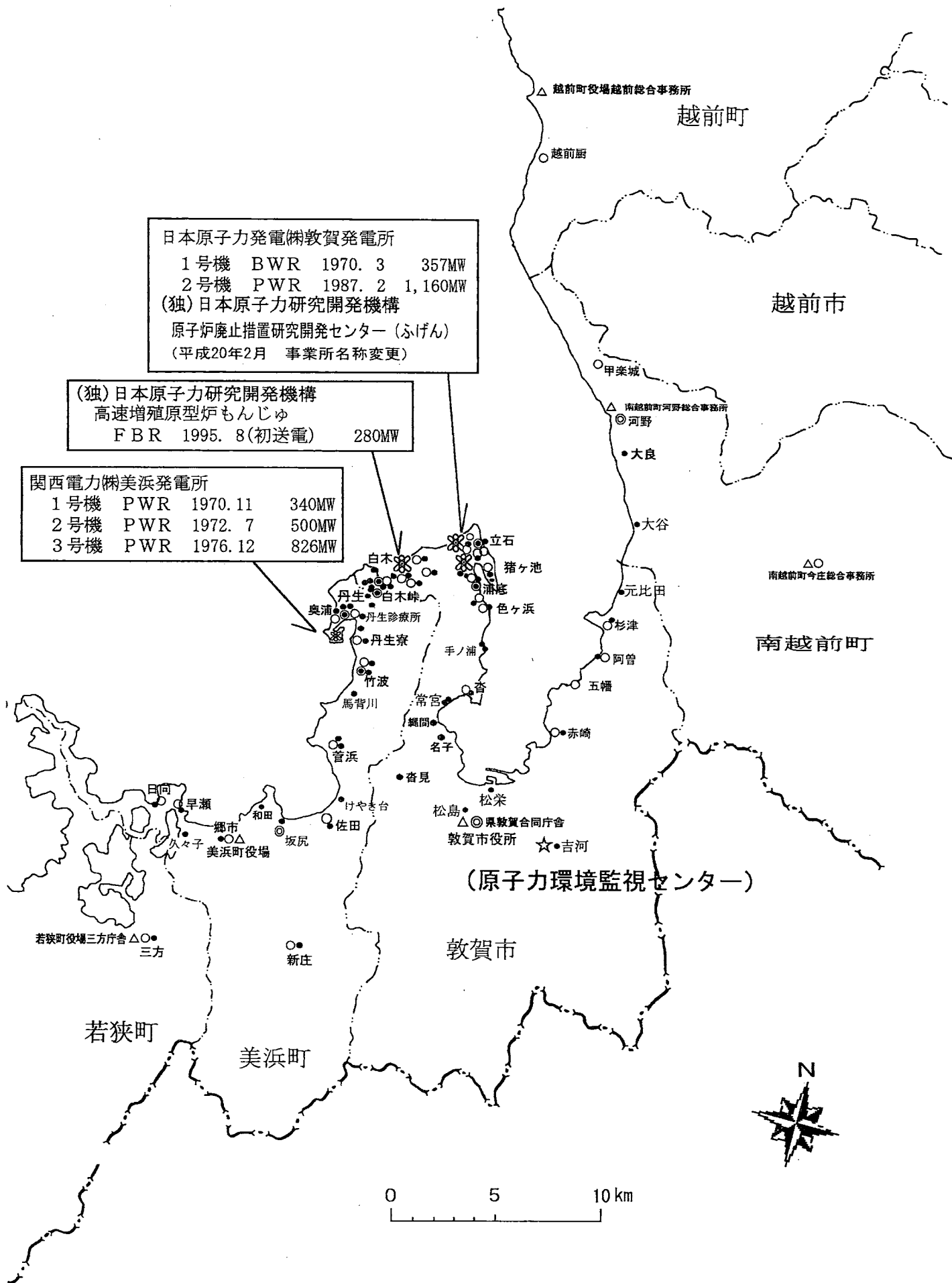
関西電力㈱高浜発電所

1号機	PWR	1974. 11	826MW
2号機	PWR	1975. 11	826MW
3号機	PWR	1985. 1	870MW
4号機	PWR	1985. 6	870MW

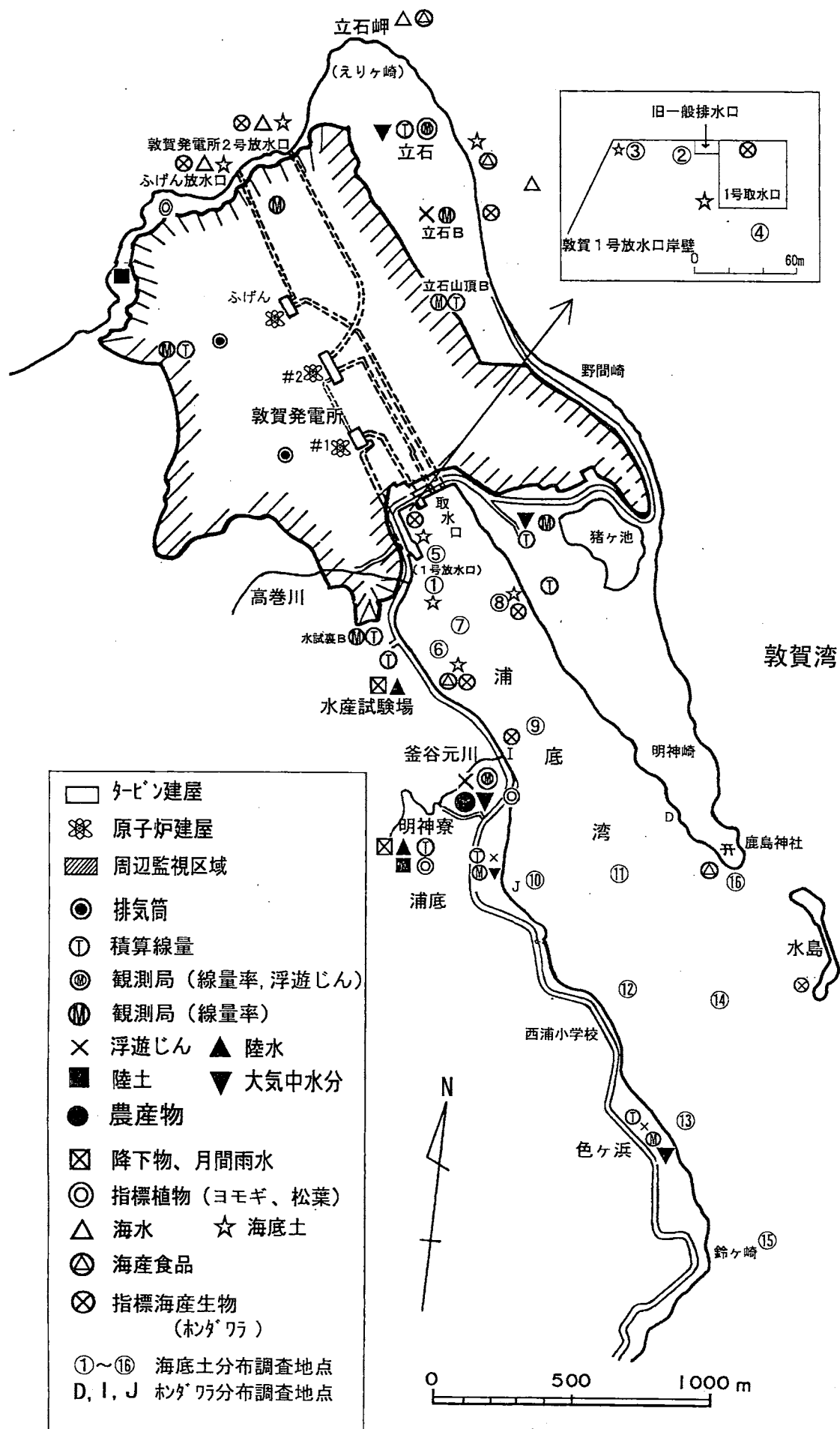
関西電力㈱大飯発電所

1号機	PWR	1979. 3	1,175MW
2号機	PWR	1979. 12	1,175MW
3号機	PWR	1991. 12	1,180MW
4号機	PWR	1993. 2	1,180MW





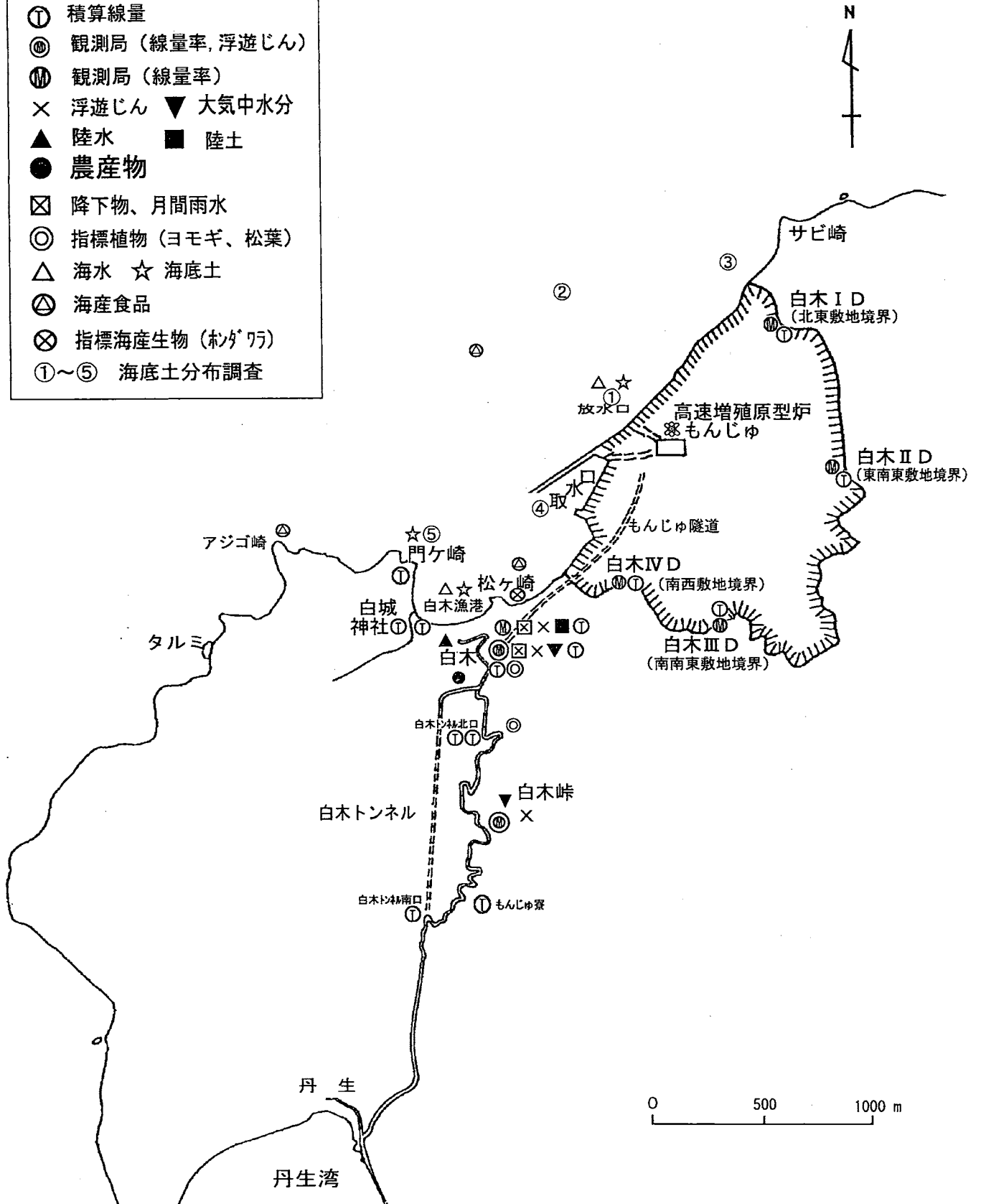
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点



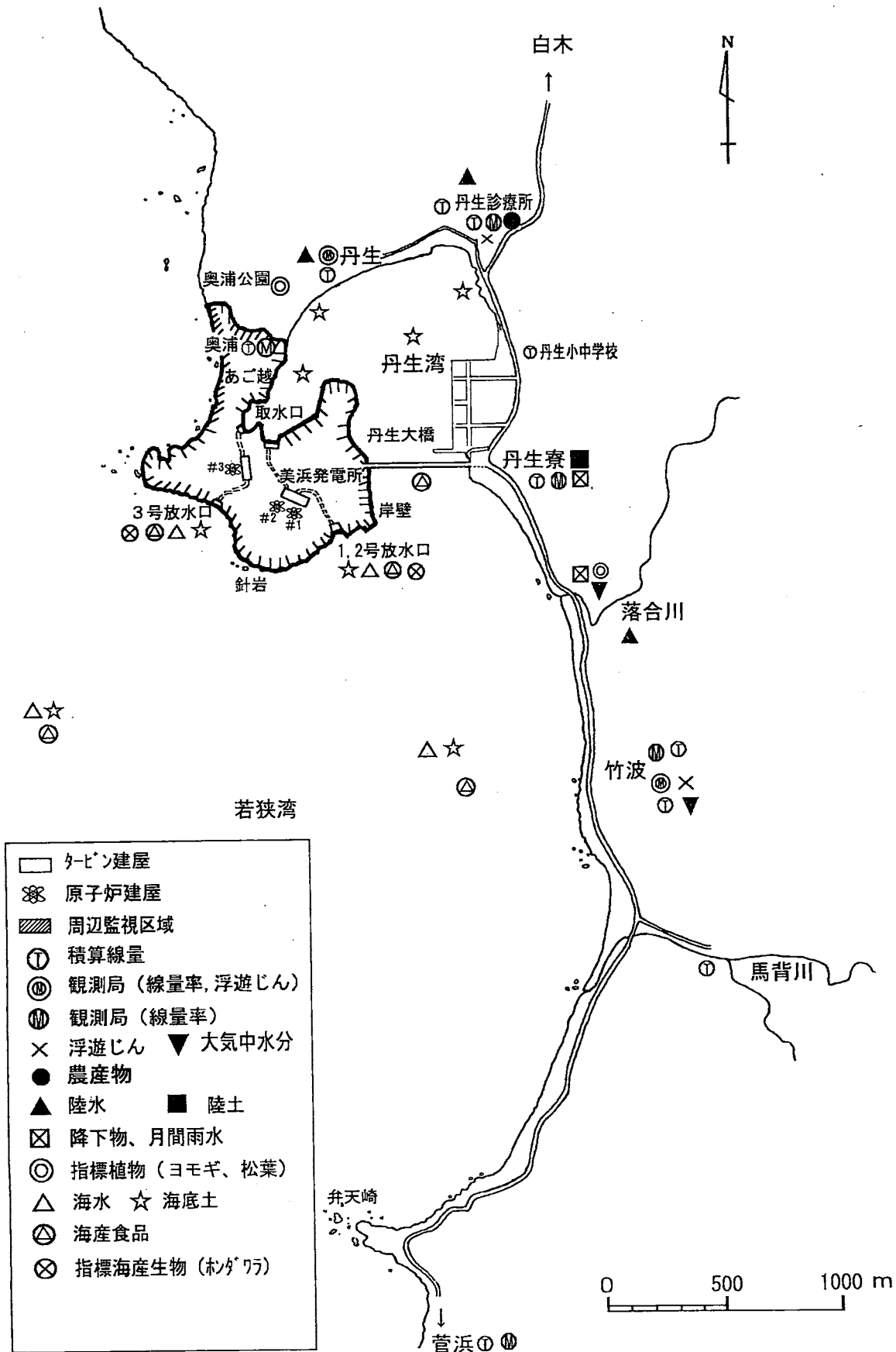
- タービン建屋
- ⊗ 原子炉建屋
- ▨ 周辺監視区域
- 排気筒
- ① 積算線量
- ⊙ 観測局 (線量率, 浮遊じん)
- Ⓜ 観測局 (線量率)
- × 浮遊じん ▲ 陸水
- 陸土 ▼ 大気中水分
- 農産物
- ⊠ 降下物、月間雨水
- ⊙ 指標植物 (ヨモギ、松葉)
- △ 海水 ☆ 海底土
- ⊠ 海産食品
- ⊗ 指標海産生物 (ホタテ)
- ①~⑯ 海底土分布調査地点
- D, I, J ホタテ分布調査地点

第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点

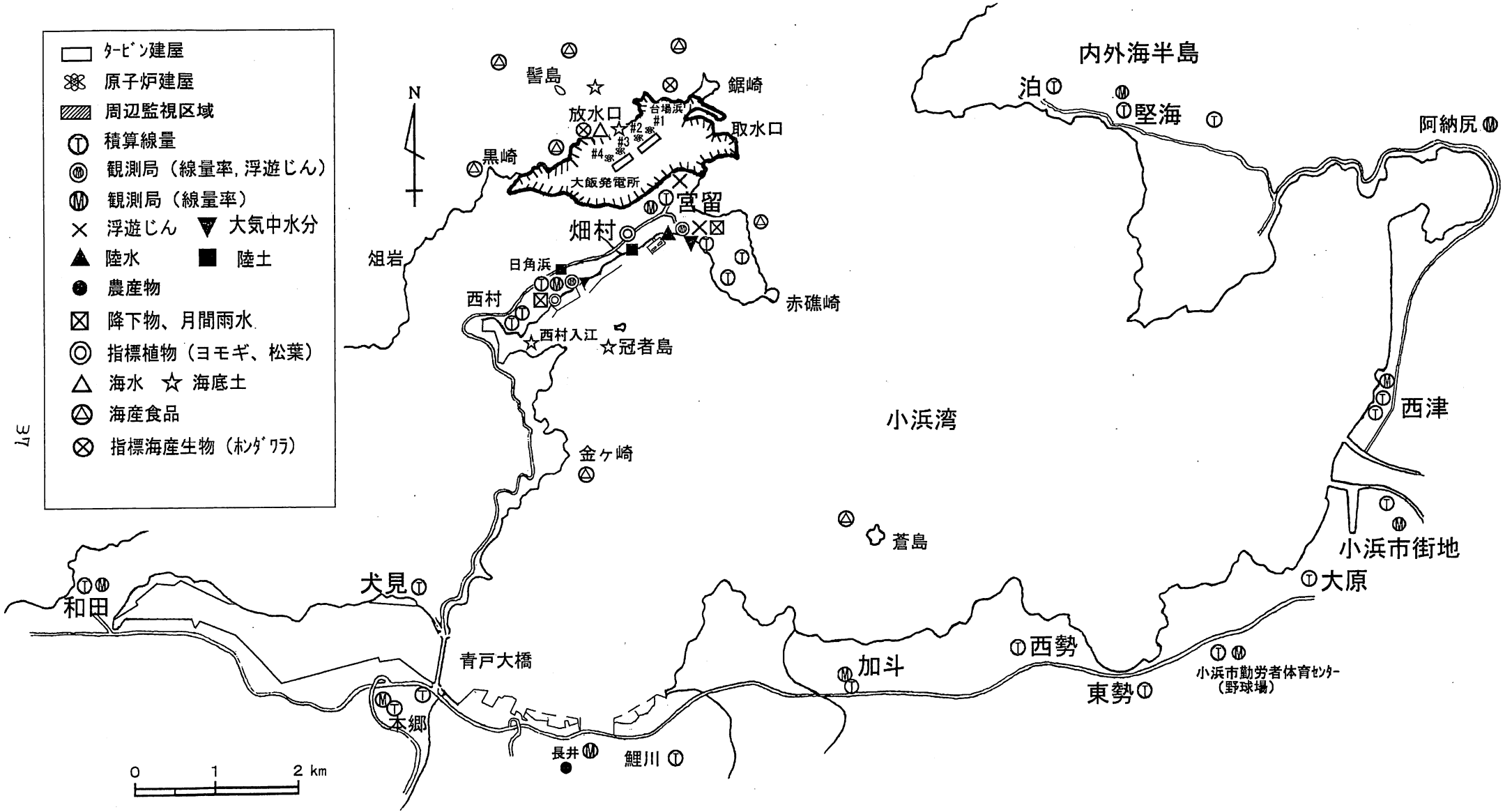
- タービン建屋
- ⊗ 原子炉建屋
- ▨ 周辺監視区域
- ① 積算線量
- ⊙ 観測局 (線量率, 浮遊じん)
- Ⓜ 観測局 (線量率)
- × 浮遊じん ▼ 大気中水分
- ▲ 陸水 ■ 陸土
- 農産物
- ⊠ 降下物, 月間雨水
- ⊕ 指標植物 (ヨモギ, 松葉)
- △ 海水 ☆ 海底土
- ⊖ 海産食品
- ⊗ 指標海産生物 (ホダガワ)
- ①~⑤ 海底土分布調査



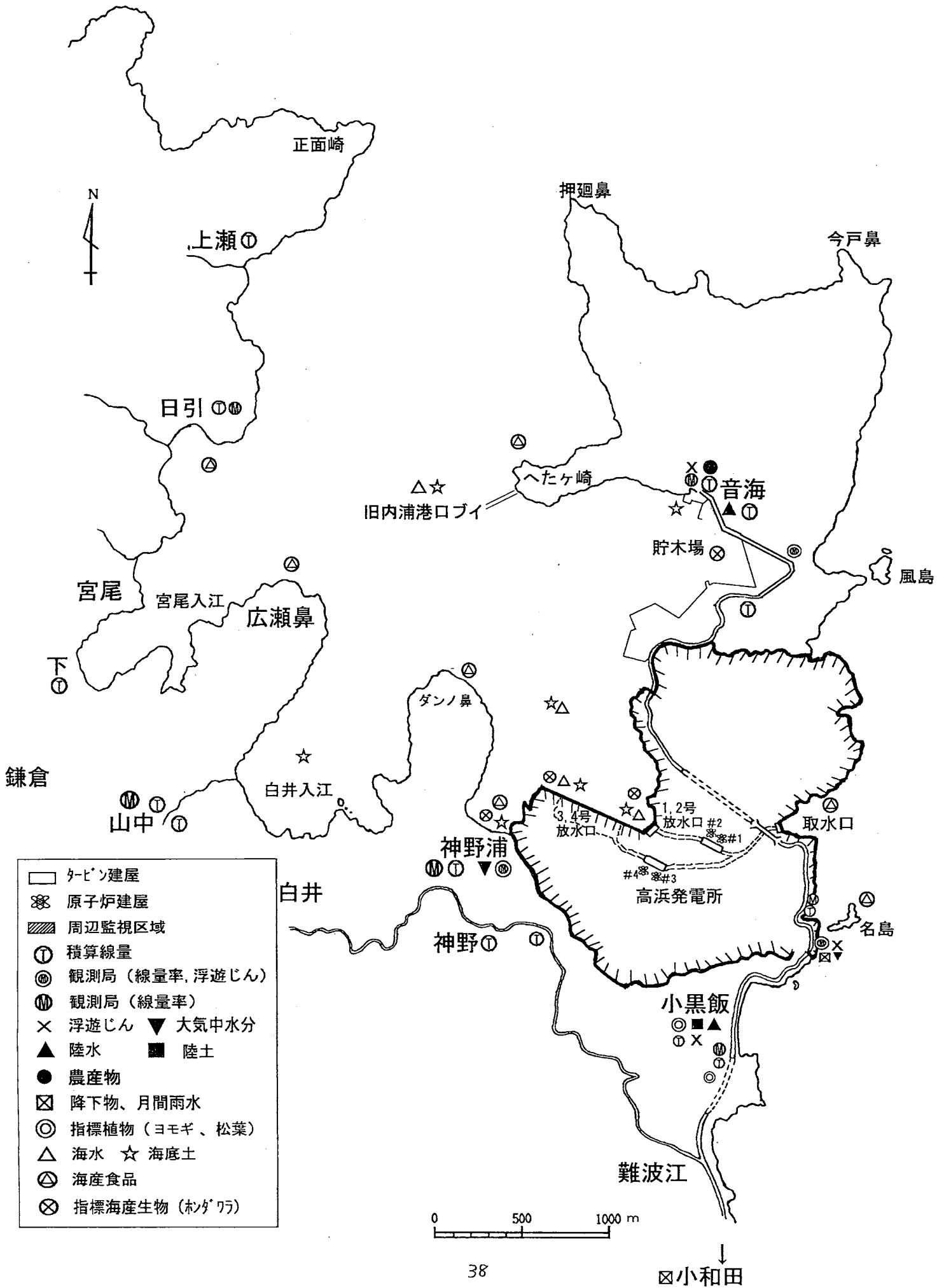
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点



第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点



第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点

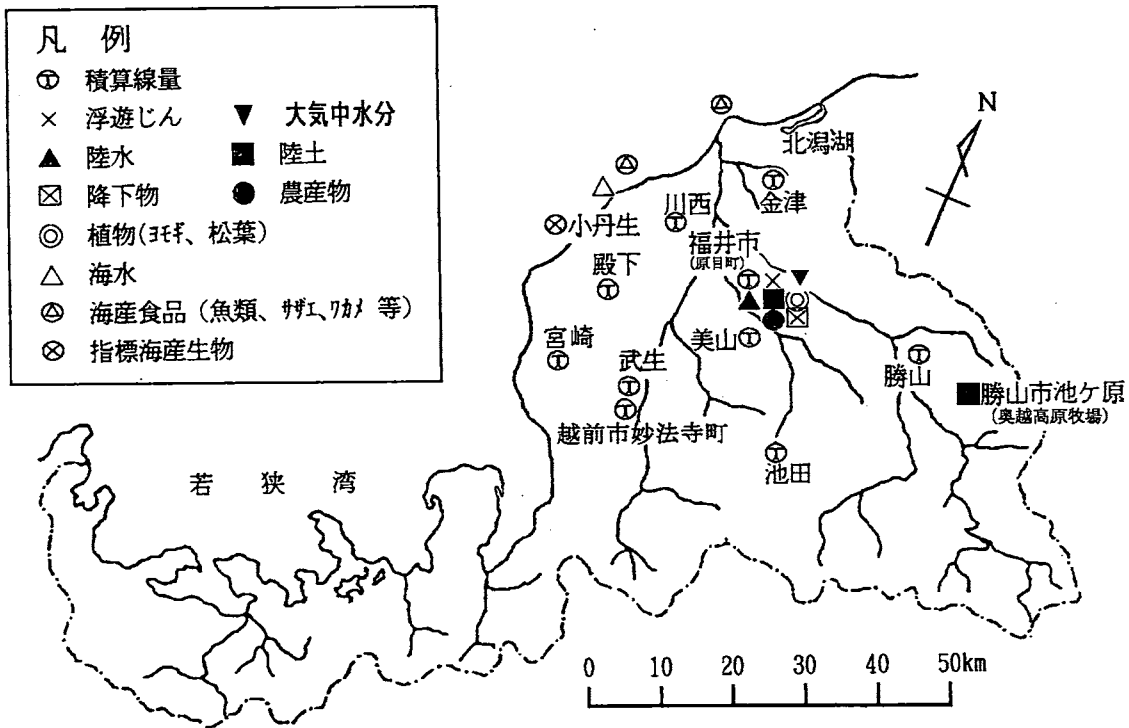


- タービン建屋
- ☼ 原子炉建屋
- ▨ 周辺監視区域
- ① 積算線量
- ⊙ 観測局 (線量率, 浮遊じん)
- ⊕ 観測局 (線量率)
- × 浮遊じん ▼ 大気中水分
- ▲ 陸水 ■ 陸土
- 農産物
- ☒ 降下物、月間雨水
- ⊙ 指標植物 (ヨモギ、松葉)
- △ 海水 ☆ 海底土
- ⊕ 海産食品
- ⊗ 指標海産生物 (ホタテ)

0 500 1000 m

↓
☒ 小和田

第8図 福井県嶺北地方の調査地点



3-2 調査地点

第1表 調査地点の詳細 その1 線量率連続測定

敦賀 地 区	敦賀 A (敦賀市役所) (1)	大 飯 地 区	小浜 A (小浜市役所) (1)
	浦底 A ☆ (明神寮下県道脇) (2)		日角浜 A ☆ (大島小学校) (2)
	立石 A ☆ (八坂神社) (3)		宮留 A ☆ (大島学園前バス停) (3)
	河野 A (南越前町河野総合事務所) (4)		阿納尻 A (内外海小学校) (4)
	ふげん北 D (北敷地境界付近) (5)		長井 A (地区ゲートボール場横) (5)
	立石 B (集落入口県道脇) (6)		宮留 C (エパーク大飯下三叉路) (6)
	立石山頂 B (山頂付近) (7)		飯日角浜 C (大島公民館) (7)
	賀ふげん西 D (西敷地境界付近) (8)		本郷 C (おおい町役場) (8)
	猪ヶ池 B (敦賀原子力館下) (9)		加斗 C (加斗小学校) (9)
	浦底 B (警備派出所跡北) (10)		地小浜 C (勤労者体育センター(野球場)) (10)
	水試裏 B (水産試験場裏) (11)		西津 C (小浜漁協西津支所) (11)
	色ヶ浜 B (白山神社) (12)		堅海 C (県栽培漁業センター) (12)
	沓 D (旧市営駐車場) (13)		区川上 C (川上公民館) (13)
	赤崎 D (赤崎区集落センター) (14)		鹿野 C (佐分利小学校) (14)
	五幡 B (東浦公民館) (15)		名田庄 C (名田庄観光館) (15)
	阿曾 D (東浦体育館) (16)		上中 C (上中体育館) (16)
	杉津 B (東浦小中学校下国道脇) (17)		
	甲楽城 B (河野小学校前) (18)		
	今庄 B (南越前町今庄総合事務所) (19)		
越前厨 D (城崎小学校脇) (20)			
白 木 地 区	白木 A ☆ (松原小学校白木分校跡) (1)	高 浜 地 区	小黒飯 A ☆ (集落北県道脇) (1)
	白木峠 A ☆ (旧道市町境) (2)		音海 A ☆ (音海小中学校プール横) (2)
	松ヶ崎 D (もんじゅ隧道南口付近) (3)		神野浦 A ☆ (気比神社) (3)
	白木 I D (北東敷地境界) (4)		山中 A (内浦小中学校) (4)
	白木 II D (東南東敷地境界) (5)		音海 C (音海漁港奥) (5)
	白木 III D (南南東敷地境界) (6)		田ノ浦 C (南東敷地境界) (6)
	白木 IV D (南西敷地境界) (7)		小黒飯 C (白浜トンネル北口) (7)
美 浜 地 区	丹生 A ☆ (丹生バス停) (1)		神野浦 C (道路脇) (8)
	竹波 A ☆ (竹波集落センター) (2)		日引 C (日引小学校) (9)
	坂尻 A (坂尻13東側出口南) (3)		青郷 C (青郷小学校) (10)
	奥浦 C (奥浦公園奥) (4)		高浜 C (高浜小学校) (11)
	丹生 C (丹生診療所) (5)		区和田 C (和田小学校) (12)
	丹生寮 C (関電丹生寮敷地内) (6)		田井 C (田井コミュニティセンター) (13)
	竹波 C (高那弥神社) (7)		夕潮台 C (夕潮台公園) (14)
	菅浜 C (農業構造改善センター) (8)		
	佐田 C (美浜東小学校) (9)		
	新庄 C (日吉神社) (10)		
	郷市 C (美浜町役場) (11)		
	早瀬 C (水無月神社) (12)		
	日向 C (日向漁業センター) (13)		
	三方 C (若狭町役場三方庁舎) (14)		

☆印の地点では、浮遊じん放射能の連続測定を行っている。

第1表 調査地点の詳細つづき その2 積算線量測定地点

敦賀地区	立石 A 4 (八坂神社)	(1)	美浜地区	奥浦 C (奥浦公園奥)	(1)	
	立石山頂 B 1 (山頂付近)	(2)		丹生診療所 C 6 (丹生診療所)	(2)	
	ふげん西 D 1 (西敷地境界付近)	(3)		丹生 A 4 (中村旅館)	(3)	
	猪ヶ池 B 1 (敦賀原子力館下)	(4)		丹生 C 3 (丹生漁港)	(4)	
	原子力館 B (敦賀原子力館敷地)	(5)		丹生小中学校 A	(5)	
	水産試験場 B 2 (水産試験場)	(6)		丹生寮 C 5 (関電丹生寮)	(6)	
	明神寮 B 2 (明神寮)	(7)		竹波 A 4 (竹波集落センター)	(7)	
	浦底 A 5 (剣神社)	(8)		竹波 C 5 (高那弥神社)	(8)	
	水試裏 B 1 (水産試験場裏)	(9)		馬背川 C 2 (ポンプ場)	(9)	
	色ヶ浜 A 3 (本隆寺)	(10)		菅浜 A 3 (旧菅浜保育所)	(10)	
	手ノ浦 A 3 (舟幸寺)	(11)		菅浜 C 2 (民宿藤田横)	(11)	
	手ノ浦 B 3 (舟幸寺)	(12)		けやき台 C 1 (けやき台ハイツ)	(12)	
	沓 B 5 (常福寺)	(13)		佐田 A 2 (あおなみ保育園)	(13)	
	常宮 A 3 (常宮小学校)	(14)		坂尻 C 2 (三谷商店前)	(14)	
	常宮 B 3 (常宮神社敷地)	(15)		新庄 C 3 (日吉神社)	(15)	
	縄間 B (宗清寺)	(16)		和田 A (ふる里交流センター)	(16)	
	名子 B (名子バス停)	(17)		郷市 C 6 (美浜町役場)	(17)	
	松島 B 3 (原電松島寮)	(18)		久々子 C 1 (県園芸試験場)	(18)	
	松栄 B 3 (敦賀地方合同庁舎)	(19)		早瀬 C 5 (水無月神社)	(19)	
	赤崎 A 3 (赤崎小学校グラウンド)	(20)		日向 C 5 (日向漁業センター)	(20)	
	阿曾 A 2 (ふれあい会館)	(21)		三方 C 4 (若狭町役場三方庁舎)	(21)	
	杉津 A 4 (東浦小中学校)	(22)		沓見 C (原子力発電訓練センター)	(22)	
	元比田 A 5 (集落掲示板横)	(23)				
	大谷 A 3 (八幡神社)	(24)		大飯地区	赤礁崎 C (関電あかぐり崎クラブ)	(1)
	大良 B (大良集会所)	(25)			宮留奥 A (あかぐり海釣公園)	(2)
	大吉河 A 2 (原子力センター)	(26)			宮留 A 6 (大島学園前バス停)	(3)
		宮留 C 3 (エルパ-ク大飯下三叉路)	(4)			
		日角浜 C 3 (大島公民館)	(5)			
		西村 A 2 (常禅寺)	(6)			
		西村 C 1 (西村トシ礼南口県道脇)	(7)			
		犬見 C 2 (集落手前道端)	(8)			
		本郷 A 4 (町営住宅)	(9)			
		本郷 C 4 (おおい町役場)	(10)			
		鯉川 A 2 (牛尾神社)	(11)			
		加斗 A 4 (加斗小学校)	(12)			
		西勢 A 2 (民宿つどい前分校跡)	(13)			
		東勢 C 1 (旧道脇)	(14)			
		小浜市野球場 C 2 (勤労者体育センター)	(15)			
		小浜市大原 A 3 (栖雲寺)	(16)			
		若狭健康福祉センター A 2	(17)			
		西津 A 2 (水産高校)	(18)			
		西津 C 3 (小浜漁協西津支所)	(19)			
		堅海 A 2 (堅海小学校跡)	(20)			
		堅海 C 3 (県栽培漁業センター)	(21)			
		泊 C 2 (大谷旅館前)	(22)			
		川上 C 4 (川上公民館)	(23)			
		鹿野 C 5 (佐分利小学校)	(24)			
		名田庄 C 3 (名田庄観光館)	(25)			
		上中 C 3 (上中体育館)	(26)			
白木地区	白木 I D 1 (北東敷地境界)	(1)				
	白木 II D 1 (東南東敷地境界)	(2)				
	白木 III D 1 (南南東敷地境界)	(3)				
	白木 IV D 1 (南西敷地境界)	(4)				
	白木 A 4 (白木観測局)	(5)				
	白木 D 5 (松原小学校白木分校跡)	(6)				
	松ヶ崎 D 1 (原子力機構モニタステーション)	(7)				
	白城神社 A 2 (神社鳥居横)	(8)				
	白城神社 D 3 (")	(9)				
	門ヶ崎 D 2	(10)				
	白木トシ礼北口 A 2	(11)				
	白木トシ礼北口 D 2	(12)				
	白木トシ礼南口 A 2 (渓流水貯水池横)	(13)				
	もんじゅ寮 D (もんじゅ寮前)	(14)				

第1表 調査地点の詳細つづき その2 積算線量測定地点

高 浜 地 区	音海	A 3 (児玉旅館)	(1)
	音海	C 4 (音海漁港奥)	(2)
	音海	C 1 (セン1高浜工場前)	(3)
	田ノ浦	C (関電モーターステーション)	(4)
	小黒飯	A 3 (寿奎寺裏旧道脇)	(5)
	小黒飯	C 3 (白浜トンネル北口)	(6)
	神野小学校	A	(7)
	神野	A 4 (桃源寺)	(8)
	神野浦	C 2 (集落南西道路脇)	(9)
	山中	A 3 (内浦小中学校)	(10)
	山中	C 2 (内浦農協)	(11)
	下	A 2 (産霊神社)	(12)
	日引	C 3 (日引小学校)	(13)
	上瀬	A 2 (山神神社)	(14)
	六路谷	A 3 (ふれあい会館)	(15)
	六路谷	C 2 (杉森神社横)	(16)
	高野	C (青郷小学校高野分校)	(17)
	青郷	C 2 (青郷小学校)	(18)
	東三松	A 4 (東三松グランド)	(19)
	東三松	C 2 (民宿萩の家)	(20)
	高浜町役場	A 3 (高浜町役場前庭)	(21)
	高浜	C (高浜小学校)	(22)
	和田	C 3 (和田小学校)	(23)
	田井	C 3 (田井コミュニティーセンター)	(24)
	夕潮台	C 2 (夕潮台公園)	(25)

対 照 地 区	金津	A 2 (坂井健康福祉センター)	(1)
	川西	A 3 (川西中学校)	(2)
	福井市原目町	A 2 (福井分析管理室)	(3)
	殿下	A 3 (殿下小学校)	(4)
	勝山	A 2 (奥越健康福祉センター)	(5)
	美山	A 4 (下宇坂保育所)	(6)
	宮崎	A 3 (宮崎中学校)	(7)
	武生	A 2 (武生土木事務所)	(8)
	越前市妙法寺町	A (白山神社)	(9)
	池田	A 2 (池田町役場)	(10)

第1表 調査地点の詳細つづき その3 陸上試料採取地点(定点)

項目	地区	採取地点
大 ヨ ウ 中 素 131	敦賀	浦底A (県テレメ観測局)
	白木	白木A "
	美浜	竹波A "
	大飯	宮留A "
高浜	小黒飯A "	
浮 遊 じ ん	敦賀	立石A (県テレメ観測局) *
		立石B (原電モニタステーション)
		浦底A (県テレメ観測局)
		浦底B (原電モニタステーション)
	白木	色ヶ浜B "
		白木A (県テレメ観測局)
	美浜	白木峠A (県テレメ観測局) *
		松ヶ崎D (原子力機構モニタステーション)
		丹生A (県テレメ観測局) *
	大飯	丹生C (関電モニタポスト)
		竹波A (県テレメ観測局)
		宮留A (県テレメ観測局)
		宮留C (関電モニタポスト)
		日角浜A (県テレメ観測局) *
		音海A (県テレメ観測局) *
		音海C (関電モニタポスト)
		小黒飯A (県テレメ観測局)
小黒飯C (関電モニタポスト)		
神野浦A (県テレメ観測局) *		
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)	
陸 水	敦賀	浦底 (水試蛇口)
		" (明神寮蛇口)
	白木	白木 (民家蛇口)
	美浜	丹生 (民家蛇口)
	大飯	宮留 (民家蛇口)
	高浜	音海 (民家蛇口)
対照	福井市原目町 (福井分析管理室蛇口)	
大 気 中 水 分	敦賀	立石A (八坂神社)
		猪ヶ池B (敦賀原子力館下)
		浦底A (明神寮下県道脇)
		浦底B (原電モニタステーション)
	白木	色ヶ浜B (原電モニタステーション)
		白木A (松原小白木分校跡)
	美浜	白木峠A (旧道市町境)
		竹波A (竹波集落センター)
	大飯	竹波C (落合川取水場)
		宮留A (大島学園前バス停)
	高浜	日角浜C (大島公民館)
小黒飯A (集落北県道脇)		
神野浦C (道路脇)		
対照	福井市原目町 (福井分析管理室)	

項目	地区	採取地点
陸 土	敦賀	浦底 (明神寮)
		敦賀発電所北端周辺
	白木	松ヶ崎 (原子力機構モニタステーション)
	美浜	丹生 (関電丹生寮敷地内)
	大飯	日角浜 (島山神社)
指 標 植 物	高浜	小黒飯 (旧道脇)
	対照	福井市原目町 (循環センター車庫裏)
		勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)
松 葉	敦賀	浦底 (明神寮下県道脇)
	白木	白木 (松ヶ崎付近)
	美浜	竹波 (落合川取水場付近)
	大飯	日角浜 (島山神社付近)
	高浜	小黒飯 (旧道脇)
降 下 物	対照	福井市原目町 (福井分析管理室付近)
	敦賀	浦底 (水試屋上)
		浦底 (明神寮)
	白木	松ヶ崎 (原子力機構モニタステーション)
	美浜	竹波 (落合川取水場)
物	大飯	丹生 (関電丹生寮敷地内)
		宮留A (県テレメ観測局)
		日角浜 (ヴィラ大島)
	高浜	小黒飯A (県テレメ観測局)
	対照	小和田 (小和田ポンプ所)
	福井市原目町 (福井分析管理室)	

(注1) 浮遊じん採取地点のうち、*の地点は3ヶ月間の集合試料を分析。

(注2) 大気中水分採取地点のうち、竹波Cおよび福井市原目町を除いては、線量率観測局舎内に設置した除湿器で採取している。

(注3) 海洋試料の詳細な採取地点は図3~図8の採取地点図と各測定結果の採取地点欄に示されている。

第2表 空間線量測定法

積算線量	県 関電	各地点に3本(6素子)の熱ルミネッセンス線量計(TLD)を配備し3ヶ月毎の積算線量を測定	測定器の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射したTLDを使用
	原電	各地点に1台の電子線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	電子式線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
	原子力 機構	各地点に4個の蛍光ガラス線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	蛍光ガラス線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
線量率 (連続測定)	県	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約2.8mに設置した①Iネジ [*] -補償方式の2"φ×2" NaI(Tl)シンレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②約14ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメタシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra 等の3.7MBq線源を用い垂直方向1mで照射して実施。 電離箱については ^{226}Ra 3.7MBqを用い、感度確認を実施。
	原電	軽量気泡コンクリート(屋根は鉄筋コンクリート)製固定観測局屋上の地上高約4.5mに設置した①Iネジ [*] -補償方式の2"φ×2" NaI(Tl)シンレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメタシステムにより集中管理。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra 等の3.7MBq線源を用い垂直方向1mで実施。
	関電 美浜	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.2mに設置した①Iネジ [*] -補償方式の2"φ×2" NaI(Tl)シンレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメタシステムにより集中管理。	
	関電 大飯 高浜	軽量気泡コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.4m(高浜は約3.5m)に設置した①Iネジ [*] -補償方式の2"φ×2" NaI(Tl)シンレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ(高浜は14ℓ)球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメタシステムにより集中管理。	
	原子力 機構	鉄筋コンクリート製固定観測局で地上高約3.5mに設置した①Iネジ [*] -補償方式の2"φ×2" (ふげん西D、ふげん北Dは3"球形) NaI(Tl)シンレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメタシステムにより集中管理。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra 3.7MBqの線源を用い垂直方向1mで実施。
線量率 (モニタリングカー)	県	車:ワンボックス 検出器:2"φ×2" NaI(Tl)	検出器位置:屋根(地上高2.7m)
	原電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2" NaI(Tl)	検出器位置:窓際(地上高1.5m)
	関電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2" NaI(Tl)	検出器位置:屋根(地上高3.5m)
	原子力 機構	車:マイクロバス 検出器:2"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)	車:マイクロバス 検出器:3"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)

第3表 浮遊じん放射能の連続測定法

浮遊じん (連続測定)	県 HE-40T長尺ろ紙(90m)を用い毎分約100ℓで3時間吸引し、ろ紙をステップ送りする。吸引中、ろ紙に吸着した放射能のアルファ(α)線およびベータ(β)線をZnS塗布プラスチックシンチレーション検出器(有効径50mmφ、0.5mm厚)を用いて波形弁別方式により同時測定し、それぞれの計数值より平衡仮定した3時間平均濃度を求め、β/α放射能濃度比を求める。(平成9年度機器更新、平成10年度より新装置)	校正は測定装置集塵面と同一形状の標準線源(U ₃ O ₈ 、 ²⁴¹ Am、 ³⁶ Cl)により実施。
----------------	---	---

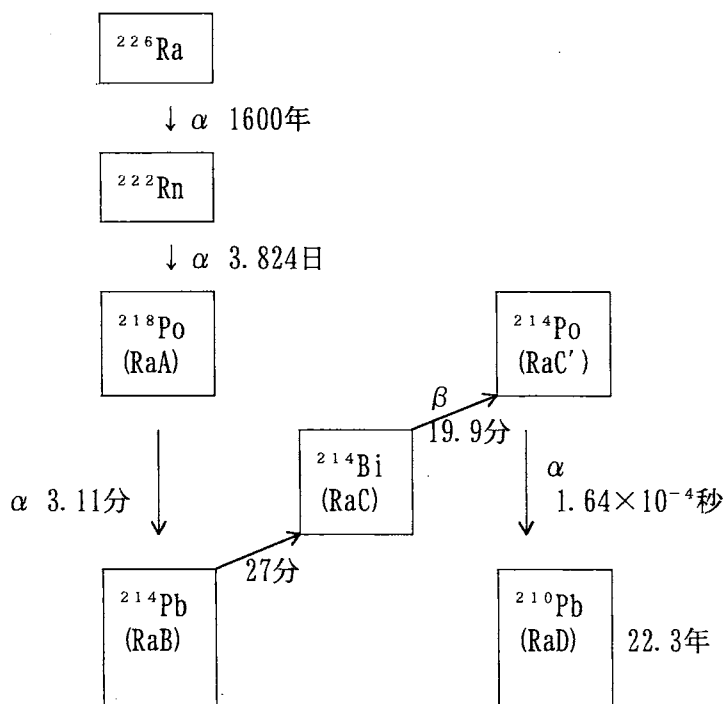


図1 ラドン(Rn)娘核種崩壊系列

浮遊じん放射能の連続測定において算出している放射能濃度は、ラドンの娘核種RaA、RaB、RaC、RaC'、それぞれの比が1 : 1 : 1 : 1と仮定して計算されるラドン娘核種あたりの平衡仮定濃度である。

$$Q = \frac{\lambda \cdot C \times 10^3}{\varepsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot q \cdot F(S, T) \cdot \kappa} \quad \text{----- (1)}$$

- Q : ラドン娘核種濃度 (Bq/m³)、λ : RaA の崩壊定数 (sec⁻¹)
- C : 測定時間中の正味の計数值、ε : 計数効率、ζ : 発現効率
- η : 捕集効率、q : 捕集流量 (ℓ · sec⁻¹) κ : 補正係数
- F (S, T) : Batemannの式の解 (sec)
- S : 捕集開始から現在までの時間 (sec)、T : 計数開始から現在までの時間 (sec)

平衡仮定濃度Qは、α計数值、β計数值からそれぞれ求められ(Q_A、Q_Bとする)、Q_Aに対するQ_Bの比率(Q_B/Q_A=R_{B/A})をモニタリングの指標としている。通常では、ほとんどがラドン娘核種による計数值であるため、R_{B/A}はほぼ一定であるが、発電所の寄与があった場合、放出される核種はほとんどがβ線放出核種であり、β計数值が増えるため、R_{B/A}が上昇する。

空気中のガス状ヨウ素-131に対しては、ろ紙を通過した空気を50℃に加温し、毎分20ℓでCHC-50 (TEDA添着活性炭)に通して捕集し、ゲルマニウム測定器でバッチ測定している。

第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法

区分	試料	測定試料形態	測定用試料量	目的核種	参考核種	天然核種
陸上モ ニタリ ン グ	大気	県：活性炭カートリッジ CNC-50 (TEDA添着炭)	県：約 400m ³ (連続採取)	¹³¹ I (ガス状)		
	浮遊じん	県ろ紙： HE-40T " "： GB-100R 原電 "： HE-40T 関電・機構： "	県：約4000m ³ (連続採取) "：約2000m ³ (1日採取) 原電：約2000m ³ (連続採取) 関電・機構：約2000m ³ (")	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be
	陸水	県：直接(マリネリ-カ) その他：樹脂吸着	県：2ℓ その他：5ℓ	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs		
	陸土	乾燥ふるい、2mm以下 (0~5cmで採取)	乾土 300g以上	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs		⁷ Be, ⁴⁰ K Th-, U-系列
	農産物 植物	乾燥物 (粉碎)	生 500g以上 生 400g以上(雑物)	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce ¹⁴⁰ Ba	⁷ Be, ⁴⁰ K
グ	降下物	樹脂吸着	県・原電・関電：約 0.2m ² 以上 原子力機構：約 0.5m ²	⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs		⁷ Be
海	海水	MnO ₂ 法、AMP法	20ℓ	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe, ¹³⁴ Cs	
洋	海底土	乾燥ふるい、2mm以下 (主にイマハナジで採取)	乾土 300g以上	¹³⁷ Cs		⁷ Be, ⁴⁰ K Th-, U-系列
ニ	魚類 貝類 藻類 指標海産生物	灰化物	生 1Kg以上	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce ¹⁴⁰ Ba (ホンダワラのみ)	⁷ Be, ⁴⁰ K
タ		灰化物	生(除殻) 200g以上	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs		
リ		乾燥物 (粉碎)	生 500g以上	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs		
ン		乾燥物 灰化物	ホンダワラ：生、1Kg以上 貝類：生、500g以上	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I (ホンダワラのみ), ¹³⁷ Cs		
グ						

(注) 計測時間は500分以上。試料採取から測定までの期間は、浮遊じんは3日以後、農産物・植物・降下物・食用海藻・ホンダワラは10日以内、魚貝類は30日以内を目標とする。測定容器は各機関ともプラスチック製カップウェア V-1 (直径60mm、高さ30mm)、V-2 (同80mm、40mm)、V-3 (同95mm、50mm)、マリネリ容器(2ℓ)を使用する。

第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値

試料	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	表示単位	
陸上マテリアル	大気	△	△	△	△	0.2	mBq/m ³	
	浮遊じん	0.08	0.08	0.08	0.08	0.2		
	陸水	200	200	200	200	200	mBq/ℓ	
	陸土	1.5	2	2	1.5	1.5	Bq/kg乾土	
	農産物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	Bq/kg生
	指標植物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	"
	松葉	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2	"
降下物	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2	Bq/m ²	
海産マテリアル	海水	△	8	8	8	8	mBq/ℓ	
	海底土	2	2	2	2	2	Bq/kg乾土	
	魚類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	Bq/kg生	
	貝類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	"	
	食用藻類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	"
	指標海産生物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	"

(注) △ は対象外。

第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法

分析試料	採取方法	測定試料	測定
蛇口水	蛇口より直接採取	採取時試料	蒸留後、試料水40mℓ「50mℓ」に乳化シンチレータ60mℓ「50mℓ」を加え冷暗所に放置。500分(50分×10回)測定。検出限界値 0.5~1 Bq/ℓ。 (注2) 「」内は、原子力機構が採用
河川水	河川より直接採取	採取時試料	
大気中水分	除湿機による	月間試料	
雨水	トリチウム用雨水採取器	3ヶ月間の月別等量混合試料	
海水	船から直接採取	採取時試料	

(注1) トリチウム分析結果はBq/ℓで表示する。

第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法

区分	種類	分析試料量	
		ストロンチウム-90 (県)	プルトニウム (県、機構)*
海底土	——	——	県: 20g乾土、機構: 20g乾土
陸土	——	——	県: 20g乾土、機構: 50g乾土
降下物	——	樹脂灰化物全量	県: 樹脂灰化物全量
指標植物	ヨモギ	生500~1,000g(灰10~20g)	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
農産物	大根葉	——	県: 生、約1,000g(灰、約10g)
海産食品	魚類(メジナ、ハマチ等)	——	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
	貝類(サザエ、アサリ)		機構: 生500~1,500g(灰20g)
	藻類(ワカメ等)		
指標海産生物	ホンダワラ	生200~300g(灰10~20g)	県: 生200~400g(灰10~20g)
測定条件等	——	[目的核種] Sr-90 [分離法] イソノル・エーテル法 [測定時間] 80,000秒以上	[目的核種] Pu-239(+240)、238 [分離法] 県、機構: 陰イオン交換法 [測定時間] 県: 80,000秒以上 (通常200,000秒) 機構: 80,000秒

* 県: 福井県原子力環境監視センター 機構: (独) 日本原子力研究開発機構

第7表 測定器

	県	原 電	関 電	原子力機構
積算線量	パナソニック UD-5160P UD-200S	富士電機 NSD3	パナソニック UD-512P UD-200S	パナソニック UD-5120PGL UD-200S
線量率 (連続測定)	東芝 2"φ×2" NaI (Tl) エネルギ-, 温度補償型 東芝 約14ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 (両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風)	富士 2"φ×2" NaI (Tl) エネルギ-, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 (両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風)	【美浜地区】 富士 2"φ×2" NaI (Tl) エネルギ-, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 約780kPa (両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風)	【敦賀、白木地区】 富士 2"φ×2" NaI (Tl) エネルギ-, 温度補償型 (ふげん西D、ふげん 北Dは3"型) 富士; 14.5ℓ球形 電離箱Arガス 8気圧 (両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風)
			【大飯地区】 富士 2"φ×2" NaI (Tl) エネルギ-, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 (両検出器とも A11mmカバー付き、検 出部へ定温送風)	【高浜地区】 アロカ 2"φ×2" NaI (Tl) エネルギ-, 温度補償型 アロカ 14ℓ球形電離箱 N ₂ +Arガス 4気圧 (両検出器とも A11mmカバー付き、検 出部へ定温送風)
浮遊じんの放射能 (連続測定)	富士電機 検出器2"φ プラスチックシンプレタ、 ZnS (Ag) シンプレタ塗布			
トリチウム	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5, LSC-LB3
ガンマ線 スペクトロ メトリー	オルテック GEM50 HPGe54% オルテック GEM45-S HPGe55% キャンベラ GC5019 HPGe57% オルテックGMX-30190 γ-XHPGe38% オルテック GEM-30185 HPGe37% キャンベラ製 波高分析器 4台 セイコーEG&G製 波高分析器 1台	オルテック GEM-30195 HPGe 35% オルテック GEM-30195 HPGe 31% オルテック GEM-30195 HPGe 35% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 COMPAC WINDOWS2000サーバ	オルテック GEM-35190 HPGe38% オルテック GEM-30185 HPGe31% アプテック CS25-A31C-N HPGe27% プリンストンナノメテック IGC3020SD HPGe31% オルテック GEM-35190 HPGe38% オルテック GEM-35190 HPGe38% 東芝製 波高分析器 6台 東芝製 FA3100 3台	オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe32% オルテック GEM-45190 HPGe51% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 2台 富士通 FMV611G 2台
ストロンチウム	富士電機ピコバータインテ			
アルファ 放射能 (プルトニウム 239+240)	オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BU020-045-AS セイコーEG&G MCA7700			オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BR-SNA-450-100 セイコーEG&G MCA7600

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	敦賀A	4月	64.3	50.1	52.8	1.9	12	12	0	58.9
		5月	73.2	50.0	53.0	3.1	22	22	0	
		6月	88.7	50.4	53.2	3.8	16	16	0	
		7月	71.6	49.8	53.3	2.9	13	13	0	
		8月	68.0	50.1	52.9	2.5	11	9	2	
		9月	70.4	50.1	52.8	2.9	13	13	0	
		10月	64.6	50.0	52.8	2.2	13	13	0	
		11月	83.2	49.8	54.1	3.8	18	18	0	
		12月	87.9	50.8	56.4	5.8	18	18	0	
		1月	87.1	40.1	54.5	5.5	18	18	0	
		2月	92.3	41.1	53.9	5.3	7	7	0	
		3月	66.6	50.8	53.6	2.6	17	17	0	
		年間	92.3	40.1	53.6	3.9	178	176	2	
	浦底A	4月	80.8	63.0	65.2	1.6	14	14	0	66.4
		5月	87.3	62.8	65.6	3.4	26	26	0	
		6月	102.4	62.3	65.9	4.6	19	19	0	
		7月	83.3	61.6	65.1	2.9	22	22	0	
		8月	86.6	63.0	65.9	2.3	14	14	0	
		9月	93.2	63.4	66.0	2.8	16	16	0	
		10月	80.0	63.4	65.7	2.0	16	16	0	
		11月	86.9	63.0	66.4	2.8	19	19	0	
		12月	112.1	63.6	69.2	6.9	14	14	0	
		1月	104.2	61.0	67.0	5.0	18	18	0	
		2月	91.4	55.5	66.1	4.8	14	14	0	
		3月	85.1	63.1	65.9	3.0	16	16	0	
		年間	112.1	55.5	66.2	4.0	208	208	0	
	立石A	4月	69.2	60.4	61.8	1.0	16	16	0	62.8
		5月	76.3	59.8	62.1	2.0	21	21	0	
		6月	77.8	59.4	62.2	2.2	22	22	0	
		7月	74.3	59.2	61.4	1.6	17	17	0	
		8月	77.7	60.0	62.4	1.4	6	6	0	
		9月	78.4	60.6	62.7	1.6	14	14	0	
		10月	70.1	61.3	62.9	1.0	15	15	0	
11月		80.5	61.0	63.4	2.2	17	17	0		
12月		94.8	60.7	64.6	4.3	13	13	0		
1月		81.3	60.2	63.2	3.3	21	21	0		
2月		87.8	57.5	62.8	3.1	10	10	0		
3月		73.7	59.8	61.9	2.0	18	18	0		
年間		94.8	57.5	62.6	2.5	190	190	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第8表 空間線量率連続測定結果

その1

県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率	
								降雨	その他		
敦賀	河野A	4月	50.5	41.2	42.8	1.1	15	15	0	44.0	
		5月	61.2	41.0	43.1	2.4	20	20	0		
		6月	69.3	40.8	43.2	3.2	19	19	0		
		7月	55.4	40.9	43.1	2.1	23	23	0		
		8月	59.8	40.5	42.9	1.7	13	13	0		
		9月	56.6	41.1	43.0	1.9	19	19	0		
		10月	54.3	41.3	42.9	1.5	21	21	0		
		11月	59.8	41.3	43.6	2.2	22	22	0		
		12月	94.4	41.9	47.0	6.7	21	21	0		
		1月	73.8	41.1	44.9	4.0	17	17	0		
		2月	65.1	39.8	44.7	3.3	13	13	0		
		3月	51.3	41.5	43.4	1.7	19	19	0		
		年間	94.4	39.8	43.7	3.3	222	222	0		
白木	白木A	4月	82.7	69.3	71.3	1.4	18	18	0	72.4	
		5月	95.9	68.8	71.9	3.5	22	22	0		
		6月	104.9	68.6	72.1	4.2	22	22	0		
		7月	87.7	68.1	71.1	2.7	23	23	0		
		8月	99.9	69.2	72.6	2.3	11	11	0		
		9月	100.3	69.7	72.6	2.8	14	14	0		
		10月	86.9	69.7	72.4	2.0	18	18	0		
		11月	103.8	69.3	72.9	3.4	17	17	0		
		12月	113.5	69.3	74.8	6.1	16	16	0		
		1月	104.2	68.7	73.8	5.2	22	22	0		
		2月	116.2	66.2	73.7	4.9	11	11	0		
		3月	88.7	69.5	72.3	2.9	18	18	0		
		年間	116.2	66.2	72.6	3.8	212	212	0		
	白木峠A		4月	85.0	68.9	71.2	1.6	17	17	0	72.7
			5月	97.6	68.2	71.7	3.7	23	23	0	
			6月	106.0	67.3	71.5	4.6	22	22	0	
			7月	87.4	66.9	70.1	2.9	25	25	0	
			8月	100.5	68.6	72.6	2.7	12	12	0	
			9月	98.7	69.5	72.6	2.9	16	16	0	
			10月	88.6	70.0	72.7	2.2	18	18	0	
			11月	98.3	69.5	72.8	3.1	22	22	0	
			12月	105.4	69.1	74.1	5.8	20	20	0	
			1月	101.3	59.5	71.5	4.5	17	17	0	
2月	92.4	57.2	70.3	5.1	7	7	0				
3月	88.8	68.2	71.4	3.1	20	20	0				
年間	106.0	57.2	71.9	3.9	219	219	0				

過去平均線量率：2004～2006年度

第8表 空間線量率連続測定結果

その1

県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	丹生A	4月	65.2	51.1	52.8	1.4	19	19	0	54.7
		5月	77.0	51.5	54.0	3.3	23	23	0	
		6月	92.3	51.5	54.7	4.3	20	20	0	
		7月	72.2	50.5	54.1	2.8	23	23	0	
		8月	73.1	51.2	54.3	2.1	17	17	0	
		9月	72.8	52.2	54.2	2.4	20	20	0	
		10月	69.5	52.4	54.2	1.9	17	17	0	
		11月	74.7	52.1	54.6	2.8	23	23	0	
		12月	94.9	51.8	56.9	5.9	15	15	0	
		1月	90.9	49.8	55.1	5.0	19	19	0	
		2月	79.8	45.0	54.3	4.4	13	13	0	
		3月	67.6	50.5	53.4	2.8	19	19	0	
		年間	94.9	45.0	54.4	3.6	228	228	0	
	竹波A	4月	73.2	59.5	61.4	1.5	17	17	0	62.8
		5月	84.8	58.9	61.7	3.2	24	24	0	
		6月	94.6	58.9	62.1	4.2	22	22	0	
		7月	83.5	58.6	61.4	2.9	23	23	0	
		8月	82.8	59.9	62.4	2.2	15	15	0	
		9月	80.3	59.8	62.2	2.4	18	18	0	
		10月	78.1	60.1	62.4	1.9	18	18	0	
		11月	82.8	59.5	63.2	3.0	21	21	0	
		12月	107.6	59.8	65.1	6.2	17	17	0	
		1月	93.5	55.9	63.5	4.8	21	21	0	
		2月	86.3	50.9	62.4	4.9	10	10	0	
		3月	75.6	59.4	62.3	2.7	20	20	0	
		年間	107.6	50.9	62.5	3.7	226	226	0	
	坂尻A	4月	70.4	52.9	54.8	1.9	19	19	0	55.8
		5月	83.7	52.1	55.3	3.9	22	22	0	
		6月	100.7	52.3	55.3	4.9	19	19	0	
		7月	76.9	51.8	55.1	3.3	25	25	0	
		8月	85.2	53.0	55.8	2.4	12	12	0	
		9月	77.1	52.5	55.5	3.0	19	19	0	
		10月	73.6	53.1	55.5	2.3	18	18	0	
		11月	95.6	53.0	56.4	4.4	20	20	0	
12月		95.6	52.8	58.3	6.1	23	23	0		
1月		89.6	45.7	56.5	5.6	19	19	0		
2月		80.7	34.0	53.6	7.8	3	3	0		
3月		74.0	52.7	55.4	3.0	20	20	0		
年間		100.7	34.0	55.6	4.5	219	219	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第8表 空間線量率連続測定結果

その1

県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜A	4月	52.9	39.9	42.0	1.3	13	13	0	43.0
		5月	64.9	40.0	42.7	2.8	25	25	0	
		6月	71.0	40.0	42.8	3.3	18	18	0	
		7月	64.2	40.1	42.9	2.5	15	15	0	
		8月	54.5	40.0	42.7	2.0	19	19	0	
		9月	57.2	40.3	42.6	2.3	22	22	0	
		10月	63.8	40.4	42.7	2.1	16	16	0	
		11月	67.2	39.7	43.6	3.4	21	21	0	
		12月	72.3	40.6	44.3	3.7	20	20	0	
		1月	66.6	40.5	44.4	3.9	22	22	0	
		2月	67.1	34.6	43.5	4.3	12	12	0	
		3月	56.3	39.9	42.7	2.6	24	24	0	
		年間	72.3	34.6	43.1	3.0	227	227	0	
	日角浜A	4月	48.9	36.4	38.3	1.3	17	17	0	39.4
		5月	60.3	36.5	39.0	3.1	20	20	0	
		6月	72.0	36.6	39.0	4.0	20	20	0	
		7月	58.3	36.6	39.1	3.0	23	23	0	
		8月	50.9	36.9	39.1	1.9	18	18	0	
		9月	61.4	36.5	39.0	2.9	21	21	0	
		10月	84.8	37.1	38.9	3.1	11	11	0	
		11月	64.9	36.7	39.7	3.3	20	20	0	
		12月	72.8	37.0	40.5	4.3	17	17	0	
		1月	72.5	36.6	40.6	4.4	18	18	0	
		2月	60.9	29.0	39.6	5.1	10	10	0	
		3月	58.3	36.5	39.1	3.2	24	24	0	
		年間	84.8	29.0	39.3	3.5	219	219	0	
	宮留A	4月	42.3	30.6	32.1	1.3	15	15	0	33.1
		5月	53.8	30.4	32.9	2.9	19	19	0	
		6月	59.6	30.3	32.6	3.7	19	19	0	
		7月	48.9	30.1	32.6	2.8	23	23	0	
		8月	45.4	30.6	32.7	1.9	15	15	0	
		9月	57.3	30.3	32.5	2.9	20	20	0	
		10月	56.8	30.6	32.5	2.6	20	20	0	
11月		59.2	30.2	33.4	3.3	21	21	0		
12月		66.5	30.8	34.4	4.5	19	19	0		
1月		69.4	30.6	34.7	4.7	19	19	0		
2月		54.4	24.3	33.6	4.8	12	12	0		
3月		50.6	30.0	32.6	3.1	26	26	0		
年間		69.4	24.3	33.1	3.4	228	228	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	阿納尻A	4月	39.1	27.6	29.3	1.4	19	19	0	30.7
		5月	50.7	27.1	29.8	2.9	23	23	0	
		6月	57.9	27.3	29.8	3.4	20	20	0	
		7月	43.0	27.5	29.9	2.3	20	20	0	
		8月	40.4	27.7	29.8	1.8	18	18	0	
		9月	46.8	27.7	29.6	2.3	23	23	0	
		10月	53.7	28.0	30.0	2.6	16	16	0	
		11月	62.6	27.5	31.1	4.3	23	23	0	
		12月	63.9	28.1	32.3	4.8	18	18	0	
		1月	59.6	27.6	32.0	4.4	17	17	0	
		2月	50.0	22.9	31.4	4.7	17	17	0	
		3月	46.4	27.5	30.4	2.8	24	24	0	
		年間	63.9	22.9	30.5	3.4	238	238	0	
	長井A	4月	48.4	32.6	34.3	1.7	19	19	0	35.7
		5月	58.5	32.1	35.1	3.5	23	23	0	
		6月	66.2	32.1	35.0	4.0	17	17	0	
		7月	62.4	32.2	35.1	3.3	16	16	0	
		8月	56.4	32.9	35.4	2.4	16	16	0	
		9月	58.0	32.9	35.1	3.0	21	21	0	
		10月	62.4	32.8	35.1	2.9	25	25	0	
		11月	74.7	32.5	36.1	5.0	19	19	0	
		12月	67.9	33.0	36.7	4.6	21	21	0	
		1月	65.8	32.7	37.5	5.6	18	18	0	
2月		77.6	23.5	36.4	6.6	10	10	0		
3月		56.5	32.7	35.5	3.9	24	24	0		
年間		77.6	23.5	35.6	4.2	229	229	0		
高浜	小黒飯A	4月	45.3	34.8	36.3	1.2	21	21	0	37.5
		5月	64.6	34.8	37.1	3.4	21	21	0	
		6月	69.8	34.8	37.1	4.1	18	18	0	
		7月	55.6	34.6	37.0	2.8	20	20	0	
		8月	54.1	35.0	36.9	1.8	20	20	0	
		9月	63.9	35.3	37.1	2.8	20	20	0	
		10月	64.1	35.3	37.1	2.8	21	21	0	
		11月	63.6	35.3	37.9	3.8	22	22	0	
		12月	56.5	35.5	38.6	3.5	23	23	0	
		1月	61.3	34.4	38.9	4.3	21	21	0	
		2月	66.8	27.4	38.0	5.2	11	11	0	
		3月	60.4	34.7	37.2	3.2	25	25	0	
		年間	69.8	27.4	37.4	3.5	243	243	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第8表 空間線量率連続測定結果

その1

県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	音海A	4月	48.3	37.7	39.0	1.3	22	22	0	40.0
		5月	62.5	37.4	39.9	3.5	27	27	0	
		6月	74.8	37.2	39.7	4.3	15	15	0	
		7月	56.3	36.9	39.3	2.9	28	28	0	
		8月	57.5	37.6	39.4	2.1	22	22	0	
		9月	68.0	37.5	39.5	3.2	19	19	0	
		10月	100.9	37.6	39.7	4.9	10	10	0	
		11月	72.9	37.5	40.7	4.7	21	21	0	
		12月	66.8	37.9	41.6	4.6	25	25	0	
		1月	76.9	37.4	41.8	5.1	18	18	0	
		2月	74.5	30.2	41.0	5.8	12	12	0	
		3月	60.0	37.1	39.6	3.5	26	26	0	
		年間	100.9	30.2	40.1	4.1	245	245	0	
	神野浦A	4月	35.9	25.1	26.4	1.4	23	23	0	27.6
		5月	54.0	24.9	27.3	3.7	27	27	0	
		6月	66.3	25.2	27.5	4.7	16	16	0	
		7月	47.0	24.9	27.2	3.0	25	25	0	
		8月	53.4	25.6	27.3	2.1	20	20	0	
		9月	58.3	25.5	27.4	3.2	19	19	0	
		10月	55.1	25.6	27.3	2.9	19	19	0	
		11月	62.3	25.6	28.5	4.6	20	20	0	
		12月	49.4	25.6	29.0	4.0	18	18	0	
		1月	56.0	25.4	29.9	5.2	20	20	0	
		2月	58.6	19.2	28.9	5.9	12	12	0	
		3月	48.5	25.2	27.7	3.7	23	23	0	
		年間	66.3	19.2	27.9	4.0	242	242	0	
	山中A	4月	34.6	24.4	25.9	1.4	21	21	0	26.5
		5月	49.3	24.0	26.7	3.7	30	30	0	
		6月	60.7	24.3	26.7	4.5	17	17	0	
		7月	47.0	24.2	26.6	3.2	24	24	0	
		8月	45.1	24.1	26.1	2.2	24	24	0	
		9月	50.9	24.4	26.2	3.0	24	24	0	
		10月	48.4	24.5	26.2	2.4	19	19	0	
11月		59.8	24.4	27.8	4.9	20	20	0		
12月		51.9	24.9	28.7	4.1	19	19	0		
1月		56.9	22.0	28.7	5.4	21	21	0		
2月		55.7	15.8	26.6	6.2	6	6	0		
3月		46.3	24.3	26.9	3.5	22	22	0		
年間		60.7	15.8	26.9	4.0	247	247	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
教賀	ふげん北D	4月	67.8	55.9	58.4	1.5	16	16	0	60.6
		5月	85.5	56.0	59.5	3.7	22	22	0	
		6月	92.8	56.1	60.4	4.6	22	22	0	
		7月	82.2	55.3	58.9	3.1	19	19	0	
		8月	90.6	57.3	61.4	2.9	8	8	0	
		9月	94.9	58.5	62.1	3.3	15	15	0	
		10月	78.6	58.7	62.1	1.7	10	10	0	
		11月	86.9	58.8	62.2	3.3	17	17	0	
		12月	104.2	57.4	63.2	6.6	11	11	0	
		1月	88.4	56.9	61.0	4.7	23	23	0	
		2月	77.0	54.2	60.3	3.6	12	12	0	
		3月	77.9	56.4	59.5	2.7	16	16	0	
		年間	104.2	54.2	60.7	4.0	191	191	0	
立石B	立石B	4月	93.1	84.5	87.6	1.3	12	6	6	89.1
		5月	103.0	85.1	89.5	2.4	16	16	0	
		6月	110.7	86.4	90.0	2.5	16	16	0	
		7月	96.1	83.0	86.7	1.8	12	12	0	
		8月	101.2	85.4	89.3	2.2	2	2	0	
		9月	104.1	87.1	90.7	1.9	11	11	0	
		10月	97.8	88.1	91.9	1.6	6	6	0	
		11月	101.5	87.0	90.2	1.7	13	13	0	
		12月	113.5	85.4	89.5	3.4	13	13	0	
		1月	102.5	85.3	88.2	2.4	22	22	0	
		2月	110.0	82.9	87.3	2.4	9	9	0	
		3月	95.6	84.9	87.3	1.4	16	16	0	
		年間	113.5	82.9	89.0	2.6	148	142	6	
立石山頂B	立石山頂B	4月	88.9	72.9	75.4	1.8	16	16	0	80.4
		5月	105.9	72.2	76.3	4.1	23	23	0	
		6月	109.0	71.7	76.8	5.3	22	22	0	
		7月	102.9	70.5	74.6	3.8	18	18	0	
		8月	105.4	73.5	78.2	3.3	8	8	0	
		9月	117.5	74.3	81.7	3.8	15	15	0	
		10月	100.3	76.3	81.7	2.9	12	12	0	
		11月	109.0	77.9	82.3	3.4	18	18	0	
		12月	118.8	76.0	82.0	5.9	18	18	0	
		1月	107.7	73.4	79.6	4.5	17	17	0	
		2月	105.0	66.8	77.3	4.8	8	8	0	
		3月	99.8	74.0	77.8	3.4	16	16	0	
		年間	118.8	66.8	78.6	4.8	191	191	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん西D	4月	52.8	35.1	37.2	2.0	16	16	0	38.2
		5月	75.5	34.9	38.5	5.1	24	24	0	
		6月	82.0	35.4	39.1	6.2	24	24	0	
		7月	78.9	34.9	38.5	4.4	18	18	0	
		8月	82.5	36.3	39.4	3.2	10	10	0	
		9月	82.9	37.3	40.1	4.2	17	17	0	
		10月	60.8	37.3	39.6	2.7	15	15	0	
		11月	64.0	35.6	39.1	3.8	25	25	0	
		12月	74.6	34.9	40.8	6.7	22	22	0	
		1月	71.1	32.1	38.1	5.2	17	17	0	
		2月	57.6	28.6	36.8	4.5	13	13	0	
		3月	61.3	33.9	37.1	3.7	18	18	0	
		年間	82.9	28.6	38.7	4.7	219	219	0	
猪ヶ池B		4月	93.8	74.3	77.5	2.2	15	15	0	82.4
		5月	112.5	73.5	78.8	5.1	24	24	0	
		6月	128.7	74.2	79.8	6.3	22	22	0	
		7月	116.1	73.1	78.0	4.5	18	18	0	
		8月	119.9	75.0	81.3	3.7	11	11	0	
		9月	118.4	76.7	81.6	3.9	17	17	0	
		10月	100.1	77.6	81.2	2.7	16	16	0	
		11月	109.9	75.0	80.8	4.3	17	17	0	
		12月	143.2	75.1	83.0	8.9	13	13	0	
		1月	123.8	73.1	80.1	6.3	19	19	0	
		2月	113.0	66.4	78.4	5.8	9	9	0	
		3月	100.9	75.2	79.0	3.8	15	15	0	
		年間	143.2	66.4	80.0	5.4	196	196	0	
浦底B		4月	92.5	71.8	74.5	1.9	16	16	0	75.5
		5月	101.3	71.9	75.4	4.0	24	24	0	
		6月	121.1	72.5	76.0	5.4	20	20	0	
		7月	96.8	72.2	76.6	3.5	17	17	0	
		8月	100.6	75.1	78.8	2.8	13	13	0	
		9月	112.4	75.7	79.0	3.5	15	15	0	
		10月	96.7	76.1	79.0	2.4	20	20	0	
		11月	106.8	75.0	79.5	3.8	19	19	0	
		12月	133.3	74.4	82.4	8.3	14	14	0	
		1月	117.6	70.6	78.7	5.8	19	19	0	
		2月	103.0	65.3	77.7	5.8	11	11	0	
		3月	99.1	74.3	78.0	3.7	17	17	0	
		年間	133.3	65.3	78.0	5.0	205	205	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	水試裏B	4月	94.6	74.1	77.2	2.3	17	17	0	79.5
		5月	107.4	74.0	78.3	4.6	23	23	0	
		6月	122.8	73.6	79.4	5.9	22	22	0	
		7月	104.8	73.3	77.5	4.0	20	20	0	
		8月	112.3	74.8	80.6	3.4	11	11	0	
		9月	117.1	76.2	81.3	4.0	16	16	0	
		10月	100.0	76.9	81.4	2.7	16	16	0	
		11月	105.9	75.9	80.9	4.0	19	19	0	
		12月	130.9	74.1	81.7	8.3	15	15	0	
		1月	126.5	72.5	78.9	6.2	20	20	0	
		2月	112.0	66.9	77.6	5.7	13	13	0	
		3月	99.5	73.3	77.1	3.9	17	17	0	
		年間	130.9	66.9	79.3	5.1	209	209	0	
色ヶ浜B	色ヶ浜B	4月	95.3	77.1	79.4	1.6	15	15	0	79.8
		5月	101.5	77.1	80.1	3.2	23	23	0	
		6月	116.8	77.2	80.7	4.5	21	21	0	
		7月	95.6	75.3	79.0	3.1	21	21	0	
		8月	101.5	76.4	79.1	2.3	14	14	0	
		9月	103.3	76.4	79.3	2.8	16	16	0	
		10月	94.0	77.0	79.6	1.9	19	19	0	
		11月	105.8	77.2	80.2	3.2	20	20	0	
		12月	129.1	76.8	83.2	7.3	15	15	0	
		1月	114.3	73.8	80.3	4.9	19	19	0	
		2月	104.0	70.7	79.4	4.7	12	12	0	
		3月	94.7	76.0	78.7	3.0	19	19	0	
		年間	129.1	70.7	79.9	4.0	214	214	0	
沓D	沓D	4月	79.6	55.4	58.7	2.1	17	17	0	57.9
		5月	91.2	55.5	59.6	4.1	18	18	0	
		6月	104.0	54.9	60.1	5.7	18	18	0	
		7月	85.1	54.3	58.8	3.8	21	21	0	
		8月	88.6	56.2	61.1	2.9	12	12	0	
		9月	84.7	56.8	60.3	3.3	17	17	0	
		10月	80.8	56.7	60.0	2.3	17	17	0	
		11月	100.5	55.3	60.4	4.8	17	17	0	
		12月	118.9	54.3	62.4	9.1	18	18	0	
		1月	95.7	43.0	58.2	6.8	20	20	0	
		2月	91.0	36.5	55.7	8.1	7	7	0	
		3月	76.9	54.1	57.8	3.4	19	19	0	
		年間	118.9	36.5	59.4	5.4	201	201	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	赤崎D	4月	62.9	47.3	49.1	1.7	20	20	0	52.0
		5月	79.0	47.3	49.8	3.4	21	21	0	
		6月	86.9	47.6	50.2	4.6	21	21	0	
		7月	72.0	47.3	49.9	3.0	22	22	0	
		8月	70.7	47.5	49.9	2.0	18	18	0	
		9月	69.4	47.4	49.9	2.7	20	20	0	
		10月	66.2	47.7	49.9	1.9	20	20	0	
		11月	77.7	47.5	50.5	3.7	20	20	0	
		12月	101.7	47.6	53.2	7.3	15	15	0	
		1月	79.9	34.8	49.5	5.5	17	17	0	
		2月	81.0	38.2	49.6	5.4	9	9	0	
		3月	64.8	47.3	49.5	2.6	17	17	0	
		年間	101.7	34.8	50.1	4.1	220	220	0	
	五幡B	4月	62.8	43.2	45.3	1.9	18	18	0	54.2
		5月	73.1	43.0	46.0	3.8	20	20	0	
		6月	87.0	43.4	46.7	5.1	19	19	0	
		7月	70.3	43.1	46.3	3.4	23	23	0	
		8月	63.8	43.4	45.9	2.3	21	21	0	
		9月	68.3	43.8	46.1	3.0	19	19	0	
		10月	64.6	43.7	46.1	2.1	17	17	0	
		11月	76.5	43.4	46.6	3.9	18	18	0	
		12月	94.9	43.4	50.1	8.0	12	12	0	
		1月	90.3	36.6	47.4	5.6	18	18	0	
		2月	79.5	40.3	47.6	5.1	12	12	0	
		3月	66.4	43.5	46.7	3.3	19	19	0	
		年間	94.9	36.6	46.7	4.5	216	216	0	
	阿曾D	4月	68.5	46.4	48.1	2.0	15	15	0	49.3
		5月	76.6	46.4	49.0	3.9	20	20	0	
		6月	90.3	46.2	49.4	5.3	19	19	0	
		7月	74.3	45.8	48.8	3.6	22	22	0	
		8月	83.8	46.4	49.3	2.5	17	17	0	
		9月	72.2	46.8	49.1	3.2	21	21	0	
		10月	66.8	46.5	48.6	2.2	19	19	0	
11月		83.3	46.1	49.3	3.9	19	19	0		
12月		107.4	46.4	52.9	8.6	14	14	0		
1月		91.9	36.9	49.2	5.6	21	21	0		
2月		86.3	36.7	48.5	6.1	12	12	0		
3月		67.8	46.0	48.4	3.3	22	22	0		
年間		107.4	36.7	49.2	4.7	221	221	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：閃電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	杉津B	4月	69.5	47.4	49.6	2.0	13	13	0	50.7
		5月	79.3	46.9	50.3	4.1	21	21	0	
		6月	93.9	47.2	50.8	5.4	20	20	0	
		7月	80.6	46.4	50.7	3.9	17	17	0	
		8月	82.6	49.1	52.1	2.6	15	15	0	
		9月	75.8	49.8	52.6	3.5	23	23	0	
		10月	71.9	50.0	52.8	2.5	18	18	0	
		11月	84.6	49.6	53.7	4.2	20	20	0	
		12月	125.4	49.7	57.5	9.4	13	13	0	
		1月	96.0	42.9	53.5	5.8	19	19	0	
		2月	85.3	39.8	52.6	6.0	11	11	0	
		3月	74.3	49.3	52.5	3.3	17	17	0	
		年間	125.4	39.8	52.4	5.2	207	207	0	
	甲楽城B	4月	55.1	41.2	43.1	1.5	16	16	0	43.5
		5月	71.4	41.3	43.9	3.5	20	20	0	
		6月	82.9	40.9	44.0	5.0	20	20	0	
		7月	66.0	40.6	43.9	3.3	20	20	0	
		8月	71.9	42.1	44.7	2.4	13	13	0	
		9月	71.6	42.6	44.7	3.1	16	16	0	
		10月	60.9	42.7	45.1	2.2	20	20	0	
		11月	70.7	42.9	46.0	3.3	20	20	0	
		12月	101.4	43.4	49.3	7.3	15	15	0	
		1月	75.4	42.3	47.1	5.1	21	21	0	
		2月	74.8	39.2	46.5	4.9	13	13	0	
		3月	58.1	43.1	45.6	2.7	23	23	0	
		年間	101.4	39.2	45.3	4.3	217	217	0	
	今庄B	4月	57.0	36.2	38.3	2.1	12	12	0	39.3
		5月	62.7	36.1	39.1	3.5	19	19	0	
		6月	75.2	36.1	39.7	4.4	18	18	0	
		7月	55.1	35.7	39.6	3.2	18	18	0	
		8月	57.4	36.4	39.7	2.5	12	12	0	
		9月	59.5	36.6	39.6	3.1	18	18	0	
		10月	54.4	36.6	39.4	2.3	17	17	0	
11月		63.6	35.8	40.2	3.8	21	21	0		
12月		100.0	33.5	43.4	7.9	15	15	0		
1月		66.2	24.5	37.1	5.2	13	13	0		
2月		56.9	29.4	36.6	4.5	7	7	0		
3月		49.3	34.1	37.7	2.5	18	18	0		
年間		100.0	24.5	39.2	4.4	188	188	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	越前厨D	4月	57.1	37.8	40.6	1.8	16	16	0	39.5
		5月	69.3	38.3	41.4	3.9	21	21	0	
		6月	83.5	38.3	41.9	5.1	17	17	0	
		7月	63.3	37.7	41.1	3.4	25	25	0	
		8月	60.3	38.8	42.2	2.2	17	17	0	
		9月	60.4	36.9	41.4	2.6	19	19	0	
		10月	58.4	37.9	40.7	2.4	21	21	0	
		11月	67.0	37.6	41.0	3.5	23	23	0	
		12月	93.1	37.7	44.1	7.2	18	18	0	
		1月	67.5	34.8	41.2	4.9	18	18	0	
		2月	60.3	32.2	40.6	4.5	12	12	0	
		3月	56.0	37.5	40.5	3.1	21	21	0	
		年間	93.1	32.2	41.4	4.1	228	228	0	
白木	松ヶ崎D	4月	76.7	62.0	64.1	1.6	17	17	0	62.4
		5月	92.3	61.2	65.0	4.1	23	23	0	
		6月	109.7	61.6	65.4	4.9	20	20	0	
		7月	83.9	61.2	64.6	3.1	21	21	0	
		8月	98.1	62.6	65.8	2.6	8	8	0	
		9月	96.2	62.1	64.6	3.0	14	14	0	
		10月	80.7	61.4	64.2	2.2	16	16	0	
		11月	88.4	60.7	64.1	3.1	17	17	0	
		12月	113.4	60.4	66.4	7.0	18	18	0	
		1月	98.7	60.1	64.8	5.4	18	18	0	
		2月	96.3	58.9	64.4	4.4	11	11	0	
		3月	81.2	60.2	63.3	3.1	19	19	0	
		年間	113.4	58.9	64.7	4.1	202	202	0	
		白木	I D	4月	79.7	63.5	67.1	1.7	13	
5月	101.1			62.3	67.4	4.3	21	21	0	
6月	100.7			61.9	67.2	4.9	22	22	0	
7月	95.6			61.3	65.1	3.5	20	20	0	
8月	100.1			63.0	68.3	3.1	9	9	0	
9月	106.7			65.9	69.7	3.9	15	15	0	
10月	88.7			67.6	71.1	2.5	16	16	0	
11月	89.7			64.5	70.2	3.6	15	15	0	
12月	97.6			62.1	67.8	5.9	21	21	0	
1月	97.3			60.1	65.8	4.1	17	17	0	
2月	86.2			54.7	64.4	4.4	8	8	0	
3月	79.0			59.5	63.4	2.9	15	15	0	
年間	106.7			54.7	67.3	4.5	192	192	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
白木	白木IID	4月	59.7	37.2	39.7	2.1	16	16	0	39.7
		5月	79.8	36.2	40.5	5.2	22	22	0	
		6月	80.3	36.2	40.3	5.8	24	24	0	
		7月	68.3	35.4	39.2	4.0	21	21	0	
		8月	83.2	37.1	41.1	3.3	12	12	0	
		9月	81.5	37.9	41.4	4.3	16	16	0	
		10月	63.3	38.6	41.3	2.8	19	19	0	
		11月	74.6	36.1	41.2	4.5	21	21	0	
		12月	78.0	35.6	41.7	7.3	22	22	0	
		1月	79.6	30.8	38.0	5.1	14	14	0	
		2月	66.9	24.3	36.1	5.6	10	10	0	
		3月	58.1	33.6	37.1	3.8	21	21	0	
		年間	83.2	24.3	39.8	5.0	218	218	0	
	白木IID	4月	70.9	54.2	57.0	1.8	16	16	0	55.5
		5月	87.5	53.6	57.2	4.1	23	23	0	
		6月	94.7	53.0	57.4	4.9	19	19	0	
		7月	78.5	51.9	55.2	3.3	25	25	0	
		8月	88.8	53.4	57.9	2.9	8	8	0	
		9月	88.0	54.2	58.0	3.3	16	16	0	
		10月	74.0	55.1	58.4	2.3	17	17	0	
		11月	87.0	52.7	58.2	4.1	17	17	0	
		12月	90.6	52.2	58.5	6.2	20	20	0	
		1月	86.6	45.5	54.2	4.5	13	13	0	
		2月	77.4	39.9	52.5	5.4	8	8	0	
		3月	69.3	50.6	53.9	2.9	18	18	0	
		年間	94.7	39.9	56.5	4.4	200	200	0	
	白木IVD	4月	61.8	44.9	47.0	1.7	15	15	0	47.0
		5月	79.0	44.4	48.1	4.4	23	23	0	
		6月	91.3	44.3	48.8	5.3	22	22	0	
		7月	69.1	43.1	46.5	3.4	23	23	0	
		8月	81.0	44.6	48.8	2.8	8	8	0	
		9月	86.3	45.9	49.3	3.5	14	14	0	
		10月	67.6	47.0	49.6	2.4	17	17	0	
11月		76.6	44.8	49.3	3.5	17	17	0		
12月		76.7	42.8	48.1	5.8	19	19	0		
1月		80.9	38.2	45.5	4.3	16	16	0		
2月		68.8	33.1	43.9	4.9	8	8	0		
3月		60.5	41.3	44.4	3.0	17	17	0		
年間		91.3	33.1	47.4	4.4	199	199	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	奥浦C	4月	76.7	56.2	60.4	2.0	20	20	0	63.4
		5月	91.1	57.9	61.3	4.0	18	18	0	
		6月	93.9	56.8	61.7	5.0	21	21	0	
		7月	87.0	56.6	60.1	3.4	18	18	0	
		8月	90.5	58.3	62.7	3.1	15	15	0	
		9月	89.2	58.7	62.6	3.3	18	18	0	
		10月	83.3	59.4	62.8	2.4	16	16	0	
		11月	88.3	61.8	66.0	3.4	21	21	0	
		12月	110.5	61.5	68.0	6.9	18	18	0	
		1月	99.7	60.3	65.5	5.2	19	19	0	
		2月	93.5	55.4	64.1	4.6	15	15	0	
		3月	79.9	60.6	63.9	3.2	17	17	0	
		年間	110.5	55.4	63.3	4.6	216	216	0	
	丹生C	4月	63.9	49.0	51.7	1.5	18	18	0	53.1
		5月	74.5	49.4	52.4	3.2	20	20	0	
		6月	87.2	49.5	52.9	4.2	21	21	0	
		7月	71.6	49.2	52.7	2.8	21	21	0	
		8月	72.7	49.2	52.1	2.2	17	17	0	
		9月	71.3	49.3	52.2	2.5	17	17	0	
		10月	68.0	49.8	52.5	2.0	18	18	0	
		11月	72.6	50.1	53.0	2.9	20	20	0	
		12月	102.4	50.0	55.6	6.3	14	14	0	
		1月	86.3	49.9	54.2	5.0	19	19	0	
		2月	78.4	47.4	53.7	4.2	14	14	0	
		3月	68.5	49.4	53.1	3.0	18	18	0	
		年間	102.4	47.4	53.0	3.6	217	217	0	
	丹生寮C	4月	69.3	54.5	56.6	1.7	17	17	0	58.1
		5月	81.2	54.3	57.3	3.5	24	24	0	
		6月	90.9	54.4	57.7	4.2	18	18	0	
		7月	79.7	53.4	57.0	2.9	20	20	0	
		8月	87.7	54.9	58.3	2.6	12	12	0	
		9月	79.6	55.3	57.9	2.7	18	18	0	
		10月	75.9	55.2	57.8	2.1	19	19	0	
11月		77.9	54.8	58.2	3.2	23	23	0		
12月		107.0	55.1	60.9	7.0	16	16	0		
1月		97.3	53.2	59.1	5.5	19	19	0		
2月		92.4	48.8	57.1	5.0	15	15	0		
3月		71.4	51.3	55.0	3.3	19	19	0		
年間		107.0	48.8	57.7	4.1	220	220	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	竹波C	4月	84.3	71.2	73.3	1.5	16	16	0	75.3
		5月	95.3	70.2	73.6	3.1	24	24	0	
		6月	106.4	70.1	74.1	4.1	19	19	0	
		7月	98.1	70.2	73.4	2.9	20	20	0	
		8月	97.4	71.4	74.7	2.3	15	15	0	
		9月	94.2	72.2	74.7	2.4	19	19	0	
		10月	90.3	72.5	74.8	1.8	19	19	0	
		11月	96.4	71.8	75.1	3.1	23	23	0	
		12月	128.3	71.3	77.0	6.7	16	16	0	
		1月	109.5	68.3	75.3	5.1	19	19	0	
		2月	100.6	62.8	74.1	5.0	9	9	0	
		3月	88.6	71.3	74.2	2.8	18	18	0	
		年間	128.3	62.8	74.5	3.7	217	217	0	
菅浜	菅浜C	4月	48.0	34.2	36.9	1.5	19	19	0	37.1
		5月	61.7	34.5	37.5	3.2	21	21	0	
		6月	79.3	34.1	37.9	4.4	21	21	0	
		7月	53.8	34.6	37.5	2.9	22	22	0	
		8月	52.8	34.2	36.5	2.0	16	16	0	
		9月	51.0	34.2	36.5	2.3	20	20	0	
		10月	52.4	34.7	36.7	1.9	21	21	0	
		11月	68.4	33.4	37.3	3.1	16	16	0	
		12月	74.1	34.6	39.7	5.9	20	20	0	
		1月	63.1	33.7	38.5	4.9	22	22	0	
		2月	60.8	31.4	38.2	4.2	12	12	0	
		3月	51.4	34.3	37.3	2.8	18	18	0	
		年間	79.3	31.4	37.5	3.5	228	228	0	
佐田	佐田C	4月	64.9	52.6	54.2	1.5	19	19	0	55.4
		5月	76.1	52.6	54.8	2.9	20	20	0	
		6月	88.1	51.5	55.1	3.8	19	19	0	
		7月	68.6	52.2	54.9	2.6	25	25	0	
		8月	71.7	51.6	53.6	1.7	18	18	0	
		9月	71.8	52.0	53.8	2.2	18	18	0	
		10月	66.9	51.2	53.7	1.7	21	21	0	
		11月	88.2	51.5	54.7	3.8	21	21	0	
		12月	84.0	52.1	56.8	5.4	23	23	0	
		1月	77.2	50.2	55.6	4.3	22	22	0	
		2月	77.5	48.2	55.3	4.2	12	12	0	
		3月	69.8	51.8	54.5	2.6	22	22	0	
		年間	88.2	48.2	54.8	3.3	240	240	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：閉電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	新庄C	4月	75.6	57.6	60.1	1.9	19	19	0	60.8
		5月	80.7	57.8	60.7	3.0	24	24	0	
		6月	93.7	57.7	60.8	3.5	15	15	0	
		7月	79.5	57.2	60.9	2.6	15	15	0	
		8月	79.6	58.0	60.7	1.9	11	11	0	
		9月	72.1	57.7	60.4	2.0	14	14	0	
		10月	80.5	57.4	60.5	2.2	17	17	0	
		11月	90.7	57.8	62.0	4.6	22	22	0	
		12月	103.9	58.1	63.6	6.2	17	17	0	
		1月	84.8	49.5	60.8	5.0	18	18	0	
		2月	86.0	38.3	54.6	8.7	3	3	0	
		3月	78.6	51.7	60.3	3.4	13	13	0	
	年間	103.9	38.3	60.5	4.5	188	188	0		
	郷市C	4月	54.8	33.2	35.7	2.3	17	17	0	36.4
		5月	65.2	32.8	36.2	4.2	23	23	0	
		6月	86.7	33.1	36.6	5.3	18	18	0	
		7月	55.0	33.0	36.7	3.4	17	17	0	
		8月	55.3	32.8	35.6	2.7	19	19	0	
		9月	55.3	33.1	35.7	3.1	23	23	0	
		10月	57.1	33.2	35.8	2.7	20	20	0	
		11月	69.4	32.7	37.2	5.1	23	23	0	
		12月	73.7	33.6	39.4	6.9	20	20	0	
		1月	71.1	31.2	37.9	6.1	18	18	0	
		2月	64.4	26.6	37.1	5.7	12	12	0	
		3月	55.5	32.8	36.2	3.5	23	23	0	
		年間	86.7	26.6	36.7	4.5	233	233	0	
		早瀬C	4月	46.8	32.8	34.9	1.5	15	15	
	5月		53.6	33.0	35.5	2.7	23	23	0	
	6月		63.3	32.3	35.5	3.1	20	20	0	
	7月		46.5	32.6	35.4	2.2	18	18	0	
	8月		43.3	32.2	34.7	1.5	13	13	0	
	9月		46.7	31.7	34.5	2.0	21	21	0	
	10月		48.3	32.7	34.8	1.7	19	19	0	
11月	60.0		32.4	35.6	3.4	24	24	0		
12月	56.2		32.4	36.8	4.5	19	19	0		
1月	68.8		32.2	36.7	4.3	15	15	0		
2月	55.9		28.6	36.1	4.0	12	12	0		
3月	47.6		30.7	34.2	2.4	16	16	0		
年間	68.8		28.6	35.4	3.0	215	215	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
美浜	日向C	4月	54.7	39.5	41.1	1.7	18	18	0	42.1
		5月	66.2	39.3	41.8	3.2	21	21	0	
		6月	84.8	39.2	42.0	4.4	21	21	0	
		7月	57.9	39.2	41.9	2.6	21	21	0	
		8月	53.3	39.2	41.3	1.7	25	25	0	
		9月	57.8	39.2	41.2	2.3	21	21	0	
		10月	57.4	39.8	41.4	2.1	19	19	0	
		11月	70.7	39.6	42.4	3.8	20	20	0	
		12月	70.1	39.9	44.2	5.2	18	18	0	
		1月	77.0	39.1	43.5	4.9	14	14	0	
		2月	61.0	38.3	43.3	4.0	10	10	0	
		3月	59.9	39.7	42.0	2.8	22	22	0	
		年間	84.8	38.3	42.2	3.5	230	230	0	
		三方	C	4月	59.3	27.8	30.8	2.3	15	
5月	60.7			28.4	31.8	4.0	22	22	0	
6月	65.4			28.7	32.1	4.3	23	23	0	
7月	54.1			28.3	32.4	3.3	18	18	0	
8月	48.1			29.2	31.4	2.2	18	18	0	
9月	49.7			28.1	31.4	3.0	23	23	0	
10月	51.2			28.9	31.3	2.4	20	20	0	
11月	76.0			27.7	32.9	5.8	23	23	0	
12月	70.6			29.5	34.5	6.9	20	20	0	
1月	69.3			25.9	33.0	5.6	19	19	0	
2月	57.7			22.5	31.6	5.9	10	10	0	
3月	50.0			28.2	31.9	3.5	21	21	0	
年間	76.0			22.5	32.1	4.4	232	232	0	
大飯	宮留C			4月	54.4	37.4	39.0	1.6	15	15
		5月	70.7	37.3	40.0	4.1	21	21	0	
		6月	85.1	37.3	40.2	5.7	20	20	0	
		7月	65.7	37.1	40.2	4.0	23	23	0	
		8月	57.5	37.7	40.1	2.6	22	22	0	
		9月	75.4	37.9	40.0	4.1	19	19	0	
		10月	60.7	37.6	39.7	3.1	22	22	0	
		11月	76.0	37.5	40.8	4.3	22	22	0	
		12月	85.3	38.0	41.9	5.6	17	17	0	
		1月	87.5	34.9	42.0	5.5	19	19	0	
		2月	67.2	30.1	40.8	6.0	13	13	0	
		3月	63.4	37.2	40.0	4.0	24	24	0	
		年間	87.5	30.1	40.4	4.4	237	237	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
大飯	日角浜C	4月	51.0	34.9	36.8	1.7	16	16	0	34.8
		5月	67.0	34.9	37.8	4.0	20	20	0	
		6月	80.5	35.0	38.0	5.3	20	20	0	
		7月	64.3	35.1	38.2	3.9	22	22	0	
		8月	55.9	35.8	38.2	2.6	19	19	0	
		9月	68.8	35.8	38.2	3.9	22	22	0	
		10月	84.0	35.4	37.7	3.8	16	16	0	
		11月	72.0	34.8	38.5	4.4	18	18	0	
		12月	78.6	35.3	39.3	5.4	18	18	0	
		1月	79.3	35.0	39.5	5.5	20	20	0	
		2月	64.8	26.5	37.8	6.4	11	11	0	
		3月	62.1	34.9	37.7	4.0	27	27	0	
		年間	84.0	26.5	38.1	4.3	229	229	0	
	本郷C	4月	55.7	39.8	41.7	1.6	20	20	0	38.9
		5月	65.2	40.0	42.6	3.3	25	25	0	
		6月	76.6	40.1	42.9	4.3	18	18	0	
		7月	67.3	40.1	43.1	3.4	19	19	0	
		8月	59.6	40.3	42.6	2.4	18	18	0	
		9月	68.6	40.5	42.8	3.4	21	21	0	
		10月	65.8	40.1	42.7	2.7	23	23	0	
		11月	75.0	40.3	43.7	4.4	18	18	0	
		12月	71.9	40.8	44.2	4.3	22	22	0	
		1月	73.3	40.2	44.9	5.1	18	18	0	
		2月	80.6	33.2	43.7	5.9	12	12	0	
		3月	67.5	40.0	43.1	4.0	26	26	0	
		年間	80.6	33.2	43.2	3.9	240	240	0	
	加斗C	4月	61.1	43.6	46.1	1.9	19	19	0	44.7
		5月	88.3	43.9	47.3	4.5	21	21	0	
		6月	86.5	42.9	47.2	5.0	21	21	0	
		7月	74.2	42.1	46.9	4.0	19	19	0	
		8月	79.4	44.5	47.4	2.9	15	15	0	
		9月	72.8	43.7	47.0	3.5	25	25	0	
		10月	84.9	44.3	47.1	3.7	19	19	0	
11月		85.5	43.8	47.9	4.8	18	18	0		
12月		88.8	44.5	48.4	4.9	19	19	0		
1月		80.0	44.1	48.8	5.5	21	21	0		
2月		79.6	32.7	46.8	6.9	13	13	0		
3月		67.7	43.4	46.7	4.1	23	23	0		
年間		88.8	32.7	47.3	4.4	233	233	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：閃電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜C	4月	64.5	44.1	46.1	1.9	20	20	0	44.9
		5月	80.5	42.1	47.1	4.3	23	23	0	
		6月	90.3	43.1	46.9	4.8	17	17	0	
		7月	82.7	42.8	47.2	4.1	18	18	0	
		8月	69.7	44.8	47.8	2.9	15	15	0	
		9月	71.5	44.4	47.2	3.5	27	27	0	
		10月	77.3	43.1	47.3	3.5	28	28	0	
		11月	88.4	44.2	48.2	5.4	19	19	0	
		12月	83.7	44.1	48.7	5.4	20	20	0	
		1月	82.5	44.0	49.0	5.9	19	19	0	
		2月	82.6	31.3	47.2	7.4	11	11	0	
		3月	70.8	43.8	46.9	4.1	22	22	0	
		年間	90.3	31.3	47.5	4.6	239	239	0	
	西津C	4月	50.3	33.3	35.3	1.9	20	20	0	33.5
		5月	68.0	33.3	36.3	4.0	23	23	0	
		6月	78.6	32.9	36.4	4.8	19	19	0	
		7月	57.2	32.7	35.7	3.3	19	19	0	
		8月	52.8	32.8	35.4	2.6	18	18	0	
		9月	61.0	32.6	35.2	3.4	23	23	0	
		10月	63.6	33.1	35.5	2.8	18	18	0	
		11月	79.0	32.9	37.2	5.5	17	17	0	
		12月	88.9	33.8	38.5	6.5	20	20	0	
		1月	77.8	33.4	38.6	6.2	20	20	0	
		2月	61.5	26.5	38.0	6.4	11	11	0	
		3月	56.7	33.7	36.6	3.7	25	25	0	
		年間	88.9	26.5	36.6	4.6	233	233	0	
		堅海C	4月	50.4	35.4	37.8	1.7	18	18	
	5月		64.1	34.6	37.5	3.9	21	21	0	
	6月		81.8	35.0	38.9	4.9	20	20	0	
	7月		60.1	36.7	40.0	3.6	22	22	0	
	8月		57.4	37.1	40.0	2.4	19	19	0	
	9月		77.8	37.1	40.0	3.9	20	20	0	
	10月		76.1	37.3	40.0	3.5	21	21	0	
11月	86.5		36.6	40.9	5.5	18	18	0		
12月	89.3		37.1	41.8	6.5	18	18	0		
1月	79.7		36.6	41.5	5.7	20	20	0		
2月	70.0		30.1	40.4	6.1	13	13	0		
3月	65.5		36.6	39.5	4.1	24	24	0		
年間	89.3		30.1	39.9	4.6	234	234	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大阪	川上C	4月	61.5	46.0	47.8	1.9	23	23	0	46.3
		5月	74.3	45.6	48.6	3.8	30	30	0	
		6月	82.5	45.5	49.0	4.7	15	15	0	
		7月	84.8	45.4	49.1	3.9	15	15	0	
		8月	70.6	46.0	48.6	2.6	16	16	0	
		9月	69.5	46.1	48.6	3.2	21	21	0	
		10月	70.6	46.1	48.6	3.2	24	24	0	
		11月	83.0	46.2	50.0	5.1	21	21	0	
		12月	74.7	46.9	50.6	4.2	17	17	0	
		1月	89.8	34.7	49.9	8.0	16	16	0	
		2月	92.0	30.6	45.8	7.7	12	12	0	
		3月	80.5	44.4	49.0	4.8	24	24	0	
		年間	92.0	30.6	48.8	4.8	234	234	0	
鹿野	C	4月	56.7	40.0	42.0	1.9	21	21	0	40.7
		5月	71.2	39.6	43.1	4.5	27	27	0	
		6月	90.7	38.7	42.8	5.2	18	18	0	
		7月	79.9	38.9	42.6	4.3	18	18	0	
		8月	75.4	39.8	42.5	3.1	13	13	0	
		9月	86.4	39.5	42.4	4.3	17	17	0	
		10月	81.4	39.4	42.2	4.2	21	21	0	
		11月	81.1	39.1	43.3	5.4	25	25	0	
		12月	77.2	39.7	43.6	4.5	19	19	0	
		1月	92.2	31.8	44.2	7.3	16	16	0	
		2月	86.8	26.4	42.1	8.0	10	10	0	
		3月	79.7	39.2	42.7	5.2	19	19	0	
		年間	92.2	26.4	42.8	5.0	224	224	0	
名田庄	C	4月	55.7	41.6	43.9	2.0	11	11	0	42.1
		5月	66.7	41.2	44.8	3.9	24	24	0	
		6月	79.6	41.4	45.3	4.8	17	17	0	
		7月	89.1	40.7	45.3	4.6	13	13	0	
		8月	66.1	40.5	44.6	3.4	13	13	0	
		9月	63.8	41.1	44.2	3.4	18	18	0	
		10月	63.7	40.0	44.1	3.1	18	18	0	
		11月	70.9	40.7	45.5	4.6	19	19	0	
		12月	73.9	40.7	45.4	4.2	18	18	0	
		1月	97.5	33.2	45.7	6.5	7	7	0	
		2月	89.3	29.3	42.8	7.4	11	11	0	
		3月	64.2	39.5	43.7	3.5	15	15	0	
		年間	97.5	29.3	44.6	4.5	184	184	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	上中C	4月	51.4	34.1	36.0	1.8	18	18	0	33.3
		5月	70.4	34.0	36.8	4.1	18	18	0	
		6月	73.4	34.0	37.0	4.9	22	22	0	
		7月	73.5	33.8	36.8	4.0	18	18	0	
		8月	65.7	34.1	36.2	2.6	21	21	0	
		9月	64.1	33.5	36.2	3.2	18	18	0	
		10月	68.4	34.4	36.8	3.2	19	19	0	
		11月	74.5	34.2	38.5	5.6	22	22	0	
		12月	80.3	34.2	39.6	5.9	22	22	0	
		1月	66.1	27.4	38.2	5.7	17	17	0	
		2月	59.6	23.4	36.5	6.6	8	8	0	
		3月	56.6	33.4	36.5	3.7	20	20	0	
		年間	80.3	23.4	37.1	4.5	223	223	0	
高浜	音海C	4月	51.6	41.9	43.3	1.2	22	22	0	44.8
		5月	72.6	41.6	44.2	3.5	24	24	0	
		6月	80.3	41.8	44.2	4.4	15	15	0	
		7月	61.5	41.4	43.7	2.9	25	25	0	
		8月	62.1	42.1	43.9	2.0	23	23	0	
		9月	64.4	42.1	44.0	2.9	20	20	0	
		10月	92.3	42.4	44.3	4.3	13	13	0	
		11月	73.0	42.1	45.1	4.3	22	22	0	
		12月	70.0	42.0	45.6	4.1	23	23	0	
		1月	77.1	41.7	45.8	4.5	19	19	0	
		2月	76.5	36.4	45.5	5.2	17	17	0	
		3月	63.4	41.6	44.1	3.5	24	24	0	
		年間	92.3	36.4	44.5	3.7	247	247	0	
		田ノ浦	C	4月	49.0	36.6	38.0	1.5	21	
5月	76.1			36.2	38.9	4.1	22	22	0	
6月	82.7			36.1	38.8	5.1	17	17	0	
7月	60.2			35.6	38.3	3.3	21	21	0	
8月	61.8			36.8	38.8	2.3	20	20	0	
9月	76.2			36.7	39.0	3.6	19	19	0	
10月	77.7			37.0	39.0	3.6	18	18	0	
11月	70.4			36.7	39.8	4.5	23	23	0	
12月	61.9			36.9	40.2	4.2	23	23	0	
1月	66.5			35.8	40.7	5.1	18	18	0	
2月	74.5			30.1	40.0	5.9	13	13	0	
3月	64.0			36.4	38.9	4.0	25	25	0	
年間	82.7			30.1	39.2	4.1	240	240	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	小黒飯C	4月	47.8	35.1	36.8	1.4	21	21	0	37.9
		5月	65.3	35.1	37.8	3.8	23	23	0	
		6月	75.2	35.4	37.8	4.7	16	16	0	
		7月	58.8	35.1	37.6	3.3	20	20	0	
		8月	59.3	35.9	37.6	2.1	21	21	0	
		9月	64.3	35.8	37.7	3.2	21	21	0	
		10月	61.5	33.7	37.6	2.8	21	21	0	
		11月	74.7	33.6	38.6	4.6	19	19	0	
		12月	60.4	35.7	39.2	4.4	23	23	0	
		1月	67.9	34.6	39.9	5.5	19	19	0	
		2月	74.5	26.4	38.8	6.6	14	14	0	
		3月	69.0	35.2	37.9	4.0	27	27	0	
		年間	75.2	26.4	38.1	4.1	245	245	0	
	神野浦C	4月	40.3	26.4	27.9	1.7	22	22	0	29.4
		5月	59.4	26.1	28.9	4.5	25	25	0	
		6月	75.6	26.0	28.9	5.8	15	15	0	
		7月	53.1	25.9	28.5	3.8	25	25	0	
		8月	58.9	26.6	28.7	2.7	21	21	0	
		9月	69.4	26.6	28.7	4.0	19	19	0	
		10月	58.5	26.7	28.6	3.4	20	20	0	
		11月	73.3	26.6	30.1	5.8	20	20	0	
		12月	57.0	26.9	30.9	5.3	19	19	0	
		1月	66.8	25.6	31.6	6.4	22	22	0	
		2月	68.5	19.5	30.6	7.2	12	12	0	
		3月	55.6	26.3	29.1	4.4	26	26	0	
		年間	75.6	19.5	29.4	4.8	246	246	0	
	日引C	4月	46.0	33.7	34.9	1.5	20	20	0	36.1
		5月	58.2	33.4	35.9	3.7	29	29	0	
		6月	76.8	33.5	35.9	5.0	14	14	0	
		7月	55.0	33.1	35.5	3.1	27	27	0	
		8月	54.2	33.9	35.4	2.1	22	22	0	
		9月	79.9	33.8	35.6	3.6	17	17	0	
		10月	92.5	33.8	35.8	4.9	9	9	0	
11月		73.6	33.8	36.6	4.6	22	22	0		
12月		62.5	33.9	37.3	4.1	17	17	0		
1月		70.2	32.5	37.9	5.5	20	20	0		
2月		67.4	26.0	37.0	6.1	7	7	0		
3月		64.4	33.6	35.9	3.8	22	22	0		
年間		92.5	26.0	36.1	4.2	226	226	0		

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	青郷C	4月	51.7	35.8	38.8	1.8	21	21	0	40.0
		5月	62.8	36.5	39.5	3.9	28	28	0	
		6月	75.6	36.7	39.8	5.0	16	16	0	
		7月	67.1	36.0	39.9	3.9	19	19	0	
		8月	62.3	37.5	39.7	2.5	21	21	0	
		9月	63.6	37.2	39.6	3.1	21	21	0	
		10月	62.5	37.1	39.6	2.8	22	22	0	
		11月	105.4	37.3	41.3	6.1	12	12	0	
		12月	71.2	37.7	41.9	4.9	23	23	0	
		1月	83.8	30.7	42.5	7.7	22	22	0	
		2月	83.0	25.0	40.7	8.3	11	11	0	
		3月	68.5	35.9	40.5	4.9	28	28	0	
		年間	105.4	25.0	40.3	4.9	244	244	0	
高浜	C	4月	46.2	33.5	35.6	1.4	21	21	0	36.4
		5月	87.1	34.0	36.5	3.7	15	15	0	
		6月	66.8	34.2	36.4	3.5	14	14	0	
		7月	57.7	33.8	36.4	2.8	19	19	0	
		8月	51.1	34.1	36.0	1.8	20	20	0	
		9月	54.8	33.9	35.9	2.4	20	20	0	
		10月	61.8	33.8	36.1	2.9	17	17	0	
		11月	58.0	33.9	36.8	3.4	20	20	0	
		12月	62.0	34.5	37.4	3.3	19	19	0	
		1月	66.4	34.3	38.4	4.6	17	17	0	
		2月	71.3	28.6	37.8	5.2	11	11	0	
		3月	58.7	34.2	36.7	3.7	23	23	0	
		年間	87.1	28.6	36.7	3.4	216	216	0	
和田	C	4月	47.6	34.4	36.1	1.4	22	22	0	37.1
		5月	59.1	34.3	36.9	3.4	22	22	0	
		6月	71.9	34.5	37.0	4.2	18	18	0	
		7月	65.0	34.6	37.0	3.3	19	19	0	
		8月	53.8	34.7	36.5	2.1	17	17	0	
		9月	60.3	34.6	36.6	2.9	20	20	0	
		10月	68.4	34.8	36.7	3.4	20	20	0	
		11月	62.1	34.7	37.6	4.0	25	25	0	
		12月	68.2	35.0	38.1	4.1	21	21	0	
		1月	69.3	34.7	38.9	4.9	17	17	0	
		2月	74.2	30.9	38.7	5.6	12	12	0	
		3月	57.8	34.7	37.2	3.7	24	24	0	
		年間	74.2	30.9	37.3	3.7	237	237	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	田井C	4月	57.0	41.2	42.7	1.7	20	20	0	43.7
		5月	71.9	40.6	43.6	4.3	26	26	0	
		6月	90.5	40.8	43.7	5.5	15	15	0	
		7月	65.0	40.9	43.3	3.3	24	24	0	
		8月	57.5	41.2	43.3	2.3	25	25	0	
		9月	73.1	41.5	43.4	3.3	20	20	0	
		10月	74.5	41.0	43.4	3.3	18	18	0	
		11月	76.9	41.1	44.3	4.6	25	25	0	
		12月	89.1	40.1	45.3	5.0	17	17	0	
		1月	84.3	39.2	45.8	5.8	16	16	0	
		2月	75.2	30.5	44.5	6.5	11	11	0	
		3月	70.7	40.6	43.8	3.8	23	23	0	
		年間	90.5	30.5	43.9	4.3	240	240	0	
		夕潮台	C	4月	38.3	28.4	29.9	1.4	18	
5月	51.6			28.3	30.6	2.9	26	26	0	
6月	61.1			28.3	30.7	4.0	15	15	0	
7月	50.5			28.2	30.7	2.8	19	19	0	
8月	49.5			28.3	30.6	2.1	20	20	0	
9月	64.7			28.2	30.5	2.8	16	16	0	
10月	45.8			28.6	30.5	2.2	21	21	0	
11月	48.1			27.9	31.3	2.7	17	17	0	
12月	49.0			27.8	31.7	2.9	16	16	0	
1月	58.4			28.1	32.8	4.7	15	15	0	
2月	55.4			24.1	31.9	4.8	14	14	0	
3月	56.6			26.8	30.6	3.6	22	22	0	
年間	64.7			24.1	31.0	3.2	219	219	0	

過去平均線量率：2004～2006年度

<第8、9表に関する注釈>

1. 第8、9表に示した結果は、1時間値を基に算出したものである。「M+3 σ 」を超えた時間数の年間値は、月間の時間数の和である。降雨には、降雪も含まれる。
参考として、過去平均線量率の欄に2004～2006年度の平均値（ただし積雪期の第4期を除く）を示した。

2. 以下の地点では2004年度以降に観測局周辺の状況変化や測定装置更新等があり、測定値が若干変化した。

(1) 県 (A)

①敦賀Aは、これまでの設置地点（敦賀市役所敷地内）に敦賀市消防防災館（仮称）が建設されるため、2006年5月9日に測定機器を撤去し、同地点の地上に設置した仮設モニタ（可搬型モニタリングポスト）による監視・測定を実施した。その後、移転先の福井県嶺南振興局敦賀合同庁舎敷地内の新局舎への測定機器の移設が完了したため、2006年5月16日より新局舎での測定を開始した。

参考として、地点移動前後の線量率の比較、および移設期間中の仮設モニタの測定結果を表1に示す。

表1 局舎移転に伴う線量率測定結果

線量率単位：nGy/h

測定地点・種別	計算処理対象期間:平成18年5月	最高値	最低値	平均線量率(M)	標準偏差(σ)	M+3 σ を超えた時間	M+3 σ を超えた原因とその時間	
							降雨	その他
旧局舎	1日1時～9日9時	75.4	59.2	61.4	2.6	5	5	0
新局舎	16日17時～31日24時	61.7	49.8	52.1	1.8	6	6	0
仮設MP	9日10時～16日16時	85.0	72.5	76.2	2.7	3	3	0

(2) 原電 (B)

①五幡Bは東浦公民館の建替えのため、2004年9月30日に一旦撤去し、同地区にて仮設モニタ（可搬型モニタリングポスト）による監視・測定を実施していたが、同公民館敷地内の五幡MS新局舎工事が完了したので、2005年9月1日より新局舎の運用を開始した。

(3) 関西電力 (C)

①本郷Cでは、2004年7月から12月にかけて、隣接してiネットぴあプラザが設置され、周辺環境が変化した。

②大飯地区の空間線量率連続測定装置は、全観測局とも局舎の健全性維持のため、局舎屋根取替が実施され、測定環境が変化した。取替に伴う線量率の変化状況を表2に示す。

(工事期間：2005年6月22日～2005年8月26日)

表2 局舎屋根取替に伴う線量率の変化

単位：nGy/h

地点名	詳細名称	取替前	取替後
宮留C	エパノク大飯下三叉路	31.3	38.4
日角浜C	大島公民館	29.1	37.0
本郷C	おおい町役場	34.7	41.2
加斗C	加斗小学校	40.0	46.0
小浜C	勤労者体育センター(野球場)	39.1	45.6
西津C	小浜漁協西津支所	28.8	34.4
堅海C	県栽培漁業センター	31.8	39.6
川上C	川上公民館	41.0	48.7
鹿野C	佐分利小学校	36.6	41.5
名田庄C	名田庄観光館	37.6	43.9
上中C	若狭町上中体育館	27.6	35.1

局舎屋根取替前・後の値は、工事実施前(5月分)・後(9月分)の降雨時を除く平均値である。

③奥浦Cは、道路改良工事のため2007年10月から周辺で工事が行われ、周辺環境が変化している。

④丹生寮Cは、関電丹生寮の建て替えのため2008年1月から周辺で工事が行われ、周辺環境が変化している。

(4) 原子力機構(D)

①赤崎Dでは、2006年4月から9月にかけて、隣接する赤崎集落センターの改築により周辺環境が変化した。

3. 観測局の気象観測について

観測局に気象観測装置が実装されている局、またはその近傍に併設されている局は表3のとおりである。

表3 気象観測装置実装局

地区	気 象 観 測 局 名 称					備 考
敦賀	敦 賀A	浦 底A	立 石A	河 野A	沓 D	*：線量率連続測定地点から幾分離れて気象観測装置が設置されているもの。
	赤 崎D	杉 津B	甲楽城B	今 庄B	越前厨D	
白木	白 木A	白木峠A	松ヶ崎D	—	—	
美浜	丹 生A	竹 波A	坂 尻A	竹 波C*	新 庄C*	
	郷 市C	三 方C*	—	—	—	
大飯	小 浜A	日角浜A	宮 留A	阿納尻A	長 井A	
	日角浜C	本 郷C	小 浜C	名田庄C*	上 中C*	
高浜	小黒飯A	音 海A	神野浦A	山 中A	神野浦C	
	高 浜C*	夕潮台C*	—	—	—	

気象観測装置（雨量計、感雨計）が設置されていない局については、近くの他の地点で観測したデータで代用している。表4に示す。

表4 気象観測装置代用局一覧

測定地点	代用局	測定地点	代用局
ふげん北D	敦賀発電所気象露場	佐 田C	郷市C
立 石B		早 瀬C	
立石山頂B		日 向C	
ふげん西D		宮 留C	日角浜C
猪ヶ池B		川 上C	本郷C
浦 底B		鹿 野C	
水試裏B		加 斗C	小浜C
色ヶ浜B	西 津C		
五 幡B	杉津B	堅 海C	
阿 曾D	赤崎D	田ノ浦C	神野浦C
白 木ID	もんじゅ気象露場	音 海C	
白 木IID		小黒飯C	
白 木IID		日 引C	
白 木IID		田 井C	
奥 浦C	落合川ポンプ場	青 郷C	高浜（関電高浜営業所）
丹 生C		高 浜C	
丹生寮C		和 田C	
竹 波C		夕潮台C	舞鶴（関電舞鶴営業所）
菅 浜C			

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量 (92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
敦賀	立石A5	0.241	0.239	0.240	0.251	0.971	(0.234)	(0.936)	06.04
	立石山頂B1	0.221	0.230	0.231	0.222	0.904	0.226	0.904	04.04
	ふげん西D2	0.164	0.158	0.162	0.154	0.638	0.165	0.660	03.04
	猪ヶ池B1	0.232	0.238	0.233	0.225	0.928	0.230	0.920	04.04
	原子力館B	0.197	0.202	0.199	0.191	0.789	0.201	0.804	04.04
	水産試験場B2	0.178	0.182	0.179	0.176	0.715	0.175	0.700	04.04
	明神寮B2	0.224	0.230	0.227	0.220	0.901	0.232	0.928	04.04
	浦底A5	0.241	0.232	0.256	0.250	0.979	0.246	0.984	02.04
	水試裏B1	0.264	0.270	0.267	0.249	1.050	0.246	0.984	04.04
	色ヶ浜A3	0.260	0.246	0.276	0.270	1.051	0.263	1.052	02.04
	手ノ浦A3	0.218	0.206	0.217	0.226	0.867	0.218	0.872	02.04
	手ノ浦B3	0.228	0.234	0.230	0.221	0.913	0.221	0.884	04.04
	沓B5	0.273	0.279	0.273	0.252	1.077	0.259	1.036	04.04
	常宮A3	0.214	0.212	0.231	0.240	0.896	0.226	0.904	02.04
	常宮B3	0.236	0.240	0.235	0.226	0.937	0.230	0.920	04.04
	縄間B	0.266	0.274	0.266	0.254	1.060	0.265	1.060	04.04
	名子B1	0.175	0.177	0.174	0.170	0.696	(0.181)	(0.724)	06.04
	松島B3	0.215	0.217	0.216	0.205	0.853	0.211	0.844	04.04
	松栄B3	0.214	0.218	0.214	0.194	0.840	0.207	0.828	04.04
	赤崎A3	0.179	0.178	0.184	0.195	0.736	0.181	0.724	02.04
	阿曾A2	0.191	0.179	0.195	0.193	0.758	0.186	0.744	02.04
	杉津A4	0.166	0.168	0.172	0.174	0.679	0.169	0.676	02.04
	元比田A5	0.162	0.162	0.173	0.176	0.673	0.164	0.656	02.04
	大谷A3	0.172	0.176	0.174	0.172	0.694	0.174	0.696	02.04
大良B	0.180	0.182	0.178	0.168	0.708	0.171	0.684	04.04	
吉河A2	0.169	0.168	0.174	0.186	0.696	0.172	0.688	02.04	

過去の平均値：2002～2006年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
白木	白木ID2	0.230	0.226	0.231	0.219	0.906	0.228	0.912	03.04
	白木IID2	0.154	0.153	0.157	0.147	0.611	0.155	0.620	03.04
	白木IIID2	0.216	0.211	0.223	0.213	0.863	0.221	0.884	03.04
	白木IIVD2	0.196	0.195	0.201	0.191	0.783	0.199	0.796	03.04
	白木A4	0.228	0.217	0.239	0.238	0.922	0.223	0.892	02.04
	白木D6	0.243	0.237	0.244	0.240	0.964	0.246	0.984	03.04
	松ヶ崎D2	0.232	0.229	0.231	0.224	0.916	0.233	0.932	03.04
	白城神社A2	0.235	0.222	0.232	0.259	0.948	0.232	0.928	02.04
	白城神社D4	0.225	0.225	0.225	0.222	0.897	0.230	0.920	03.04
	門ヶ崎D3	0.256	0.254	0.258	0.255	1.023	0.262	1.048	03.04
	白木トンネル北口A2	0.247	0.240	0.255	0.258	1.000	0.263	1.052	02.04
	白木トンネル北口D3	0.234	0.239	0.234	0.231	0.938	0.238	0.952	03.04
	白木トンネル南口A2	0.229	0.220	0.234	0.225	0.908	0.228	0.912	02.04
	もんじゅ寮D1	0.238	0.234	0.234	0.234	0.940	0.244	0.976	04.04
美浜	奥浦C	0.212	0.213	0.220	0.221	0.866	0.219	0.876	96.04
	丹生診療所C6	0.174	0.163	0.180	0.172	0.689	0.175	0.700	97.01
	丹生A4	0.200	0.173	0.199	0.198	0.770	0.190	0.760	02.04
	丹生C3	0.181	0.175	0.187	0.183	0.726	0.182	0.728	96.04
	丹生小中学校A	0.200	0.198	0.209	0.217	0.825	0.206	0.824	04.04
	丹生寮C5	0.216	0.208	0.221	0.213	0.858	0.217	0.868	97.01
	竹波A4	0.210	0.212	0.219	0.228	0.869	0.213	0.852	02.04
	竹波C5	0.215	0.211	0.222	0.222	0.870	0.221	0.884	96.10
	馬背川C2	0.216	0.209	0.226	0.218	0.869	0.220	0.880	96.04
	菅浜A3	0.200	0.184	0.217	0.197	0.798	0.204	0.816	02.04
	菅浜C2	0.169	0.163	0.174	0.173	0.679	0.171	0.684	96.04
	けやき台C1	0.150	0.146	0.158	0.153	0.607	0.153	0.612	96.04
	佐田A2	0.169	0.170	0.182	0.181	0.702	0.178	0.712	02.04
	坂尻C2	0.169	0.165	0.176	0.173	0.683	0.171	0.684	96.04

過去の平均値：2002～2006年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
美浜	新庄C3	0.175	0.168	0.177	0.172	0.692	0.175	0.700	97.01
	和田A	0.182	0.171	0.181	0.193	0.727	0.180	0.720	04.04
	郷市C6	0.133	0.128	0.139	0.137	0.537	0.136	0.544	97.01
	久々子C1	0.144	0.143	0.151	0.147	0.585	0.147	0.588	96.04
	早瀬C5	0.135	0.133	0.141	0.142	0.551	0.139	0.556	97.07
	日向C5	0.156	0.154	0.161	0.162	0.633	0.159	0.636	97.01
	三方C4	0.119	0.116	0.125	0.123	0.483	0.120	0.480	96.10
	沓見C	0.186	0.184	0.193	0.187	0.750	0.190	0.760	04.04
大飯	赤礁崎C	0.105	0.104	0.109	0.110	0.428	0.108	0.432	04.04
	宮留奥A	0.124	0.115	0.119	0.128	0.487	0.117	0.468	04.04
	宮留A6	0.128	0.123	0.131	0.130	0.514	0.124	0.496	02.04
	宮留C3	0.118	0.112	0.122	0.122	0.474	0.119	0.476	02.10
	日角浜C3	0.114	0.109	0.119	0.119	0.461	0.115	0.460	02.10
	西村A2	0.127	0.118	0.126	0.127	0.499	0.123	0.492	02.04
	西村C1	0.088	0.083	0.092	0.092	0.355	0.089	0.356	96.04
	犬見C2	0.123	0.120	0.128	0.132	0.503	0.128	0.512	96.04
	本郷A4	0.134	0.126	0.137	0.126	0.524	0.140	0.560	02.04
	本郷C5	0.119	0.116	0.128	0.128	0.491	0.124	0.496	04.07
	鯉川A2	0.149	0.124	0.142	0.133	0.548	0.139	0.556	02.04
	加斗A4	0.142	0.131	0.142	0.150	0.564	0.139	0.556	02.04
	西勢A2	0.130	0.130	0.138	0.142	0.541	0.130	0.520	02.04
	東勢C1	0.122	0.117	0.132	0.125	0.496	0.126	0.504	96.04
	小浜市野球場C2	0.127	0.121	0.132	0.131	0.511	0.128	0.512	02.10
	小浜市大原A3	0.191	0.180	0.188	0.193	0.752	0.187	0.748	03.07
	若狭健康福祉センターA2	0.163	0.166	0.172	0.179	0.679	0.168	0.672	02.04
	西津A2(水産高校)	0.131	0.126	0.136	0.154	0.548	0.138	0.552	02.04
	西津C3	0.109	0.108	0.117	0.118	0.452	0.115	0.460	02.10

過去の平均値：2002～2006年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
大飯	堅海A2	0.145	0.134	0.146	0.151	0.576	0.147	0.588	02.04
	堅海C3	0.123	0.123	0.130	0.133	0.509	0.128	0.512	02.10
	泊C2	0.137	0.128	0.141	0.139	0.545	0.137	0.548	96.04
	川上C4	0.123	0.121	0.132	0.128	0.504	0.126	0.504	02.07
	鹿野C5	0.116	0.119	0.124	0.128	0.487	0.123	0.492	02.10
	名田庄C3	0.128	0.122	0.135	0.128	0.513	0.127	0.508	02.10
	上中C3	0.105	0.104	0.110	0.112	0.431	0.106	0.424	02.10
高浜	音海A3	0.129	0.123	0.139	0.122	0.514	0.125	0.500	02.04
	音海C4	0.122	0.116	0.127	0.126	0.491	0.125	0.500	99.01
	音海県道C1	0.110	0.103	0.113	0.113	0.439	0.111	0.444	96.04
	田ノ浦C	0.115	0.107	0.119	0.120	0.461	0.118	0.472	99.01
	小黒飯A3	0.129	0.130	0.144	0.143	0.547	0.139	0.556	02.04
	小黒飯C3	0.122	0.118	0.126	0.126	0.492	0.126	0.504	99.01
	神野小学校A	0.139	0.137	0.146	0.144	0.565	0.137	0.548	04.04
	神野A4	0.113	0.110	0.115	0.125	0.464	0.111	0.444	02.04
	神野浦C2	0.097	0.092	0.102	0.100	0.391	0.099	0.396	96.04
	山中A3	0.141	0.129	0.145	0.147	0.561	0.131	0.524	02.04
	山中C2	0.091	0.084	0.095	0.094	0.364	0.092	0.368	96.04
	下A2	0.098	0.104	0.113	0.113	0.428	0.109	0.436	02.04
	日引C3	0.111	0.106	0.114	0.115	0.446	0.113	0.452	96.04
	上瀬A2	0.098	0.085	0.099	0.095	0.377	0.094	0.376	02.04
	六路谷A3	0.109	0.108	0.112	0.118	0.447	0.106	0.424	02.04
	六路谷C2	0.130	0.121	0.136	0.129	0.516	0.131	0.524	96.04
	高野C	0.126	0.117	0.131	0.122	0.496	0.127	0.508	04.04
	青郷C2	0.126	0.121	0.132	0.130	0.509	0.128	0.512	96.04
	東三松A4	0.140	0.144	0.150	0.149	0.583	0.148	0.592	02.04
	東三松C2	0.116	0.111	0.122	0.126	0.475	0.119	0.476	96.04

過去の平均値：2002～2006年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		92日換算値	年間積算値	
高浜	高浜町役場A3	0.107	0.096	0.109	0.111	0.423	0.108	0.432	02.04
	高浜C	0.107	0.105	0.111	0.113	0.436	0.110	0.440	99.01
	和田C3	0.117	0.109	0.120	0.118	0.464	0.117	0.468	96.04
	田井C3	0.136	0.129	0.139	0.142	0.546	0.138	0.552	99.01
	夕潮台C2	0.099	0.094	0.103	0.105	0.401	0.102	0.408	96.04
対照	金津A2	0.145	0.138	0.150	0.158	0.592	0.146	0.584	02.04
	川西A3	0.129	0.118	0.134	0.135	0.517	0.127	0.508	02.04
	福井市原目町A2	0.145	0.135	0.153	0.152	0.586	0.144	0.576	02.04
	殿下A3	0.177	0.153	0.172	0.175	0.677	0.164	0.656	02.04
	勝山A2	0.169	0.147	0.169	0.165	0.649	0.155	0.620	02.04
	美山A4	0.152	0.128	0.152	0.155	0.588	0.139	0.556	02.04
	宮崎A3	0.143	0.137	0.155	0.143	0.578	0.143	0.572	02.04
	武生A2	0.156	0.146	0.168	0.168	0.638	0.157	0.628	02.04
	越前市妙法寺町A	0.222	0.205	0.215	0.225	0.868	(0.221)	(0.884)	06.04
	池田A2	0.150	0.131	0.158	0.149	0.588	0.146	0.584	02.04

過去の平均値：2002~2006年度

＜第10表に関する注釈＞

(1) 第10表に示した年間積算値は、四半期値の和である。過去の平均値は、2002年度第1期から2006年度第4期までのデータから算出した。2002年度第1期以降に設置状況や周辺環境に変化のあった場合は、その時点からの平均値を示した。

設置状況等の変化により過去のデータが2年未満の地点については、過去平均値を（ ）で示した。

(2) 県は2002年3月末に実施したTLD設置箱および校正用標準照射装置の更新に伴い、積算線量値が従来と比べて大きく変化したので、地点番号をひとつ進めた。設置に際し、従来の設置地点から移動した等の地点があり、それは以下の表のとおりである。

地区	地点名	詳細地点	移動距離または周辺状況変化
敦賀	色ヶ浜A3	本隆寺	近傍に簡易浄化槽設置
	杉津A4	東浦小中学校	約50m南に移動
白木	白木ト初北口A2		約20m東北東に移動
	白木ト初南口A2		約20m東南東に移動
美浜	丹生A4	中村旅館	約5m東に移動
	佐田A2	山東保育所	約7m南に移動
大飯	加斗A4	加斗小学校	約20m西北西に移動
	鯉川A2	牛尾神社	約10m東に移動
	小浜市大原A3	栖雲寺	約30m南に移動。その後も周辺環境が変化しており、詳細は(4)参照。
高浜	下A2	産霊神社	約20m西に移動
	山中A3	内浦小中学校	約50m西に移動
	上瀬A2	山神神社	約5m東南東に移動
	六路谷A3	ふれあい会館	約500m南に移動
	高浜町役場A3	前庭	約2m西に移動
対照	福井市原目町A2	福井分析管理室	約100m東に移動

(3) 関西電力は併設する大飯地区空間線量率連続測定装置の取り替え工事に伴い、下記地点を従来の設置場所から移動した。それに伴い、川上Cは2002年度第2期より、その他の地点は2002年度第3期より、地点番号をひとつ進めた。

地点名	詳細名称	移動距離	移動年月日
宮 留C 3	工場パーク大飯下三叉路	約3m北に移動	2002年10月4日
日角浜C 3	大島公民館	約8m南南東に移動	2002年10月4日
本 郷C 4	大飯町役場	約3m西に移動	2002年10月4日
小浜市野球場C 2	勤労者体育センター	約8m南東に移動	2002年10月4日
西 津C 3	小浜漁協西津支所	約70m北北東に移動	2002年10月4日
堅 海C 3	県栽培漁業センター	約450m南西に移動	2002年10月4日
川 上C 4	川上公民館	約7m北北西に移動	2002年9月19日
鹿 野C 5	佐分利小学校	約5m西に移動	2002年10月4日
名田庄C 3	名田庄観光館	約50m南東に移動	2002年10月4日
上 中C 3	若狭町上中体育館	約12m東に移動	2002年10月4日

(4) 小浜市大原A2は、隣接民家の工事及び周辺の整備工事のため2003年7月までに水平方向に約3m地点移動するとともに、掘削により垂直方向に約0.7m下がった。その後も2003年10月までに盛土が行われたので2003年度第2期より地点番号をひとつ進め、「小浜市大原A3」とした。

(5) 本郷C4は、2004年7月から12月にかけて、隣接してiネットぴあプラザが設置され、周辺

環境が変化しているが、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱ってきた。2007年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定（危険率5%）を行ったところ、有意差が認められたため、2004年度第2期から地点番号をひとつ進めて「本郷C5」とする。

- (6) 高浜町役場A3は、2005年3月末に周辺で工事が行われ、周辺環境が変化するとともに、約2m移動したが、これまで、暫定的に従来と同じ地点番号として取り扱ってきた。2007年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定（危険率5%）を行ったところ、有意差が認められなかったため、従来と同一地点として扱う。
- (7) 日本原電株は、2005年度から積算線量測定に、これまでのTLDに替えて電子式線量計を採用している。従って、2005年度第1期より地点番号を一つずつ進めた。
- (8) 県は、2006年度第1期から、新規に対照地区の越前市妙法寺Aで測定を開始した。
- (9) 立石A4は、2006年2月から3月にかけて、周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。2007年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定（危険率5%）を行ったところ、有意差が認められたため、2006年度第1期から地点番号をひとつ進めて「立石A5」とする。
- (10) 名子Bは、NTTによる携帯電話の無線基地局の設置（工事期間：2006年3月～4月）に伴い周辺環境が変化した。暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。しかし、2006年度の年間積算値において、平常の変動幅を下回ったため、2006年度第1期から地点番号をひとつ進めて「名子B1」とする。
- (11) (独)日本原子力研究開発機構は、2007年度第1期から積算線量測定に、これまでのTLDに替えて蛍光ガラス線量計（RPLD）を採用している。従って、2007年度第1期から地点番号を一つずつ進めた。
- (12) 東三松C2は、2007年7月より約2m移動するとともに、道路拡張工事のため2007年9月から10月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化しているが、今期の測定結果が過去の平常の範囲内であることからデータの蓄積を待つ有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (13) 奥浦Cは、道路改良工事のため2007年10月から周辺で工事が行われており、周辺環境が変化しているが、今期の測定結果が過去の平常の変動幅内であることから、データの蓄積を待つ有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (14) 音海A3は、2008年1月に駐車場整備のため、約1.5m移動して、周辺環境が変化しているが、今期の測定結果が過去の平常の変動幅内であることから、データの蓄積を待つ有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (15) 山中A3は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約0.7m移動して、周辺環境が変化している。今期の測定結果は、僅かに過去の平常の変動幅を上回ったが、データの蓄積を待つ有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (16) 竹波A4は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約2m移動して、周辺環境が変化しているが、今期の測定結果が過去の平常の変動幅内であることから、データの蓄積を待つ有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (17) 丹生寮C5は、関電丹生寮建て替えのため2008年1月から周辺で工事が行われており、周辺環境が変化しているが、今期の測定結果が過去の平常の変動幅内であることから、データの蓄積を待つ有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			敦賀	浦底A	4月	12.9	0.8	3.6	2.5	27.8	1.6	7.6	5.3	56	41
		5月	19.3	0.4	3.8	3.4	39.6	0.8	8.0	7.3	55	41	47	3	0
		6月	38.2	0.5	3.9	4.9	84.9	1.0	7.9	10.1	62	43	51	4	1
		7月	51.5	0.3	5.0	6.5	107.0	0.5	10.0	13.3	63	44	51	4	1
		8月	28.3	0.3	4.7	4.3	55.1	0.6	9.1	8.2	65	44	51	4	1
		9月	23.2	0.4	3.6	3.9	43.8	1.0	6.9	7.3	61	42	52	3	0
		10月	8.2	0.8	3.3	1.7	16.2	1.4	6.3	3.1	61	44	52	3	0
		11月	18.0	0.6	4.0	2.7	33.9	1.3	7.8	5.4	61	43	51	3	0
		12月	12.0	0.6	3.6	1.8	22.0	1.1	6.8	3.4	61	44	52	3	0
		1月	17.9	0.5	3.1	2.2	34.3	1.0	5.9	4.2	63	44	53	3	0
		2月	6.8	0.6	2.6	1.3	12.7	1.1	4.8	2.3	63	46	53	3	1
		3月	13.8	0.5	3.3	2.2	28.2	1.0	6.4	4.4	61	44	52	3	1
		年間	51.5	0.3	3.7	3.5	107.4	0.5	7.3	7.1	65	41	51	4	6
		過去実績	41.1	0.1	3.8	3.5	91.1	0.2	7.8	7.1	62	40	49	3	10
	立石A	4月	7.7	0.8	2.9	1.4	17.1	1.8	6.3	3.1	52	40	46	2	0
		5月	12.3	0.4	2.9	2.0	26.5	0.9	6.3	4.3	59	40	48	3	2
		6月	10.4	0.5	2.9	1.9	21.7	1.2	6.0	4.1	61	43	49	3	1
		7月	15.8	0.5	3.2	2.4	34.6	0.9	6.7	5.0	58	41	49	3	0
		8月	15.3	0.5	3.7	2.4	29.2	1.0	7.6	4.9	60	39	49	4	2
		9月	15.8	0.5	3.2	2.4	31.9	0.9	6.3	4.7	60	42	50	3	1
		10月	9.1	0.8	3.2	1.4	18.4	1.9	6.2	2.8	60	42	51	3	1
		11月	9.1	0.6	3.3	1.8	17.7	1.4	6.7	3.6	56	42	50	3	0
		12月	10.1	0.4	3.3	1.6	20.1	0.8	6.6	3.2	59	41	49	3	0
		1月	9.1	0.5	2.8	1.6	18.0	1.0	5.4	3.2	59	43	51	3	0
		2月	7.3	0.7	2.6	1.2	13.4	1.3	5.1	2.3	59	45	52	3	0
		3月	8.3	0.5	2.8	1.4	17.0	1.0	5.6	2.8	58	44	50	3	0
		年間	15.8	0.4	3.1	1.8	34.6	0.8	6.3	3.8	61	39	50	3	7
		過去実績	20.7	0.1	3.4	2.2	42.0	0.2	7.2	4.7	59	38	47	3	9

過去実績：2004～2006年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。

なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
白木	白木A	4月	11.9	0.6	3.1	2.1	25.0	1.2	6.5	4.3	56	42	48	2	2
		5月	18.6	0.4	3.7	3.3	40.3	0.8	7.7	7.2	60	41	48	3	3
		6月	35.1	0.5	3.7	4.3	72.7	0.9	7.3	8.8	59	43	51	3	0
		7月	24.4	0.3	4.7	5.0	49.0	0.5	9.2	9.6	62	44	51	3	1
		8月	21.1	0.4	4.3	3.7	41.5	0.7	8.4	7.1	68	43	52	4	1
		9月	18.3	0.4	3.3	2.9	34.8	0.9	6.3	5.5	60	46	52	3	2
		10月	7.5	0.9	3.1	1.5	14.9	1.7	5.9	2.8	59	44	52	3	0
		11月	14.4	0.7	3.4	2.1	27.5	1.4	6.6	4.1	60	44	51	3	0
		12月	11.2	0.4	3.0	1.5	19.4	0.9	5.7	2.9	63	46	53	3	2
		1月	14.6	0.5	2.8	2.1	27.8	1.0	5.3	3.9	61	45	54	3	0
		2月	5.9	0.6	2.4	1.0	10.7	1.0	4.5	2.0	60	47	53	3	0
		3月	20.5	0.5	3.1	2.3	41.2	1.1	6.0	4.5	59	46	52	3	0
		年間	35.1	0.3	3.4	3.0	72.7	0.5	6.7	5.9	68	41	51	3	11
		過去実績	37.4	0.1	3.6	3.2	71.8	0.1	7.3	6.6	62	41	49	3	9
		白木	白木峠A	4月	6.9	0.6	2.4	1.1	15.6	1.2	5.1	2.3	55	42	48
5月	9.2			0.4	2.4	1.5	19.2	0.7	5.0	3.2	60	42	50	4	0
6月	11.2			0.4	2.4	1.6	22.2	0.8	4.6	3.2	64	44	52	4	1
7月	10.2			0.3	2.8	1.8	20.4	0.5	5.5	3.7	66	43	51	3	1
8月	9.5			0.3	2.9	1.8	19.7	0.6	5.8	3.8	63	44	50	4	1
9月	10.5			0.4	2.5	1.6	22.8	0.8	4.9	3.2	66	44	52	3	2
10月	5.9			0.8	2.7	1.0	11.2	1.4	5.1	2.0	60	45	53	3	0
11月	9.2			0.6	2.7	1.3	18.8	1.3	5.3	2.6	61	43	52	3	0
12月	7.4			0.4	2.7	1.1	13.8	0.8	5.2	2.2	62	44	52	3	1
1月	7.7			0.5	2.4	1.4	15.0	1.0	4.6	2.6	62	47	54	3	0
2月	4.9			0.5	2.2	0.9	9.5	0.9	4.0	1.7	64	47	55	3	0
3月	6.4			0.5	2.4	1.1	12.9	1.0	4.5	2.0	61	46	53	3	0
年間	11.2			0.3	2.5	1.4	22.8	0.5	5.0	2.8	66	42	52	4	6
過去実績	16.1			0.0	2.8	1.6	34.2	0.0	5.6	3.3	63	34	49	3	16

過去実績：2004～2006年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差	M+3σを超えた数
美浜	丹生A	4月	14.3	0.8	3.5	2.4	29.2	1.7	7.2	4.9	56	42	49	3	0
		5月	14.0	0.4	3.5	2.8	29.5	0.8	6.9	5.8	62	43	51	4	0
		6月	14.7	0.4	3.0	2.3	30.2	0.8	5.8	4.6	64	46	52	3	1
		7月	15.6	0.3	3.4	2.7	30.4	0.6	6.5	5.3	62	45	52	3	1
		8月	13.2	0.4	3.8	2.9	25.1	0.7	7.3	5.7	64	44	52	4	1
		9月	14.7	0.5	3.0	2.1	29.6	0.9	5.7	4.1	62	45	53	3	1
		10月	8.7	0.9	3.2	1.5	16.9	1.7	6.1	2.9	63	45	54	3	2
		11月	12.3	0.7	3.7	2.3	25.1	1.4	7.1	4.5	62	44	53	3	2
		12月	9.6	0.6	3.1	1.6	16.7	1.1	5.9	2.9	62	47	53	3	0
		1月	10.5	0.6	2.9	1.9	17.6	1.1	5.3	3.6	64	47	55	3	0
		2月	8.6	0.6	2.6	1.3	15.1	1.0	4.7	2.4	64	48	56	3	0
		3月	13.3	0.6	3.2	2.0	26.2	1.2	5.9	3.9	60	46	54	3	0
		年間	15.6	0.3	3.2	2.2	30.4	0.6	6.2	4.4	64	42	53	4	8
		過去実績	30.9	0.1	3.4	2.4	68.4	0.2	6.8	4.9	62	42	50	3	12
竹波A	竹波A	4月	19.9	0.8	4.0	3.0	44.8	1.7	9.0	6.7	52	40	45	2	0
		5月	17.3	0.4	3.7	3.0	38.6	1.0	8.3	6.7	54	40	45	2	1
		6月	25.8	0.4	3.9	3.7	54.2	0.9	8.1	7.7	59	42	48	3	2
		7月	25.9	0.3	5.0	4.9	56.9	0.6	10.5	10.3	59	40	48	3	1
		8月	19.1	0.4	4.9	4.0	39.5	0.7	10.0	8.1	60	41	49	3	2
		9月	19.1	0.4	3.6	3.1	34.9	1.0	7.2	6.0	61	43	50	3	2
		10月	11.4	1.1	3.7	1.9	22.8	2.1	7.4	3.7	58	42	50	3	1
		11月	21.0	0.7	4.2	2.8	44.6	1.5	8.6	5.8	58	40	49	3	1
		12月	12.3	0.5	3.7	2.0	25.2	1.1	7.3	4.0	66	44	51	3	2
		1月	20.3	0.5	3.5	2.8	41.5	1.0	6.8	5.5	62	44	52	3	1
		2月	9.2	0.7	3.1	1.8	18.9	1.2	6.0	3.6	60	44	52	3	1
		3月	19.7	0.6	3.9	2.7	42.4	1.2	7.9	5.7	59	44	50	3	2
		年間	25.9	0.3	3.9	3.1	56.9	0.6	8.1	6.6	66	40	49	4	16
		過去実績	40.8	0.1	4.2	3.7	87.7	0.3	9.2	8.0	57	39	47	2	10

過去実績：2004～2006年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものであると見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
大飯	日角浜A	4月	11.3	0.7	3.1	2.3	24.7	1.5	6.6	5.0	52	42	47	2	0
		5月	15.9	0.4	3.3	2.8	33.9	0.8	6.8	6.1	58	41	50	3	0
		6月	14.9	0.5	2.9	2.3	30.9	0.9	5.8	4.8	63	44	51	3	4
		7月	16.0	0.4	3.4	3.0	34.6	0.7	6.8	6.0	60	43	51	3	1
		8月	14.2	0.3	3.9	3.4	29.2	0.6	7.8	6.9	61	44	51	3	0
		9月	13.7	0.5	3.0	2.2	27.2	0.9	5.7	4.2	62	46	52	3	3
		10月	9.0	0.5	3.1	1.7	17.6	0.9	5.9	3.3	58	44	52	3	0
		11月	13.2	0.4	4.2	3.1	25.1	0.7	8.0	5.9	62	46	53	3	0
		12月	11.7	0.5	3.9	2.2	22.3	1.1	7.4	4.2	63	45	54	3	0
		1月	11.4	0.8	3.4	2.6	24.1	1.5	6.3	4.9	61	46	54	3	0
		2月	9.7	0.5	3.0	2.1	18.7	1.0	5.6	3.9	61	46	54	3	0
		3月	10.9	0.6	3.0	2.0	21.1	1.1	6.0	3.9	59	46	51	3	1
		年間	16.0	0.3	3.4	2.6	34.6	0.6	6.6	5.1	63	41	52	3	9
		過去実績	20.0	0.1	3.6	2.8	41.9	0.3	7.4	5.8	60	41	49	3	9
宮留A		4月	11.2	0.6	3.0	2.3	22.8	1.2	6.1	4.7	58	42	49	3	1
		5月	14.5	0.4	3.3	2.9	29.8	0.8	6.8	6.0	59	43	49	3	1
		6月	15.1	0.5	2.9	2.3	30.0	1.0	5.8	4.8	59	44	50	3	3
		7月	16.6	0.4	3.4	3.0	32.9	0.8	6.8	6.2	61	44	51	3	1
		8月	14.5	0.3	4.0	3.5	30.6	0.6	8.2	7.3	63	43	50	3	3
		9月	13.9	0.4	2.9	2.3	29.3	0.9	5.9	4.7	60	44	50	3	2
		10月	9.6	0.5	3.2	1.9	18.0	0.9	6.3	3.7	59	43	51	3	0
		11月	13.4	0.4	4.3	3.2	28.4	0.8	8.6	6.5	58	43	51	3	0
		12月	11.8	0.6	3.9	2.3	24.6	1.2	7.5	4.5	62	45	52	3	0
		1月	11.3	0.8	3.4	2.6	22.4	1.5	6.5	5.0	62	44	53	3	1
		2月	10.9	0.5	3.1	2.2	20.8	1.0	5.9	4.1	58	46	52	2	0
		3月	12.3	0.5	3.1	2.1	24.0	1.1	6.1	4.2	60	45	50	2	2
		年間	16.6	0.3	3.4	2.6	32.9	0.6	6.7	5.3	63	42	51	3	14
		過去実績	19.5	0.1	3.6	2.9	43.0	0.2	7.6	6.1	59	40	48	3	13

過去実績：2004～2006年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
高浜	小黒飯A	4月	5.8	0.6	2.2	1.0	12.3	1.2	4.6	2.2	54	41	48	3	0
		5月	7.0	0.4	2.4	1.4	16.3	0.8	5.1	3.1	56	41	48	3	2
		6月	9.1	0.8	2.3	1.3	19.8	1.5	4.7	2.8	59	42	48	3	2
		7月	9.5	0.5	2.8	1.7	22.3	1.0	5.9	3.7	60	40	48	3	4
		8月	9.9	0.4	2.7	1.7	22.3	0.8	5.6	3.7	59	41	49	4	0
		9月	6.7	0.6	2.6	1.3	14.3	1.1	5.3	2.6	58	43	49	3	0
		10月	6.7	1.0	2.7	1.1	14.0	1.9	5.5	2.2	57	41	50	3	0
		11月	9.3	0.4	3.0	1.6	18.5	0.8	6.1	3.3	59	43	50	3	2
		12月	9.0	0.7	3.4	1.5	16.5	1.5	6.5	2.9	61	45	52	3	0
		1月	10.0	0.6	2.9	2.0	21.8	1.3	5.5	3.9	59	45	53	3	0
		2月	8.2	0.5	2.5	1.2	16.2	1.1	4.8	2.5	58	45	52	2	0
		3月	6.5	0.6	2.5	1.1	13.4	1.2	5.0	2.2	55	43	50	2	0
		年間	10.0	0.4	2.7	1.5	22.3	0.8	5.4	3.0	61	40	50	3	10
		過去実績	9.8	0.2	2.7	1.5	21.7	0.3	5.7	3.2	59	39	47	3	11
音海A	音海A	4月	7.4	0.7	2.3	1.2	16.4	1.4	5.1	2.7	51	41	46	2	0
		5月	8.0	0.4	2.6	1.5	19.1	0.9	5.3	3.3	58	41	49	4	0
		6月	7.4	0.6	2.4	1.3	17.0	1.2	4.8	2.7	60	42	49	3	1
		7月	9.0	0.4	2.7	1.6	19.8	0.8	5.5	3.4	59	41	49	3	2
		8月	9.3	0.4	2.6	1.7	18.6	0.8	5.3	3.4	59	43	50	3	0
		9月	5.7	0.6	2.4	1.2	11.3	1.2	4.7	2.3	64	44	50	3	2
		10月	6.5	0.9	2.6	1.1	13.9	1.8	5.2	2.4	59	43	51	3	0
		11月	9.7	0.5	3.2	1.9	19.5	0.9	6.3	3.8	58	44	52	3	0
		12月	8.4	0.7	3.9	1.8	16.3	1.3	7.5	3.5	61	44	52	3	0
		1月	10.4	0.7	3.2	2.3	21.5	1.4	6.3	4.6	59	43	51	3	0
		2月	8.5	0.5	2.7	1.5	16.9	1.1	5.5	3.1	57	43	50	3	0
		3月	7.9	0.7	2.7	1.3	16.0	1.3	5.4	2.7	57	45	50	2	0
		年間	10.4	0.4	2.8	1.6	21.5	0.8	5.6	3.3	64	41	50	3	5
		過去実績	11.1	0.2	2.9	1.7	23.7	0.3	6.1	3.5	63	41	48	3	13

過去実績：2004～2006年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
高浜	神野浦A	4月	6.4	0.7	2.2	1.1	13.6	1.5	4.8	2.5	55	41	47	2	2
		5月	8.4	0.4	2.4	1.4	19.7	0.7	5.0	3.1	58	42	49	3	0
		6月	7.8	0.7	2.5	1.4	16.0	1.5	5.0	2.8	59	44	50	3	1
		7月	10.1	0.5	2.8	1.7	21.3	0.9	5.7	3.6	59	42	49	3	1
		8月	9.1	0.4	2.5	1.7	19.4	0.6	5.0	3.4	60	43	50	3	0
		9月	6.3	0.5	2.5	1.2	12.1	0.9	4.9	2.4	61	44	51	3	4
		10月	6.6	0.9	2.6	1.1	12.7	2.0	5.1	2.2	58	44	51	3	0
		11月	10.5	0.3	3.0	1.8	20.4	0.7	5.8	3.6	60	44	52	3	0
		12月	8.8	0.6	3.5	1.7	17.6	1.2	6.8	3.3	61	43	52	3	0
		1月	10.0	0.6	3.0	2.2	20.2	1.2	5.8	4.3	59	43	52	3	0
		2月	8.1	0.5	2.5	1.4	15.7	1.0	4.9	2.8	59	45	51	3	2
		3月	7.1	0.6	2.5	1.2	14.5	1.2	5.0	2.4	57	45	51	2	0
		年間	10.5	0.3	2.7	1.6	21.3	0.6	5.3	3.1	61	41	50	3	10
		過去実績	10.1	0.2	2.7	1.5	22.1	0.4	5.6	3.3	64	41	49	3	9

過去実績：2004～2006年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	粒子状 ¹³¹ I濃度	ガス状 ¹³¹ I濃度	過去実績		機関
					粒子状 ¹³¹ I	ガス状 ¹³¹ I	
敦賀	浦底A	07.04.05~07.05.09	—	—	—	—	A
		07.05.09~07.06.06	—	—			
		07.06.06~07.07.04	—	—			
		07.07.04~07.08.09	—	—			
		07.08.09~07.09.05	—	—			
		07.09.05~07.10.03	—	—			
		07.10.03~07.11.07	—	—			
		07.11.07~07.12.05	—	—			
		07.12.05~08.01.09	—	—			
		08.01.09~08.02.06	—	—			
		08.02.06~08.03.05	—	—			
		08.03.05~08.04.10	—	—			
白木	白木A	07.04.04~07.05.09	—	—	—	—	A
		07.05.09~07.06.06	—	—			
		07.06.06~07.07.04	—	—			
		07.07.04~07.08.09	—	—			
		07.08.09~07.09.05	—	—			
		07.09.05~07.10.03	—	—			
		07.10.03~07.11.07	—	—			
		07.11.07~07.12.05	—	—			
		07.12.05~08.01.09	—	—			
		08.01.09~08.02.06	—	—			
		08.02.06~08.03.05	—	—			
		08.03.05~08.04.09	—	—			
美浜	竹波A	07.04.04~07.05.09	—	—	—	—	A
		07.05.09~07.06.06	—	—			
		07.06.06~07.07.04	—	—			
		07.07.04~07.08.09	—	—			
		07.08.09~07.09.05	—	—			
		07.09.05~07.10.03	—	—			
		07.10.03~07.11.07	—	—			
		07.11.07~07.12.05	—	—			
		07.12.05~08.01.09	—	—			
		08.01.09~08.02.06	—	—			
		08.02.06~08.03.05	—	—			
		08.03.05~08.04.09	—	—			

過去実績：2004~2006年度

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	粒子状 ¹³¹ I濃度	ガス状 ¹³¹ I濃度	過去実績		機関
					粒子状 ¹³¹ I	ガス状 ¹³¹ I	
大飯	宮留A	07.04.04~07.05.08	—	—	—	—	A
		07.05.08~07.06.05	—	—			
		07.06.05~07.07.04	—	—			
		07.07.04~07.08.08	—	—			
		07.08.08~07.09.04	—	—			
		07.09.04~07.10.03	—	—			
		07.10.03~07.11.06	—	—			
		07.11.06~07.12.04	—	—			
		07.12.04~08.01.09	—	—			
		08.01.09~08.02.05	—	—			
		08.02.05~08.03.04	—	—			
		08.03.04~08.04.09	—	—			
高浜	小黒飯A	07.04.03~07.05.08	—	—	—	—	A
		07.05.08~07.06.05	—	—			
		07.06.05~07.07.03	—	—			
		07.07.03~07.08.08	—	—			
		07.08.08~07.09.04	—	—			
		07.09.04~07.10.02	—	—			
		07.10.02~07.11.06	—	—			
		07.11.06~07.12.04	—	—			
		07.12.04~08.01.08	—	—			
		08.01.08~08.02.05	—	—			
		08.02.05~08.03.04	—	—			
		08.03.04~08.04.08	—	—			

過去実績：2004~2006年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²³ Na	⁵⁴ Mn	⁵⁶ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	立石B	07.04.02~07.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	B	
	"	07.05.02~07.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-		
	"	07.06.01~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-		
	"	07.07.02~07.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-		
	"	07.08.01~07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-		
	"	07.09.03~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-		
	"	07.10.01~07.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-		
	"	07.11.01~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-		
	"	07.12.03~08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-		
	"	08.01.04~08.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-		
	"	08.02.04~08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-		
	"	08.03.03~08.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-		
	"	浦底A	07.04.05~07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	A
	"	"	07.05.09~07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	
	"	"	07.06.06~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-	
	"	"	07.07.04~07.08.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	-	-	
	"	"	07.08.09~07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	
	"	"	07.09.05~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	
	"	"	07.10.03~07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	"	"	07.11.07~07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	"	"	07.12.05~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	
	"	"	08.01.09~08.02.06	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	
	"	"	08.02.06~08.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	
	"	"	08.03.05~08.04.10	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	"	浦底B	07.04.02~07.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	B
	"	"	07.05.02~07.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	"	"	07.06.01~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	
	"	"	07.07.02~07.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	
	"	"	07.08.01~07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	
	"	"	07.09.03~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	
	"	"	07.10.01~07.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	
	"	"	07.11.01~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-	
	"	"	07.12.03~08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
"	"	08.01.04~08.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-		
"	"	08.02.04~08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-		
"	"	08.03.03~08.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-		
"	色ヶ浜B	07.04.02~07.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	B	
"	"	07.05.02~07.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-		
"	"	07.06.01~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-		
"	"	07.07.02~07.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-		
"	"	07.08.01~07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-		
"	"	07.09.03~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-		

過去実績：2004~2006年度

(注) ヨウ素-131は、ガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

以下の核種分析結果の表では、/は調査対象外、-は検出限界値未満、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を意味する。

過去実績の欄で、-と記したものは、検出値が1例もないものである。濃度は採取時の値である。

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位: mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁶ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	色ヶ浜B	07.10.01~07.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	B	
	"	07.11.01~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-		
	"	07.12.03~08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-		
	"	08.01.04~08.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-		
	"	08.02.04~08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-		
	"	08.03.03~08.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-		
白木	白木A	07.04.04~07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	A	
	"	07.05.09~07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-		
	"	07.06.06~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-		
	"	07.07.04~07.08.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-		
	"	07.08.09~07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-		
	"	07.09.05~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-		
	"	07.10.03~07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-		
	"	07.11.07~07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-		
	"	07.12.05~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-		
	"	08.01.09~08.02.06	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-		
	"	08.02.06~08.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-		
	"	08.03.05~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-		
	松ヶ崎D	07.04.02~07.05.01	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	D	
	"	07.05.01~07.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-		
	"	07.06.01~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-		
	"	07.07.02~07.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-		
	"	07.08.01~07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-		
	"	07.09.03~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-		
	"	07.10.01~07.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-		
	"	07.11.01~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-		
"	07.12.03~08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-			
"	08.01.04~08.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-			
"	08.02.01~08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-			
"	08.03.03~08.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-			
美浜	竹波A	07.04.04~07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-		A
	"	07.05.09~07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-		
	"	07.06.06~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-		
	"	07.07.04~07.08.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-		
	"	07.08.09~07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-		
	"	07.09.05~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-		
	"	07.10.03~07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-		
	"	07.11.07~07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-		
	"	07.12.05~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-		
	"	08.01.09~08.02.06	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-		
	"	08.02.06~08.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-		
	"	08.03.05~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-		

過去実績: 2004~2006年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	丹生C	07.04.02~07.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	C
	"	07.05.02~07.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-	
	"	07.06.01~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	
	"	07.07.02~07.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	"	07.08.01~07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	"	07.09.03~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	
	"	07.10.01~07.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
	"	07.11.01~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	
	"	07.12.03~08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
	"	08.01.04~08.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	
	"	08.02.01~08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	
"	08.03.03~08.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-		
大飯	宮留A	07.04.04~07.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	A
	"	07.05.08~07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-	
	"	07.06.05~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	
	"	07.07.04~07.08.08	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	"	07.08.08~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-	
	"	07.09.04~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	
	"	07.10.03~07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	
	"	07.11.06~07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	
	"	07.12.04~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	"	08.01.09~08.02.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-	
	"	08.02.05~08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	"	08.03.04~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	宮留C	07.04.03~07.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	C
	"	07.05.07~07.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-	
	"	07.06.04~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	
	"	07.07.03~07.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	
	"	07.08.03~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	
	"	07.09.04~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	
	"	07.10.02~07.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
"	07.11.02~07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-		
"	07.12.04~08.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-		
"	08.01.07~08.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-		
"	08.02.04~08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-		
"	08.03.04~08.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-		
高浜	音海C	07.04.03~07.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	C
	"	07.05.07~07.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	
	"	07.06.04~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	
	"	07.07.03~07.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	"	07.08.03~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	
"	07.09.04~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-		

過去実績：2004~2006年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位: mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関			
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs				
高浜	音海C	07.10.02~07.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	C			
	"	07.11.02~07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-				
	"	07.12.04~08.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-				
	"	08.01.07~08.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-				
	"	08.02.04~08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-				
	"	08.03.04~08.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-				
	小黒飯A	07.04.03~07.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	A		
		"	07.05.08~07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	-	-			
		"	07.06.05~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-			
		"	07.07.03~07.08.08	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-			
		"	07.08.08~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-			
		"	07.09.04~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-			
		"	07.10.02~07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	-	-			
		"	07.11.06~07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-			
		"	07.12.04~08.01.08	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-			
		"	08.01.08~08.02.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-			
		"	08.02.05~08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-			
		"	08.03.04~08.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-			
		小黒飯C	07.04.03~07.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-		-	C
			"	07.05.07~07.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-		-	
"	07.06.04~07.07.03		-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-				
"	07.07.03~07.08.03		-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-				
"	07.08.03~07.09.04		-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-				
"	07.09.04~07.10.02		-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-				
"	07.10.02~07.11.02		-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-				
"	07.11.02~07.12.04		-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-				
"	07.12.04~08.01.07		-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-				
"	08.01.07~08.02.04		-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-				
"	08.02.04~08.03.04		-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-				
"	08.03.04~08.04.02		-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-				
対照	原目町(衛研)	07.04.02~07.04.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	A			
	"	07.05.01~07.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-				
	"	07.06.01~07.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	-	-				
	"	07.07.02~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	-	-				
	"	07.08.03~07.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-				
	"	07.09.03~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	-	-				
	"	07.10.01~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-				
	"	07.11.05~07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-				
	"	07.12.05~07.12.06	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	-	-				
	"	08.01.04~08.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-				
	"	08.02.04~08.02.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-				
"	08.03.07~08.03.08	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-					

過去実績: 2004~2006年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん(参考データ:3ヶ月試料)

単位: mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石A	07.04.05~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	A
	"	07.07.04~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-	
	"	07.10.03~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	
	"	08.01.09~08.04.10	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	
白木	白木峠A	07.04.04~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	A
	"	07.07.04~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
	"	07.10.03~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-	
	"	08.01.09~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-	
美浜	丹生A	07.04.04~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	A
	"	07.07.04~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-	
	"	07.10.03~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	
	"	08.01.09~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	
大飯	日角浜A	07.04.04~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-	A
	"	07.07.04~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	-	-	
	"	07.10.03~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	
	"	08.01.09~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	
高浜	音海A	07.04.03~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	A
	"	07.07.03~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	
	"	07.10.02~08.01.08	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	
	"	08.01.08~08.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	
	神野浦A	07.04.03~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	A
	"	07.07.03~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	
	"	07.10.02~08.01.08	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-	
	"	08.01.08~08.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	

過去実績:2004~2006年度

(注) 吸引量は約12,000立方メートル

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位: mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁶ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	浦底(水試)	水道水	07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	"	"	07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	08.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	浦底(明神寮)	"	07.04.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B
	"	"	07.07.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
白木	白木(民家)	"	07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	"	"	07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	08.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.05.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	D
	"	"	07.08.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
美浜	丹生(旧漁協)	"	07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C
	"	"	08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	丹生(民家)	"	07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	"	"	07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大飯	宮留(民家)	"	07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	"	"	07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C
高浜	音海(民家)	"	07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	"	"	07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	"	"	07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C
	"	"	08.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小黒飯(民家)	"	07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C
"	"	08.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

過去実績: 2004~2006年度

(注) 機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
対照	原目町(衛研)	水道水	07.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	"	"	07.09.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	"	"	07.12.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	"	"	08.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
美浜	竹波(落合川)	河川水	07.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	"	"	08.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

過去実績：2004～2006年度

(注) 機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

第15表 核種分析結果 その3 陸土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁶ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底(明神寮)	土床	07.05.09	-	-	-	13	-	-	8.1	960	68	46	-	13 ~20	A
	"	"	07.11.05	-	-	-	9.4	-	-	4.4	770	52	33			B
	"	"	07.07.05	-	-	-	13	-	-	-	1200	70	35			
	"	"	08.01.07	-	-	-	13	-	-	-	1200	71	38			
	発電所北端周辺	山土	07.05.16	-	-	-	25	-	-	-	1300	89	62	-	23 ~32	D
	"	"	07.08.10	-	-	-	21	-	-	-	1200	83	54			
	"	"	07.11.07	-	-	-	26	-	-	5.4	1200	82	51			
"	"	08.02.06	-	-	-	22	-	-	6.6	1200	88	59				
白木	松ヶ崎	土床	07.05.09	-	-	-	1.4	-	-	9.2	1100	85	50	-	1.3~2.2	A
	"	"	07.11.07	-	-	-	1.5	-	-	9.7	1100	85	46			D
	"	"	07.07.11	-	-	-	1.2	-	-	10	1200	100	46			
	"	"	08.01.10	-	-	-	1.9	-	-	13	1300	110	57			
美浜	丹生	"	07.05.09	-	-	-	4.4	-	-	13	1200	88	50	-	3.4~6.7	A
	"	"	07.11.07	-	-	-	4.8	-	-	6.6	1200	93	51			
	"	"	07.07.02	-	-	-	3.7	-	-	5.7	1200	100	50			C
	"	"	08.01.04	-	-	-	3.1	-	-	-	1100	97	53			
大飯	日角浜	未耕土	07.05.08	-	-	-	44	-	-	20	300	28	26	-	47 ~100	A
	"	"	07.11.06	-	-	-	57	-	-	5.8	340	32	31			
	畑村	"	07.07.03	-	-	-	2.3	-	-	17	360	17	19	-	1.5~4.4	C
	"	"	08.01.07	-	-	-	4.4	-	-	6.7	310	22	18			
高浜	小黑飯	山土	07.05.08	-	-	-	8.8	-	-	12	660	52	33	-	6.9~13	A
	"	"	07.11.06	-	-	-	4.8	-	-	9.2	560	46	29			
	"	未耕土	07.07.03	-	-	-	6.9	-	-	11	560	32	25	-	2.8~11	C
	"	"	08.01.07	-	-	-	7.1	-	-	24	600	34	31			
対照	原目町(衛研)	"	07.05.09	-	-	-	3.7	-	-	36	480	24	18	-	1.6~4.0	A
	"	"	07.11.26	-	-	-	3.0	-	-	6.4	500	23	15			
	奥越高原牧場	山土	07.06.12	-	-	-	130	-	-	17	180	24	17			-

過去実績：2004~2006年度

(注) 0~5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。Th系列(Th-Ser)はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列(U-Ser)はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2%(または36.0%)を用いて求めたものである。

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	ヨモギ	07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	270	-	ND~0.9	A
	"	"	07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	290			
	"	"	07.07.04	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	34	220			
	"	"	07.08.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82	300			
	"	"	07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110	280			
	"	"	07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64	250			
	"	"	07.11.05	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	110	230			
白木	松ヶ崎	"	07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	210	-	ND~0.2	A
	"	"	07.06.06	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	41	270			
	"	"	07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	210			
	"	"	07.08.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	260			
	"	"	07.09.03	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	55	250			
	"	"	07.10.03	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	35	230			
	"	"	07.11.05	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	82	190			
美浜	竹波	"	07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	260	-	ND~0.4	A
	"	"	07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	280			
	"	"	07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	220			
	"	"	07.08.09	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	61	270			
	"	"	07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	240			
	"	"	07.10.03	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	46	250			
	"	"	07.11.05	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	99	230			
大飯	日角浜	"	07.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	290	-	-	A
	"	"	07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	280			
	"	"	07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	200			
	"	"	07.08.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	310			
	"	"	07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	280			
	"	"	07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83	230			
	"	"	07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69	190			
高浜	小黒飯	"	07.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	250	-	ND~0.1	A
	"	"	07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	290			
	"	"	07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	250			
	"	"	07.08.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	330			
	"	"	07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	220			
	"	"	07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	220			
	"	"	07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140	210			
対照	原目町	"	07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	340	-	ND~0.2	A

過去実績：2004~2006年度

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関	
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁶ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
対照	原目町	ヨモギ	07.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	340	—	ND~0.2	A
	"	"	07.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53	230			
	"	"	07.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	210			
	"	"	07.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	230			
	"	"	07.10.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	210			
	"	"	07.11.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49	200			

過去実績：2004~2006年度

第17表 核種分析結果 その5 松葉（2年葉）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	松葉	07.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39	70	—	—	B
	〃	〃	07.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	90	—	—	
	発電所北端周辺	〃	07.08.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	71	—	—	D
	〃	〃	08.02.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	85			
白木	白木トンネル北口付近	〃	07.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	9.6	75	—	—	D	
	〃	〃	08.02.14	—	—	—	—	—	—	—	—	31	71				
美浜	丹生	〃	07.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	41	61	—	—	C	
	〃	〃	07.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	19	49				
大飯	畑村	〃	07.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	37	55	—	—	C	
	〃	〃	07.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	34	67				
高浜	小黒飯	〃	07.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	45	67	—	—	C	
	〃	〃	07.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	35	69				
対照	福井市寮町（県農試）	〃	07.11.14	—	—	—	—	—	—	—	—	51	83	—	—	A	

過去実績：2004～2006年度

第18表 核種分析結果 その6 農産物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	大根菜	07.11.04	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	11	150	—	ND~0.0	A
白木	白木	〃	07.11.05	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	6.5	130	—	ND~0.0	A
美浜	丹生	〃	07.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	120	—	ND~0.1	A
大飯	長井	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7	100	—	ND~0.0	A
高浜	神野	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	110	—	ND~0.0	A
対照	あわら市	〃	07.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	130	—	—	A

過去実績：2004~2006年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位: Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底(水試)	07.04.05~07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210	-	ND~0.2	A
	"	07.05.09~07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210			
	"	07.06.06~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	"	07.07.04~07.08.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250			
	"	07.08.09~07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88			
	"	07.09.05~07.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86			
	"	07.10.04~07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200			
	"	07.11.07~07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	500			
	"	07.12.05~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	890			
	"	08.01.09~08.02.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310			
	"	08.02.06~08.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	580			
	"	08.03.05~08.04.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360			
	"	浦底(明神寮)	07.04.02~07.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	250			
	"	"	07.05.02~07.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	230			
	"	"	07.06.01~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	"	"	07.07.02~07.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	140			
	"	"	07.08.01~07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	170			
	"	"	07.09.03~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	93			
	"	"	07.10.01~07.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	200			
	"	"	07.11.02~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	440			
"	"	07.12.03~08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	1100				
"	"	08.01.04~08.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	260				
"	"	08.02.01~08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	680				
"	"	08.03.03~08.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	330				
白木	松ヶ崎	07.04.04~07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	200	-	ND~0.1	A	
	"	07.05.09~07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	190				
	"	07.06.06~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	150				
	"	07.07.04~07.08.09	-	-	-	-	-	-	-	-	140				
	"	07.08.09~07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	95				
	"	07.09.05~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	47				
	"	07.10.03~07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	-	98				
	"	07.11.07~07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	220				
	"	07.12.05~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	830				
	"	08.01.09~08.02.06	-	-	-	-	-	-	-	-	230				
	"	08.02.06~08.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	340				
	"	08.03.05~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	290				

過去実績: 2004~2006年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位: Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
白木	松ヶ崎	07.04.02~07.05.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140	-	-	D
	"	07.05.01~07.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	240			
	"	07.06.01~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
	"	07.07.02~07.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99			
	"	07.08.01~07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
	"	07.09.03~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39			
	"	07.10.01~07.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88			
	"	07.11.01~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190			
	"	07.12.03~08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	710			
	"	08.01.04~08.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170			
	"	08.02.01~08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	400			
	"	08.03.03~08.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230			
美浜	竹波(落合川取水場)	07.04.04~07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190	-	ND~0.2	A
	"	07.05.09~07.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190			
	"	07.06.06~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	"	07.07.04~07.08.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170			
	"	07.08.09~07.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
	"	07.09.05~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86			
	"	07.10.03~07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	220			
	"	07.11.07~07.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	490			
	"	07.12.05~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	690			
	"	08.01.09~08.02.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370			
	"	08.02.06~08.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	540			
	"	08.03.05~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	290			
丹生		07.04.02~07.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190	-	-	C
	"	07.05.02~07.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	220			
	"	07.06.01~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140			
	"	07.07.02~07.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	"	07.08.01~07.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	"	07.09.03~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82			
	"	07.10.01~07.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190			
	"	07.11.01~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	380			
	"	07.12.03~08.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	940			
	"	08.01.04~08.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280			
	"	08.02.01~08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	670			
	"	08.03.03~08.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	320			

過去実績: 2004~2006年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位: Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関			
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs				
大飯	宮留A	07.04.04~07.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210	-	-	A			
	"	07.05.08~07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130						
	"	07.06.05~07.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230						
	"	07.07.04~07.08.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140						
	"	07.08.08~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90						
	"	07.09.04~07.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140						
	"	07.10.03~07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260						
	"	07.11.06~07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	290						
	"	07.12.04~08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	480						
	"	08.01.09~08.02.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280						
	"	08.02.05~08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	570						
	"	08.03.04~08.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260						
	日角浜	07.04.03~07.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190				-	-	C
		"	07.05.07~07.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	170						
"		07.06.04~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	170							
"		07.07.03~07.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	140							
"		07.08.03~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	87							
"		07.09.04~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	140							
"		07.10.02~07.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	250							
"		07.11.02~07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	320							
"		07.12.04~08.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	520							
"		08.01.07~08.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	320							
高浜	小黑飯A	07.04.03~07.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	190	-	ND~0.1	A				
	"	07.05.08~07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	130							
	"	07.06.05~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	210							
	"	07.07.03~07.08.08	-	-	-	-	-	-	-	-	98							
	"	07.08.08~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	150							
	"	07.09.04~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	140							
	"	07.10.02~07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	210							
	"	07.11.06~07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	360							
	"	07.12.04~08.01.08	-	-	-	-	-	-	-	-	350							
	"	08.01.08~08.02.05	-	-	-	-	-	-	-	-	530							
	"	08.02.05~08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	660							
"	08.03.04~08.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	290								

過去実績: 2004~2006年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位: Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	小和田	07.04.03~07.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	-	-	C
	"	07.05.07~07.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210			
	"	07.06.04~07.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210			
	"	07.07.03~07.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	"	07.08.03~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	"	07.09.04~07.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	"	07.10.02~07.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	240			
	"	07.11.02~07.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	550			
	"	07.12.04~08.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	440			
	"	08.01.07~08.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	650			
	"	08.02.04~08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	820			
"	08.03.04~08.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	410				
対照	原目町(衛研)	07.04.02~07.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	-	ND~0.2	A
	"	07.05.07~07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190			
	"	07.06.05~07.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	"	07.07.02~07.08.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
	"	07.08.07~07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80			
	"	07.09.04~07.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83			
	"	07.10.01~07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180			
	"	07.11.07~07.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	450			
	"	07.12.03~08.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000			
	"	08.01.07~08.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	330			
	"	08.02.04~08.03.03	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	520			
"	08.03.03~08.04.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370				

過去実績: 2004~2006年度

第20表 核種分析結果 その8 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁶ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石沖	海水	07.08.07	—	—	—	2.2	—	—	—	2.0~3.0	B
	"	"	08.02.08	—	—	—	2.2	—	—	—	—	B
	2号放水口	"	07.04.19	—	—	—	1.8	—	—	—	1.3~2.6	A
	"	"	07.08.07	—	—	—	2.3	—	—	—	—	B
	"	"	07.10.18	—	—	—	1.5	—	—	—	—	A
	"	"	08.02.08	—	—	—	2.0	—	—	—	—	B
	ふげん放水口	"	07.04.19	—	—	—	2.1	—	—	—	1.4~2.3	A
	"	"	07.09.11	—	—	—	1.9	—	—	—	—	D
	"	"	07.10.18	—	—	—	2.0	—	—	—	—	A
白木	"	"	08.03.04	—	—	—	2.2	—	—	—	—	D
	もんじゅ放水口	"	07.04.18	—	—	—	1.8	—	—	—	ND~2.3	A
	"	"	07.08.07	—	—	—	2.1	—	—	—	—	D
	"	"	07.10.17	—	—	—	1.3	—	—	—	—	A
	"	"	08.02.06	—	—	—	2.1	—	—	—	—	D
	白木漁港	"	07.08.07	—	—	—	1.7	—	—	—	1.7~2.4	D
美浜	"	"	08.02.06	—	—	—	1.8	—	—	—	—	D
	1, 2号放水口	"	07.04.18	—	—	—	1.9	—	—	—	ND~2.8	A
	"	"	07.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	"	"	07.08.10	—	—	—	1.8	—	—	—	—	C
	"	"	07.10.17	—	—	—	2.0	—	—	—	—	A
	"	"	07.11.08	—	—	—	1.5	—	—	—	—	C
	"	"	08.02.06	—	—	—	1.8	—	—	—	—	C
	3号放水口	"	07.04.18	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.2	A
	"	"	07.05.10	—	—	—	1.5	—	—	—	—	C
	"	"	07.08.10	—	—	—	1.7	—	—	—	—	C
	"	"	07.10.17	—	—	—	1.6	—	—	—	—	A
	"	"	07.11.08	—	—	—	—	—	—	—	—	C
大飯	"	"	08.02.06	—	—	—	1.8	—	—	—	—	C
	放水口	"	07.04.18	—	—	—	2.0	—	—	—	ND~2.5	A
	"	"	07.05.08	—	—	—	1.8	—	—	—	—	C
	"	"	07.08.08	—	—	—	1.9	—	—	—	—	C
	"	"	07.10.16	—	—	—	1.9	—	—	—	—	A
	"	"	07.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	C
高浜	"	"	08.02.22	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	1, 2号放水口	"	07.04.17	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.5	A
	"	"	07.05.09	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	"	"	07.08.09	—	—	—	1.6	—	—	—	—	C
	"	"	07.10.17	—	—	—	2.0	—	—	—	—	A
	"	"	07.11.07	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	"	"	08.02.05	—	—	—	1.6	—	—	—	—	C
	3, 4号放水口	"	07.04.17	—	—	—	1.8	—	—	—	ND~2.2	A
	"	"	07.05.09	—	—	—	2.1	—	—	—	—	C
	"	"	07.08.09	—	—	—	1.7	—	—	—	—	C
"	"	07.10.17	—	—	—	1.9	—	—	—	—	A	
"	"	07.11.07	—	—	—	—	—	—	—	—	C	

過去実績：2004~2006年度

第20表 核種分析結果 その8 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	3, 4号放水口	海水	08.02.05	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~2.2	C
対照	福井市小丹生町	"	07.04.05	—	—	—	1.8	—	—	—	ND~1.8	A
	"	"	07.10.03	—	—	—	1.8	—	—			A

過去実績：2004~2006年度

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	1号放水口	砂	07.04.19	-	-	-	-	-	-	4.6	1300	41	25	-	ND~2.0	A
	"	"	07.10.18	-	-	-	-	-	-	4.7	1400	42	28			A
	"	砂・泥	07.08.07	-	-	-	1.3	-	-	-	1400	57	29			B
	"	"	08.02.05	-	-	-	1.9	-	-	7.5	1400	69	36			B
	1号取水口西	砂	07.06.06	-	-	-	-	-	-	5.8	1100	19	17	ND~0.8	ND~2.4	A
	"	"	07.09.03	-	-	-	0.3	-	-	6.2	1100	22	20			A
	"	"	07.12.05	-	-	-	0.5	-	-	12	990	20	19			A
	"	"	08.03.03	-	-	-	-	-	-	13	960	20	17			A
	"	砂・泥	07.05.10	-	-	-	1.6	-	-	-	1400	37	22			B
	"	"	07.08.07	-	-	-	1.5	-	-	6.3	1600	53	32			B
	"	"	07.11.06	-	-	-	1.4	-	-	-	1400	40	25			B
	"	"	08.02.05	-	-	-	1.2	-	-	-	1500	37	24			B
	明神崎F	砂	07.06.06	-	-	-	-	-	-	10	1500	32	19	-	ND~0.4	A
	"	"	07.09.03	-	-	-	0.3	-	-	6.1	1200	19	16			A
	"	"	07.12.05	-	-	-	-	-	-	9.3	1300	19	14			A
	"	"	08.03.03	-	-	-	-	-	-	27	1500	35	22			A
	水試前	"	07.10.18	-	-	-	1.2	-	-	4.3	1100	54	31	-	ND~1.7	A
	浦底湾口	泥	"	-	-	-	4.0	-	-	-	730	59	31	-	3.7~4.0	A
	立石	砂・泥	"	-	-	-	-	-	-	3.9	1000	23	16	-	-	A
	"	砂	07.06.12	-	-	-	-	-	-	-	1100	42	20			D
	"	"	07.09.11	-	-	-	-	-	-	5.2	850	24	14			D
	"	"	07.12.11	-	-	-	-	-	-	-	1000	36	19			D
	"	"	08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	1100	21	13			D
	2号放水口	"	07.04.06	-	-	-	-	-	-	-	1000	27	17	-	-	B
	"	"	07.07.05	-	-	-	-	-	-	-	920	22	15			B
	"	"	07.10.04	-	-	-	-	-	-	3.9	880	17	11			B
	"	"	08.01.11	-	-	-	-	-	-	3.5	770	19	15			B
	ふげん放水口	"	07.11.26	-	-	-	-	-	-	7.6	630	21	15	-	-	A
"	"	07.06.12	-	-	-	-	-	-	-	640	25	17	D			
"	"	07.09.11	-	-	-	-	-	-	5.9	610	25	21	D			
"	"	07.12.11	-	-	-	-	-	-	7.3	760	24	16	D			
"	"	08.03.04	-	-	-	-	-	-	6.3	770	23	14	D			
白木	もんじゅ放水口	"	07.04.18	-	-	-	-	-	-	-	1500	19	14	-	-	A
	"	"	07.10.17	-	-	-	-	-	-	-	1300	16	12			A
	"	"	07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	1300	19	14			D
	"	"	07.08.07	-	-	-	-	-	-	-	1400	20	13			D
	"	"	07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	1300	18	11			D
	"	"	08.02.06	-	-	-	-	-	-	-	1300	20	14			D
	もんじゅ放水口沖	"	07.04.18	-	-	-	-	-	-	-	1200	99	35	-	-	A
	"	"	07.10.17	-	-	-	-	-	-	-	1400	46	24			A
	もんじゅ放水口東	"	"	-	-	-	-	-	-	-	1400	18	15	-	-	A
	白木漁港	"	07.05.09	-	-	-	-	-	-	-	1400	16	12	-	-	D
	"	"	07.08.07	-	-	-	-	-	-	-	1500	15	13			D
	"	"	07.11.07	-	-	-	-	-	-	-	1400	15	12			D
"	"	08.02.06	-	-	-	-	-	-	-	1400	17	12	D			

過去実績：2004~2006年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
白木	門ヶ崎	砂	07.10.17	—	—	—	—	—	—	—	1100	35	18	—	—	A	
美浜	1, 2号放水口	"	"	—	—	—	—	—	—	5.1	840	91	30	—	ND~0.4	A	
	"	"	07.05.10	—	—	—	—	—	—	4.9	700	85	31			C	
	"	"	07.08.10	—	—	—	—	—	—	—	710	60	24			C	
	"	"	07.11.08	—	—	—	—	—	—	6.3	760	55	21			C	
	"	"	08.02.06	—	—	—	—	—	—	5.4	780	61	21			C	
	"	1, 2号放水口沖	"	07.10.17	—	—	—	—	—	—	4.7	1100	87	39	—	—	A
	"	"	07.05.10	—	—	—	—	—	—	—	1200	57	29	C			
	"	"	07.08.10	—	—	—	—	—	—	—	1300	57	29	C			
	"	"	07.11.08	—	—	—	—	—	—	—	1200	120	70	C			
	"	"	08.02.06	—	—	—	—	—	—	9.7	1200	110	64	C			
	"	3号放水口	"	07.05.10	—	—	—	—	—	—	—	620	19	16	—	—	C
	"	"	07.08.10	—	—	—	—	—	—	—	870	32	18	C			
	"	"	07.11.08	—	—	—	—	—	—	—	930	38	19	C			
	"	"	08.02.06	—	—	—	—	—	—	—	870	51	23	C			
	"	3号放水口沖	"	07.10.17	—	—	—	—	—	—	—	790	46	23	—	—	A
	"	丹生湾中央	泥	07.04.18	—	—	—	7.2	—	—	16	680	69	28	—	6.1~9.1	A
	"	"	"	07.10.17	—	—	—	6.6	—	—	4.5	700	67	30			A
	"	"	"	07.05.10	—	—	—	5.8	—	—	—	660	62	32			C
	"	"	"	07.08.10	—	—	—	5.8	—	—	—	650	60	30			C
"	"	"	07.11.08	—	—	—	7.0	—	—	—	680	61	31	C			
"	"	"	08.02.06	—	—	—	7.7	—	—	9.1	690	77	33	C			
"	避難港	"	07.10.17	—	—	—	7.8	—	—	4.2	990	91	38	—	8.0~10	A	
"	丹生湾奥	砂・泥	"	—	—	—	1.9	—	—	4.4	1200	56	30	—	0.8~2.6	A	
"	美浜発電所取水口	砂	"	—	—	—	1.0	—	—	5.6	1000	57	34	—	0.5~1.1	A	
大飯	放水口	"	07.10.16	—	—	—	—	—	—	2.8	120	4.0	4.9	—	ND~0.2	A	
	"	"	07.05.08	—	—	—	—	—	—	—	110	3.5	3.8			C	
	"	"	07.08.08	—	—	—	—	—	—	4.8	130	4.0	3.9			C	
	"	"	07.11.06	—	—	—	—	—	—	2.5	120	4.1	4.0			C	
	"	"	08.02.22	—	—	—	—	—	—	3.5	120	3.9	4.0			C	
	"	放水口沖	"	07.05.08	—	—	—	—	—	—	—	110	4.8	4.4	—	—	C
	"	"	07.08.08	—	—	—	—	—	—	—	3.4	140	6.3	5.5			C
	"	"	07.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	110	4.7	4.0			C
	"	"	08.02.22	—	—	—	—	—	—	—	2.9	130	5.2	5.5			C
	"	冠者島横	"	07.10.16	—	—	—	0.8	—	—	3.8	130	6.2	3.8	—	0.6~1.0	A
"	西村入江	砂・泥	"	—	—	—	4.5	—	—	4.5	540	25	17	—	4.5~5.5	A	
高浜	1, 2号放水口	砂	07.04.17	—	—	—	0.9	—	—	5.2	440	19	13	—	0.7~1.9	A	
	"	"	07.10.17	—	—	—	1.1	—	—	3.6	460	22	16			A	
	"	"	07.05.09	—	—	—	0.7	—	—	11	570	27	17			C	
	"	"	07.08.09	—	—	—	0.7	—	—	4.0	410	19	13			C	
	"	"	07.11.07	—	—	—	0.9	—	—	8.6	460	23	14			C	
	"	"	08.02.05	—	—	—	1.1	—	—	9.5	460	23	15			C	
	"	3, 4号放水口	"	07.04.17	—	—	—	1.0	—	—	14	460	26	16	—	ND~1.4	A
	"	砂・泥	07.10.17	—	—	—	1.1	—	—	13	470	28	17	A			
"	砂	07.05.09	—	—	—	0.8	—	—	7.2	440	20	13	—	—	C		

過去実績：2004~2006年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	3, 4号放水口	泥	07.08.09	—	—	—	0.7	—	—	11	400	25	14	—	ND~1.4	C
	"	砂	07.11.07	—	—	—	—	—	3.5	400	20	12	C			
	"	"	08.02.05	—	—	—	0.4	—	—	14	240	18	10			C
	放水口沖	砂・泥	07.10.17	—	—	—	2.2	—	—	4.8	390	17	12	—	1.2~2.5	A
	"	泥	07.05.09	—	—	—	1.3	—	—	—	360	16	10			C
	"	"	07.08.09	—	—	—	1.6	—	—	—	350	16	11			C
	"	"	07.11.07	—	—	—	1.7	—	—	—	370	16	9.3			C
	"	砂	08.02.05	—	—	—	1.7	—	—	—	390	16	12			C
	旧内浦港口ブイ	砂・泥	07.10.17	—	—	—	1.3	—	—	2.2	480	14	11	—	1.2~4.1	A
	神野浦	"	"	—	—	—	0.8	—	—	6.2	280	9.1	5.8	—	1.0~1.7	A
	白井入江	砂	"	—	—	—	0.6	—	—	4.1	260	9.8	7.9	—	0.6~0.9	A
	音海	砂・泥	"	—	—	—	1.3	—	—	—	530	20	18	—	0.8~1.4	A

過去実績：2004~2006年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第22表 核種分析結果 その10 海産食品

単位: Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	えりヶ崎	メジナ	肉	07.04.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	20	252	-	ND~0.2	A
	立石漁港	タコ	全身	07.04.03	-	-	-	-	/	0.0	-	-	0.6	82	53	808	-	ND~0.2	A
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	肉	07.06.06	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	35	1152	-	ND~0.2	A
	"	"	"	07.09.04	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	39	1522	-	ND~0.2	A
	立石漁港	タコ	全身	07.10.02	-	-	-	-	/	0.0	-	-	0.5	66	46	545	-	ND~0.2	A
	"	アジ	"	07.10.04	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	17	75	-	ND~0.2	A
	立石沖	"	"	07.10.09	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	100	21	139	-	ND~0.2	D
	"	ハマチ	肉	07.11.15	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	130	40	750	-	ND~0.2	B
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	"	07.12.04	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	150	32	1037	-	ND~0.2	A
	"	"	"	08.03.04	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	33	1021	-	ND~0.2	A
	えりヶ崎	アワビ	除殻	07.06.01	-	-	-	-	/	-	-	-	1.0	58		157	-	ND~0.0	A
	2号放水口	サザエ	"	07.06.05	-	-	-	-	/	-	-	-	4.0	86		54	-	ND~0.0	A
	立石沖	"	"	07.07.03	-	-	-	-	/	-	-	-	4.4	79		75	-	ND~0.0	A
	"	"	"	07.07.20	-	-	-	-	/	-	-	-	4.1	95		65	-	ND~0.0	B
	立石漁港	ワカメ	除根	07.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	220			-	-	A
	"	"	"	07.05.04	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	210			-	-	A
	立石岬	"	"	07.05.05	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	340			-	-	A
	立石沖	"	"	07.05.10	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	230			-	-	B
白木	アジゴ崎	メバル	肉	07.06.20	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	20	229	-	ND~0.2	A
	"	カサゴ	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	17	124	-	ND~0.2	A
	白木沖	アジ	全身	07.07.25	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	100	18	49	-	ND~0.2	D
	門ヶ崎沖	"	"	07.10.22	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.3	120	11	18	-	ND~0.2	A
	"	シイラ	肉	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	150	31	254	-	ND~0.2	A
	白木沖	"	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	68	3944	-	ND~0.2	D
	もんじゅ放水口東	アワビ	除殻	07.06.12	-	-	-	-	/	-	-	-	2.8	57		168	-	ND~0.0	A
	アジゴ崎	サザエ	"	"	-	-	-	-	/	-	-	-	12	87		48	-	ND~0.0	A
	"	"	"	07.07.01	-	-	-	-	/	-	-	-	4.0	67		49	-	ND~0.0	A
	白木沿岸	"	"	07.07.24	-	-	-	-	/	-	-	-	4.2	56		54	-	ND~0.0	D
	もんじゅ取水口	ワカメ	除根	07.04.06	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	270			-	ND~0.0	A
	白木沿岸	"	"	07.04.24	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	240			-	ND~0.0	D
	松ヶ崎	"	"	07.05.16	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	220			-	ND~0.0	A
	門ヶ崎	"	"	"	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	260			-	ND~0.0	A
美浜	1, 2号放水口沖	アジ	全身	07.04.04	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.7	100	12	24	-	0.1	A
	"	クサフグ	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.5	91	13	86	-	0.1	A
	1, 2号放水口	アジ	"	07.06.14	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	100	13	21	-	0.1	C
	3号放水口	"	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	14	23	-	0.1	C
	1, 2号放水口	"	"	07.07.04	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.4	110	13	27	-	0.1	A
	"	"	"	07.10.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	14	19	-	0.1	C
	1, 2号放水口沖	"	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	10	15	-	0.1	A
	"	シロサバフグ	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	16	101	-	0.1	A
	3号放水口	アジ	"	"	-	-	-	-	/	-	-	-	-	110	13	15	-	0.1	C
	あご越	サザエ	除殻	07.06.04	-	-	-	-	/	0.0	-	-	5.6	83		61	-	ND~0.0	A
"	アワビ	"	07.06.05	-	-	-	-	/	-	-	-	2.9	63		136	-	ND~0.0	A	

過去実績: 2004~2006年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

第22表 核種分析結果 その10 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種							参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co			¹³⁷ Cs		
美浜	あご越	サザエ	除殻	07.07.04	-	-	-	-	/	0.0	-	-	4.5	70		47	-	ND~0.0	A	
	1, 2号放水口	"	"	07.07.11	-	-	-	-	/	-	-	-	2.9	52		89			C	
	3号放水口	"	"	"	-	-	-	-	/	-	-	-	3.3	51		68			C	
	竹波	ワカメ	除根	07.04.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	200			-	-	A	
	丹生大橋東	モズク	全体	07.05.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	230					A	
	あご越	ワカメ	除根	07.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	190					A	
	1, 2号放水口	"	"	08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	280					C	
	3号放水口	"	"	"	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	260					C	
大飯	髷島	アジ	肉	07.04.06	-	-	-	-	/	0.2	-	-	0.3	100	17	88	-	ND~0.2	A	
	赤礁崎	サヨリ	全身	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.4	110	23	39			A	
	放水口	アジ	肉	07.06.06	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	22	169			C	
	髷島沖	"	全身	07.10.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	16	67			A	
	"	キダイ	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	92	14	98			A	
	放水口	アジ	"	07.10.11	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	19	63			C	
	平島	サザエ	除殻	07.06.04	-	-	-	-	/	-	-	-	5.0	77		86	-	-	A	
	"	アワビ	"	"	-	-	-	-	/	0.0	-	-	4.2	72		126			A	
	"	サザエ	"	07.07.03	-	-	-	-	/	-	-	-	4.4	58		69			A	
	放水口	"	"	07.07.17	-	-	-	-	/	-	-	-	3.3	54		93			C	
	赤礁崎	ワカメ	除根	07.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	300			-	-	A	
	黒崎	"	"	07.05.06	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	370					A	
	"	モズク	全体	"	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8	150					A	
	放水口	ワカメ	除根	08.03.15	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	330					C	
高浜	取水口	クサフグ	全身	07.04.13	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.8	96	11	53	-	0.0~0.2	A	
	"	スルメイカ	"	07.04.16	-	-	-	-	/	0.0	-	-	2.9	110	8	16			A	
	内浦湾	カンパチ	肉	07.06.10	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	40	836			C	
	小黑飯漁港	シロサバフグ	全身	07.10.02	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	100	11	28			A	
	"	アオリイカ	"	"	-	-	-	-	/	-	-	-	-	110	9	43			A	
	内浦湾	カンパチ	肉	07.10.10	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	91	50	1700			C	
	小黑飯漁港	アワビ	除殻	07.06.02	-	-	-	-	/	-	-	-	3.2	62		243	-	ND~0.0	A	
	三松テトラ	サザエ	"	07.06.06	-	-	-	-	/	-	-	-	7.5	68		97			A	
	"	"	"	07.07.01	-	-	-	-	/	-	-	-	5.5	69		76			A	
	内浦湾	"	"	07.07.10	-	-	-	-	/	-	-	-	4.1	68		166			C	
	名島	ワカメ	除根	07.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	200			-	-	A	
	神野浦	モズク	全体	07.05.03	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	80					A	
	"	ワカメ	除根	07.05.05	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	190					A	
内浦湾	"	"	08.03.12	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	130					C		
対照	越廼沖	アジ	肉	07.05.10	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	120	22	123	-	0.1~0.2	A	
	"	ハマチ	"	07.10.18	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	140	40	748			A	
	河野沖	サザエ	除殻	07.06.04	-	-	-	-	/	-	-	-	3.0	72		78	-	-	A	
	越廼沖	ワカメ	除根	07.05.29	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	280			-	-	A	

過去実績：2004~2006年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	明神崎F	ホンダワラ	07.04.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	310	—	ND~0.1	B
	"	"	07.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	320			A
	"	"	07.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	240			A
	"	"	07.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.7	310			B
	"	"	07.11.05	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	7.9	380			A
	"	"	08.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	340			A
	水島	"	"	07.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	350	—	—	B
	"	"	07.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.5	270			B
	"	"	07.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	320			B
	"	"	08.02.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.4	320			B
	釜谷元川河口	"	"	07.05.18	—	—	—	—	—	—	—	—	11	180	—	ND~0.1	B
	"	"	07.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8	300			B
	立石	"	"	07.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	9.6	290	—	—	B
	"	"	07.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.8	180			B
	"	"	07.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	250			B
	"	"	08.02.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.6	300			B
	2号放水口	"	"	07.04.06	—	—	—	—	—	—	—	—	8.9	360	—	ND~0.1	B
	"	"	07.06.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	340			A
	"	"	07.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	220			B
	"	"	07.09.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.7	200			A
	"	"	07.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	260			B
	"	"	07.11.26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.0	270			A
	"	"	08.01.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	310			B
	"	"	08.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	230			A
	ふげん放水口	"	"	07.04.19	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	260	—	ND~0.1	D
	"	"	07.06.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	240			A
	"	"	07.07.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	280			D
	"	"	07.09.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	210			A
"	"	07.10.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	340	D			
"	"	07.11.26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.4	280	A			
"	"	08.01.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	340	D			
"	"	08.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	240	A			
白木	松ヶ崎	"	07.04.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	290	—	ND~0.1	D
	"	"	07.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	400			A
	"	"	07.07.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	160			D
	"	"	07.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2	210			A

過去実績：2004~2006年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関		
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
白木	松ヶ崎	ホンダワラ	07.10.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	240	-	ND~0.1	D		
	"	"	07.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	400			A		
	"	"	08.01.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	250			D		
	"	"	08.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.3	380			A		
美浜	1, 2号放水口	"	07.04.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	250	-	ND~0.1	C		
	"	"	07.06.18	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	83	240			A		
	"	"	07.07.06	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	23	290			C		
	"	"	07.09.21	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	14	280			A		
	"	"	07.10.05	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	3.1	210			C		
	"	"	07.11.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	280			A		
	"	"	08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	330			C		
	"	"	08.03.06	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	22	300			A		
	3号放水口	"	07.04.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.8	250			-	ND~0.2	C
	"	"	07.06.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	270					A
	"	"	07.07.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	280					C
	"	"	07.09.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.4	200					A
	"	"	07.10.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	170					C
	"	"	07.11.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	300					A
	"	"	08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	310					C
	"	"	08.03.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.5	290					A
大飯	放水口	"	07.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	240	-	ND~0.1	C		
	"	"	07.07.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	310			C		
	"	"	07.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	230			C		
	"	"	08.01.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	290			C		
	台場浜	"	07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	230			-	ND~0.1	A
	"	"	07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.0	240					A
	"	"	07.11.06	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	9.7	290					A
	"	"	08.03.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.1	280					A
高浜	1, 2号放水口	"	07.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.6	290	-	ND~0.1	C		
	"	"	07.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	400			A		
	"	"	07.07.05	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	18	330			C		
	"	"	07.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	230			A		
	"	"	07.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	280			C		
	"	"	07.11.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	400			A		
	"	"	08.01.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.5	310			C		
	"	"	08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	270			A		

過去実績：2004~2006年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位: Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	3, 4号放水口	ホンダワラ	07.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	310	-	ND~0.1	C
	"	"	07.07.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	260	-	ND~0.1	C
	"	"	07.10.04	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	5.8	280	-	ND~0.1	C
	"	"	08.01.08	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	4.2	310	-	ND~0.1	C
	神野浦	"	07.06.05	-	-	-	-	-	0.0	-	-	-	5.7	220	-	ND~0.1	A
	"	"	07.09.04	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	12	240	-	ND~0.1	A
	"	"	07.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.3	290	-	ND~0.1	A
	"	"	08.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	260	-	ND~0.1	A
	音海	"	07.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	310	-	ND~0.1	C
	"	"	07.07.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	260	-	ND~0.1	C
	"	"	07.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	270	-	ND~0.1	C
	"	"	08.01.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	300	-	ND~0.1	C
対照	福井市小丹生町	"	07.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	290	-	-	A
	"	"	07.07.04	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	13	240	-	-	A
	"	"	07.10.03	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	18	230	-	-	A
	"	"	08.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	320	-	-	A

過去実績: 2004~2006年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第24表 核種分析結果 その12 海底土分布調査

単位： Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁵ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	1号放水口	① 砂	07.07.18	-	-	-	0.4	-	-	6.8	1500	62	34	-	ND~2.0	A
	1号取水口西	② "	07.07.17	-	-	-	1.6	-	-	4.1	1300	51	29	-	ND~2.4	A
	1号放水口東	③ "	"	-	-	-	0.7	-	-	7.2	1200	37	26	-	0.4~0.9	A
	1号取水口	④ "	07.07.18	-	-	-	-	-	-	5.5	1200	31	22	-	0.6~1.0	A
	ふげん取水口	⑤ "	"	-	-	-	1.0	-	-	4.0	1300	43	29	-	0.9~1.1	A
	水試棧橋横	⑥ "	"	-	-	-	1.3	-	-	4.5	1000	48	29	ND~0.7	1.4~2.3	A
	水試前	⑦ "	"	-	-	-	0.3	-	-	4.2	1400	26	17	-	ND~1.7	A
	水試沖	⑧ "	"	-	-	-	-	-	-	4.0	1100	22	18	-	-	A
	釜谷元川河口	⑨ "	"	-	-	-	0.6	-	-	-	1100	43	25	-	0.5~0.7	A
	浦底	⑩ "	"	-	-	-	-	-	-	5.1	1300	39	27	-	0.5~2.5	A
	浦底湾口	⑪ 泥	"	-	-	-	3.8	-	-	4.4	730	62	31	-	3.7~4.0	A
	西浦小学校前	⑫ 砂	"	-	-	-	1.8	-	-	4.5	1000	47	29	-	2.9~3.1	A
	色ヶ浜	⑬ "	"	-	-	-	1.6	-	-	5.2	900	55	32	-	1.2~3.2	A
	色ヶ浜沖	⑭ 砂・泥	"	-	-	-	1.4	-	-	5.3	840	50	26	-	0.4~2.8	A
	鈴ヶ崎	⑮ 砂	"	-	-	-	0.3	-	-	4.3	1300	42	26	-	0.6~2.6	A
	明神崎先端	⑯ "	"	-	-	-	-	-	-	7.3	840	21	16	-	-	A
白木	もんじゅ放水口	① "	07.07.17	-	-	-	-	-	-	3.8	1300	19	13	-	-	A
	もんじゅ放水口沖	② "	"	-	-	-	-	-	-	-	1500	39	21	-	-	A
	もんじゅ放水口東	③ "	"	-	-	-	-	-	-	-	1400	16	13	-	-	A
	もんじゅ取水口	④ "	"	-	-	-	-	-	-	-	1300	20	15	-	-	A
	門ヶ崎	⑤ "	"	-	-	-	-	-	-	-	1100	19	15	-	-	A

過去実績：2004~2006年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第25表 核種分析結果 その13 ホンダワラ広域調査

単位： Bq/kg 生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関	
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹³⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	浦底対岸	D	ホンダワラ	07.07.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	240	-	-	A
	釜谷元川河口	I	"	07.07.17	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	20	250	-	ND~0.1	A
	浦底	J	"	"	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	220	-	-	A

過去実績：2004～2006年度

第26表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
敦賀	浦底（水試）	水道水	07.06.06	0.6	0.5~1.3	A	
		"	07.09.05	—			
		"	07.12.05	1.4			
		"	08.03.05	1.3			
	浦底（明神寮）	"	07.04.03	1.2	0.7~1.4	B	
		"	07.07.05	0.9			
		"	07.10.02	1.0			
		"	08.01.07	1.0			
白木	白木（民家）	"	07.05.10	—	ND~1.6	D	
		"	07.06.06	0.6		A	
		"	07.08.09	1.1		D	
		"	07.09.05	0.6		A	
		"	07.11.06	—		D	
		"	07.12.05	—		A	
		"	08.02.07	1.1		D	
		"	08.03.05	1.0		A	
美浜	丹生（旧漁協）	"	07.07.02	1.1	0.9~1.6	C	
		"	08.01.04	0.7			
	丹生（民家）	"	07.06.06	0.8	ND~1.4	A	
		"	07.09.05	—			
		"	07.12.05	—			
大飯	宮留（民家）	"	08.03.05	0.8	ND~1.3	A	
		"	07.06.05	0.6			C
		"	07.07.03	0.8			A
		"	07.09.04	—			C
		"	07.12.04	—			A
		"	08.01.07	—			A
		"	08.03.04	0.8			A
高浜	音海（民家）	"	07.06.05	—	ND~1.2	A	
		"	07.07.03	0.9		C	
		"	07.09.04	—		A	
		"	07.12.04	—			

過去実績：2004~2006年度

(注) 計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（—、またはND）とした。

第26表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	音海（民家）	水道水	08.01.07	—	ND～1.2	C
		”	08.03.04	0.9		A
	小黒飯（民家）	”	07.07.03	0.9	0.7～1.1	C
		”	08.01.07	0.9		
対照	福井市原目町（衛研）	”	07.06.01	—	ND～0.6	A
		”	07.09.19	—		
		”	07.12.19	—		
		”	08.03.06	—		

過去実績：2004～2006年度

（注）計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（—、またはND）とした。

第27表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	立石A	07.04.02~07.05.01	2.0	1.1~3.7	D
		07.05.01~07.06.04	1.9		
		07.06.04~07.07.02	1.2		
		07.07.02~07.08.06	2.1		
		07.08.06~07.09.03	3.5		
		07.09.03~07.10.01	5.0		
		07.10.01~07.11.05	4.8		
		07.11.05~07.12.03	6.0		
		07.12.03~08.01.04*	6.2*		
		08.01.04~08.02.04	3.7		
		08.02.04~08.03.04*	11*		
		08.03.04~08.04.07	5.6		
		猪ヶ池B			
07.05.02~07.06.01	4.5				
07.06.01~07.07.02	4.2				
07.07.02~07.08.01	4.5				
07.08.01~07.09.03	4.6				
07.09.03~07.10.01	9.4				
07.10.01~07.11.01	11				
07.11.01~07.12.03	14				
07.12.03~08.01.04	10				
08.01.04~08.02.04	14				
08.02.04~08.03.03	13				
08.03.03~08.04.01	12				
浦底A		07.04.05~07.05.09	4.2	2.6~4.6	A
		07.05.09~07.06.06	3.8		
		07.06.06~07.07.04	2.4		
		07.07.04~07.08.09	2.1		
		07.08.09~07.09.05	2.4		
		07.09.05~07.10.04	4.6		
		07.10.04~07.11.07	8.7		
		07.11.07~07.12.05	9.7		

過去実績：2004~2006年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第27表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底A	07.12.05~08.01.09	7.0	2.6~4.6	A
		08.01.09~08.02.06	7.3		
		08.02.06~08.03.05	8.2		
		08.03.05~08.04.10	7.6		
	浦底B	07.04.02~07.05.02	3.3	2.0~6.2	B
		07.05.02~07.06.01	2.6		
		07.06.01~07.07.02	2.6		
		07.07.02~07.08.01	2.1		
		07.08.01~07.09.03	1.9		
		07.09.03~07.10.01	3.1		
		07.10.01~07.11.01	8.6		
		07.11.01~07.12.03	9.7		
		07.12.03~08.01.04	4.9		
		08.01.04~08.02.04	6.8		
		08.02.04~08.03.03	8.4		
		08.03.03~08.04.01	7.0		
	色ヶ浜B	07.04.02~07.05.02	2.2	1.8~3.7	B
		07.05.02~07.06.01	2.2		
		07.06.01~07.07.02	2.2		
		07.07.02~07.08.01	2.1		
07.08.01~07.09.03		1.8			
07.09.03~07.10.01		2.0			
07.10.01~07.11.01		3.9			
07.11.01~07.12.03		5.0			
07.12.03~08.01.04		3.1			
08.01.21~08.02.04*		3.7*			
08.02.04~08.03.03		3.5			
08.03.03~08.04.01		3.5			
白木	白木A	07.04.04~07.05.09	1.7	1.1~4.4	A
		07.05.09~07.06.06	1.1		
		07.06.06~07.07.04	1.0		
		07.07.04~07.08.09	1.3		

過去実績：2004~2006年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第27表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
白木	白木A	07.08.09~07.09.05	1.9	1.1~4.4	A
		07.09.05~07.10.03	1.6		
		07.10.03~07.11.07	1.9		
		07.11.07~07.12.05	2.2		
		07.12.05~08.01.09	1.6		
		08.01.09~08.02.06	2.2		
		08.02.06~08.03.05	2.2		
		08.03.05~08.04.09	2.4		
	白木峠A	07.04.02~07.05.01	2.9	1.4~4.8	D
		07.05.01~07.06.04	2.3		
		07.06.04~07.07.02	2.2		
		07.07.02~07.08.06	2.8		
		07.08.06~07.09.03	4.5		
		07.09.03~07.10.01	3.8		
		07.10.01~07.11.05	3.0		
07.11.05~07.12.03		3.5			
07.12.03~08.01.04		2.7			
08.01.04~08.02.04		2.7			
08.02.04~08.03.03		2.5			
08.03.03~08.04.07		2.7			
美浜	竹波A	07.04.04~07.05.09	3.0	1.8~5.5	A
		07.05.09~07.06.06	3.6		
		07.06.06~07.07.04	1.9		
		07.07.04~07.08.09	2.5		
		07.08.09~07.09.05	4.3		
		07.09.05~07.10.03	2.7		
		07.10.03~07.11.07	1.7		
		07.11.07~07.12.05	3.0		
		07.12.05~08.01.09	2.6		
		08.01.09~08.02.06	2.3		
		08.02.06~08.03.05	2.0		
		08.03.05~08.04.09	2.6		

過去実績：2004~2006年度

(注) 県 (A)、原電 (B)、原子力機構 (D) はテレメータ観測局内、関電 (C) は気象観測局内、
 対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第27表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
美浜	竹波（落合川ポンプ所）	07.04.02～07.05.02	2.9	1.7～8.6	C
		07.05.02～07.06.01	3.0		
		07.06.01～07.07.02	2.4		
		07.07.02～07.08.01	2.0		
		07.08.01～07.09.03	2.4		
		07.09.03～07.10.01	2.7		
		07.10.01～07.11.01	2.4		
		07.11.01～07.12.03	4.1		
		07.12.03～08.01.04	5.4		
		08.01.04～08.02.01	2.6		
		08.02.01～08.03.03	3.0		
		08.03.03～08.04.01	3.0		
大飯	宮留A	07.04.04～07.05.08	5.7	3.8～19	A
		07.05.08～07.06.05	7.3		
		07.06.05～07.07.04	6.2		
		07.07.04～07.08.08	4.0		
		07.08.08～07.09.04	4.3		
		07.09.04～07.10.03	2.0		
		07.10.03～07.11.06	7.3		
		07.11.06～07.12.04	11		
		07.12.04～08.01.09	5.0		
		08.01.09～08.02.05	4.6		
		08.02.05～08.03.04	8.0		
		08.03.04～08.04.09	6.0		
		日角浜C	07.04.03～07.05.07		
	07.05.07～07.06.04		2.6		
	07.06.04～07.07.03		3.6		
	07.07.03～07.08.03		2.4		
	07.08.10～07.09.04*		2.0*		
	07.09.04～07.10.02		2.2		
	07.10.02～07.11.02	5.9			
	07.11.02～07.12.04	6.0			

過去実績：2004～2006年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
 対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第27表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
大飯	日角浜C	07.12.04~08.01.07	2.6	1.8~7.8	C
		08.01.07~08.02.04	2.2		
		08.02.04~08.03.04	2.4		
		08.03.04~08.04.02	3.5		
高浜	小黒飯A	07.04.03~07.05.08	14	7.9~39	A
		07.05.08~07.06.05	15		
		07.06.05~07.07.03	8.7		
		07.07.03~07.08.08	8.1		
		07.08.08~07.09.04	20		
		07.09.04~07.10.02	25		
		07.10.02~07.11.06	25		
		07.11.06~07.12.04	52		
		07.12.04~08.01.08	39		
		08.01.08~08.02.05	33		
		08.02.05~08.03.04	24		
		08.03.04~08.04.08	21		
		神野浦C	07.04.03~07.05.07		
	07.05.07~07.06.04		7.3		
	07.06.04~07.07.03		6.5		
	07.07.03~07.08.03		4.7		
	07.08.10~07.09.04*		6.7*		
	07.09.04~07.10.02		5.6		
	07.10.02~07.11.02		5.1		
07.11.02~07.12.04	3.9				
07.12.04~08.01.07	6.1				
08.01.07~08.02.04	6.6				
対照	原目町(衛研)	07.04.02~07.05.01	0.6	ND~1.1	A
		07.05.01~07.06.01	0.7		
		07.06.01~07.07.02	—		
		07.07.02~07.08.01	—		

過去実績：2004~2006年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第27表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
対照	原目町(衛研)	07.08.01~07.09.04	—	ND~1.1	A
		07.09.04~07.10.02	—		
		07.10.02~07.11.01	—		
		07.11.01~07.12.03	0.6		
		07.12.03~08.01.04	0.9		
		08.01.04~08.02.04	—		
		08.02.04~08.03.03	1.0		
		08.03.03~08.04.07	1.0		

過去実績：2004~2006年度

- (注1) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。
- (注2) 大気中水分のトリチウム分析については、2005年度第1期から1ヶ月試料を分析している。
- (注3) 敦賀地区の立石Aの9月~11月および3月分試料で、4.8~6.0Bq/lと過去実績(1.1~3.7Bq/l：2004~2006年度)を上回った。これらの値は、過去最高値である。
 なお、これまでの最高値は、1997年度の3.8Bq/l(3ヶ月集合試料測定)であった。
 *：敦賀地区立石Aの12月、2月分については、一時未採取期間があったので、参考値とする。
- (注4) 敦賀地区猪ヶ池B10月、11月および1月~3月の試料で、11~14Bq/lと過去実績(4.1~10Bq/l：2004~2006年度)を上回った。これらの値は、過去最高値である。
 なお、これまでの最高値は、2006年5月の10Bq/lであった。
- (注5) 敦賀地区浦底Aの10月~3月の試料で、7.0~9.7Bq/lと過去実績(2.6~4.6Bq/l：2004~2006年度)を上回った。なお、過去最高値は、1988年3月の23Bq/lである。
- (注6) 敦賀地区浦底Bの10月、11月および1月~3月の試料で、6.8~9.7Bq/lと過去実績(2.0~6.2Bq/l：2004~2006年度)を上回った。9.7Bq/lは、過去最高値である。
- (注7) 敦賀地区色ヶ浜Bの10月、11月の試料で、3.9~5.0Bq/lと過去実績(1.8~3.7Bq/l：2004~2006年度)を上回った。なお、過去最最高値は、1996年度第1期の5.2Bq/lである。
 *：敦賀地区色ヶ浜Bの1月分については、一時未採取期間があったので、参考値とする。
- (注8) *：大飯地区(日角浜C)の8月分については、採取期間に不備があったので、参考値とする。
- (注9) 高浜地区小黑飯Aの11月分試料で、52Bq/lと過去実績(7.9~39Bq/l：2004~2006年度)を上回った。この値は、過去最高値である。これまでの最高値は、2007年1月の39Bq/lであった。
- (注10) *：高浜地区(神野浦C)の8月分については、採取期間に不備があったので、参考値とする。
- (備考) 大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握する目的で行っている。内部被ばく線量把握のために必要な空気中濃度への換算方法等を、p.170~171の付4.3に示す。

第28表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	07.04.05～07.07.04	1.1	1.0～10	A
		07.07.04～07.10.04	2.3		
		07.10.04～08.01.09	6.6		
		08.01.09～08.04.10	5.5		
	浦底（明神寮）	07.04.02～07.07.02	1.8	0.8～6.2	B
		07.07.02～07.10.01	1.8		
		07.10.01～08.01.04	2.9		
		08.01.04～08.04.01	3.5		
白木	松ヶ崎（原子力機構Mステーション）	07.04.04～07.07.04	—	0.6～2.9	A
		07.07.04～07.10.03	1.1		
		07.10.03～08.01.09	1.2		
		08.01.09～08.04.09	1.4		
		07.04.01～07.07.02	1.4	ND～1.8	D
		07.07.02～07.10.01	0.9		
		07.10.01～08.01.04	—		
		08.01.04～08.04.01	1.4		
美浜	竹波（落合川取水場）	07.04.04～07.07.04	1.2	0.8～4.7	A
		07.07.04～07.10.03	2.8		
		07.10.03～08.01.09	2.1		
		08.01.09～08.04.09	1.7		
	丹生（関電丹生寮敷地内）	07.04.02～07.07.02	1.7	1.0～8.7	C
		07.07.02～07.10.01	1.5		
		07.10.01～08.01.04	2.9		
		08.01.04～08.04.01	2.2		
大飯	宮留（県テレメ観測局）	07.04.04～07.07.04	2.4	1.2～11	A
		07.07.04～07.10.03	3.7		
		07.10.03～08.01.09	3.1		
		08.01.09～08.04.08	2.9		
	日角浜（ヴィラ大島）	07.04.03～07.07.03	1.5	1.2～10	C
		07.07.03～07.10.02	1.2		
		07.10.02～08.01.07	2.5		
		08.01.07～08.04.02	2.5		
高浜	小黑飯（県テレメ観測局）	07.04.03～07.07.03	5.1	1.9～12	A
		07.07.03～07.10.02	9.5		
		07.10.02～08.01.08	9.5		
		08.01.08～08.04.08	7.8		

過去実績：2004～2006年度

第28表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小和田（小和田ポンプ所）	07.04.03～07.07.03	1.3	0.8～2.1	C
		07.07.03～07.10.02	1.0		
		07.10.02～08.01.07	1.6		
		08.01.07～08.04.02	2.8		
対照	福井市原目町（衛研）	07.04.02～07.07.02	—	ND～0.8	A
		07.07.02～07.10.02	—		
		07.10.02～08.01.07	—		
		08.01.07～08.04.08	—		

過去実績：2004～2006年度

（注1）雨水のトリチウム分析については、2005年度第1期から3ヶ月の混合試料を分析している。

（注2）高浜地区小和田で、2.8Bq/lと過去実績（0.8～2.1Bq/l：2004～2006年度）を上回った。
 なお、これまでの最高値は、1996年10月の5.0Bq/lである。

付表 雨水トリチウムの定期外調査結果

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	07.10.04～07.11.07	8.9	1.0～10	A
		07.11.07～07.12.05	13		
		07.12.05～08.01.09	6.1		
		08.01.09～08.02.06	5.7		
		08.02.06～08.03.05	6.4		
		08.03.05～08.04.10	5.0		
敦賀	浦底（明神寮）	07.10.01～07.11.01	5.6	0.8～6.2	B
		07.11.01～07.12.03	3.9		
		07.12.03～08.01.04	2.1		
		08.01.04～08.02.01	3.2		
		08.02.01～08.03.03	3.6		
		08.03.03～08.04.01	3.6		
高浜	小黑飯（県テレメ観測局）	07.10.02～07.11.06	8.2	1.9～12	A
		07.11.06～07.12.04	7.4		
		07.12.04～08.01.08	12		

過去実績：2004～2006年度

（注1）敦賀地区（立石A、猪ヶ池B、浦底A、浦底B、色ヶ浜B）および高浜地区小黑飯Aの大気中水分試料で過去3カ年実績を実績を上回るものがあつたことから、これら6地点の内、雨水トリチウムの測定地点である浦底（水試、明神寮）および小黑飯（県テレメ観測局）の試料について、参考までに月毎に測定した。

（注2）過去実績の2004年度は月毎、2005～2006年度は3ヶ月混合試料の分析結果に基づく。

第29表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
敦賀	立石岬	海水	07.04.19	0.9	ND~1.1	A	
		"	07.10.18	1.6			
	敦賀発電所2号放水口	"	07.04.19	0.9	ND~3.5	A	
		"	07.05.10	0.9		B	
		"	07.08.07	0.7			
		"	07.10.18	0.7		A	
		"	07.11.06	0.7		B	
		"	08.02.08	0.6			
	ふげん放水口	"	07.04.19	0.7	ND~21	A	
		"	07.06.12	—		D	
		"	07.09.11	1.8			
		"	07.10.18	1.5		A	
		"	07.12.11	1.2		D	
		"	08.03.04	—			
	白木	もんじゅ放水口	"	07.04.18	1.0	ND~1.6	A
"			07.05.09	—	D		
"			07.08.07	0.9			
"			07.10.17	1.0	A		
"			07.11.07	—	D		
"			08.02.06	0.7			
もんじゅ放水口沖		"	07.04.18	0.8	ND~1.7	A	
		"	07.10.17	1.0			
美浜		美浜発電所1, 2号放水口	"	07.04.18	1.6	ND~5.7	A
			"	07.05.10	3.1		C
	"		07.08.10	—			
	"		07.10.17	0.9	A		
	"		07.11.08	—	C		
	"		08.02.06	—			
	美浜発電所1, 2号放水口沖	"	07.04.18	1.4	0.6~1.6	A	
		"	07.10.17	0.7			
	美浜発電所3号放水口	"	07.04.18	3.5	ND~1.6	A	
		"	07.05.10	4.0		C	

過去実績：2004~2006年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第29表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
美浜	美浜発電所3号放水口	海水	07.08.10	—	ND~1.6	C	
		"	07.10.17	0.7		A	
		"	07.11.08	—		C	
		"	08.02.06	—			
	美浜発電所3号放水口沖	"	07.04.18	2.9	ND~1.7	A	
		"	07.10.17	1.8			
大飯	大飯発電所放水口	"	07.04.18	0.9	ND~4.2	A	
		"	07.05.08	—		C	
		"	07.08.08	—			
		"	07.10.16	1.9		A	
		"	07.11.06	—		C	
		"	08.02.22	—			
	髻島	"	07.04.18	1.0	ND~1.9	A	
		"	07.10.16	0.6			
	高浜	高浜発電所1, 2号放水口	"	07.04.05	1.1	ND~3.6	C
			"	07.04.17	1.5		A
"			07.05.09	—	C		
"			07.07.05	0.8			
"			07.08.09	1.6			
"			07.10.04	1.0			
"			07.10.17	1.0	A		
"			07.11.07	1.2	C		
"			08.01.08	—			
"			08.02.05	1.4			
高浜発電所3, 4号放水口		"	07.04.05	0.9	ND~3.5	C	
		"	07.04.17	2.0		A	
		"	07.05.09	—		C	
		"	07.07.05	0.8			
		"	07.08.09	0.8			
		"	07.10.04	—			
		"	07.10.17	0.7		A	
		"	07.11.07	0.8		C	

過去実績：2004~2006年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第29表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	高浜発電所3, 4号放水口	海水	07.11.07	0.8	ND~3.5	C
		"	08.01.08	-		
		"	08.02.05	-		
	高浜発電所放水口沖	"	07.04.05	0.9	ND~2.5	C
		"	07.05.09	-		
		"	07.07.05	0.9		
		"	07.08.09	0.9		
		"	07.10.04	-		
		"	07.11.07	0.8		
		"	08.01.08	-		
		"	08.02.05	0.9		
	旧内浦港口ブイ	"	07.04.17	2.3	ND~6.3	A
"		07.10.17	0.6			
対照	福井市小丹生町	"	07.04.04	0.9	ND~0.8	A
		"	07.10.03	0.9		

過去実績：2004~2006年度

(注1) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

(注2) 美浜発電所3号放水口において、過去実績 (ND~1.6Bq/l ; 2004~2006年度) を上回る値 (3.5Bq/lおよび4.0Bq/l) が検出されたが、過去最高値 (53Bq/l ; 1982年度) より、低い値であった。

(注3) 美浜発電所3号放水口沖において、過去実績 (ND~1.7Bq/l ; 2004~2006年度) を上回る値 (2.9Bq/l) が検出されたが、1979年度実績 (4.7Bq/l) より、低い値であった。

第30表 放射化学分析等による ^{90}Sr ・ ^{137}Cs ・ ^{239}Pu 分析結果

(その1 ストロンチウム-90) 分析機関：A 単位：mBq/kg生

区分	地 区	採取地点	種類	採取日	放射能濃度	2004～2006年度実績
指 標 植 物	敦賀	浦底	ヨ モ ギ	07.06.06	180	330 ～ 610
	白木	白木		07.06.06	220	120 ～ 280
	美浜	竹波		07.06.06	1200	290 ～ 810
	大飯	日角浜		07.06.05	200	120 ～ 170
	高浜	小黒飯		07.06.05	750	490 ～ 890
	対照	福井市原目町		07.06.05	340	170 ～ 300
指 標 海 産 生 物	敦賀	明神崎F	ホ ン ダ ワ ラ	07.06.06	35	—
	白木	松ヶ崎		07.06.06	39	ND ～ 37.3
	美浜	美浜1,2号放水口		07.06.18	—	ND ～ 61
	大飯	台場浜		07.06.05	34	ND ～ 62
	高浜	高浜1,2号放水口		07.06.05	40	ND ～ 51
	対照	小丹生		07.04.05	83	36 ～ 67

(注) —およびNDは、検出限界値未満を示す(以下、同じ)。

(第30表つづき その2 アンチインデックス測定によるセシウム-137)

分析機関：A

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

種類	採取地点	採取月日	放射能濃度	種類	採取地点	採取月日	放射能濃度	
海底土	ふげん発電所放水口	07.11.26	—	サザエ	敦賀発電所2号放水口	07.06.05	18	
	もんじゅ放水口	07.04.18	—		アジゴ崎	07.06.12	35	
	美浜発電所1,2号放水口	07.10.17	280		あご越	07.06.04	33	
	美浜発電所1,2号放水口沖	〃	180		平島	07.06.04	28	
	美浜発電所3号放水口沖	〃	—		三松テトラ	07.06.06	19	
	大飯発電所放水口	07.10.16	110		河野沖	07.06.04	21	
	高浜発電所1,2号放水口	07.04.17	920		ホンダワラ	ふげん発電所放水口	07.11.26	33
	高浜発電所3,4号放水口	〃	870			明神崎F	07.11.05	110
ワカメ	立石漁港	07.04.05	23	釜谷元川河口		07.07.17	88	
	もんじゅ取水口	07.04.06	16	浦底対岸		07.07.18	52	
	竹波	07.04.03	15	浦底J		07.07.17	48	
	赤礁崎	07.04.02	26	松ヶ崎		07.11.05	30	
	名島	07.04.01	17	美浜発電所1,2号放水口		07.11.26	67	
	越廼沖	07.05.29	34	台場浜		07.11.06	34	
				高浜発電所1,2号放水口	07.11.19	42		

(その3 各地区のプルトニウム-238、239(+240))

分析機関：A

単位：mBq/kg乾土

種類	地区	採取地点	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	2004~2006年度実績	
						²³⁸ Pu	²³⁹ Pu
海底土	敦賀	水試前	07.10.18	20	600	—	370 ~ 690
		浦底湾口	07.10.18	27	1700	27 ~ 36.8	1400 ~ 1600
	美浜	丹生湾中央	07.10.17	60	1700	27 ~ 50.8	1400 ~ 1900
	大飯	西村入江	07.10.16	47	1500	ND ~ 39.9	1200 ~ 1500
	高浜	放水口沖	07.10.17	37	950	ND ~ 20.2	660 ~ 1200

注) プルトニウム分析結果において、核実験のフォールアウトに由来する²³⁸Pu/²³⁹Pu比は3%前後である。今年度の分析結果で検出されたPu238は、全てその範囲内であった。

(その4 各地区ﾌﾟﾙﾄｺﾑ-238、239 (+240))

分析機関：A

単位：生物試料 mBq/kg生、土壌 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	2004～2006年度実績	
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	07.05.09	—	0.47	—	—
	白木	松ヶ崎		07.05.09	—	—	—	—
	美浜	竹波		07.05.09	—	0.34	—	—
	大飯	日角浜		07.05.08	—	—	—	ND ～ 0.39
	高浜	小黒飯		07.05.08	—	—	—	—
	対照	福井市原目町		07.05.09	—	—	—	—
海産食品	敦賀	立石漁港	ワカメ	07.04.05	—	1.6	—	0.69 ～ 1.9
	白木	もんじゅ取水口		07.04.06	—	1.5	—	1.3 ～ 3.7
	美浜	竹波沖		07.04.03	—	1.7	—	1.61 ～ 2.2
	大飯	赤礁崎		07.04.02	—	1.6	—	1.2 ～ 1.7
	高浜	名島		07.04.02	—	4.5	—	1.8 ～ 4.0
	対照	越廼沖		07.05.29	—	2.3	—	2.6 ～ 4.9
指標海産生物	敦賀	明神崎	ホンダワラ	07.06.06	—	9.3	—	8.2 ～ 13
	白木	松ヶ崎		07.06.06	—	14	—	5.4 ～ 8.9
	美浜	1,2号放水口		07.06.18	1.8	95	—	41 ～ 46
	美浜	3号放水口		07.06.18	—	25	—	8.1 ～ 35
	大飯	台場浜		07.06.05	—	15	—	7.6 ～ 18
	高浜	1,2号放水口		07.06.05	—	5.9	—	7.7 ～ 15
	対照	福井小丹生		07.04.05	—	10	—	10 ～ 13
陸土	対照	勝山市池ヶ原		07.06.12	120	4300	95 ～ 140	4000 ～ 4400

(その5 白木地区ﾌﾟﾙﾄｺﾑ-238、239 (+240))

(陸土)

分析機関：A、D 単位：mBq/kg乾土

種類	採取地点	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	2004～2006年度実績		機関
					²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
陸土	松ヶ崎 (モニタリングステーション)	07.05.09	—	39	—	45 ～ 65	A
		07.07.11	—	70			D
		07.11.07	—	75			A
		08.01.10	—	74			D

(その6 白木地区ﾌﾟﾙﾄﾞﾐ-238、239(+240))

(生物試料)

分析機関：A、D 単位：mBq/kg生

区分	種類	採取地点	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	2004～2006年度実績		機関
						²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
指標植物	ヨモギ	松ヶ崎	07.06.06	—	—	—	—	A
			07.07.04	—	—			A
			07.08.09	—	—			A
			07.09.03	—	—			A
			07.10.03	—	—			A
			07.11.05	—	—			A
農産物	大根葉	白木	07.11.05	—	0.36	—	—	A
指標海産生物	ホタテ	松ヶ崎	07.09.03	—	11	—	3.8 ~ 10	A
			07.11.05	—	18			A
			08.03.03	—	5.5			A
魚類	ハル	アジゴ崎	07.06.20	—	—	—	—	A
	カゴ	アジゴ崎	07.06.20	—	—			A
	マジ	門ヶ崎	07.10.22	—	—			A
	シラ	門ヶ崎	07.10.22	—	—			A
	アジ	白木沖	07.07.25	—	—			D
	シラ	白木沖	07.10.22	—	—			D
貝類	サエ	アジゴ崎	07.06.12	0.65	45	ND ~ 1.5	9.8 ~ 57	A
	アヒ	もんじゅ放水口東	07.06.12	0.52	14			A
	サエ	アジゴ崎	07.07.01	0.68	45			A
	サエ	白木沿岸	07.07.24	1.6	56			D
藻類	ワカ	もんじゅ取水口	07.05.16	—	1.8	—	2.6 ~ 7.2	A
		門ヶ崎	07.05.16	—	2.2			A
		白木沿岸	07.04.24	—	—			D

(その7 白木地区ﾌﾟﾙﾄﾞﾐ-238、239(+240))

(海底土)

分析機関：A、D 単位：mBq/kg乾土

区分	採取地点	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	2004～2006年度実績		機関
					²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
海底土	もんじゅ放水口	07.04.18	—	62	—	56 ~ 120	A
		07.05.09	—	64			D
		07.07.17	—	62			A
		07.10.17	—	63			A
		07.11.07	—	51			D
	もんじゅ取水口	07.07.17	—	120	—	59 ~ 110	A
	もんじゅ放水口東	07.07.17	—	79	—	90 ~ 130	A
		07.10.17	—	98			A
	白木漁港	07.05.09	—	73	—	52 ~ 94	D
		07.11.07	—	64			D
	もんじゅ放水口沖	07.04.18	—	101	—	47 ~ 120	A
		07.07.17	—	89			A
		07.10.17	—	105			A
	門ヶ崎	07.07.17	—	42	—	31 ~ 55	A
		07.10.17	—	71			A

第31表 年間降下物の⁹⁰Sr・²²Na・⁶⁰Co・¹³⁷Cs・²³⁹Pu分析結果

(参考：定期外調査)

単位：mBq/m²・年

採取地点	採取期間	放射能濃度					2004～2006年度実績								
		⁹⁰ Sr	²² Na	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	²³⁹ Pu	⁹⁰ Sr	²² Na	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	²³⁹ Pu				
浦底 水試 A	07.04.05	—	320	—	270	5.7	ND	～	290	～	—	130	～	3.1	～
	～08.04.10						81		440			340		9.0	
浦底 明神寮 B	07.04.02	/	350	—	290	/	/		270	～	—	ND	～	/	
	～08.04.01								320			280			
松ヶ崎 A	07.04.04	—	400	—	270	5.9	380	～	250	～	—	97	～	2.4	～
	～08.04.09						710		440			350		5.4	
松ヶ崎 D	07.04.02	/	240	—	200	/	/		220	～	—	ND	～	/	
	～08.04.01								290			380			
竹波 A	07.04.04	230	530	—	240	7.4	ND	～	290	～	—	120	～	2.0	～
	～08.04.09						180		350			270		6.5	
丹生 C	07.04.02	/	400	—	270	/	/		260	～	—	120	～	/	
	～08.04.01								320			340			
宮留 A	07.04.04	—	430	—	230	6.4	—		250	～	—	170	～	2.1	～
	～08.04.09								420			400		7.5	
日角浜 C	07.04.03	/	270	—	95	/	/		190	～	—	150	～	/	
	～08.04.02								280			240			
小黒飯 A	07.04.03	—	520	—	200	3.9	ND	～	210	～	—	140	～	3.3	～
	～08.04.08						320		360			320		7.4	
小和田 C	07.04.03	/	340	—	150	/	/		200	～	—	100	～	/	
	～08.04.02								300			260			
原目町 A	07.04.02	—	450	—	280	8.4	ND	～	210	～	—	97	～	4.9	～
	～08.04.04						66		360			350		7.6	

(注1) 各地点での月間降下物測定試料(パウデックス樹脂)の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物コンポジット試料とし、測定したもの。

(注2) ²²Na, ⁶⁰Co, ¹³⁷CsはGe半導体検出器によるγ線スペクトロメトリによる結果であり、⁹⁰Sr, ²³⁹Puは放射化学分析の結果である。

(注3) 採取地点のA, B, C, Dはそれぞれ県、原電、関電、原子力機構が分析した試料であることを示す。

(注4) 各地区の²²Naは宇宙線で生成されたものである。

第32表 (参考データ) 各地の積雪量 (2007年12月～2008年1月)

単位: cm

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局							
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中
12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	1	48	17	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	45	13	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	3	41	11	1	-	-	-	-	-	-	-	8
	4	37	8	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	5	33	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	25	29	4	5	-	-	1	-	-	-	-	6
	26	31	4	6	-	-	3	5	-	-	-	7
	27	22	1	6	-	-	-	5	-	-	-	8
	28	13	-	2	-	-	3	3	-	-	-	6
	29	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	30	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)・積雪深計による定時(午前9時)の測定値を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(-)とした。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

第32表 (参考データ つづき) 各地の積雪量 (2008年2月～2008年3月)

単位: cm

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局								
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黑飯	山中	
2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	8	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	7	3	14	-	×	-	1	3	5	3	3	16
	9	9	-	9	-	-	-	-	1	×	2	2	14
	10	9	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	12	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	24	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	14	30	6	6	-	-	-	-	-	×	2	2	6
	15	35	6	2	-	-	-	×	-	-	-	-	1
	16	49	26	16	-	-	-	6	-	3	5	5	22
	17	56	27	35	×	12	10	25	16	18	22	22	40
	18	55	27	36	×	12	15	28	8	11	18	18	39
	19	44	18	27	×	3	7	22	-	7	12	12	34
	20	41	13	19	-	1	2	19	-	-	6	6	21
	21	32	6	13	-	-	-	13	-	-	-	-	15
	22	26	1	9	-	-	-	8	-	-	-	-	7
	23	23	-	5	-	-	-	4	-	-	-	-	-
	24	36	2	8	-	-	-	3	-	-	-	-	3
	25	36	-	7	-	-	-	3	-	-	-	-	4
	26	26	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	1	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)・積雪深計による定時(午前9時)の測定値を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(-)とした。また、欠測値は(×)とした。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

4. 付

4. 1 空間放射線の構成成分
4. 2 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率の調査結果
4. 3 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について
4. 4 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

4. 1 空間放射線の構成成分

今年度は、昨年度と同様にTLD設置地点の15地点（各サイト3地点）について、空間放射線の構成成分調査を実施した。

今年度の測定地点名と測定結果を表1と図1に示す。

測定器は3"φ×3" NaI(Tl) スペクトロメータ (Aloka JSM-102)で、測定時間は各10分間である。解析法は脚注に示した。ここで測定した値は降雨等の自然条件や測定条件などにより個々の測定点でも測定毎に20～30%の変動がある。

測定結果の各成分のカリウム-40、ウラン系列、トリウム系列は天然の放射線源である。降雨時には雨により空気中のラドンの娘核種が降下し、地表面に溜まるため、ウラン系列の放射線が増加する。今回の測定時の天候は晴あるいは曇であり、降雨中の測定はない。

地域や地点により線量率に差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島はその大部分が花崗岩（酸性岩）からなり、天然放射性核種の濃度が高いので線量率も高い。嶺南地区の西部は粘板岩ないし安山岩等（堆積岩ないし塩基性岩）からなり線量率は低い。嶺北地区については、砂礫および粘土を主体とした沖積層の福井平野に位置しているため線量率は低い。

今年度の調査結果をまとめると、線量率の最も高かったのは、浦底A5の101nGy/hで、最も低かったのは、宮留奥Aの26nGy/hであった。

線量構成比を比較すると、浦底A5は、ウラン系列；20%、トリウム系列；47%、カリウム；33%であり、宮留奥Aは、ウラン系列；26%、トリウム系列；31%、カリウム；43%となっている。

(解析法) 測定エネルギー範囲を0～3.2 MeVとした。測定された波高分布から線量率を求めるには2つのステップが必要である。①波高分布を入射エネルギースペクトルに変換すること、②このエネルギースペクトルから線量率に換算することの2つである。

(1)波高分布→入射エネルギースペクトル変換

入射γ線のスペクトル（求めるべきエネルギースペクトル）をN、シンチレーションスペクトロメータの出力波高分布をPとし、これらの関係をベクトルで表示すると

$$P = N \cdot R \quad \text{と書ける。}$$

Nを逐次近似的にレスポンス行列(R)を用いて求めるのがレスポンス行列法である。

(2)入射エネルギースペクトル→線量率換算

(1)で得られた入射γ線エネルギースペクトルの各ビンに、そのビンのエネルギーに対応する質量エネルギー吸収係数をかけ、それらを積算して0～3.2 MeVの線量率を求める。

参考文献：①名古屋工業試験所報告、第31巻 第5号、p132-146 (1982)

②福井県衛生研究所年報、第28集、p93～94 (1989)

③福井県原子力環境監視センター所報、第8巻、p47～59 (2001)

表1. 測定地点と核種別線量率

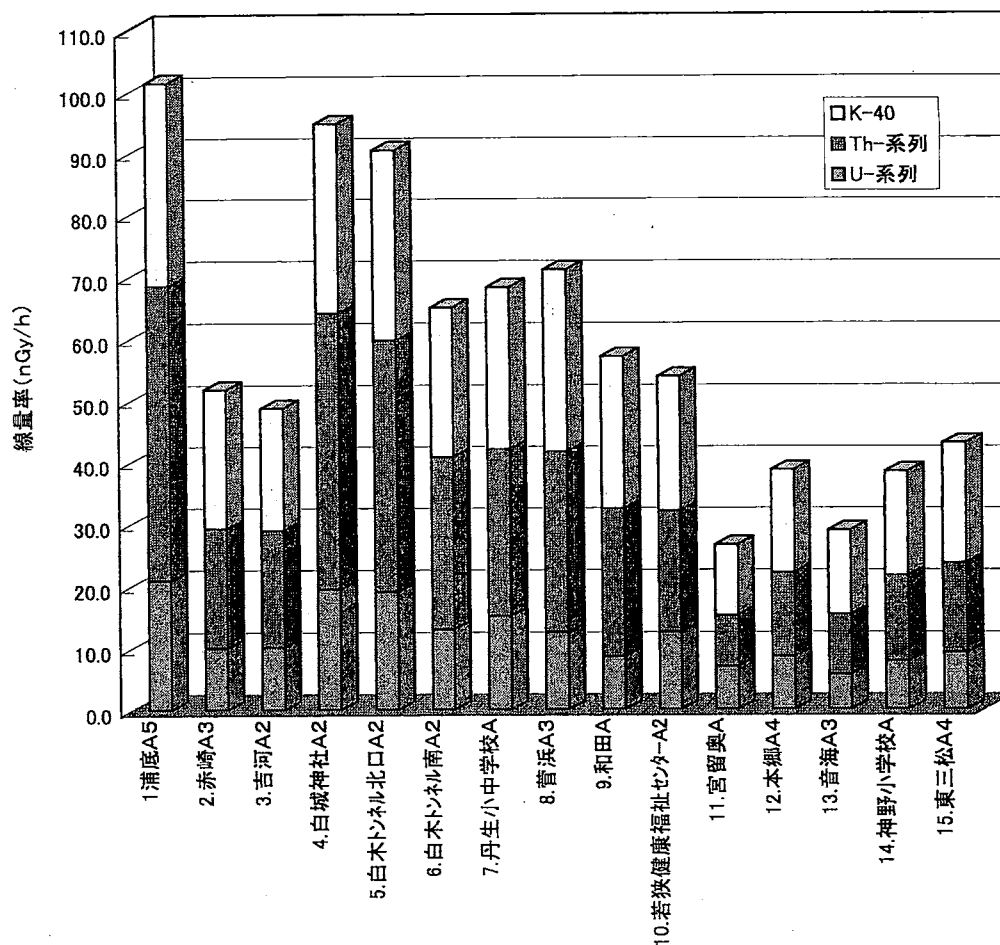
地区	測定地点	線量率(nGy/h)				線量構成比(%)		
		U-系列	Th-系列	K-40	TOTAL	U-系列	Th-系列	K-40
敦賀市	1 浦底A5	20.7	47.7	33.0	101.4	20.4	47.0	32.6
	2 赤崎A3	9.9	19.2	22.6	51.7	19.1	37.1	43.8
	3 吉河A2	10.0	18.7	19.9	48.6	20.6	38.5	40.9
	4 白城神社A2	19.3	44.6	30.8	94.7	20.4	47.1	32.5
	5 白木トンネル北口A2	18.9	40.7	30.8	90.4	20.9	45.0	34.1
	6 白木トンネル南A2	12.9	27.8	24.2	64.8	19.9	42.8	37.3
美浜町	7 丹生小中学校A	15.0	26.9	26.1	68.1	22.0	39.6	38.4
	8 菅浜A3	12.4	29.2	29.4	70.9	17.4	41.1	41.4
	9 和田A	8.5	23.8	24.7	56.9	14.9	41.7	43.4
小浜市	10 若狭健康福祉センターA2	12.4	19.5	21.8	53.8	23.1	36.3	40.6
大飯町	11 宮留奥A	6.9	8.2	11.3	26.4	26.0	31.2	42.8
	12 本郷A4	8.5	13.4	16.6	38.6	22.0	34.9	43.1
高浜町	13 音海A3	5.6	9.7	13.5	28.7	19.3	33.6	47.0
	14 神野小学校A	7.7	13.7	16.9	38.3	20.2	35.7	44.1
	15 東三松A4	9.1	14.4	19.5	42.9	21.1	33.5	45.4

測定年月日

地点 1~8(2008.2.7)

地点 9~15(2008.3.4)

図1. 測定結果



4. 2 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果

福井県環境放射線監視テレメータシステムでは、各原子力発電所周辺に18ヶ所の観測局を設け、波高弁別器バイアス変調(以下、DBM)方式のNaI(Tl)検出器により、空間線量率を連続測定し10分毎にデータ収集している。

観測局の位置は、添付資料第2図(p.32~p.33)に示した。測定器の仕様、測定項目などの詳細については、各年度の「福井県原子力環境監視センター所報」を参照されたい。

線量率の測定結果では、各観測局の月毎に求めた「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた線量率について、原因の究明を行なっている。各観測局で月毎に処理するのは、観測地点の周辺環境の違いと降雨、降雪などの気象条件が季節によって異なるためである。また、検出器に入射する放射線のエネルギー成分を検討するため、DBM通過率(線量率と計数率の比)の解析を行っている。ほかに降雨量、風向、風速等の気象情報も収集しており、線量率が「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた場合には、これらの気象情報や近接局の状況を加味して、線量率上昇の原因を判断している。なお、ここで取り扱ったデータは、すべて1時間値をもとにしたものである。

添付資料第8表(p.49~p.54)は、線量率の最高値、最低値、平均値、標準偏差、「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間と原因を観測局別に示している。「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間数は各地点とも例年どおり200時間前後であり、原因のほとんどが降雨または降雪によるものであった。

その他に、比較的平坦な場所(注1)で長時間降雨がなく、更に無風に近い静穏な気象状態になると拡散・希釈が抑制され大気中のラドン娘核種濃度が高くなり、「平均値+標準偏差の3倍」を超えることがある。今年度は、敦賀観測局で2時間観測された。

各観測局の線量率と降雨量の全測定結果を図4.2.1(p.157~p.165)に示す。

図より、降雨または降雪による線量率の上昇が、全局で顕著にみられている。夏季の少雨期には、土壌中の水分が蒸発して地中からの放射線に対する遮蔽効果が減少し、線量率が徐々に増加する現象が、白木、白木峠、竹波、坂尻観測局等でみられた。

平野部(注1)に設置された敦賀、小浜観測局等では、降雨のない期間に数nGy/h程度の1日周期の線量率変化が現れている。これは、大気状態が安定になりやすい夏季に多く見られる現象で、夜半から明け方にかけて地表付近の大気中においてラドン等の天然放射性核種濃度が高くなるために起きる現象である。冬季(12月~2月)には、積雪の影響により顕著な線量率の低下が見られる。今年度は2月中旬に各地で積雪量が多くなったため、敦賀、浦底、白木峠、丹生、竹波、坂尻、小浜、日角浜、長井、小黒飯、神野浦および山中の各観測局で線量率低下が観測された。特に坂尻観測局では、顕著な線量率低下が観測された。

表4.2.1(p.145~p.156)、図4.2.2(p.166~p.169)にテレメータシステムで観測した気象関係の統計結果を示す。

以上のことより、今年度の調査結果では、県内の原子力発電所の運転による短時間間隔の線量率上昇は観測されなかった。

(注1) 海岸線の俯角、標高100m地点の仰角が共に小さい所を平坦な地としている。参考として下表に各観測局の周辺状況を示す。

(参考) 観測局周辺状況

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
敦賀	4	1175	2058	0.2°	2.7°
浦底	12	35	350	18.9°	14.1°
立石	20	40	150	26.6°	28.1°
河野	2	3	230	33.7°	23.1°
白木	20	130	300	8.7°	14.9°
白木峠	180	800	350*	12.7°	3.3°*
丹生	3	6	228	26.6°	23.0°

*：白木峠観測局は、標高200mまで

(参 考) 観測局周辺状況

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
竹波	10	225	238	2.5°	20.7°
坂尻	20	320	150	3.6°	28.1°
小浜	5	538	725	0.5°	7.5°
日角浜	15	100	338	8.5°	14.1°
宮留	4	50	350	4.6°	15.3°
阿納尻	5	100	290	2.9°	18.1°
長井	5	70	420	4.1°	12.7°
小黒飯	35	25	125	54.5°	27.5°
音海	2	163	213	0.7°	24.7°
神野浦	9	60	340	8.5°	15.0°
山中	135	1100	400	7.0°	9.2°

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2007 年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
敦賀	月間降雨時間 (時間)	48	82	72	110	44	60	44	103	213	152	163	114	1205
	月間感雨時間 (時間)	101	129	126	194	88	121	84	162	345	280	324	195	2149
	月間降雨量 (mm)	65.5	157.5	198.5	215.5	150.5	109.0	110.0	200.0	393.5	215.5	214.5	168.0	2198.0
	月間平均風速 (m/s)	1.8	2.2	2.1	1.7	1.9	1.9	1.7	1.6	2.0	1.9	2.0	2.0	1.9
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	48	31	42	72	40	49	45	64	51	51	41	42	576
	月間平均気温 (°C)	13.7	18.5	22.4	24.0	28.3	25.6	18.4	11.9	7.9	4.9	4.0	9.9	15.8
浦底	月間降雨時間 (時間)	41	76	79	107	56	58	46	87	215	146	163	116	1190
	月間感雨時間 (時間)	91	118	120	187	86	115	95	159	369	297	317	189	2143
	月間降雨量 (mm)	65.0	164.5	211.5	202.5	191.5	93.5	103.0	107.0	317.5	192.5	191.0	159.0	1998.5
	月間平均風速 (m/s)	1.8	2.2	2.3	1.6	2.3	2.1	1.5	1.2	2.0	1.5	1.9	2.1	1.9
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	111	119	115	189	139	113	67	75	53	47	57	61	1146
	月間平均気温 (°C)	12.4	17.3	21.8	23.3	27.4	24.9	18.1	11.8	7.9	4.7	3.2	8.7	15.2

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2007 年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
立石	月間降雨時間 (時間)	32	71	68	88	48	49	37	73	193	128	139	108	1034
	月間感雨時間 (時間)	89	123	117	181	90	103	89	153	364	289	327	191	2116
	月間降雨量 (mm)	50.5	140.5	164.5	155.0	171.5	82.0	88.5	91.5	251.5	146.0	144.0	150.0	1635.5
	月間平均風速 (m/s)	2.7	3.3	3.2	2.6	3.0	3.3	2.8	2.4	3.1	2.7	2.9	2.9	2.9
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	23	42	43	66	34	25	11	25	13	12	15	15	324
	月間平均気温 (°C)	13.9	18.5	22.9	24.5	28.7	26.5	19.9	13.9	9.8	6.3	4.7	10.1	16.7
河野	月間降雨時間 (時間)	32	68	67	104	50	52	51	92	223	131	152	103	1125
	月間感雨時間 (時間)	88	125	111	178	78	109	94	153	386	315	348	173	2158
	月間降雨量 (mm)	56.0	143.5	251.5	199.5	236.0	86.0	131.5	144.0	343.5	140.5	173.5	140.5	2046.0
	月間平均風速 (m/s)	3.0	3.1	2.3	2.4	2.8	3.2	3.2	3.1	4.8	3.1	2.8	2.9	3.1
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	30	27	45	52	23	15	22	15	11	-8	20	26	294
	月間平均気温 (°C)	12.3	17.2	21.6	23.7	27.6	25.2	18.4	12.1	8.5	4.6	3.2	8.6	15.3

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 白木地区

2007 年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
白木	月間降雨時間 (時間)	36	75	74	99	55	48	44	72	184	127	131	119	1064
	月間感雨時間 (時間)	96	132	131	193	87	114	98	143	360	319	335	203	2211
	月間降雨量 (mm)	57.0	135.5	185.5	164.0	174.5	69.5	98.5	92.0	252.5	165.0	149.5	159.5	1703.0
	月間平均風速 (m/s)	2.6	3.3	2.7	2.1	2.5	2.9	3.0	3.3	3.4	3.5	4.2	3.4	3.1
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	13	13	17	25	13	6	5	3	1	4	6	9	115
	月間平均気温 (°C)	11.7	16.6	21.2	22.8	26.8	24.5	17.9	11.9	8.2	4.9	3.5	8.3	14.9
白木峠	月間降雨時間 (時間)	39	74	78	104	53	56	47	74	184	128	101	115	1053
	月間感雨時間 (時間)	90	120	123	187	88	111	89	150	369	299	330	195	2151
	月間降雨量 (mm)	57.5	147.5	202.0	177.5	185.5	72.0	100.5	86.0	254.0	153.0	115.0	157.5	1708.0
	月間平均風速 (m/s)	3.7	4.7	4.0	3.2	3.8	4.4	4.5	4.3	4.2	5.0	5.7	4.8	4.3
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	15	18	15	25	16	23	14	14	5	7	5	15	172
	月間平均気温 (°C)	11.4	16.4	20.9	22.5	26.4	24.0	17.3	11.2	7.3	3.8	2.4	7.6	14.3

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 美浜地区

2007 年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
丹生	月間降雨時間 (時間)	34	72	71	97	51	50	46	79	186	122	157	118	1083
	月間感雨時間 (時間)	87	130	119	170	77	97	86	153	346	299	331	186	2081
	月間降雨量 (mm)	57.0	141.5	199.5	163.0	201.0	68.5	116.5	98.0	257.5	168.5	159.5	159.0	1789.5
	月間平均風速 (m/s)	1.6	2.1	2.3	1.7	2.0	2.3	1.7	1.4	2.6	1.7	1.7	1.9	1.9
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	165	147	87	169	167	97	111	133	65	78	71	106	1396
	月間平均気温 (°C)	12.4	17.4	22.1	23.6	27.8	25.3	18.6	12.4	8.7	5.0	3.4	8.6	15.5
竹波	月間降雨時間 (時間)	36	75	81	104	53	58	52	88	201	146	165	120	1179
	月間感雨時間 (時間)	89	121	121	176	82	112	97	141	350	299	330	199	2117
	月間降雨量 (mm)	57.5	153.5	220.0	195.5	201.0	84.0	122.0	124.0	316.0	193.5	189.5	168.5	2025.0
	月間平均風速 (m/s)	1.2	1.5	1.3	1.1	1.0	1.2	1.2	1.2	2.1	1.4	1.5	1.4	1.3
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	126	86	99	177	135	98	79	113	63	102	76	103	1257
	月間平均気温 (°C)	11.7	16.8	21.4	23.0	26.9	24.4	17.2	11.2	8.2	4.5	2.9	8.2	14.8
坂尻	月間降雨時間 (時間)	51	77	80	108	55	61	48	96	184	148	174	104	1186
	月間感雨時間 (時間)	103	121	125	191	87	110	97	174	351	286	328	194	2167
	月間降雨量 (mm)	77.5	163.0	191.5	192.0	179.5	117.5	103.5	175.0	293.5	188.5	228.5	147.5	2057.5
	月間平均風速 (m/s)	1.7	1.8	1.2	1.1	1.4	1.3	1.5	1.6	1.5	1.7	2.2	1.8	1.6
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	93	122	123	171	126	90	80	87	109	128	90	91	1310
	月間平均気温 (°C)	12.1	17.0	21.3	22.9	26.9	24.4	17.7	11.5	7.4	4.2	2.7	8.2	14.8

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2007 年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
小浜	月間降雨時間 (時間)	40	90	79	107	46	62	55	100	137	177	180	118	1191
	月間感雨時間 (時間)	99	136	141	199	83	114	109	155	266	349	360	216	2227
	月間降雨量 (mm)	55.0	169.0	164.5	161.5	98.0	118.5	140.5	182.0	174.0	173.5	217.0	187.0	1840.5
	月間平均風速 (m/s)	1.2	1.4	1.2	1.1	1.3	1.3	1.1	1.2	1.5	1.2	1.4	1.3	1.3
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	92	64	114	160	61	87	84	53	36	45	45	70	911
	月間平均気温 (°C)	12.5	17.8	22.1	23.8	28.1	25.3	18.2	11.6	7.9	4.4	3.2	8.8	15.4
日角浜	月間降雨時間 (時間)	40	85	75	105	44	49	56	88	123	147	171	100	1083
	月間感雨時間 (時間)	88	122	118	188	75	90	98	146	253	320	332	191	2021
	月間降雨量 (mm)	50.5	146.0	173.0	171.5	123.5	104.5	140.0	130.5	149.5	154.5	189.5	175.5	1708.5
	月間平均風速 (m/s)	1.4	1.9	1.6	1.4	1.6	1.7	1.5	1.3	1.8	1.7	1.9	1.7	1.6
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	79	73	110	136	116	94	51	84	58	67	50	74	992
	月間平均気温 (°C)	12.2	17.4	21.8	23.7	28.1	25.5	18.7	12.0	8.3	5.0	3.4	8.4	15.4
宮留	月間降雨時間 (時間)	34	81	71	104	43	51	52	86	124	149	168	101	1064
	月間感雨時間 (時間)	90	125	123	171	99	95	105	153	253	327	334	206	2081
	月間降雨量 (mm)	48.5	152.0	171.5	173.0	126.5	98.0	140.5	132.0	157.5	165.5	208.5	174.5	1748.0
	月間平均風速 (m/s)	2.6	2.5	2.1	2.0	2.3	2.6	2.9	2.4	2.7	3.4	3.2	2.9	2.6
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	45	39	66	71	50	30	15	42	33	26	24	39	480
	月間平均気温 (°C)	12.1	17.3	21.7	23.5	27.7	25.3	18.8	12.3	8.6	5.0	3.5	8.5	15.4

141

表 4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2007 年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
阿納尻	月間降雨時間 (時間)	41	94	70	100	47	59	64	97	159	150	171	122	1174
	月間感雨時間 (時間)	91	131	128	184	81	117	105	167	284	309	335	202	2134
	月間降雨量 (mm)	58.5	169.5	156.0	148.0	129.0	110.5	150.5	239.0	238.0	182.5	215.0	167.0	1963.5
	月間平均風速 (m/s)	1.7	2.0	1.5	1.4	1.5	1.7	1.6	1.8	2.3	2.1	2.4	2.0	1.8
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	129	111	92	132	114	87	90	127	86	90	75	82	1215
	月間平均気温 (°C)	13.2	18.5	23.0	24.6	28.8	26.2	19.4	12.8	9.0	5.5	4.1	9.5	16.3
長井	月間降雨時間 (時間)	39	91	69	103	45	57	56	93	122	154	166	111	1106
	月間感雨時間 (時間)	97	131	115	189	83	91	107	168	241	344	393	201	2160
	月間降雨量 (mm)	52.0	146.5	157.0	168.0	128.5	93.0	143.0	170.5	120.0	131.0	166.0	162.0	1637.5
	月間平均風速 (m/s)	2.4	2.2	1.7	1.6	1.7	1.9	2.5	2.4	2.1	3.1	2.9	2.7	2.3
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	23	34	53	83	38	19	22	21	24	31	26	22	396
	月間平均気温 (°C)	11.9	17.1	21.4	23.3	27.2	24.6	17.8	11.3	7.6	4.4	2.9	8.2	14.9

150

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2007 年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
小黒飯	月間降雨時間 (時間)	35	82	76	103	51	58	52	101	131	183	209	107	1188
	月間感雨時間 (時間)	89	130	125	184	77	114	101	166	253	370	378	184	2171
	月間降雨量 (mm)	54.0	171.5	203.5	185.5	167.0	105.5	148.5	144.0	137.0	177.5	234.5	181.0	1909.5
	月間平均風速 (m/s)	1.1	1.0	0.8	0.6	1.0	0.7	0.8	0.8	1.0	0.9	1.0	0.9	0.9
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	186	160	246	320	235	224	172	170	127	114	125	169	2248
	月間平均気温 (°C)	12.9	17.9	21.7	23.6	27.9	25.3	19.1	12.9	8.9	5.3	3.8	9.1	15.7
音海	月間降雨時間 (時間)	32	79	72	101	48	56	51	89	120	154	175	100	1077
	月間感雨時間 (時間)	83	126	121	180	83	111	101	167	257	348	358	178	2113
	月間降雨量 (mm)	35.5	152.0	198.5	192.0	179.5	104.5	131.5	130.0	129.5	127.5	192.5	161.0	1734.0
	月間平均風速 (m/s)	2.5	2.6	1.7	1.4	1.9	1.5	1.9	2.8	3.9	3.2	3.7	2.5	2.5
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	114	110	131	196	114	145	98	78	76	51	64	108	1285
	月間平均気温 (°C)	12.4	17.4	21.2	23.2	27.5	24.9	18.6	12.6	8.6	5.2	3.6	8.6	15.4

151

表 4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2007 年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
神野浦	月間降雨時間 (時間)	36	80	74	105	52	56	50	103	146	183	203	111	1199
	月間感雨時間 (時間)	88	130	132	187	83	102	103	172	274	369	381	206	2227
	月間降雨量 (mm)	48.0	166.0	211.5	195.0	171.5	139.0	129.0	161.0	161.0	191.0	237.5	188.0	1998.5
	月間平均風速 (m/s)	0.9	0.8	0.5	0.4	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	1.0	0.9	0.9	0.7
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	91	135	297	383	236	249	160	130	152	133	125	140	2231
	月間平均気温 (°C)	11.7	16.6	20.7	22.6	26.5	23.9	17.7	11.2	7.3	4.3	2.6	7.8	14.5
山中	月間降雨時間 (時間)	37	88	73	99	51	58	50	101	127	148	198	104	1134
	月間感雨時間 (時間)	96	129	121	200	87	99	101	176	273	344	359	201	2186
	月間降雨量 (mm)	49.5	167.5	217.0	196.0	176.5	161.5	123.5	167.5	140.0	155.5	207.0	185.0	1946.5
	月間平均風速 (m/s)	2.4	2.3	1.8	1.6	2.1	1.8	2.2	2.7	3.3	2.8	2.9	2.4	2.3
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	19	29	55	69	24	31	21	9	8	10	13	13	301
	月間平均気温 (°C)	11.2	16.5	20.5	22.3	26.5	23.8	17.2	10.7	6.7	3.2	1.7	7.3	14.0

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 敦賀地区

2007年度

単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
敦賀	4～6月	3.8	1.0	0.4	0.5	1.2	9.5	26.7	11.0	2.5	1.4	1.8	3.2	5.1	7.3	8.3	10.6	5.5
	7～9月	3.8	0.9	0.5	0.5	1.2	8.6	30.1	12.8	2.2	1.8	2.3	3.7	6.2	3.1	4.7	10.3	7.3
	10～12月	2.7	0.7	0.6	1.1	2.1	8.5	18.5	13.5	3.7	1.5	3.1	5.3	5.9	6.9	9.7	8.9	7.3
	1～3月 年間	3.6 3.5	1.1 0.9	0.7 0.5	0.8 0.7	1.3 1.5	4.9 7.9	13.4 22.2	13.0 12.6	3.3 2.9	1.3 1.5	2.2 2.3	4.1 4.1	5.2 5.6	8.6 6.5	13.6 9.1	16.6 11.6	6.2 6.6
浦底	4～6月	0.7	0.7	0.5	0.8	1.1	2.3	16.2	18.6	2.1	1.0	1.1	3.3	13.3	18.7	2.8	1.1	15.8
	7～9月	0.4	0.5	1.0	0.7	1.5	1.6	18.2	21.2	1.6	0.5	1.0	3.9	9.5	14.3	3.3	0.8	20.0
	10～12月	0.4	0.5	0.3	0.3	0.7	1.8	8.2	13.9	1.9	2.0	3.0	11.7	22.6	19.8	3.2	0.9	8.9
	1～3月 年間	1.0 0.6	0.4 0.5	0.4 0.5	0.6 0.6	0.8 1.0	1.9 1.9	7.6 12.6	11.4 16.3	2.2 2.0	1.2 1.2	2.0 1.8	9.1 7.0	21.1 16.6	26.9 19.9	3.6 3.2	2.1 1.2	7.7 13.1
立石	4～6月	1.6	0.9	0.5	0.8	16.1	15.6	2.0	3.4	4.0	6.4	3.6	3.9	4.0	3.8	15.3	13.1	4.9
	7～9月	2.0	1.0	0.7	0.7	18.2	16.1	1.9	4.1	4.5	6.7	4.3	4.0	3.4	3.2	12.1	11.4	5.7
	10～12月	4.4	2.0	2.1	2.6	12.0	8.8	3.1	4.2	5.4	6.3	2.5	2.5	3.6	4.1	15.7	18.3	2.2
	1～3月 年間	5.0 3.3	2.5 1.6	1.7 1.3	1.2 1.4	7.6 13.5	8.8 12.3	3.0 2.5	4.6 4.1	3.9 4.5	4.8 6.1	2.4 3.2	2.4 3.2	3.2 3.5	3.1 3.6	20.3 15.8	23.5 16.6	1.9 3.7
河野	4～6月	0.9	2.9	21.6	23.7	8.2	4.6	3.6	1.3	1.0	1.0	1.6	4.3	15.4	4.0	0.7	0.5	4.7
	7～9月	0.6	2.4	25.7	23.6	7.8	4.5	4.4	3.8	1.0	1.0	1.5	4.5	12.2	2.2	0.3	0.5	4.1
	10～12月	0.7	3.8	31.1	25.7	3.2	1.6	3.4	3.9	0.8	1.0	1.9	6.8	8.6	3.7	0.9	0.8	2.2
	1～3月 年間	1.5 0.9	4.9 3.5	27.4 26.4	26.9 24.9	4.6 6.0	2.2 3.2	2.6 3.5	2.5 2.9	0.6 0.9	0.8 1.0	1.6 1.6	3.5 4.8	9.5 11.4	5.8 3.9	1.9 0.9	1.2 0.7	2.5 3.4

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 白木、美浜地区

2007年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
白木	4 ~ 6月	8.1	4.0	1.9	1.0	1.6	2.8	14.8	20.2	11.8	4.2	0.8	0.1	0.1	0.5	5.4	20.8	2.0
	7 ~ 9月	6.6	2.7	1.3	1.0	1.4	3.5	17.6	24.0	15.3	2.9	0.8	0.3	0.5	0.6	6.8	12.8	2.0
	10 ~ 12月	12.2	9.5	3.4	1.7	1.5	2.7	16.1	23.1	8.5	2.3	0.3	0.4	0.1	0.1	4.0	13.6	0.4
	1 ~ 3月	15.4	13.1	3.9	1.9	1.3	2.4	10.1	18.5	8.0	1.6	0.5	0.0	0.3	0.5	4.0	17.6	0.9
	年 間	10.5	7.3	2.6	1.4	1.5	2.9	14.7	21.5	10.9	2.7	0.6	0.2	0.2	0.4	5.1	16.2	1.3
白木峠	4 ~ 6月	7.1	2.0	0.6	0.7	1.2	5.5	29.5	9.1	0.8	0.2	0.2	0.3	0.1	0.4	8.9	31.3	2.2
	7 ~ 9月	5.0	1.9	0.7	0.6	1.2	4.1	40.0	9.3	0.8	0.4	0.1	0.1	0.1	0.6	6.4	25.7	2.9
	10 ~ 12月	4.7	1.1	0.6	0.8	1.5	8.2	28.1	7.9	0.7	0.2	0.0	0.1	0.2	0.3	4.5	39.5	1.5
	1 ~ 3月	3.8	1.4	0.3	0.7	1.3	4.9	23.2	5.7	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	4.1	52.3	1.3
	年 間	5.1	1.6	0.6	0.7	1.3	5.7	30.2	8.0	0.7	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	6.0	37.1	2.0
丹生	4 ~ 6月	4.8	5.2	9.1	11.7	13.9	4.2	2.1	2.5	3.0	6.2	4.3	2.2	1.8	1.6	4.3	4.7	18.3
	7 ~ 9月	4.0	5.2	8.5	12.7	17.0	4.3	2.4	2.1	2.9	7.3	2.2	1.5	1.6	2.0	3.5	3.3	19.6
	10 ~ 12月	7.4	7.3	13.5	8.9	8.7	4.3	1.9	2.3	2.0	6.6	5.7	1.0	1.1	1.5	4.6	9.2	14.0
	1 ~ 3月	7.4	8.6	15.7	9.5	8.5	4.0	2.4	2.3	2.8	5.0	5.1	2.1	1.5	1.9	3.4	8.0	11.8
	年 間	5.9	6.6	11.7	10.7	12.1	4.2	2.2	2.3	2.7	6.3	4.3	1.7	1.5	1.8	3.9	6.3	15.9
竹波	4 ~ 6月	1.1	2.4	10.7	28.1	3.6	1.0	0.8	0.7	1.0	1.4	13.5	13.3	3.8	1.6	1.3	1.4	14.2
	7 ~ 9月	1.2	2.0	10.4	30.3	3.5	1.0	0.6	0.4	0.5	1.8	11.8	8.7	4.0	2.3	1.9	1.2	18.6
	10 ~ 12月	0.7	1.0	7.8	37.3	6.6	1.7	1.2	1.1	1.2	2.0	8.3	11.4	5.2	1.6	0.7	0.5	11.6
	1 ~ 3月	1.0	1.8	11.8	28.1	6.1	1.6	1.3	1.2	1.3	2.8	8.0	15.1	3.5	1.7	1.0	0.5	13.1
	年 間	1.0	1.8	10.2	31.0	5.0	1.3	0.9	0.9	1.0	2.0	10.4	12.1	4.2	1.8	1.2	0.9	14.4
坂尻	4 ~ 6月	7.7	3.4	2.8	3.6	9.1	5.4	2.1	2.2	4.1	11.5	3.3	2.9	3.0	3.3	5.3	14.9	15.5
	7 ~ 9月	6.0	2.7	2.5	4.0	7.8	6.9	3.4	3.5	4.9	12.8	3.2	2.7	4.5	4.0	4.8	8.7	17.5
	10 ~ 12月	6.1	2.4	2.5	3.4	7.7	5.3	2.8	2.8	6.3	17.9	4.6	3.3	4.6	3.6	4.9	9.4	12.5
	1 ~ 3月	9.9	4.0	2.8	3.1	6.0	4.6	1.9	2.0	5.0	11.3	2.8	1.8	2.0	2.7	6.3	19.4	14.4
	年 間	7.4	3.1	2.7	3.5	7.6	5.6	2.6	2.6	5.1	13.4	3.5	2.7	3.5	3.4	5.3	13.1	15.0

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 大飯地区

2007年度

単位： %

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
小浜	4 ~ 6月	1.6	1.2	2.1	36.4	6.0	1.5	1.9	2.6	1.6	0.9	1.4	7.7	8.7	6.5	5.1	2.4	12.4
	7 ~ 9月	0.6	0.8	2.1	42.9	6.9	1.9	1.8	2.2	1.4	0.6	1.4	8.8	6.2	2.6	3.8	2.0	14.0
	10 ~ 12月	2.3	1.2	3.1	38.5	7.8	1.8	2.2	2.4	1.8	3.9	5.5	5.2	5.2	4.4	3.9	3.0	7.8
	1 ~ 3月間	4.9	2.0	2.7	31.7	4.9	1.4	2.2	2.5	1.9	2.4	4.0	5.2	5.4	7.1	6.7	7.6	7.5
	年 間	2.4	1.3	2.5	37.4	6.4	1.6	2.0	2.4	1.7	2.0	3.1	6.7	6.4	5.1	4.8	3.7	10.4
日角浜	4 ~ 6月	0.9	0.5	1.0	2.4	15.0	14.8	5.5	1.7	1.2	1.3	2.2	4.7	17.1	14.9	3.0	1.7	12.0
	7 ~ 9月	1.0	0.9	1.1	1.8	14.0	18.6	4.8	1.0	1.0	1.3	1.2	2.1	16.0	13.2	4.0	2.4	15.7
	10 ~ 12月	1.0	1.1	1.3	2.9	9.9	9.8	5.0	2.7	2.7	1.9	2.6	5.2	22.6	14.7	5.3	2.5	8.7
	1 ~ 3月間	0.8	0.8	1.3	2.5	10.5	10.7	6.1	3.6	3.1	2.8	3.7	6.2	21.9	11.5	4.0	1.6	8.9
	年 間	0.9	0.8	1.2	2.4	12.4	13.5	5.3	2.3	2.0	1.8	2.4	4.5	19.4	13.6	4.1	2.1	11.3
宮留	4 ~ 6月	13.8	7.7	2.0	9.3	5.1	2.9	4.8	7.4	5.1	2.9	2.6	2.2	3.4	6.7	7.4	9.6	6.9
	7 ~ 9月	13.2	4.0	2.8	13.9	6.6	4.4	4.8	5.1	4.4	3.7	2.1	2.1	3.4	5.6	6.9	10.1	6.8
	10 ~ 12月	12.1	6.6	3.7	7.9	3.2	2.5	2.9	4.6	7.8	14.9	4.6	2.7	2.7	4.3	5.2	10.6	4.1
	1 ~ 3月間	16.7	12.3	3.5	6.6	3.2	3.2	2.5	5.0	7.7	11.7	3.7	1.6	2.6	3.7	4.2	7.7	4.1
	年 間	13.9	7.6	3.0	9.4	4.5	3.3	3.7	5.5	6.3	8.3	3.3	2.1	3.0	5.1	5.9	9.5	5.5
阿納尻	4 ~ 6月	9.4	6.0	8.0	6.5	4.9	5.7	4.6	2.6	2.4	3.2	4.4	4.8	5.9	4.8	4.4	7.1	15.2
	7 ~ 9月	11.2	8.8	10.5	6.8	5.8	6.1	5.1	2.2	1.7	2.2	4.2	3.5	3.2	3.2	3.9	6.5	15.1
	10 ~ 12月	5.3	4.1	7.3	7.0	5.5	6.8	7.9	4.6	3.2	6.3	7.7	6.7	4.6	3.5	2.2	3.5	13.7
	1 ~ 3月間	4.4	4.6	7.7	6.3	5.1	5.4	5.9	3.7	4.0	8.8	7.6	6.4	6.3	3.9	3.1	5.0	11.6
	年 間	7.6	5.9	8.4	6.6	5.3	6.0	5.9	3.3	2.8	5.1	6.0	5.4	5.0	3.9	3.4	5.5	13.9
長井	4 ~ 6月	10.7	14.2	5.1	1.7	1.1	1.3	4.4	15.1	17.4	6.7	1.5	1.6	1.2	2.4	3.6	6.8	5.0
	7 ~ 9月	9.6	14.2	4.3	1.8	1.1	2.0	5.5	16.8	21.7	6.3	1.8	1.1	1.5	1.4	1.4	3.3	6.3
	10 ~ 12月	9.3	8.6	2.1	0.5	0.9	0.6	2.4	14.0	28.4	14.6	4.4	1.6	1.7	1.6	1.4	4.9	3.0
	1 ~ 3月間	14.2	9.4	2.2	0.7	0.6	1.1	1.9	8.7	20.2	15.9	4.7	1.8	2.4	2.1	3.2	7.2	3.7
	年 間	10.9	11.6	3.4	1.2	0.9	1.3	3.6	13.7	22.0	10.8	3.1	1.5	1.7	1.9	2.4	5.5	4.5

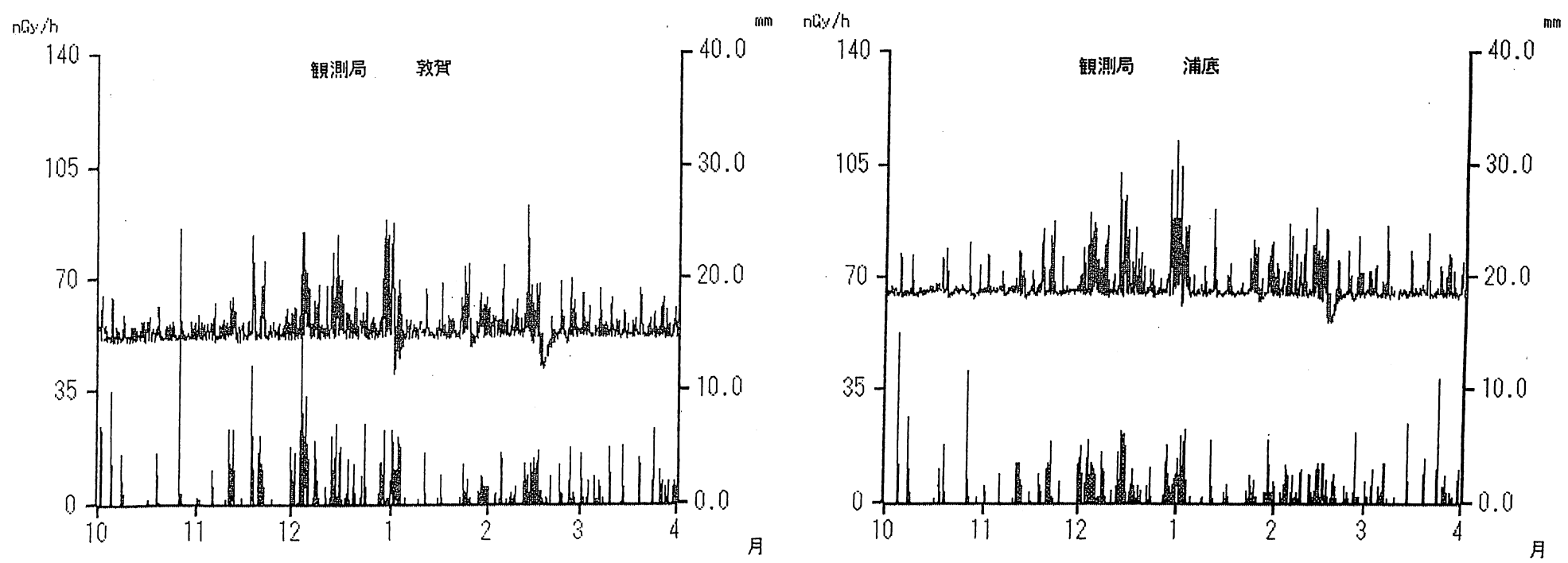
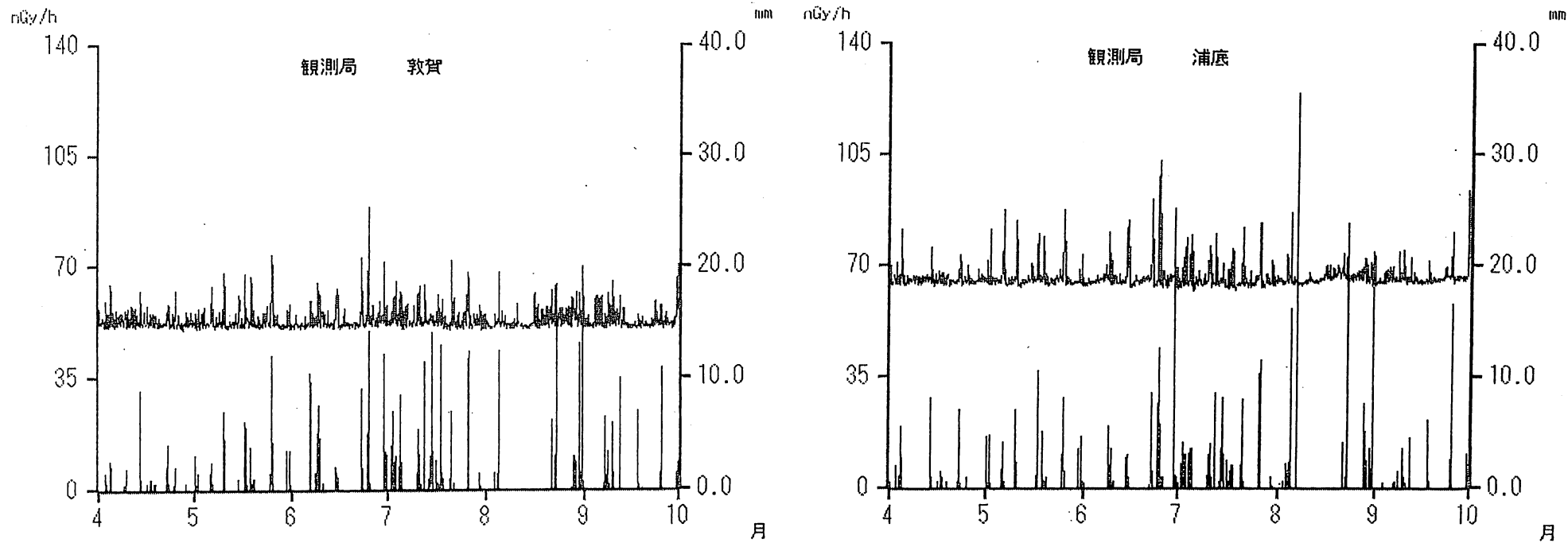
表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 高浜地区

2007年度

単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
小黒飯	4～6月	2.8	3.6	4.7	7.4	6.8	6.6	5.8	4.8	5.0	11.5	4.5	3.5	1.6	1.1	1.5	1.8	27.1
	7～9月	2.9	3.7	3.9	6.0	5.7	4.5	4.2	3.8	4.7	11.5	4.3	3.3	1.8	1.0	1.3	2.1	35.3
	10～12月	4.7	2.2	1.5	1.9	2.3	3.8	3.4	2.7	7.5	18.5	10.6	6.8	3.6	2.5	3.0	3.6	21.3
	1～3月間	4.6	3.3	2.2	4.4	4.0	6.4	5.7	5.8	8.4	13.8	7.4	5.2	2.8	1.6	1.7	3.5	18.9
	年 間	3.8	3.2	3.1	4.9	4.7	5.3	4.8	4.3	6.4	13.9	6.7	4.7	2.4	1.6	1.9	2.7	25.7
音海	4～6月	1.1	1.7	3.8	5.9	15.7	1.6	0.9	0.7	0.5	0.7	0.9	5.8	26.0	14.7	2.9	0.9	16.3
	7～9月	2.1	1.8	3.7	6.4	17.0	3.4	1.2	1.1	0.7	1.0	0.7	4.3	16.7	13.0	4.5	1.8	20.6
	10～12月	0.5	1.2	1.9	3.3	8.5	3.5	1.5	1.3	1.0	1.2	2.0	8.9	35.7	13.3	3.5	1.1	11.4
	1～3月間	1.1	1.3	1.6	2.9	7.0	2.3	1.1	1.1	1.2	1.4	2.9	11.6	38.5	11.9	2.6	1.2	10.3
	年 間	1.2	1.5	2.7	4.6	12.1	2.7	1.2	1.1	0.9	1.1	1.6	7.6	29.2	13.2	3.4	1.2	14.7
神野浦	4～6月	6.8	13.9	5.3	2.9	2.9	1.3	1.0	4.9	16.7	1.8	3.1	3.0	2.7	5.1	2.3	2.4	24.0
	7～9月	5.0	10.6	4.8	3.3	3.4	2.0	1.7	4.6	13.9	1.5	1.7	1.7	1.5	2.8	0.9	1.4	39.3
	10～12月	6.8	11.3	3.7	2.0	0.9	0.7	0.5	3.4	21.6	5.9	5.9	4.5	5.9	4.8	0.8	1.1	20.1
	1～3月間	7.8	12.4	4.4	2.5	1.9	0.8	0.5	4.3	12.8	3.3	5.0	5.0	7.3	8.0	2.6	2.7	18.8
	年 間	6.6	12.0	4.5	2.7	2.3	1.2	0.9	4.3	16.3	3.1	3.9	3.5	4.3	5.1	1.6	1.9	25.6
山中	4～6月	2.3	4.9	10.0	7.6	4.9	3.7	1.1	1.3	1.4	6.8	26.5	13.2	5.4	3.5	1.3	1.5	4.7
	7～9月	1.3	4.3	10.3	6.7	5.8	4.3	2.2	1.4	1.7	9.8	27.4	11.6	3.9	1.8	1.2	0.8	5.6
	10～12月	1.5	4.1	15.7	3.7	1.8	1.4	0.8	0.5	0.9	9.7	32.3	17.5	4.7	1.3	1.3	1.3	1.7
	1～3月間	2.2	5.8	11.6	3.7	2.6	2.4	1.4	0.9	0.9	7.2	30.6	15.8	6.2	2.9	1.7	2.3	1.7
	年 間	1.8	4.7	11.9	5.4	3.8	3.0	1.4	1.0	1.2	8.4	29.2	14.5	5.0	2.4	1.4	1.5	3.4

図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2007年4月~2008年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量



157

図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2007年4月~2008年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

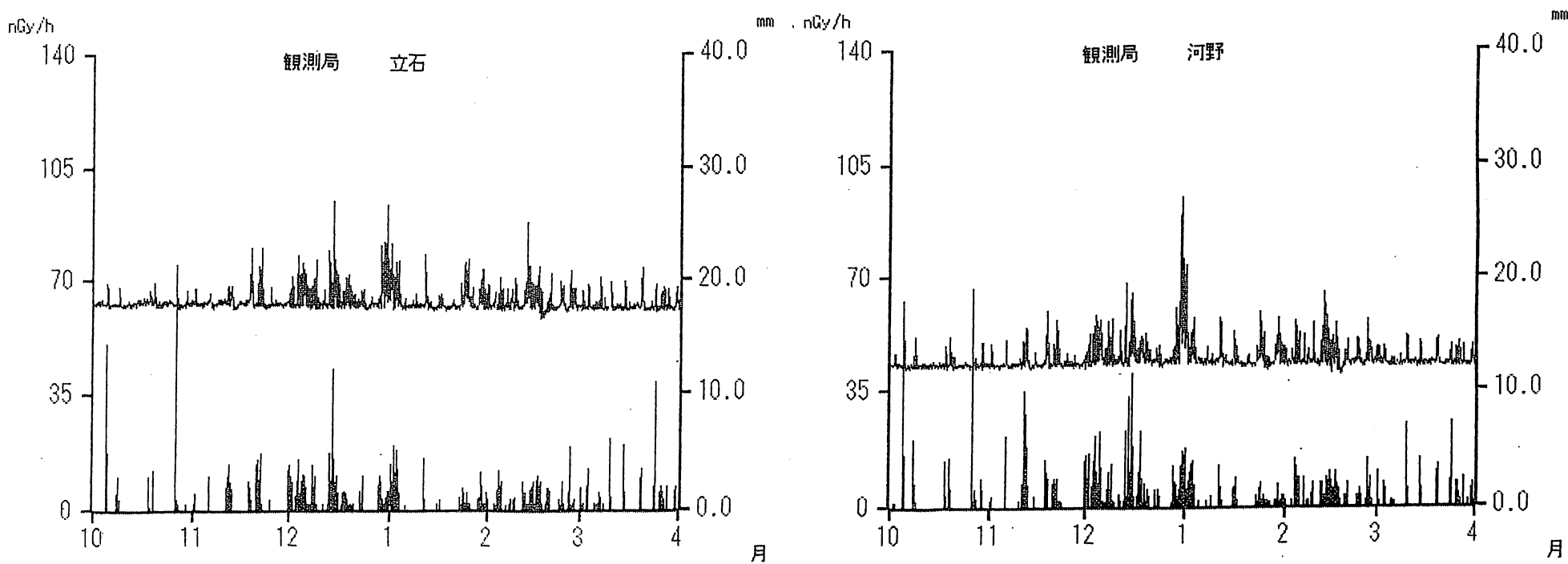
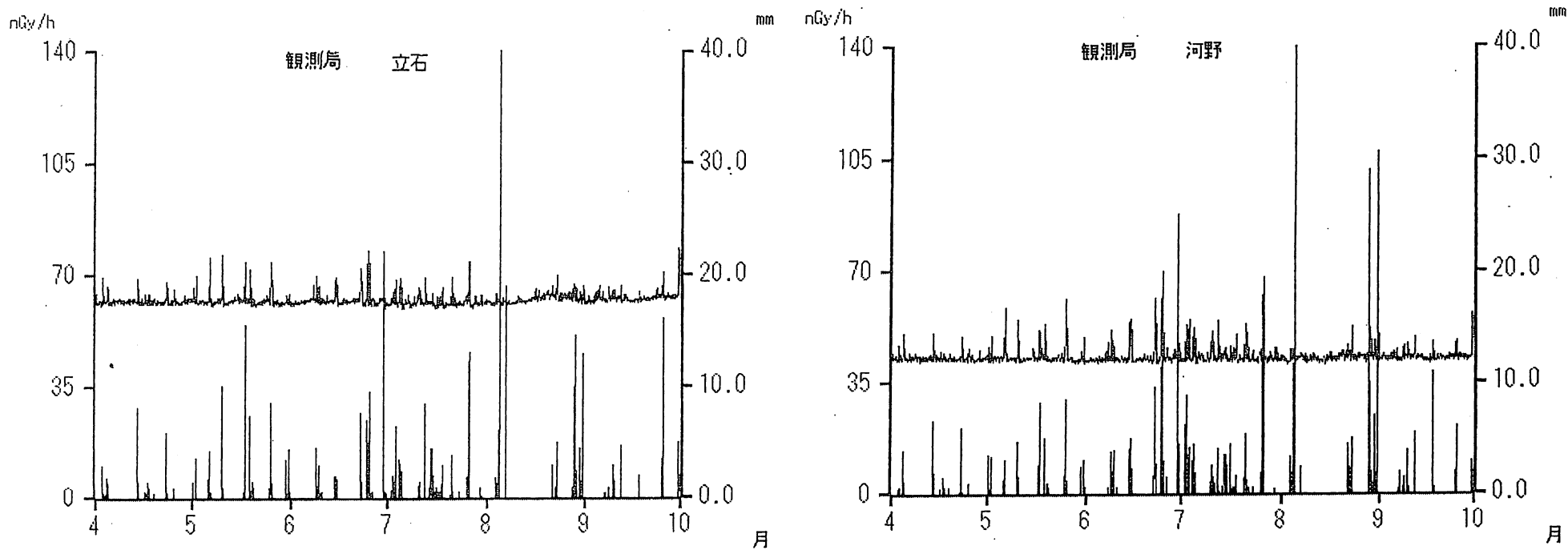
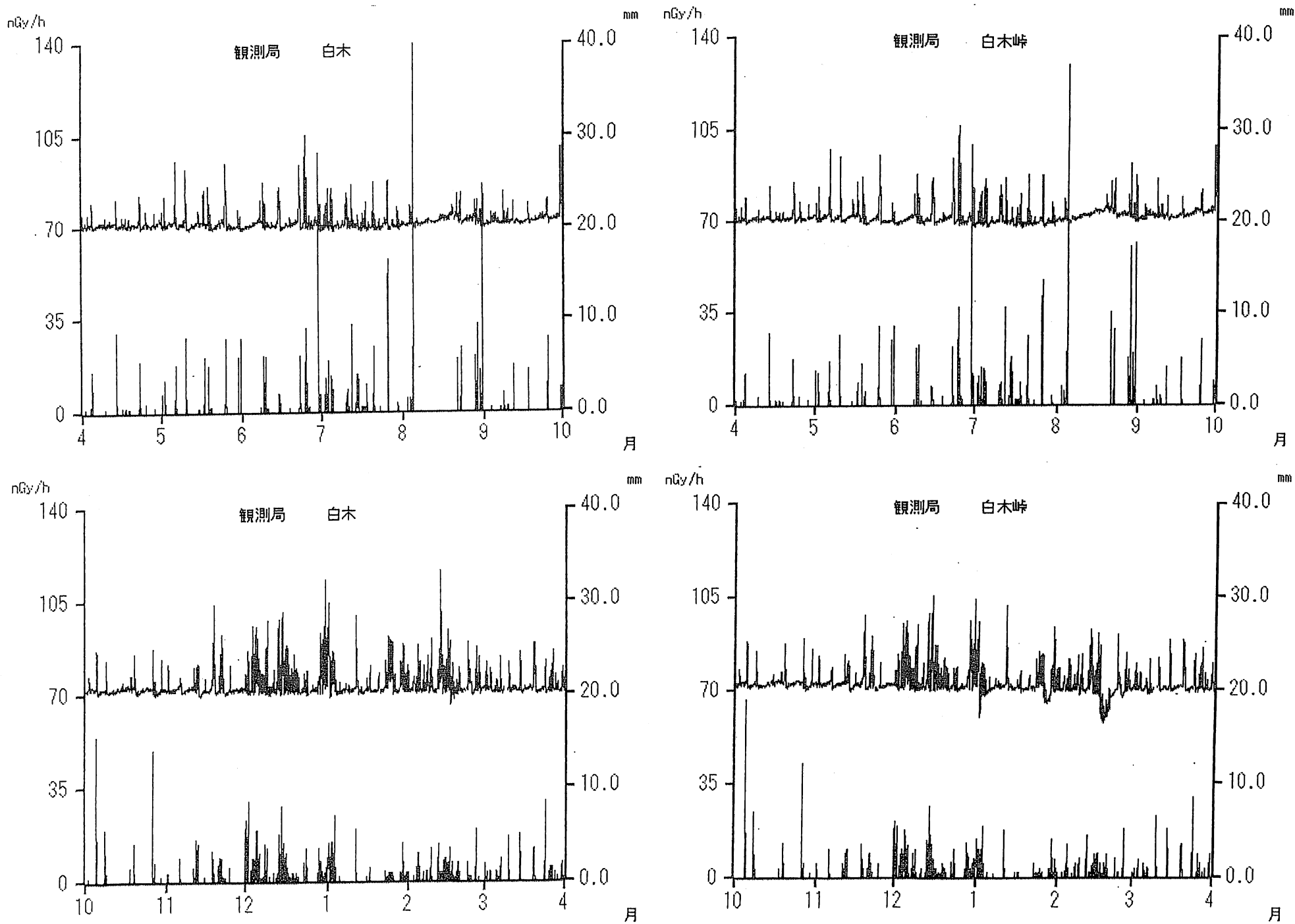


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2007年4月~2008年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量



159

図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2007年4月~2008年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

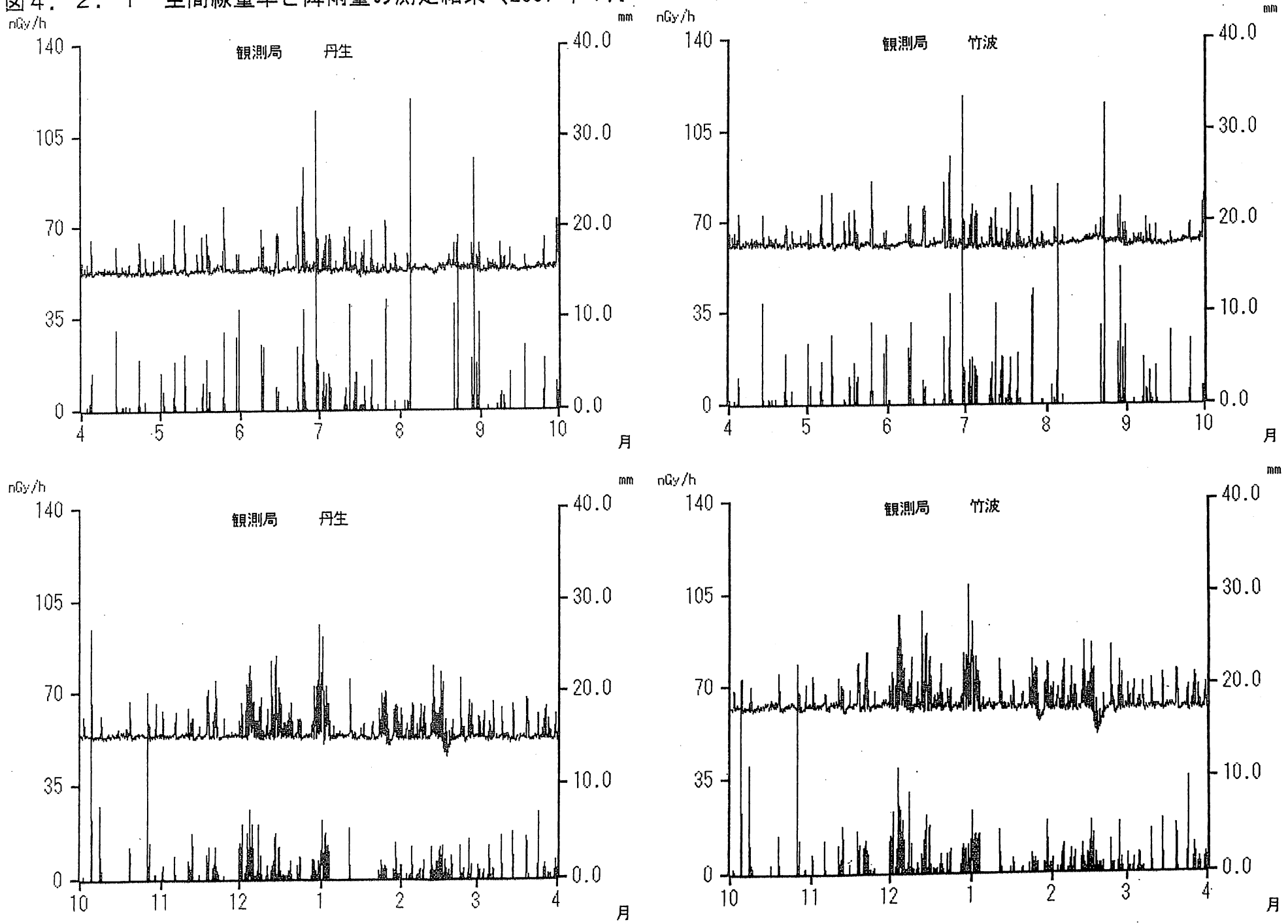


図 4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2007 年 4 月～2008 年 3 月) 上段：線量率 下段：降雨量

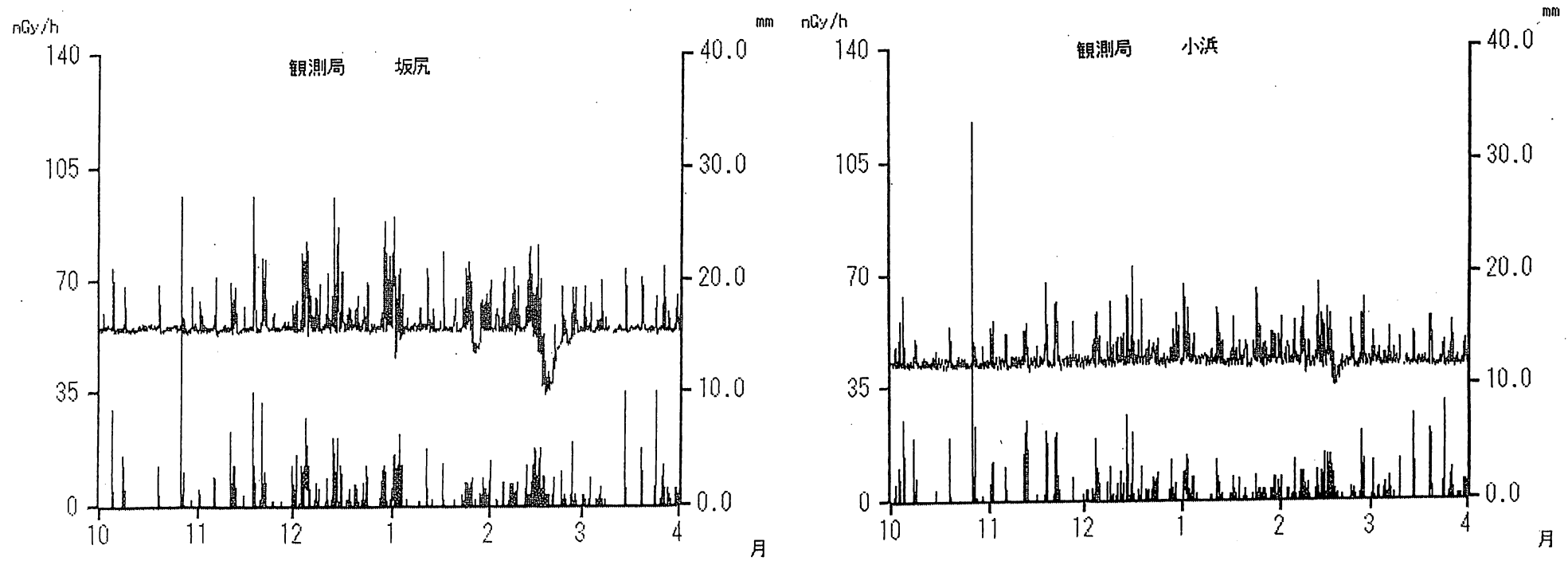
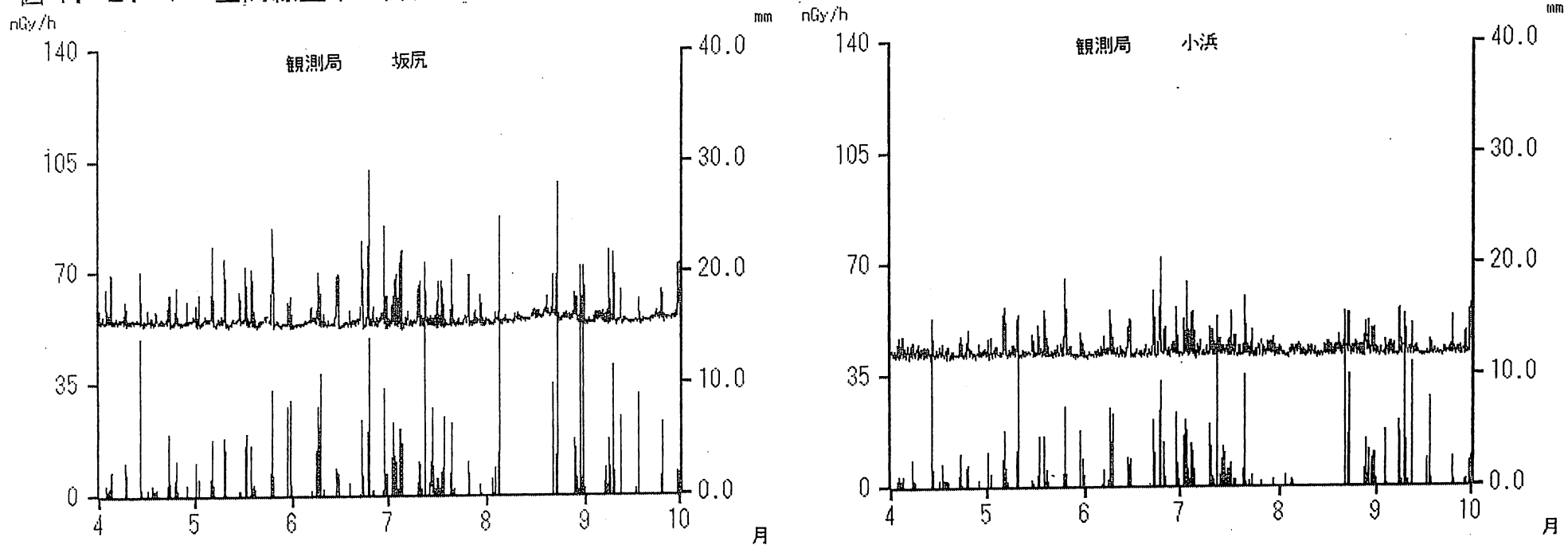


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2007年4月~2008年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

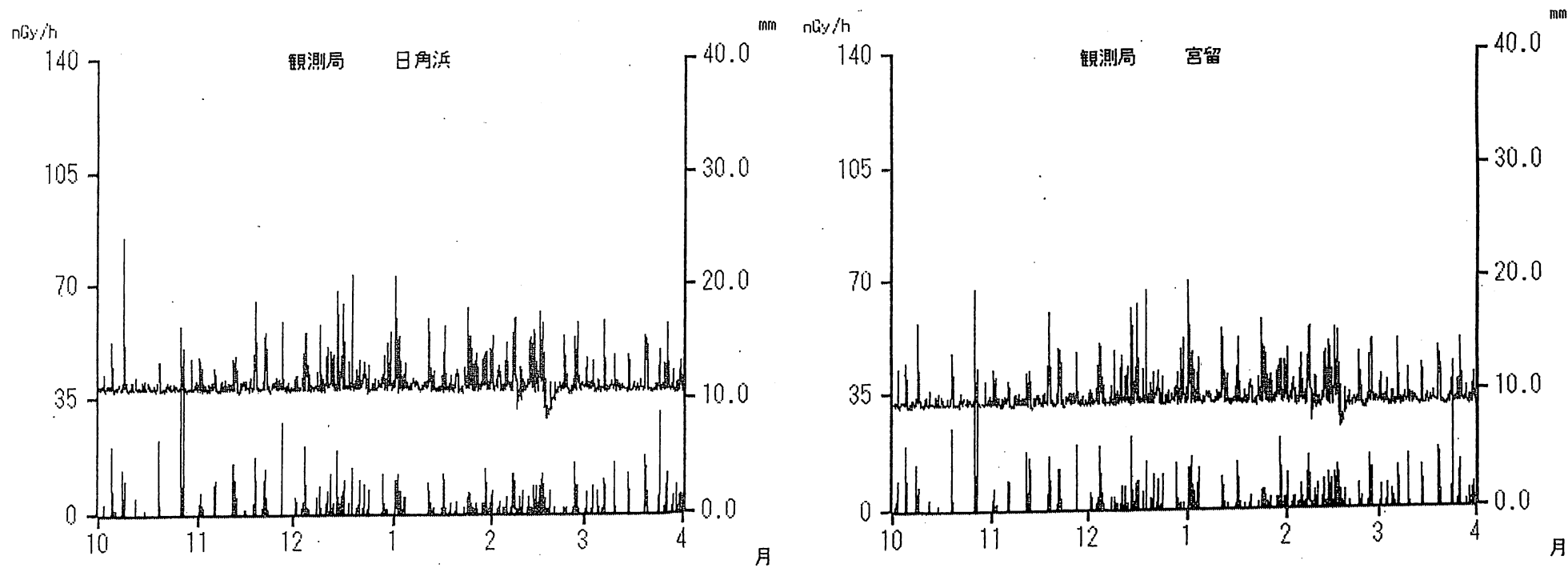
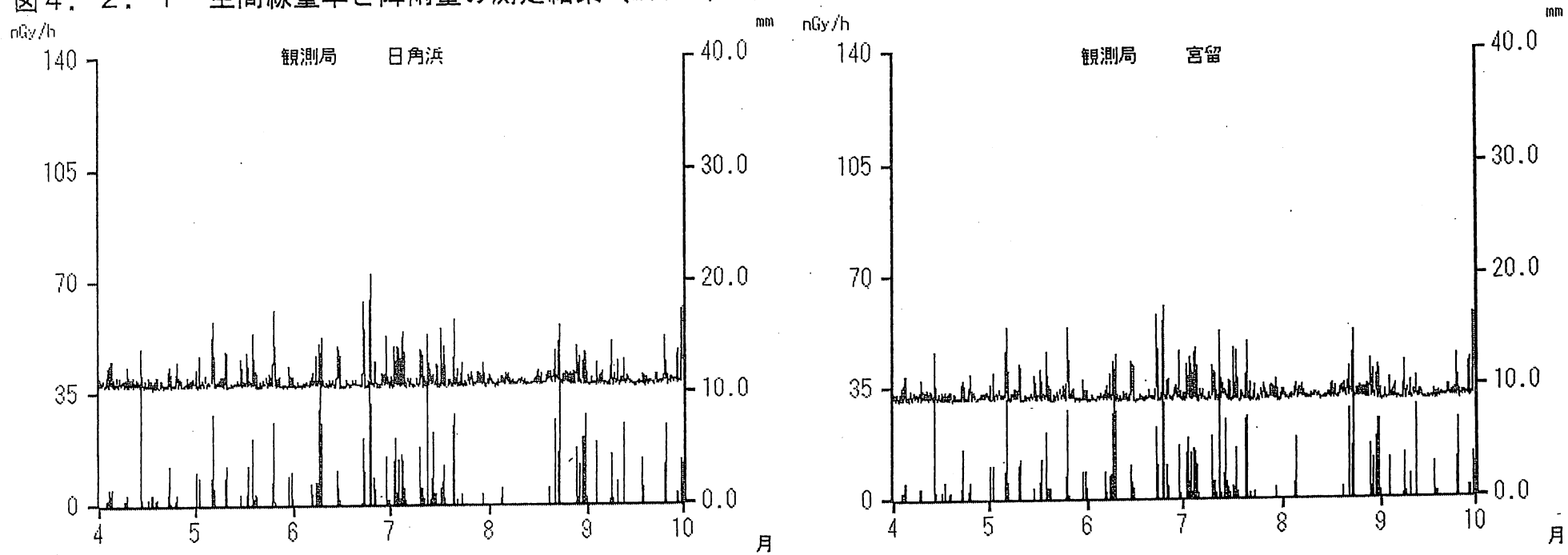


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2006年4月~2007年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

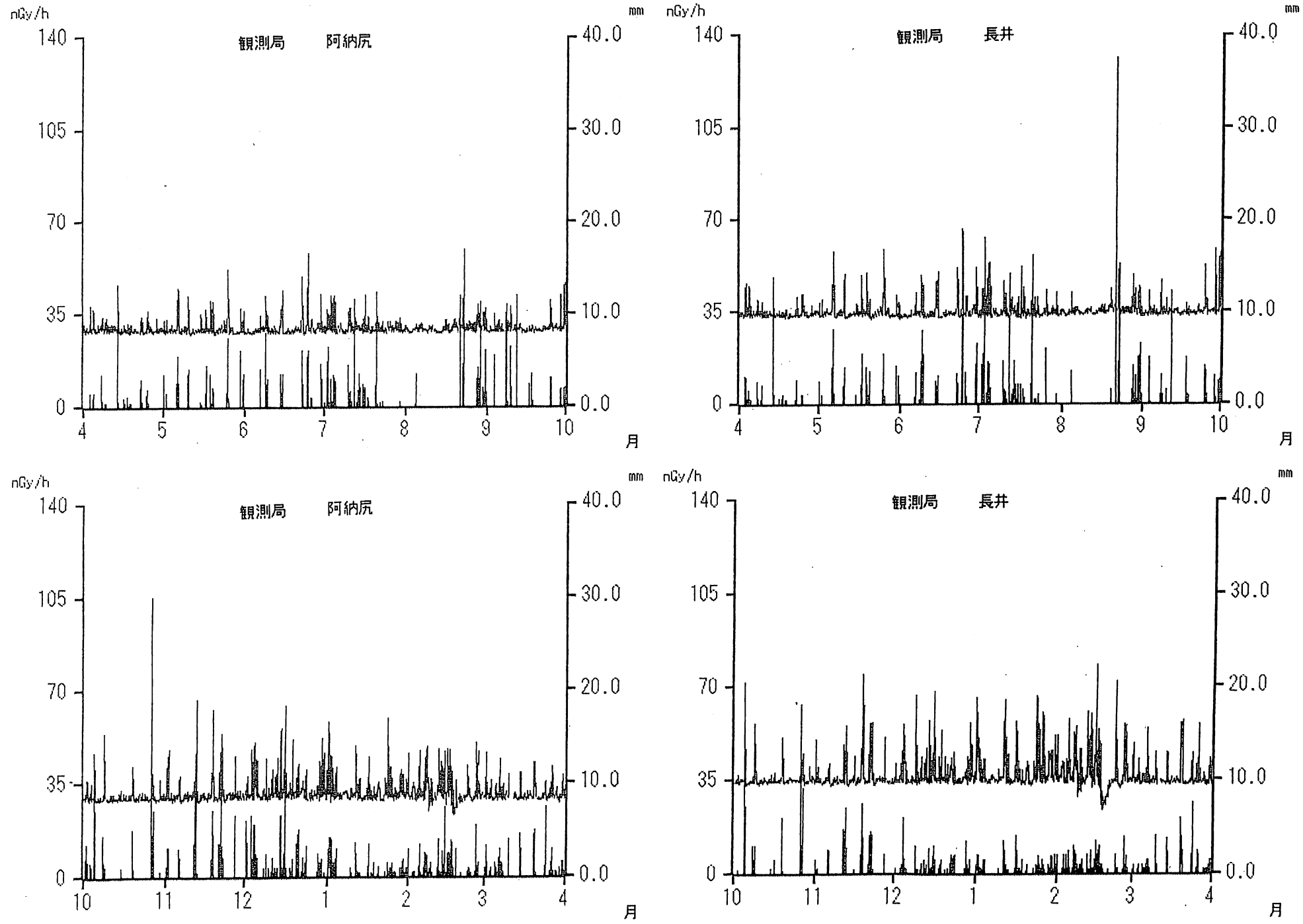


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2006年4月~2007年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

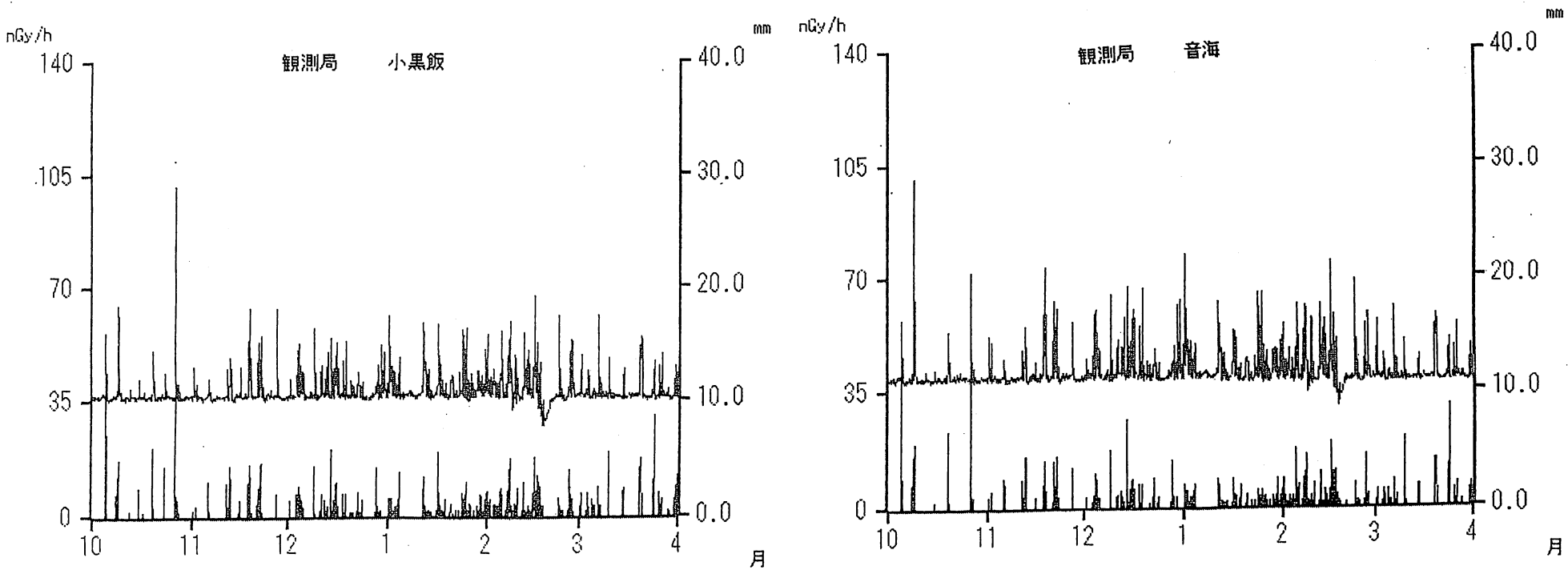
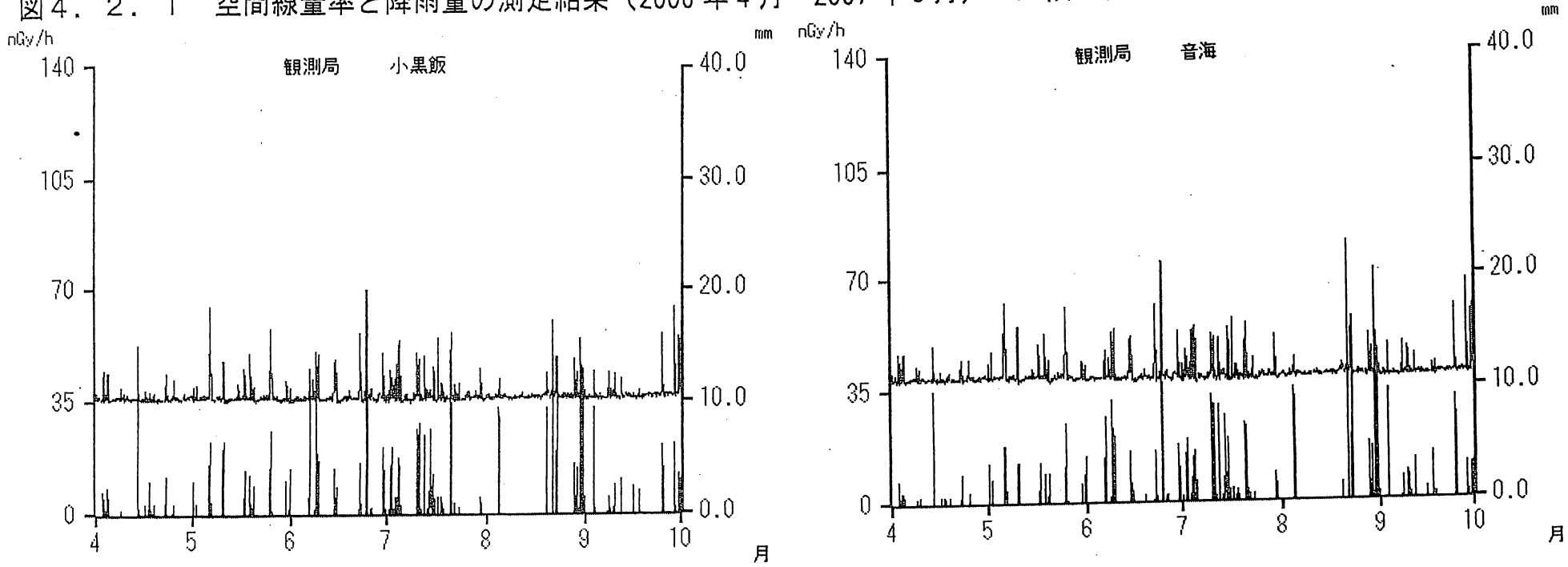


図 4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2006 年 4 月 ~ 2007 年 3 月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

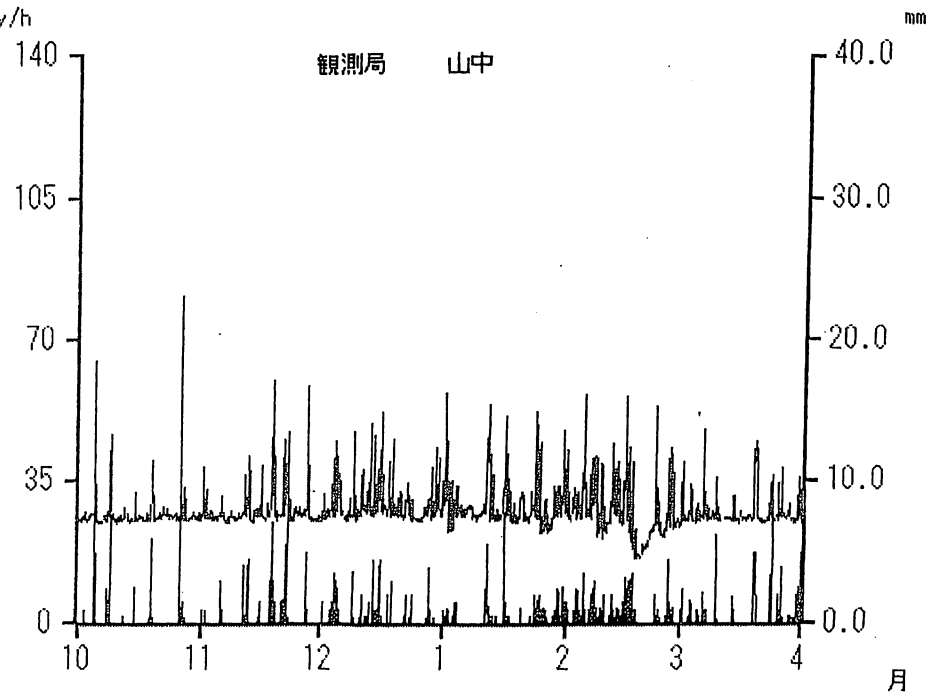
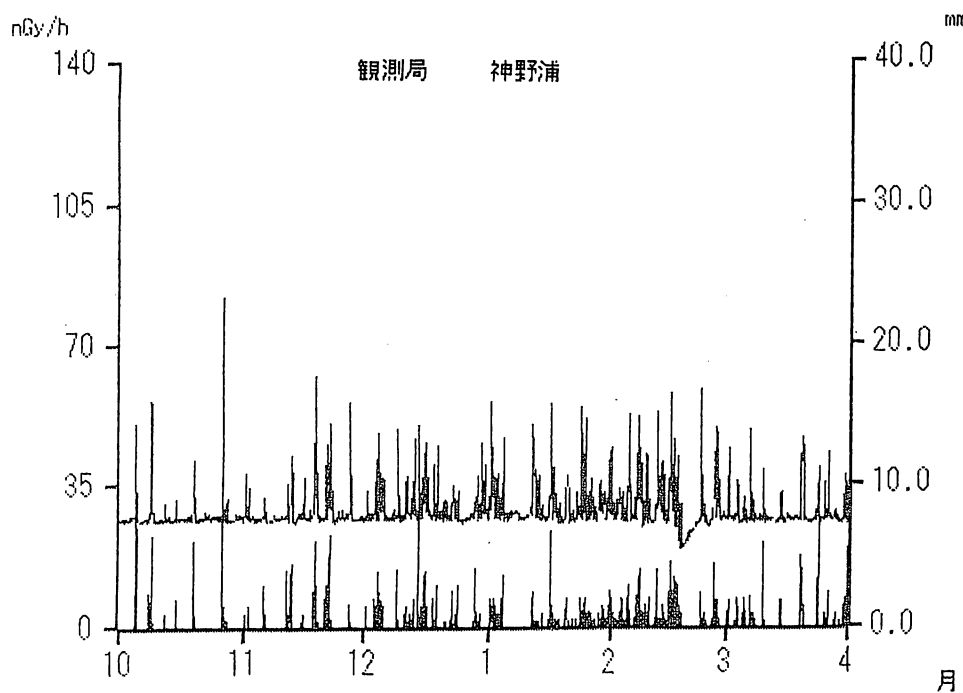
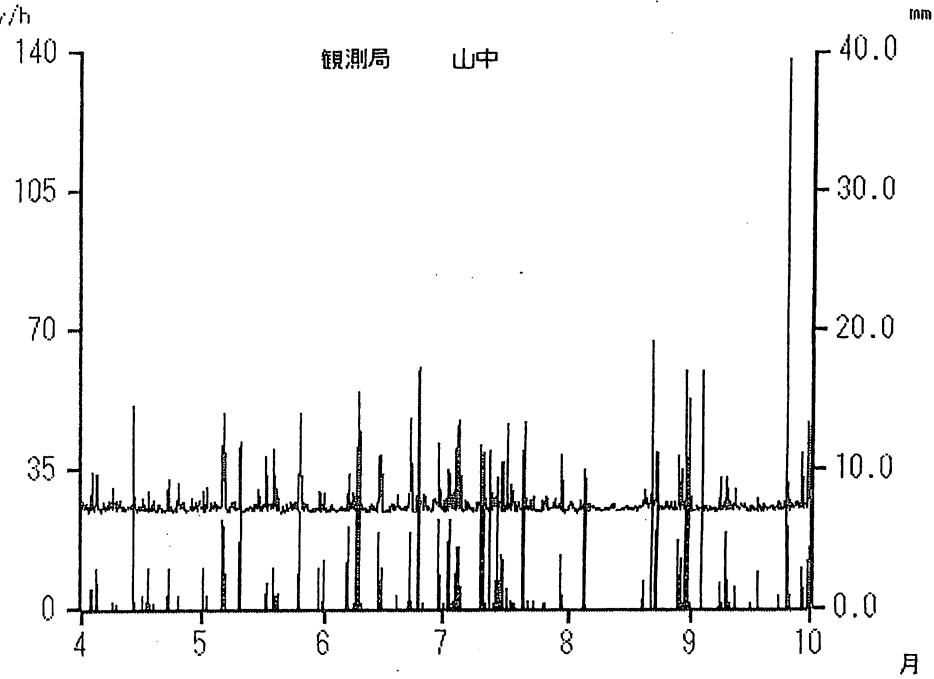
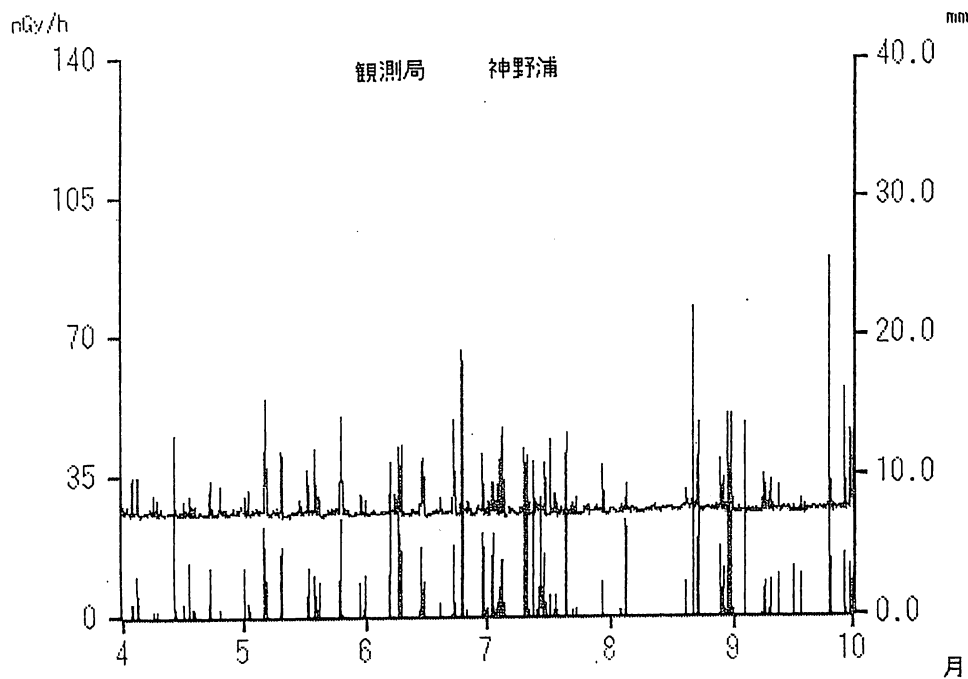
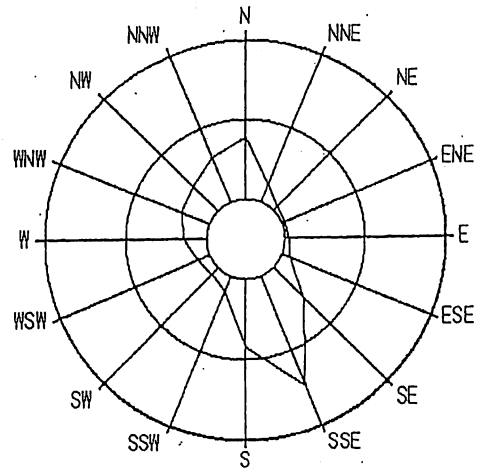
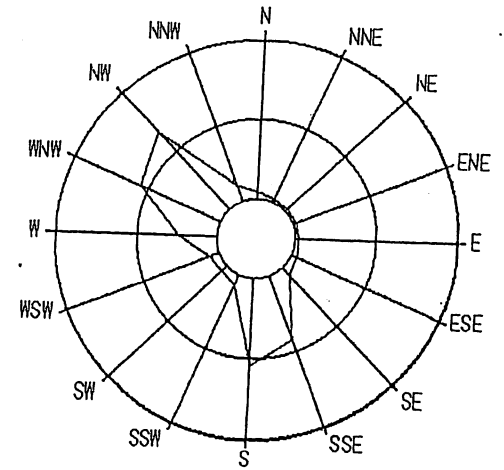


図4. 2. 2 各地の風配図 敦賀地区

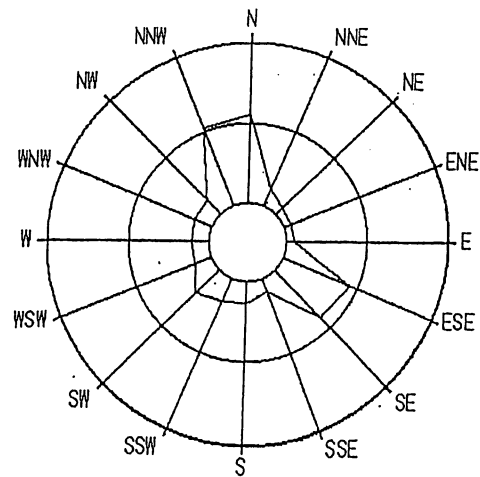
敦賀観測局



浦底観測局



立石観測局



河野観測局

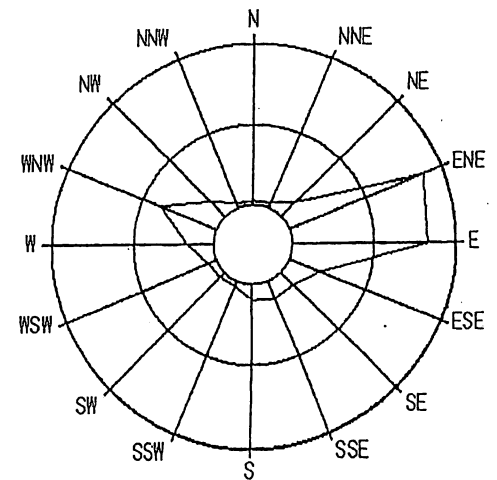


図4. 2. 2 各地の風配図 白木地区

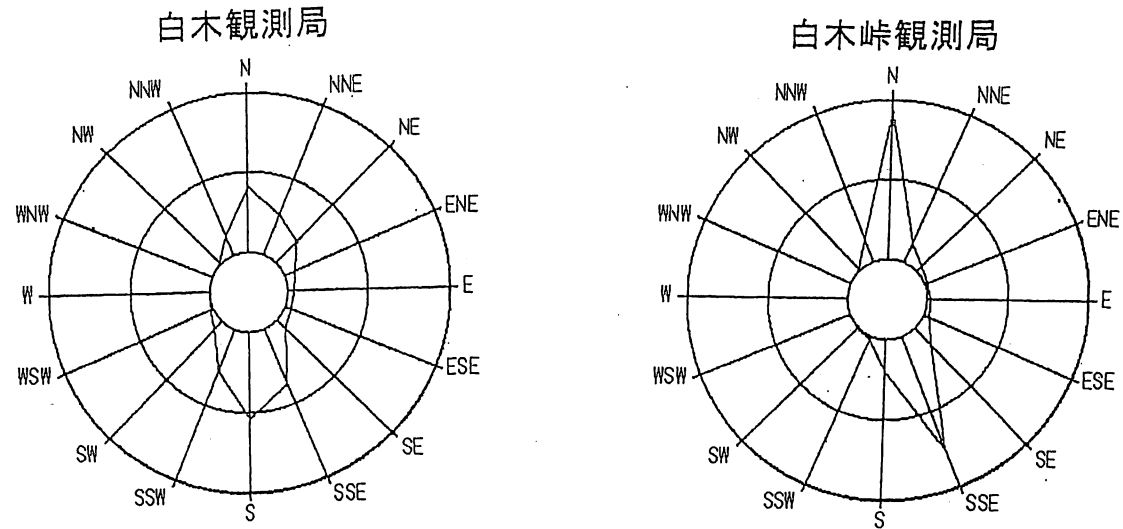


図4. 2. 2 各地の風配図 美浜地区

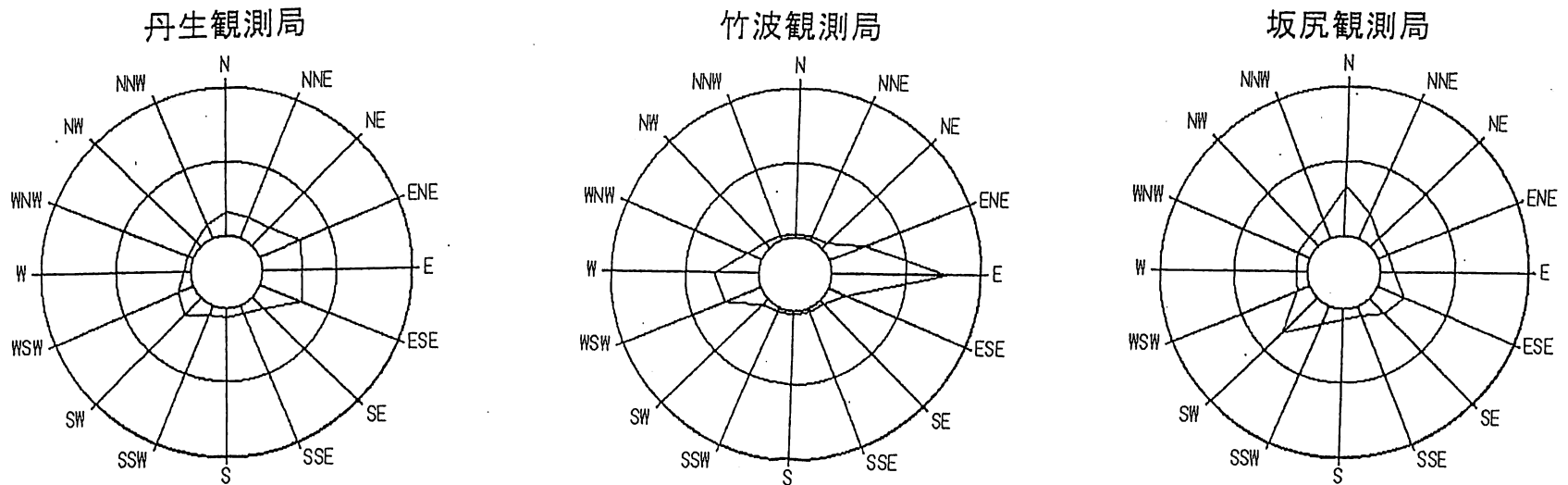
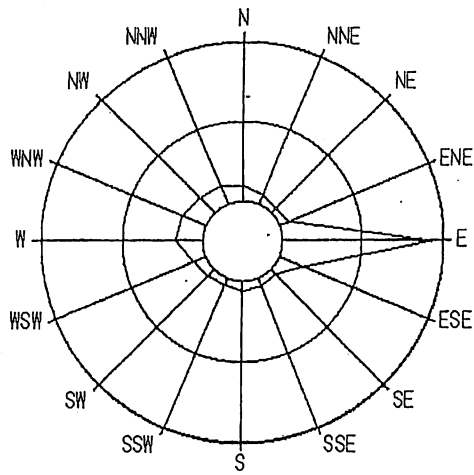
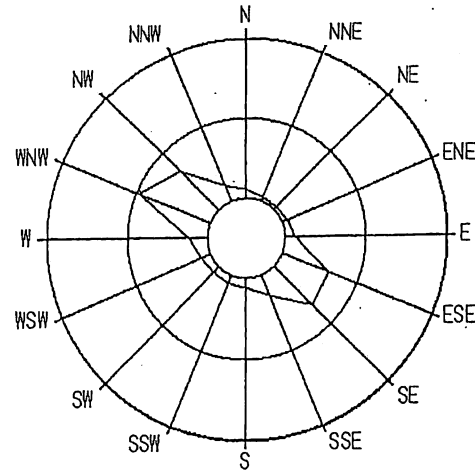


図4. 2. 2 各地の風配図 大飯地区

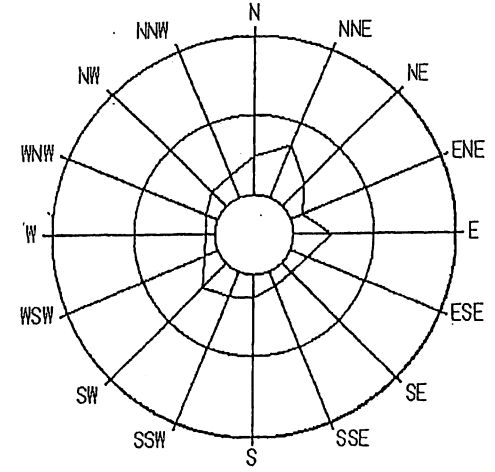
小浜観測局



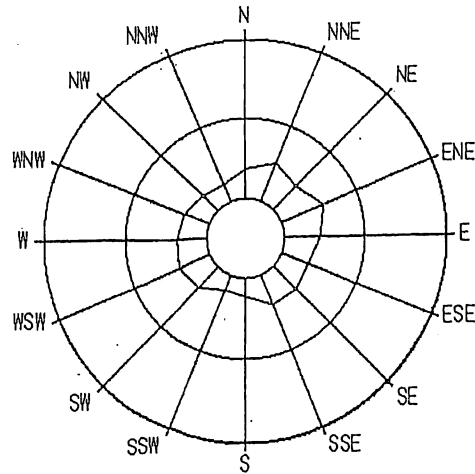
日角浜観測局



宮留観測局



阿納尻観測局



長井観測局

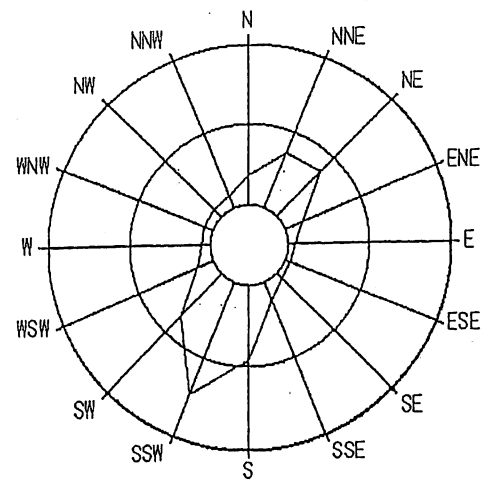
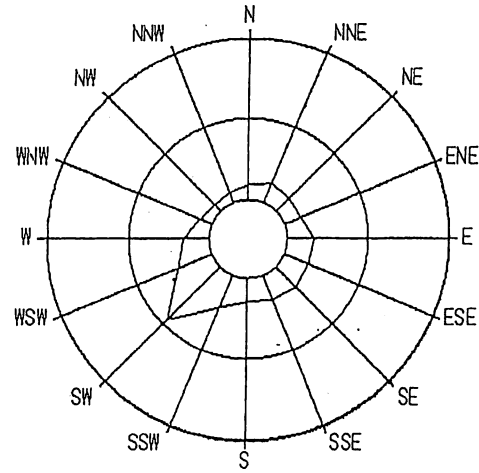
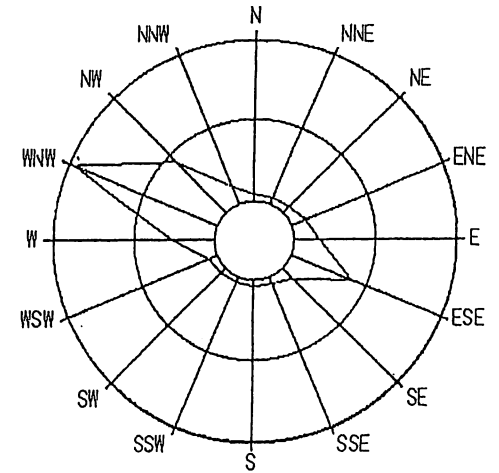


図4. 2. 2 各地の風配図 高浜地区

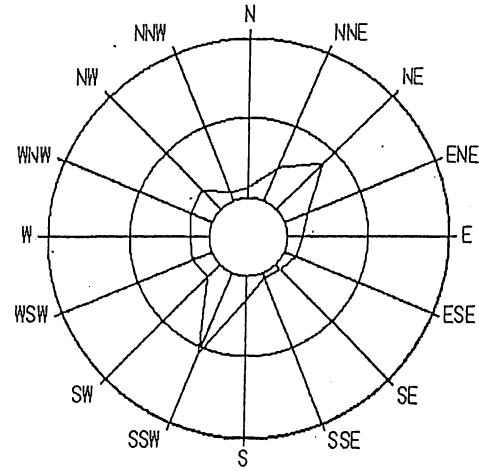
小黑飯観測局



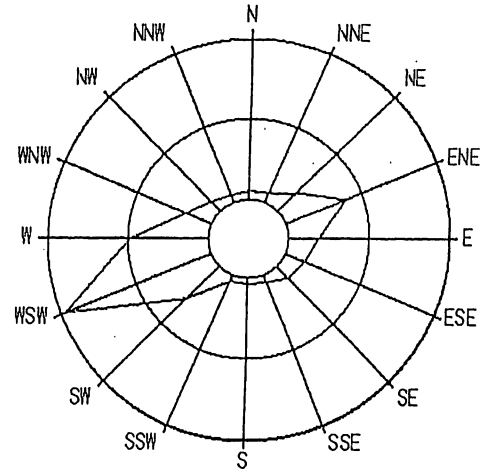
音海観測局



神野浦観測局



山中観測局



4. 3 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について

【測定の目的・経緯】

大気中水分、雨水（降下物）のトリチウムの測定については、平成8年度から定期調査として報告を開始し、平成17年度からは、大気中水分を期間調査から月間調査に、雨水を月間調査から期間調査に変更した。

トリチウムは「表-1」に示すように、単位放射能当たりの線量への寄与が他の主要な核種と比べ数百～数千分の1と小さく、環境安全上大きな問題となるものではないが、放射性ヨウ素や ^{60}Co 等の放射性核種の放出がほとんどなくなったことから、環境モニタリングにおいて相対的にトリチウムの比重が高くなっており、また、希ガスを除けば、定常的に放出される唯一の核種であるので、定期調査に加えたものである。

県内で多数を占める軽水型原子炉施設を例にとれば、気体廃棄物中のトリチウムは、海への液体廃棄物の放出とは異なり、使用済燃料プールからの蒸発や定期検査時の原子炉キャビティーからのパーティがあるため、ほぼ定常的に発生し、放出される。

大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握するためであり、雨水（降下物）については、雨によるウォッシュアウト（洗い落とし）効果によって大気中のトリチウムが地表にもたらされることや、空気中の水蒸気と地表面に溜まった水とが比較的容易に入れ代わること等から、大気中水分の測定結果を解釈する際の参考として分析しているものである。トリチウムの存在形態としてはHTや T_2 のようなガス状の存在も考えられるが、環境では速やかにHTOに変換するとされているので、水分を採取することとしている。

表-1 1 Bqを経口または吸入摂取した場合の成人の実効線量係数 (mSv/Bq)

	経 口 摂 取	吸 入 摂 取
^3H	1.8×10^{-8}	1.8×10^{-8}
^{60}Co	3.4×10^{-6} (^3H に対する倍数 190)	3.1×10^{-5} (^3H に対する倍数 1,700)
^{131}I	1.6×10^{-5} (" 890)	1.5×10^{-5} (" 830)
^{137}Cs	1.3×10^{-5} (" 720)	3.9×10^{-5} (" 2200)

【試料の採取・測定法】

大気中水分は、線量率連続モニタの観測局等に設置した除湿器により月毎に採取したものを測定試料としている。雨水は、降下物の核種分析用の水盤または別の水盤から月毎に分取し、それを3ヶ月分まとめたもの（集合試料）を測定試料としている。測定試料を蒸留後、40mℓ分取して60mℓの乳化シンチレータと混合、静置し、低バックグラウンド液体シンチレーション検出器により原則として計500分（50分×10回）測定している。検出限界値は測定条件によって多少違うが、およそ0.5～1Bq/ℓである。

【数値の取扱い・大気中濃度への換算方法】

分析結果はBq/ℓ（水）で報告する。

測定値は、有効数字2桁又は、表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

トリチウム濃度をN、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq 3 \Delta N$ の場合を検出されたものとする。

発電所影響の調査を行う検討基準として、海水の調査結果のうち、2.0Bq/ℓ以上のデータを除いた過去3年間の調査結果（およそのバックグラウンドレベル）を基に平均値(M) + 3×標準偏差(σ)を算出し、(M + 3 σ)が2.0Bq/ℓ未満の時は、(M + 3 σ)を、(M + 3 σ)が2.0Bq/ℓ以上の時は、2.0Bq/ℓを検討基準とする。（2007年度の検討基準は、2.0Bq/ℓである。p29「測定値の取扱いについて」参照。）

なお、大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) は、空気中の水分量が気温、相対湿度によって変動するため季節によって3～4倍値が違い、空気中濃度が一定であっても冬季は大きな値となるので、測定結果を見る場合は注意を要する。

大気中水分のトリチウム (Bq/ℓ) を大気中濃度 (Bq/m³) に換算するには、当該期間の平均気温と平均相対湿度を用いて求めた空気中の水分量 (ℓ/m³) を乗じる。2007年度の月毎の平均的な空気中の水分量は「表-2」の通りである。過去に報告された大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) も、同様に当該期間中の空気中の水分量を用いて大気中濃度 (Bq/m³) に換算することができる。

表-2 月毎および年間の平均的な空気中の水分量 (単位: mℓ/m³) *

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均	7.0	9.8	13.7	16.8	18.8	16.9	10.7	7.3	5.9	4.6	4.3	6.0
年平均	10.2											

* : 敦賀特別地域気象観測所における2007年度の平均気温および平均相対湿度を基に計算した。

【線量評価】

大気中水分を吸入することによる預託実効線量は、仮に100 Bq/ℓのトリチウム濃度の水分を含む空気を成人が年間連続して呼吸し続けると仮定した場合、表-1の線量換算係数および1日の呼吸量を用いれば、

$(100\text{Bq}/\ell \times 0.0102 \ell/\text{m}^3) \times 22.2\text{m}^3/\text{日} \times 365\text{日} \times 1.8 \times 10^{-8}\text{mSv/Bq} = 1.5 \times 10^{-4}\text{mSv}$
と計算される。これは、公衆の線量限度1mSvあるいは1993年国連科学委員会報告によるラドン等の吸入による内部被ばく線量1.2mSv、ラドン等を除く国内の平均的な自然放射線による被ばく線量1.1mSv等と比べ、無視し得るくらいの極めて小さな値である。

【過去の実績およびバックグラウンドレベル】

「表-3」に過去の実績として1975～2006年度の間最高値を、また、「表-4」に、バックグラウンドレベルと考えられる対照地点の調査結果 (福井市原目町の2004～2006年度の測定結果) をBq/ℓ (水) 単位で示す。

表-3 過去の実績 (1975～2006年度の最高値)

	地区	水中濃度	空気中濃度
大気中	高浜	39 Bq/ℓ 06年1月小黒飯	0.20 Bq/m ³
水分	対照	5.4Bq/ℓ 81年4月福井	0.062 Bq/m ³
雨水	大飯	24.1Bq/ℓ 99年3月宮留	
	対照	6.5Bq/ℓ 75年6月福井	

表-4 対照地点の測定結果 (2004～06年度)

	試料数	平均濃度±標準偏差
大気中水分	28	0.51±0.22Bq/ℓ
雨水	20	0.49±0.22Bq/ℓ
水道水	12	0.28±0.20Bq/ℓ
全陸上試料	60	0.46±0.23Bq/ℓ

(検出限界値未満の場合を含む全試料の平均)

4. 4 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

1. はじめに

線量評価は、「環境放射線モニタリングに関する指針(以下、モニタリング指針)」に掲げられた環境放射線モニタリングの第1の目標であり、また最終的な帰結であって、次元(単位)の異なる空間放射線や環境試料の放射能のモニタリング結果を、人体への影響の程度(リスク)を表す「実効線量(Sv)」という共通の尺度で示すため実施される。この報告書では、既に本文で、「施設運転に起因する主要な放射性核種が検出されず、特に線量評価の必要はない」としながらも、検出された値に目安をつけるために評価を行い、0.001mSv(以下)までを報告し、安全を確認している。

ここでは、更に、核実験フォールアウトの実態や寄与の内訳までを読み取れるよう、内部被ばくに係るモニタリング結果をもとに0.001mSv以下までの算出された数値そのもので示す。

なお、ここでは省略したが、評価法の変遷の詳細や施設稼動開始時点まで遡る評価結果は、この形で最初に示した平成16年度年報(FERC第37巻5号)に示されている。

2. 内部被ばく預託実効線量の評価方法

内部被ばくは、預託実効線量(摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量)で表される。預託実効線量は、基本的には、吸入または経口摂取された放射性核種について、各核種毎に、空気試料(大気中 ^{131}I ・大気浮遊じん並びに大気中水分)または飲食物区分毎に、

$$\boxed{\text{試料中核種濃度}(C) \times \text{呼吸量又は飲食物日摂取量}(V) \times \text{摂取期間}(t) \times \text{線量係数}(f) \times \text{各種補正係数}(k)} \cdots \text{式}(1)$$

の積を求め、それをすべて加算して得られる。

但し、「モニタリング指針」等に規定がなく、ところによっては線量計算に供する対象核種の(平均)濃度の求め方等が異なる場合があることから、以下に、当技術会議が採用している内部被ばく線量評価の計算法・計算条件および留意点を再録する。

- ①線量係数(f)は、指針が示した吸入/経口摂取別に核種毎の値を用いる。指針では異なる存在形態がある場合は、最大の値を示すものが引用されており、いわば安全側(上限)の係数である。
- ②但し、トリチウム(^3H 又はT)については、指針は粒子状物質の線量係数を示しているが、軽水炉施設周辺では現実的ではなく、水状トリチウム(HTO)が圧倒的と推定されるので、指針も「形態が明らかな場合はそれを用いる」としていることから、HTOの線量係数を用いて評価した。
- ③なお、大気中トリチウムの測定については、かつて除湿機による捕集法等に懸念が示されたこともあったが、「HTOと自然水(水蒸気)は同じ挙動をするとみなすことができ、測定結果も水そのもののBq/l_水であること(即ち、比放射能法そのものであること)」や、「Bq/l_水の測定結果から気温・相対湿度を用いて空气中濃度を求める(その際必ずしも吸引量や全量捕集を必要としない)とするモニタリング手法」の妥当性に、各種学会等で専門家の理解が得られている。
- ④評価の対象としたのは、本文の評価同様、指針にも示された代表的年齢群の「成人」であり、摂取経路もモニタリング指針及び「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(評価指針)」に示された「呼吸、飲料水、葉菜、魚類、貝類、藻類」とした。それぞれの摂取量は「モニタリング指針」の値を用いた(後出)。
- ⑤評価に供した濃度は、本文の評価同様、検出されたもの(即ち、検出限界以上)だけの年間単純平均であり、農産物、海産物にはそれぞれ形状や性状がよく似ていて過去に食品と同等の検出実績があり補完試料としても用いている指標生物(ヨモギ、ホンダワラ等)の結果を加えている。
- ⑥従って、平均濃度自体が高め・安全側であり、先の指針の「異なる存在形態がある場合最大の値を

示すもの」という線量係数採択の条件と合わせ、潜在的上限を示すものと言うことができる。

- ⑦但し、ここでの目的は核実験寄与とその内訳等を示すことにもあり、貝類・藻類の ^{137}Cs については、通常測定では検出限界以下となることが多く、結果が低い側に片寄り過ぎるので、アンチコインシデンスの測定結果がある場合はその平均値を用いた。
- ⑧これらの方法は、程度の差はあれど試料にも含まれる ^{137}Cs 等の核実験フォールアウト核種、あるいは施設起因核種であっても初期の数年間のようにほぼ年間連続で検出され続けた場合には比較の実態とよく合う方法であるが、検出が散発的となった場合は過大な結果となる。
- ⑨摂取期間は、殆どのものは1年としたが、葉菜のみは栽培期間と同じ0.5年とした。但し、半減期の短い ^{131}I や一過性とみなせる大気浮遊じんでは検出されたものだけの平均濃度では過大となりすぎるので、 ^{131}I は個々の検出濃度の無限期間積分(=1/ λ (^{131}I の壊変定数):実質11.6日の台形モデルと等価)とし、浮遊じんは検出期間(=試料採取期間)に限定することとしているが、両者とも今年度は全く検出されていない。
- ⑩式(1)では補正係数(k)として市場希釈補正や調理(洗浄)に伴う補正が加味されるが、前者については実態を捉えられないので1とし、後者では葉菜について実際に観測例があり一般的にも用いられている0.5を用いた。

3. モニタリング結果とそれに基づく線量評価結果

天然・自然放射能を別にして、モニタリング結果を大別すれば、便宜的に(1)トリチウム(^3H)を除く一般的な施設起因核種、(2)チェルノブイル事故影響を含む核実験フォールアウト核種、(3)トリチウム、に区分される。トリチウムでは核実験寄与と施設寄与が競合・混在する。表(1)～表(3)に2000年度以降の過去5ヵ年と今年度のこれらの区分毎の線量評価に供した年間平均濃度と、現在の評価法による内部被ばく預託実効線量評価結果を示す。(1)では1994年度以降、評価対象となる生物試料等には施設起因核種は全く検出されていない。(2)では ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu の3核種について集計した。(2)、(3)は各地区毎に示すのでは多すぎるので、県内平均等ある程度集約した結果で示した。いずれもモニタリング結果があるものだけについてであり、一部調査結果がないまたはここでの対象としていないものは含まれていない。従って、魚貝類の ^{90}Sr は含まれていないが、濃度が葉菜の約1/100、藻類の約1/2という過去の結果から類推して、線量評価結果を大きく左右する因子とはならないものと考えられる。

4. まとめ

今年度の内部被ばくの線量評価結果の概況をまとめれば、「トリチウムを除く施設起因核種は評価対象の大気・各種飲食物並びに生物試料からは、1994年以降全く検出されておらず、またトリチウムの内部被ばくに対する寄与は、呼吸・飲用合わせて $2.4 \times 10^{-5} \text{mSv}$ であり、変化は認められない。水道水のトリチウムでは明白な施設寄与は観測されず、バックグラウンドレベルとみなせるが、大気中水分の吸入では施設寄与が認められる。核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu では、それぞれ $1.2 \sim 1.4 \times 10^{-4} \text{mSv}$ 、3核種合わせ $3.9 \times 10^{-4} \text{mSv}$ の寄与がある」というふうに集約される。

以上の評価結果を、県内原子力発電所稼働開始時点までに遡った結果と併せ図-1に示す。図-1では、(1)のトリチウムを除く施設起因核種は地区毎に、(2)の核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu や(3)のトリチウムは県内全平均で示した。チェルノブイル事故影響の飛来時は ^{137}Cs 以上に ^{131}I 、 ^{103}Ru 、 ^{106}Ru 、 ^{134}Cs の寄与が大きく、それらによる預託実効線量を書き加えている。また、参考のために、次元は異なるが大地からの自然放射線寄与の県内平均とその地域差も示した。

表(1) ³Hを除く施設起因核種の年間平均濃度の推移と線量評価結果

平均濃度単位: Bq/kg生等

年度	地区	空気試料/水道水/葉菜/海産魚・貝・藻類 中年間平均濃度					預託実効線量 (mSv)
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	
2002	敦賀・白木・美浜・大飯・高浜	左記の年度の、 いずれの地区の、いずれの試料からも 上記核種は検出されず					—
2003	〃						—
2004	〃						—
2005	〃						—
2006	〃						—
2007	〃						—

(注) 平均濃度単位: 空気試料—mBq/m³、水道水—mBq/l、その他—Bq/kg生。 —は検出例が1例もないもの。
葉菜には指標植物(ヨモギ)を、海産物にはホンダワラ・ムラサキガイ等の指標海産生物を含む。

表(2) 福井県内の¹³⁷Cs, ⁹⁰Sr, Pu平均濃度と線量評価結果

平均濃度単位: (mBq/Kg生, 海水mBq/l)

年度	Cs-137 平均濃度				Sr-90 平均濃度				Pu 平均濃度				預託実効線量 (単位:mSv)				海水中 Cs-137 濃度	
	葉菜	魚類	貝類	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	Cs-137	Sr-90	Pu	合計		
2002	196	116	26	38	343				60	1.1	—	54	7.8	1.4 E-4	1.1 E-4	1.3 E-4	3.9 E-4	2.4
2003	129	113	38	56	508				73	0.92	—	39	7.9	1.4 E-4	1.6 E-4	1.0 E-4	4.0 E-4	2.2
2004	233	121	30	47	302				52	—	—	38	8.5	1.5 E-4	9.8 E-5	1.0 E-4	3.5 E-4	2.0
2005	159	89	27	44	442				45	0.39	4.2	33	7.4	1.1 E-4	1.3 E-4	1.7 E-4	4.1 E-4	1.9
2006	159	106	28	41	360				40	—	—	45	2.9	1.3 E-4	1.1 E-4	9.3 E-5	3.3 E-4	1.8
2007	143	104	26	42	480				46	0.39	—	40	13	1.3 E-4	1.4 E-4	1.2 E-4	3.9 E-4	1.8

(注) 各年度の濃度は指標生物を含む検出値があるものだけの単純平均。PuはPu-(239+240)。—: 検出例が1例もないもの。
1982年度以降の貝類、藻類のCs-137はアンチコインシデンス測定による。海水のCs-137は濃縮を通じたより一般化した評価をするための参考値。
その際使用する濃縮係数(cf)は、評価指針によれば、Cs-137では、魚類30、貝類20、藻類20である。

表(3) 大気中水分・水道水のトリチウム濃度とその吸入・飲用による預託実効線量

預託実効線量単位: 10⁻⁶ mSv

年度	大気中水分のトリチウム平均濃度 (Bq/l)								水道水トリチウム平均濃度 (Bq/l)								(参考) 海水平均	県内平均線量 (×10 ⁻⁶ mSv)			吸入最高 地区線量
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	吸入	飲用		合計			
2002	3.9	2.2	2.8	4.7	9.8	0.9	4.1	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	0.7	1.0	0.9	6.0	17.4	23	14		
2003	3.9	1.9	2.4	5.1	9.6	0.8	4.0	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0	0.5	1.0	1.0	5.8	17.4	23	14		
2004	3.7	2.3	3.8	7.2	12.4	0.93	5.1	1.0	0.9	1.1	0.8	1.0	—	0.96	1.1	7.4	16.7	24	18		
2005	3.4	2.4	3.6	5.6	10.7	0.63	4.4	1.0	1.1	1.1	0.8	0.9	0.6	0.91	1.7	6.6	15.8	22	16		
2006	3.7	2.1	2.7	5.9	12.7	0.63	4.6	0.9	0.9	1.1	0.8	0.8	—	0.90	1.3	7.0	15.7	23	19		
2007	5.3	2.4	2.8	4.6	15.0	0.80	5.6	1.1	0.9	0.9	0.7	0.9	—	0.91	1.2	8.3	15.8	24	22		

(注) トリチウムの大気中水分濃度から大気中濃度への換算には、平均的には年間の大気中水分絶対量10ml/m³を用いることができる。—は検出例がないもの。
海水中濃度から海産物経由のトリチウム(濃縮係数1)による内部被ばくを計算することができる。魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

大飯

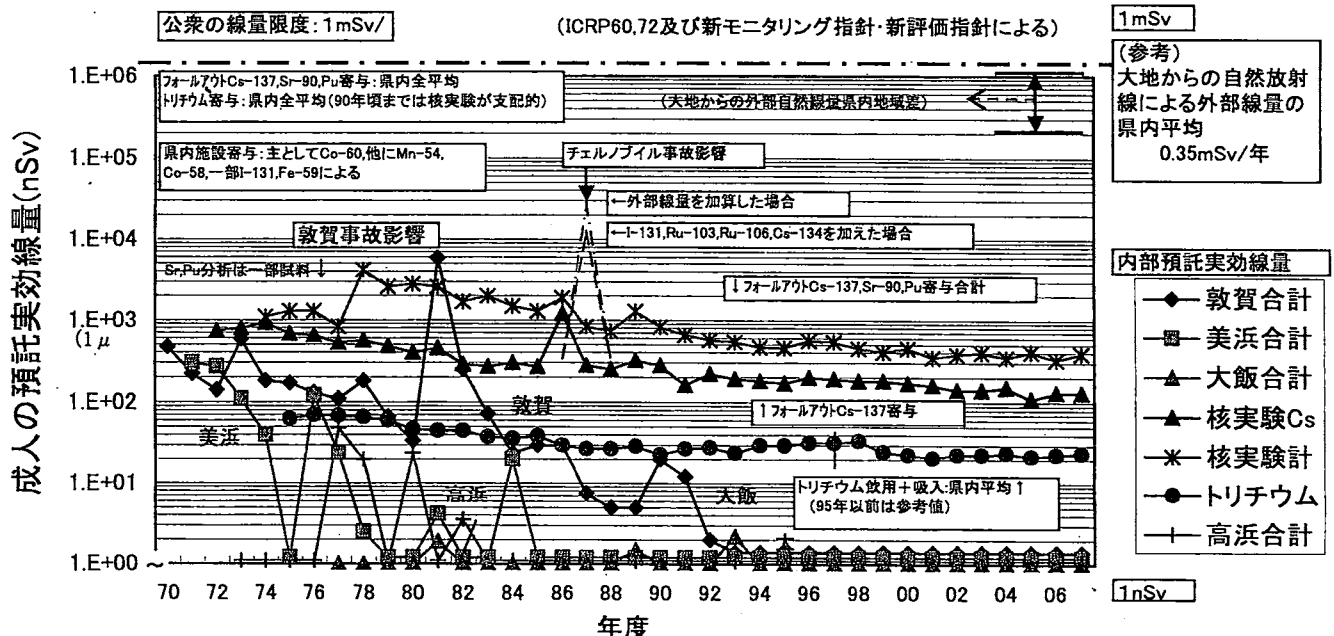


図-1 各種試料中核種濃度から計算した内部被ばく預託実効線量(nSv)

なお、以上の評価に用いた「モニタリング指針」が示す摂取量モデル及び線量係数を付記する。

「環境放射線モニタリングに関する指針」による摂取モデル (成人1人1日当たりの摂取量)

	呼吸	葉菜	牛乳	魚類	無脊椎類	海藻類	飲料水
成人	22.2 m ³	100 g	200 ml	200 g	20 g	40 g	2,650 ml

注) 穀類、肉・卵・その他の摂取量は記述なし。成人以外の乳児(3ヶ月児)・幼児(5才児)の年齢群の評価を行う場合は、「評価指針」の摂取量による。但し、線量係数も年齢群別のものを用いる必要があり、放射性ヨウ素はモニタリング指針の値を、それ以外はICRP Pub. 72から求める。なお、乳幼児の飲料水摂取量は平成10年11月までの旧「防災指針」に1割と既述されていたが、現在は記述はない。

線量評価の対象とした核種の現行の「モニタリング指針」が示す実効線量係数 (mSv/Bq)

核種	吸入	経口
³ H *	1.8 × 10 ⁻⁸	1.8 × 10 ⁻⁸
⁵⁴ Mn	1.5 × 10 ⁻⁶	7.1 × 10 ⁻⁷
⁵⁹ Fe	4.0 × 10 ⁻⁶	1.8 × 10 ⁻⁶
⁵⁸ Co	2.1 × 10 ⁻⁶	7.4 × 10 ⁻⁷
⁶⁰ Co	3.1 × 10 ⁻⁵	3.4 × 10 ⁻⁶
⁹⁰ Sr	1.6 × 10 ⁻⁴	2.8 × 10 ⁻⁵
¹³¹ I	1.5 × 10 ⁻⁵	1.6 × 10 ⁻⁵
¹³⁷ Cs	3.9 × 10 ⁻⁵	1.3 × 10 ⁻⁵
²³⁹ Pu	1.2 × 10 ⁻¹	2.5 × 10 ⁻⁴

注) *の³Hは指針の粒子状物質は現実的でなく、実際的なHT0の線量係数を示した。

¹³¹Iの甲状腺への移行率は0.9。

5 参考資料

5. 1 平成19年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過
5. 2 (1) 各発電所の設備の概要、建設経過
(2) 主要設備の改造および新設工事
5. 3 高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況
5. 4 各発電所の運転実績
5. 5 各発電所の発電停止状況
5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）
5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）
5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比
5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量
5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

5. 1 福井県環境放射能測定技術会議議事経過

I. 定例会議

第193回 平成19年8月31日

場所：ウェルサンピア敦賀

議題 (1) 平成19年度第1四半期の定期調査結果について

- ①第1期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②空間線量率連続測定における過去平均線量率の取り扱いについて監視センター）
 - ③空間線量率連続測定における降雨時以外の「M+3 σ 」超過について（原電）
 - ④積算線量測定地点「立石A4」、「高浜町役場A3」における測定結果の有意差検定について（監視センター）
 - ⑤積算線量測定における「名子B」地点の取り扱いについて（原電）
 - ⑥積算線量測定地点「本郷C4」における測定結果の有意差検定について（関電）
 - ⑦ガラス線量計による発電所周辺の積算線量測定について（原子力機構）
 - ⑧今期の核種分析結果においてCs-137が過去3カ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
 - ⑨測定値の取り扱い(5)トリチウム分析結果の改正について（監視センター）
 - ⑩美浜発電所周辺における海水中トリチウムの測定結果について（監視センター）
 - ⑪美浜地区海水トリチウムの結果について（関電）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3) 平成18年度第1四半期報告書の検討
- (4) その他
- ①敦賀1号機 第31回定検作業に伴う粒子状物質の放出について（原電）
 - ②平成18年度「放射能分析確認」調査結果について（監視センター）
 - ③平成19年度積算線量クロスチェック結果（平成19年度第1四半期）
（監視センター）

第194回 平成19年11月30日

場所：(株)原子力安全システム研究所

議題 (1) 平成19年度第2四半期の定期調査結果

- ①第2期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②敦賀A空間線量率の降水影響以外の「平均値+3 σ オーバー」について
（監視センター）
 - ③大飯発電所 中央監視装置の野外モニタ指示値の低下について（関電）
 - ④東三松C2（積算線量測定地点）の移設について（関電）
 - ⑤今期の核種分析結果においてCs-137が過去3カ年の実績を超えて検出された事例
について（監視センター）
 - ⑥敦賀地区（立石A）における大気中トリチウムの評価について（原子力機構）
 - ⑦大飯、高浜地区大気中水分トリチウムの採取不具合について（関電）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3) 平成19年度第2四半期報告書の検討
- (4) その他
- ①大飯発電所1号機 A-封水注入フィルタ付近からの漏洩について（関電）
 - ②平成19年度積算線量クロスチェック結果（平成19年度第2四半期）
（監視センター）

第195回 平成20年2月14日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題 (1) 平成20年度の各機関の調査計画（案）について

- (2) 緊急時モニタリングルート調査計画の見直し（案）について
- (3) 平成20年度調査計画書の検討

第196回 平成20年2月27日

場所：ウェルサンピア敦賀

議題 (1) 平成19年度第3四半期の定期調査結果

- ①第3期の線量率測定結果と過去の平均値の比較（各機関）
- ②空間線量率連続測定（1時間値）における過去3年間の最大値の超過について
（原電）
- ③空間線量率（3ヶ月平均値）が過去変動幅を上回る事象について（原電）
- ④美浜地区モニタポスト「奥浦C」周辺の環境変化について（関電）
- ⑤積算線量地点「音海A3」の周辺環境等について（監視センター）

- ⑥今期の核種分析結果においてCs-137が過去3カ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
- ⑦敦賀地区浦底A（県テレメータ観測局）における大気中水分トリチウムの調査結果について（監視センター）
- ⑧高浜地区小黒飯A（県テレメータ観測局）における大気中水分トリチウムの調査結果について（監視センター）
- ⑨平成19年度第3四半期 敦賀地区「浦底B、色ヶ浜B」大気中水分の調査結果について（原電）
- ⑩敦賀地区（立石A及び猪ヶ池B）における大気中水分トリチウムの評価について（原子力機構）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3) 平成19年度第3四半期報告書の検討
- (4) その他
 - ①美浜発電所1号機 定期的な希ガス放出時の警報発信について（関電）
 - ②大飯発電所3号機 プラント排気筒からの僅かな希ガス放出時の警報発信について（関電）
 - ③平成19年度積算線量クロスチェック結果（平成19年度第3四半期）（監視センター）

- 講演会 演題1「新潟県中越沖地震に伴う柏崎刈羽原子力発電所の状況について」
 講師 岩崎靖人氏（東京電力㈱ 柏崎刈羽原子力発電所 技術総括部 放射線安全Gr マネージャー）
- 演題2「新潟県中越沖地震における環境放射線モニタリングについて」
 講師 山崎興樹氏（新潟県放射線監視センター 柏崎刈羽放射線監視センター長）

第197回 平成20年5月30日 場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 (1) 平成19年度第4四半期の定期調査結果
- ①第4期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②美浜地区モニタポスト周辺の環境変化について（関電）
 - ③積算線量測定地点「竹波A4」「山中A3」「音海A3」の地点移動について（監視センター）
 - ④TLD素子の棄却の検討結果について（監視センター）
 - ⑤「敦賀地区・浦底A（県テレメータ観測局）」における大気中水分トリチウムの調査結果について（監視センター）
 - ⑥敦賀地区「大気中水分（浦底B、色ヶ浜B）」のトリチウム調査結果について（原電）
 - ⑦敦賀地区「大気中水分トリチウム測定試料（色ヶ浜B）」の未採取について（原電）
 - ⑧敦賀地区（立石A及び猪ヶ池B）における大気中水分トリチウムの評価について（原子力機構）
 - ⑨高浜地区における雨水中トリチウムの測定結果について（関電）
 - (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
 - (3) 平成18年度第4四半期報告書の検討
 - (4) その他
 - ①平成19年度積算線量クロスチェック結果（平成19年度第4四半期）（監視センター）

II. 小委員会

1. 年報検討小委員会

- (1) 平成20年7月31日 場所：福井県原子力環境監視センター
- 議題 ①平成19年度放射化学分析結果の検討
 ②平成19年度年報の検討

2. 放射能分析確認ワーキンググループ

- (1) 第1回 平成19年8月23日 場所：福井県原子力環境監視センター
- ・平成18年度第3回ワーキンググループ議事録の確認について
 - ・平成18年度積算線量クロスチェック結果について

- ・平成18年度とりまとめ書(案)および技術会議への報告について
- ・平成19年度積算線量クロスチェック結果(第1四半期)について
- (2) 第2回 平成19年3月11日 場所：原子力環境監視センター
 - ・平成19年度第1回ワーキンググループ議事録の確認について
 - ・平成19年度第1四半期～第3四半期積算線量クロスチェック結果について
 - ・平成19年度ゲルマニウム検出器による核種分析結果について
 - ・平成20年度「放射能分析確認」実施計画について

福井県環境放射能測定技術会議規程

(会の名称)

第 1 条 本会議は、福井県環境放射能測定技術会議と称する。

(目的)

第 2 条 本会議は、福井県の関係機関ならびに原子力施設設置者が県内の施設周辺で実施する環境放射線モニタリングについて技術的に検討し、環境放射能の状況を常時確認することを目的とする。

(所掌事務)

第 3 条 本会議は前条の目的を達成するため、次の事項を行う。

- 1 原子力施設の平常運転時における環境放射線モニタリング項目の調整
- 2 放射能測定の方法の検討および調査
- 3 環境放射線モニタリングの結果の評価
- 4 報告書の作成ならびに福井県原子力環境安全管理協議会への提出
- 5 その他環境放射線モニタリングに関する技術的事項

(構成)

第 4 条 本会議は次の機関の専門技術者をもって構成する。

福井県安全環境部原子力安全対策課	日本原子力発電株式会社
福井県原子力環境監視センター	関西電力株式会社
福井県水産試験場	独立行政法人日本原子力研究開発機構

本会議は必要に応じて専門機関の意見を求めることができる。

(議長および事務局)

第 5 条 本会議の議長は、福井県原子力環境監視センター所長をもってあてる。
本会議の事務局を、議長の属する機関に置く。

(会議の開催)

第 6 条 本会議は、四半期ごとに定例会議を、また構成員が必要を認めた場合はその都度会議を開催する。

(定例会議以外の会議)

第 7 条 本会議には、四半期ごとの定例会議以外に、必要に応じ、小委員会、幹事会、作業部会を置くことができる。

(報告書の作成)

第 8 条 本会議は、年度開始に先立ち調査計画書を、また環境放射線モニタリングの結果に関し、四半期および年度ごとに報告書を作成する。

(規程の改廃)

第 9 条 この規程は構成員の同意を得て改廃することができる。

(その他)

第 10 条 この規程に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は議長が会議にはかって定める。

附 則

この規程は、昭和44年2月12日から施行する。

附 則

この規程は、昭和48年8月2日から施行する。

附 則

この規程は、平成7年5月31日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

会議の出席者（平成19年度（2007年度））

議長	福井県原子力環境 監視センター	寺川 和良	日本原子力発電 株 式 会 社	環境保安Gr 敦賀発電所	野村 正史
	福井県安全環境部 原子力安全対策課	三木 崇 神戸 真暁			竹野 正志 斎藤 俊彦 森井 泰貴 下尾崎寛子
	福井県原子力環境 監視センター	林 正樹 高山 裕美 長嶋 純一 大西 勝基 島田 秀志	関西電力株式会社	原子力事業本部 環境エネルギーセンター 美浜発電所	柿花 英章 吉原 恵司 谷口 豊 小林 高義 中村 孝治 黒木 松雄
	福井分析管理室	永平 善一 徳山 秀樹 松浦 廣幸 村田 健 高橋 暁美		大飯発電所 高浜発電所	岩本 靖 中山 芳昌 初岡 賢政 井上 勝
	福井県水産試験場	村本 昭市	日本原子力研究開発機構	安全品質推進部 環境監視課 ふげん環境管理課 もんじゅ安全管理課	鳥居 建男 大久保 浩一 山崎 浩一 奥山 慎一 圓尾 好宏 古川 誠

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過

		敦 賀 発 電 所		原子炉廃止措置研究 開発センター (ふげん) *6	高 速 増 殖 も 型 じ 原 子 炉
		1号機	2号機		
設 備 の 概 要	炉 型	BWR	PWR	ATR	FBR
	定格電気出力(万Kw)	35.7	116.0	16.5	28.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	重 水	—
	冷 却 材	"	"	軽 水	ナトリウム
	燃 料 (材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	混合酸化物燃料体*1	混合酸化物燃料体
	燃 料 装 荷 量 (t)	約 60	約 89	39	約 23 *3
	燃 料 集 合 体 数	308	193	224	370 *4
	蒸 気 発 生 器 数	—	4	—	6 *5
建 設 経 過	復水器冷却水流量(t/秒)	21	83	11	15
	着 工	1966. 4	1982. 4	1970. 12	1985. 10
	格納容器組立開始	1967. 2	1983. 4	1972. 8	1986. 7
	燃 料 装 荷 開 始	69. 9. 20	86. 4. 17	78. 3. 15	1993. 10
	初 臨 界	69. 10. 3	86. 5. 28	78. 5. 9	94. 4. 5
	営 業 運 転 開 始	70. 3. 14	87. 2. 17	79. 3. 20*2	性能試験中
定格熱出力一定運転運用開始		03. 3. 14	02. 7. 15		

*1 低濃縮二酸化ウランも使用 *2 本格運転開始

*3 炉心燃料集合体約10t、ブランケット燃料集合体約13t

*4 炉心燃料集合体 198体、ブランケット燃料集合体 172体

*5 蒸気発生器 3基、過熱器 3基

*6 新型転換炉ふげん発電所は、2008年2月12日に廃止措置計画の認可を受け、原子炉廃止措置研究開発センター(通称;ふげん)に改組した。

		美 浜 発 電 所		
		1号機	2号機	3号機
設 備 の 概 要	炉 型	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万Kw)	34.0	50.0	82.6
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	"	"	"
	燃 料 (材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃 料 装 荷 量 (t)	約 40	約 48	約 71
	燃 料 集 合 体 数	121	121	157
	蒸 気 発 生 器 数	2	2	3
建 設 経 過	復水器冷却水流量(t/秒)	21	36	51
	着 工	1967. 8	1968. 12	1972. 7
	格納容器組立開始	1968. 11	1969. 1	1972. 12
	燃 料 装 荷 開 始	70. 7. 4	72. 3. 6	75. 12. 11
	初 臨 界	70. 7. 29	72. 4. 10	76. 1. 28
	営 業 運 転 開 始	70. 11. 28	72. 7. 25	76. 12. 1
定格熱出力一定運転運用開始		02. 11. 21	02. 7. 17	03. 6. 19

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要，建設経過（つづき）

		大 飯 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設 備 の 概 要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万Kw)	117.5	117.5	118.0	118.0
	減速材	軽水	軽水	軽水	軽水
	冷却材	"	"	"	"
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量(t)	約89	約89	約89	約89
	燃料集合体数	193	193	193	193
	蒸気発生器数	4	4	4	4
	復水器冷却水流量(t/秒)	71	71	81	81
	建 設 経 過	着工	1972.10	1972.11	1987.5
格納容器組立開始		1973.1	1973.5	1988.6	1989.4
燃料装荷開始		77.10.14	78.7.28	91.4.1	92.4.13
初臨界		77.12.2	78.9.14	91.5.17	92.5.28
営業運転開始		79.3.27	79.12.5	91.12.18	93.2.2
定格熱出力一定運転運用開始		03.6.4	02.12.18	03.2.25	02.4.16

		高 浜 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設 備 の 概 要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万Kw)	82.6	82.6	87.0	87.0
	減速材	軽水	軽水	軽水	軽水
	冷却材	"	"	"	"
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量(t)	約71	約71	約72	約72
	燃料集合体数	157	157	157	157
	蒸気発生器数	3	3	3	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	51	51	63	63
	建 設 経 過	着工	1970.4	1971.2	1980.11
格納容器組立開始		1970.8	1971.7	1981.6	1981.12
燃料装荷開始		74.2.2	74.11.15	84.3.1	84.8.31
初臨界		74.3.14	74.12.20	84.4.17	84.10.11
営業運転開始		74.11.14	75.11.14	85.1.17	85.6.5
定格熱出力一定運転運用開始		03.2.15	02.6.6	02.11.6	03.6.17

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事

(日本原電(株) 敦賀発電所)

設 備 名	概 要	使用開始 年月日
希ガスホールドアップ装置	希ガスホールドアップ装置(活性炭を充填した放射能減衰装置)を設置、 気体廃棄物の低減化	1971. 11. 30
ランドリードレンフィルター	洗濯排水処理系に活性炭式フィルターを新設 液体廃棄物の低減化	1975. 9. 9
放射性廃棄物処理設備	電磁濾過器, 超濾過器, 蒸発濃縮器, アスファルト固化装置, 雑固体焼却炉, サイトバンカーを増設 廃棄物発生量の低減化, 廃棄物の減容および長期貯蔵対策	1977. 9. 20 全設備 使用開始
低圧タービンランドシール	低圧タービン軸シール蒸気を主蒸気から蒸気発生器蒸気に変更 気体廃棄物の低減化	1977. 11. 15
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し, 活性炭式フィルターを更新	1981. 12. 13
放射性液体廃棄物 放出ライン	敦賀発電所 1, 2号の放射性液体廃棄物放出系の共用化に伴い 液体廃棄物放出を 2号放水口に一元化	1996. 3. 14
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し, 活性炭式ロータリーフィルターを設 置	1996. 9. 1
雑固体減容処理設備	雑固体減容処理設備(プラズマ熔融システム採用)を設置し, 放射性雑固体廃棄物量の低減化	2005. 4. 28
原子炉容器上部ふた保管庫	敦賀発電所 2号機原子炉容器上部ふたの取替に伴い, 原子炉容 器上部ふた保管庫を設置し, 旧原子炉容器上部ふた保管を保管	2007. 9. 15

(日本原子力研究開発機構 原子炉廃止措置研究開発センター)

設 備 名	概 要	運用開始 年月日
固体廃棄物貯蔵庫	雑固体廃棄物貯蔵庫の設置。	1977. 3. 20
重水精製装置	高濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置。	1979. 5. 1
第2固体廃棄物貯蔵庫	増設。	1985. 4. 1
重水精製装置(Ⅱ)	低濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置。	1986. 12. 20
廃液フィルター	フルコートイグから中空糸膜フィルターに変更。二次廃棄物発生量の低減化。	1989. 8. 24
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置の容量増量。液体廃棄物の低減化。	1989. 8. 24
廃棄物処理建屋	雑固体廃棄物焼却設備, 廃樹脂貯蔵設備および収納建屋の設置。	1989. 9. 22
放射線測定設備	モニタリングポストの1基増設	2002. 11. 29

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事 (つづき)

(関西電力, 美浜・大飯・高浜発電所)

設備名	概要	運用開始年月日		
		美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
廃液蒸発処理装置	廃液蒸発処理装置を増設し、処理能力を強化	1974.12.18 (1,2号共用)		
雑固体焼却設備	雑固体焼却設備を設置し、固体棄物量の低減化	1978.10.27 (1~3号共用)	1991.12.18 (1~4号共用)	1984. 8.31 (1~4号共用)
アスファルト固化装置	アスファルト固化装置を設置し、固体廃棄物量の低減化	1978.10.27 (1~3号共用)	1982. 1.19 (1,2号共用)	1984. 9. 5 (1,2号共用) 1985. 1.17 (3,4号共用)
洗濯排水処理設備	洗濯排水処理設備を設置し、液体廃棄物量を低減化	1996. 5.22 (1,2号共用) 1997. 4.16 (3号用)	1982. 1.14 (1,2号共用)	1981. 7.31 (1,2号共用) 1985. 1.17 (3,4号共用)
液体廃棄物放出ライン	美浜3号放射性液体廃棄物放出ラインの1, 2号機側への連絡配管設置	1984.10.25		
気体フィルタ圧縮用ベアラ	気体フィルタ圧縮用ベアラを設置し、固体廃棄物量の低減化	1987. 2.27 (1~3号共用)	1991.12.18 (1~4号共用)	1985. 1.17 (1~4号共用)
廃棄物庫	廃棄物庫を増設		1986. 9.18 (C廃棄物庫) 1992.11.27 (C廃棄物庫 2階部分)	1985. 1.17 (D廃棄物庫)
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置を設置し、液体廃棄物量の低減化		1987.10. 1 (1,2号共用) 1991.12.18 (3,4号共用)	1987. 6.24 (1,2号共用) 1985. 3.10 (3,4号共用)
廃樹脂貯蔵タンク	廃樹脂貯蔵タンクの増設	1988. 1.22 (1,2号共用)		1985.12.18 (1,2号共用)
乾燥造粒装置	乾燥造粒装置を設置し、固体廃棄物量の低減化		1991.12.18 (3,4号共用)	
液体廃棄物放出ライン	美浜 1,2号機放射性液体廃棄物放出ラインを3号機からも放出可能なように改造	1993. 4.19		
蒸気発生器保管庫	蒸気発生器の取り替えに伴い、蒸気発生器保管庫を設置し、旧蒸気発生器を保管	1993.12.15 (2号用) 1995. 5.31 (1~3号共用)	1994. 4.25 (1,2号共用) 1996.11.20 (1,2号共用)	1994. 1.25 (1,2号共用) 1995.12.25 (1,2号共用)
廃樹脂処理装置	廃樹脂処理装置を設置し、固体廃棄物量の低減化	2001. 4. 9 (1~3号共用)	1994. 9.27 (1,2号共用)	2000. 3.10 (1,2号共用)
雑固体固型化装置	雑固体固型化装置を設置し、固体廃棄物を固型化。	2001. 4. 9 (1~3号共用)	1999.11.12 (1~4号共用)	2004.12.20 (1~4号共用)
低線量使用済樹脂排出配管	排出配管を設置し、低線量の使用済樹脂の焼却減容処理		2005. 3.30 (1,2号共用)	2005. 3.25 (1,2号共用) 2004. 6.15 (3,4号共用)

5. 3 高速増殖原型炉もんじゅ試験進捗状況

試験進捗状況（初臨界以降）

区分	年月日	概要説明	進捗率 (%)
性能試験	1995年12月8日	2次主冷却系ナトリウム漏えいのため、原子炉手動トリップ。 現在、停止中。	39*
—	1997年11月 2004年6月22日～	もんじゅの設備保全対策を目的として、1997年11月より設備保全等の工事を開始し、継続実施中である。 冷却系運用変更実施のため、2次系ナトリウム抜き取り作業を行い、2004年6月22日より冷却系単独運転を開始し（1次系1系統のみ運用）、2007年8月28日に系統への充填を実施した（原子炉の状態を「低温停止」から「燃料交換」に変更することに伴い、2008年3月19日に冷却単独運転を終了）。	—
改造工事	2005年9月1日～ ～2007年5月23日	ナトリウム漏えい対策等に係るもんじゅ改造工事の本体工事を2005年9月1日より着手し、窒素ガス貯蔵タンク据付工事以外の工事については、2007年2月9日に終了した。また、2007年3月21日より窒素ガス貯蔵タンク据付工事を実施し、2007年5月23日に終了した。	100
工事確認試験	2006年12月18日～ 2007年8月30日	ナトリウム漏えい対策等に係る工事確認試験を2006年12月18日から2007年8月30日にかけて実施し、終了した。	100
設備点検	2007年4月2日～ 2008年3月28日	設備・機器の保安確保の観点から、2007年4月2日より2008年3月28日まで、「平成19年度設備点検」を実施し、終了した。	—
プラント確認試験	2007年8月31日～	長期停止設備の健全性確認を目的として、プラント確認試験を2007年8月31日から開始し、継続中である。	—

進捗率（※）： 初臨界以降の性能試験の進捗率として、本格運転開始までに実施される性能試験の試験終了実績等を考慮して算出したものを示す。

なお、39（%）については、2次主冷却系ナトリウム漏えい事故（1995年12月8日）までの実績である。

5. 4 各発電所の運転実績（県内年間発電電力量総計698.4億KWH）

敦賀発電所

2007年4月～2008年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	2.6	2.7	2.7	2.5	2.7	17.2
	最大電力	0	0	0	0	93	356	358	359	359	359	359	359	359
	稼働率	0.0	0.0	0	0.0	0.8	82.6	79	100	100	100	100	100	85.7
	発電日数	0	0	0	0	1	26	25	30	31	31	29	31	204
2号機	発電電力量	8.5	8.3	5.2	8.8	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.8
	最大電力	1190	1191	1190	1190	1187	0	0	0	0	0	0	0	1191
	稼働率	100	100	100	100	80.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.2
	発電日数	30	31	30	31	25	0	0	0	0	0	0	0	147

原子炉廃止措置研究開発センター

2007年4月～2008年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
ふげん	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0

注) 新型転換炉ふげん発電所は、2003年3月29日に運転を終了し、その後2008年2月12日に原子炉廃止措置研究開発センターに改組した。改組後については、「/」と表記した。

高速増殖原型炉もんじゅ

2007年4月～2008年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
もんじゅ	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位（発電電力量：10⁵ MWh、最大電力：MW、稼働率：%、発電日数：日）

美浜発電所

2007年4月～2008年3月

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0.0	2.3	2.5	2.5	1.8	2.6	2.4	2.0	16.1
	最大電力	0	0	0	0	35	340	346	349	350	351	351	350	351
	稼働率	0	0	0	0	0.4	100	100	100	72.0	100	100	78.9	54.1
	発電日数	0	0	0	0	1	30	31	30	24	31	29	25	201
2号機	発電電力量	3.7	3.8	3.6	2.3	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3
	最大電力	510	508	505	495	0	0	0	0	0	0	0	0	510
	稼働率	100	100	100	62.7	0	0	0	0	0	0	0	0	30.2
	発電日数	30	31	30	20	0	0	0	0	0	0	0	0	111
3号機	発電電力量	0.7	0	0	4.2	6.3	6.1	6.4	6.2	6.4	6.4	6.0	6.4	55.3
	最大電力	856	0	0	862	856	857	866	869	869	867	868	868	869
	稼働率	11.6	0	0	71.6	100	100	100	100	100	100	100	100	73.7
	発電日数	4	0	0	23	31	30	31	30	31	31	29	31	271

大飯発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0.0	8.4	8.5	8.8	8.8	7.2	8.8	8.5	8.8	8.8	8.3	8.8	93.8
	最大電力	120	1195	1195	1184	1185	1176	1187	1191	1191	1191	1191	1190	1195
	稼働率	1.0	99.8	100	100	100	87.6	100	100	100	100	100	100	90.8
	発電日数	1	31	30	31	31	27	31	30	31	31	29	31	334
2号機	発電電力量	8.7	9.0	8.7	8.9	8.9	8.3	0	0	2.3	9.0	8.4	7.9	80.0
	最大電力	1209	1206	1212	1205	1203	1192	0	0	1208	1209	1208	1207	1212
	稼働率	100	100	100	100	100	98.1	0	0	30.9	100	100	100	77.3
	発電日数	30	31	30	31	31	30	0	0	11	31	29	31	285
3号機	発電電力量	8.6	8.9	8.6	8.9	8.9	8.6	8.9	8.6	8.9	8.9	0.4	0	88.4
	最大電力	1201	1202	1202	1201	1200	1196	1201	1202	1202	1202	1200	0	1202
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	4.9	0	84.0
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	2	0	308
4号機	発電電力量	8.7	1.6	0	2.7	8.9	8.6	8.9	8.7	8.9	9.0	8.4	8.9	83.3
	最大電力	1205	1204	0	1197	1204	1200	1205	1205	1206	1205	1205	1206	1206
	稼働率	100	18.1	0	33.2	100	100	100	100	100	100	100	100	79.2
	発電日数	30	6	0	11	31	30	31	30	31	31	29	31	291

高浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	6.2	6.4	6.2	6.4	6.3	6.1	6.4	6.2	6.4	6.4	6.0	3.9	73.0
	最大電力	866	866	865	861	863	853	863	864	865	865	865	867	867
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	60.7	96.7
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	19	354
2号機	発電電力量	6.3	6.5	6.2	6.4	3.4	0	0	0	0	0	0	0	28.8
	最大電力	871	871	871	866	870	0	0	0	0	0	0	0	871
	稼働率	100	100	100	100	53.0	0	0	0	0	0	0	0	37.8
	発電日数	30	31	30	31	17	0	0	0	0	0	0	0	139
3号機	発電電力量	6.5	6.7	6.5	6.7	6.7	6.5	6.7	4.9	0	0	0	0	51.3
	最大電力	909	909	907	907	908	904	909	910	0	0	0	0	910
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	74.7	0	0	0	0	64.6
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	23	0	0	0	0	237
4号機	発電電力量	2.7	0	0	4.8	6.6	6.4	6.7	6.5	6.7	6.7	6.3	6.7	60.1
	最大電力	905	0	0	901	899	896	902	904	906	907	906	906	907
	稼働率	41.4	0	0	75.0	100	100	100	100	100	100	100	100	76.4
	発電日数	13	0	0	24	31	30	31	30	31	31	29	31	281

(単位) 発電電力量：10⁶ MWh, 最大電力：MW, 稼働率：%, 発電日数：日

5. 5 各発電所の発電停止状況

2007年04月～2008年03月 (年間)

施設名	項目	発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
日本原電(株) 敦賀発電所	1号機	07. 2. 16～ 07. 10. 07	第31回定期検査作業実施	07. 8. 31 07. 9. 01 07. 9. 26 07. 10. 07 07. 10. 31	発電機仮併入 調整運転開始(発電本併入) 原子炉再循環ポンプメカニカルシールの機能低下に伴う調整運転停止 調整運転再開 (原子炉再循環ポンプメカニカルシール点検に伴う調整運転停止後の再併入) 第31回定期検査を終了し、営業運転再開
	2号機	07. 8. 26～	第16回定期検査作業実施中	07. 5. 28～ 07. 6. 20	復水器海水系統フィルタの清掃に伴う発電機出力降下
日本原子力研究開発機構 ふげん発電所		03. 4. 1～ 08. 2. 11	廃止措置準備作業実施	06. 11. 7	廃止措置計画認可申請および一部補正の連絡 2006年11月7日申請 2007年12月28日一部補正
		06. 9. 29～ 07. 10. 31	第20回定期検査作業実施		
原子炉廃止措置研究開発センター		08. 2. 12～	廃止措置作業実施	08. 2. 12	廃止措置移行に伴う事業所名称を「新型転換炉ふげん発電所」から「原子炉廃止措置研究開発センター」へ変更および組織改正
関西電力(株) 美浜発電所	1号機	06. 11. 1～ 07. 8. 31	第22回定期検査作業実施	07. 8. 31～ 07. 9. 27～	調整運転開始 第22回定期検査を終了し、営業運転再開 ・定期的な放射性気体廃棄物放出時の警報発信 (希ガス放出に伴う周辺環境への影響なし。)
		07. 12. 6～ 07. 12. 14	湿分離器ドレンタンク水面計取出しフランジ部からの僅かな蒸気漏れによる発電停止	07. 12. 6	
		08. 3. 25～	第23回定期検査作業実施中		
	2号機	07. 7. 20～	第24回定期検査作業実施中	07. 8. 2 07. 9. 7	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み
	3号機	07. 4. 4～ 07. 7. 9	第22回定期検査作業実施	07. 5. 21 07. 6. 14 07. 7. 9～ 07. 8. 3～	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第22回定期検査を終了し、営業運転再開

5. 5 各発電所の発電停止状況 (つづき)

2007年04月 ~ 2008年03月 (年間)

施設名	項目	発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	06. 12. 22~ 07. 5. 1	第21回定期検査作業実施	07. 2. 26 07. 3. 26 07. 5. 1~ 07. 7. 11~	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第21回定期検査を終了し、営業 運転再開
		07. 9. 4~ 07. 9. 8	A-封水注入フィルタ付近からの漏 洩に伴う発電停止	07. 9. 3	・A-封水注入フィルタ付近からの漏 洩事象発生 (希ガス漏洩に伴う周辺環境へ の影響なし。)
	2号機	07. 9. 30~ 07. 12. 15	第21回定期検査作業実施	07. 12. 15~	調整運転開始
		07. 12. 16~ 07. 12. 23	第2段湿分分離加熱器空気抜 き管からの僅かな蒸気漏れに よる発電停止	08. 1. 18~ 08. 3. 12~ 08. 3. 26	第21回定期検査を終了し、営業 運転再開 「制御棒位置偏差大」警報発信 に伴う措置として、原子炉出力: 74%まで出力降下
	3号機	08. 2. 2~	第13回定期検査作業実施中	07. 10. 24 08. 2. 16	・プラント排気筒からの僅かな希ガ スの放出事象発生 (希ガス放出に伴う周辺環境へ の影響なし。) 原子炉下部炉心構造物吊上げ
	4号機	07. 5. 6~ 07. 7. 21	第11回定期検査作業実施	07. 7. 21~ 07. 8. 17~	調整運転開始 第11回定期検査を終了し、営業 運転再開
関西電力(株) 高浜発電所	1号機	08. 3. 19~	第25回定期検査作業実施中	08. 1. 9	1次冷却材中のヨウ素濃度上昇 を確認、濃度監視強化し運転を 継続
	2号機	07. 8. 17~	第24回定期検査作業実施中	07. 11. 2 07. 11. 5	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み
	3号機	07. 11. 23~	第18回定期検査作業実施中	07. 12. 4 08. 1. 6	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み
	4号機	07. 4. 13~ 07. 7. 8	第17回定期検査作業実施	07. 7. 8~ 07. 8. 2~	調整運転開始 第17回定期検査を終了し、営業 運転再開

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2007年4月～2008年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
敦賀発電所 1号機	4月	—	—	—	—	2.0E-10	4.0E+04	1.0E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	9.1E+09
	6月	—	—	—	—	5.4E-10	1.1E+05	8.1E+09
	7月	—	—	—	—	1.9E-10	4.1E+04	7.5E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	5.7E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	5.3E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	5.0E+09
	11月	—	—	—	—	—	—	4.4E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	4.3E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	4.2E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	4.1E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	4.7E+09
	年間	—	—	—	—	7.8E-11	1.9E+05	7.3E+10
	敦賀発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—
5月		—	—	—	—	—	—	1.7E+11
6月		—	—	—	—	—	—	2.1E+11
7月		—	—	—	—	—	—	2.7E+11
8月		—	—	—	—	—	—	3.7E+11
9月		—	—	—	—	—	—	1.1E+12
10月		—	—	—	—	—	—	9.5E+11
11月		—	—	—	—	—	—	7.4E+11
12月		—	—	—	—	—	—	6.4E+11
1月		—	—	—	—	—	—	5.0E+11
2月		—	—	—	—	—	—	3.8E+11
3月		—	—	—	—	—	—	3.4E+11
年間		—	—	—	—	—	—	5.8E+12
原子炉廃止措置 研究開発センター		4月	—	—	—	—	—	—
	5月	—	—	—	—	—	—	2.9E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	4.9E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	2.9E+10
	8月	—	—	—	—	—	—	4.2E+10
	9月	—	—	—	—	—	—	4.1E+10
	10月	—	—	—	—	—	—	3.5E+10
	11月	—	—	—	—	—	—	3.2E+10
	12月	—	—	—	—	—	—	2.6E+10
	1月	—	—	—	—	—	—	2.5E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	1.7E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	2.7E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	3.9E+11

(注1) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

(注2) 原子炉廃止措置研究開発センターの気体廃棄物放出量については、重水精製施設からの放出も含まれている。

(注3) 敦賀発電所1号機の気体廃棄物放出量については、焼却炉排気筒からの放出も含まれている。

敦賀発電所2号機の気体廃棄物放出量については、雑固体減容処理建屋排気口からの放出も含まれている。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績 (気体廃棄物)

2007年4月～2008年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物 (希ガス等)		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	-	-	-	-	-	-	2.9E+07
	5 月	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	-	-	-	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-	-	-	-
	11月	-	-	-	-	-	-	6.3E+08
	12月	-	-	-	-	-	-	4.0E+08
	1 月	-	-	-	-	-	-	4.8E+07
	2 月	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	-	-	-	-	-	-	1.1E+09
	美浜発電所 1号機	4 月	-	-	-	-	-	-
5 月		-	-	-	-	-	-	1.7E+11
6 月		-	-	-	-	-	-	1.4E+11
7 月		-	-	-	-	-	-	1.6E+11
8 月		-	-	-	-	-	-	2.6E+11
9 月		-	-	-	-	-	-	1.9E+11
10月		-	-	-	-	-	-	2.0E+11
11月		-	-	-	-	-	-	2.6E+11
12月		1.2E-05	1.9E+09	-	-	-	-	1.9E+11
1 月		-	-	-	-	-	-	1.9E+11
2 月		-	-	-	-	-	-	1.6E+11
3 月		6.9E-06	1.0E+09	-	-	-	-	1.4E+11
年 間		1.5E-06	3.0E+09	-	-	-	-	2.2E+12
美浜発電所 2号機		4 月	-	-	-	-	-	-
	5 月	1.8E-08	2.4E+06	-	-	-	-	1.6E+11
	6 月	-	-	-	-	-	-	1.6E+11
	7 月	5.0E-06	7.2E+08	-	-	-	-	3.1E+11
	8 月	-	-	-	-	-	-	8.5E+11
	9 月	1.3E-06	2.0E+08	-	-	-	-	5.4E+11
	10月	-	-	-	-	-	-	3.5E+11
	11月	-	-	-	-	-	-	3.1E+11
	12月	-	-	-	-	-	-	2.2E+11
	1 月	-	-	-	-	-	-	1.7E+11
	2 月	-	-	-	-	-	-	1.1E+11
	3 月	-	-	-	-	-	-	1.4E+11
	年 間	5.1E-07	9.2E+08	-	-	-	-	3.5E+12

(注1) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。-は検出限界値未満であることを示す。

(注2) 美浜発電所の気体廃棄物には、固体廃棄物処理施設からの放出量は加算されていない。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2007年4月～2008年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
美浜発電所 3号機（気体）	4月	—	—	—	—	—	—	3.0E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	3.4E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	7月	3.4E-07	6.6E+07	—	—	—	—	2.0E+11
	8月	7.5E-07	1.5E+08	—	—	—	—	2.0E+11
	9月	5.2E-07	1.0E+08	—	—	—	—	2.1E+11
	10月	1.8E-07	3.7E+07	—	—	—	—	2.2E+11
	11月	3.7E-07	7.3E+07	—	—	—	—	1.7E+11
	12月	5.3E-07	1.1E+08	—	—	—	—	1.5E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	2月	4.8E-07	9.0E+07	—	—	—	—	1.0E+11
	3月	3.8E-07	7.6E+07	—	—	—	—	8.6E+10
	年間	2.8E-07	7.0E+08	—	—	—	—	2.4E+12
	大飯発電所 1号機	4月	—	—	—	—	—	—
5月		—	—	—	—	—	—	2.5E+11
6月		—	—	—	—	—	—	2.5E+11
7月		—	—	—	—	—	—	2.8E+11
8月		—	—	—	—	—	—	3.3E+11
9月		9.7E-06	1.6E+09	—	—	—	—	4.7E+11
10月		—	—	—	—	—	—	1.0E+12
11月		—	—	—	—	—	—	7.8E+11
12月		—	—	—	—	—	—	4.5E+11
1月		—	—	—	—	—	—	2.6E+11
2月		—	—	—	—	—	—	1.6E+11
3月		—	—	—	—	—	—	1.4E+11
年間		7.9E-07	1.6E+09	—	—	—	—	4.7E+12
大飯発電所 2号機		4月	—	—	—	—	—	—
	5月	3.1E-07	4.0E+07	—	—	—	—	5.8E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	4.7E+09
	7月	—	—	—	—	—	—	4.7E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	5.1E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	1.3E+10
	10月	—	—	—	—	—	—	3.2E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	6.3E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	5.0E+10
	1月	—	—	—	—	—	—	3.8E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	3.6E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	4.0E+09
	年間	2.5E-08	4.0E+07	—	—	—	—	1.1E+12

（注1）1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

（注2）美浜および大飯発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績 (気体廃棄物)

2007年4月～2008年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物 (希ガス等)		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
大飯発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	9.5E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	9.9E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	10月	1.4E-06	5.0E+08	—	—	—	—	1.7E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	8.3E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	2.8E+11
	年間	1.2E-07	5.0E+08	—	—	—	—	1.9E+12
大飯発電所 4号機	4月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	2.5E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	2.8E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	8.3E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	7.7E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	2.4E+12
高浜発電所 1号機	4月	3.0E-07	4.8E+07	—	—	—	—	1.8E+11
	5月	3.2E-07	5.4E+07	—	—	—	—	2.7E+11
	6月	3.8E-06	6.0E+08	—	—	—	—	2.6E+11
	7月	5.2E-06	8.6E+08	—	—	—	—	2.7E+11
	8月	4.2E-07	7.0E+07	—	—	—	—	3.1E+11
	9月	3.4E-07	5.4E+07	—	—	—	—	3.0E+11
	10月	2.0E-06	3.3E+08	—	—	—	—	2.7E+11
	11月	1.8E-06	2.9E+08	—	—	—	—	1.9E+11
	12月	2.1E-07	3.5E+07	—	—	—	—	1.2E+11
	1月	2.9E-06	4.8E+08	—	—	—	—	1.2E+11
	2月	6.9E-06	1.1E+09	—	—	—	—	7.0E+10
	3月	2.2E-05	3.8E+09	—	—	—	—	1.1E+11
	年間	4.0E-06	7.7E+09	—	—	—	—	2.5E+12

(注1) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

(注2) 大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2007年4月～2008年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高浜発電所 2号機	4月	3.4E-07	3.6E+07	—	—	—	—	1.4E+11
	5月	2.9E-05	3.1E+09	—	—	—	—	1.6E+11
	6月	3.5E-06	3.6E+08	—	—	—	—	1.6E+11
	7月	5.2E-07	5.7E+07	—	—	—	—	1.7E+11
	8月	2.4E-05	3.5E+09	—	—	—	—	3.2E+11
	9月	7.4E-06	1.4E+09	—	—	—	—	5.8E+11
	10月	5.3E-06	1.0E+09	—	—	—	—	6.1E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	4.6E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	4.5E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	3.7E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	年間	5.0E-06	9.5E+09	—	—	—	—	3.9E+12
高浜発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	11月	8.2E-07	2.3E+08	—	—	—	—	3.0E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	6.1E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	3.2E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	年間	6.5E-08	2.3E+08	—	—	—	—	2.5E+12
高浜発電所 4号機	4月	1.5E-06	4.2E+08	—	—	—	—	3.4E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	4.3E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	3.0E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	7.0E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	6.8E+10
	年間	1.3E-07	4.2E+08	—	—	—	—	2.5E+12

(注1) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

(注2) 高浜発電所の気体廃棄物には、固体廃棄物処理施設からの放出量は加算されていない。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2007年4月～2008年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
敦賀発電所	4 月	—	—	1.7E-03	3.7E+11
	5 月	—	—	2.6E-03	5.5E+11
	6 月	—	—	3.7E-03	6.2E+11
	7 月	—	—	3.0E-03	6.7E+11
	8 月	—	—	1.8E-02	3.5E+12
	9 月	—	—	1.4E+00	6.7E+12
	10月	—	—	1.6E-01	7.0E+11
	11月	—	—	1.1E-02	4.7E+10
	12月	—	—	1.1E-02	4.8E+10
	1 月	—	—	1.1E-02	4.8E+10
	2 月	—	—	5.9E-02	2.7E+11
	3 月	—	—	5.6E-06	2.4E+07
	年 間	—	—	1.3E-02	1.3E+13
原子炉廃止措置 研究開発センター	4 月	—	—	4.6E-02	1.1E+11
	5 月	—	—	6.0E-02	1.5E+11
	6 月	—	—	4.7E-02	1.1E+11
	7 月	—	—	2.9E-02	6.9E+10
	8 月	—	—	8.1E-02	1.0E+11
	9 月	—	—	4.6E-02	8.3E+10
	10月	—	—	3.5E-02	8.7E+10
	11月	—	—	1.9E-02	4.6E+10
	12月	—	—	2.5E-02	6.0E+10
	1 月	—	—	2.6E-02	6.4E+10
	2 月	—	—	2.8E-02	6.5E+10
	3 月	—	—	2.8E-02	6.8E+10
	年 間	—	—	3.7E-02	1.0E+12
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	1.7E-06	4.2E+06
	5 月	—	—	6.8E-07	1.8E+06
	6 月	—	—	—	—
	7 月	—	—	—	—
	8 月	—	—	—	—
	9 月	—	—	—	—
	10月	—	—	—	—
	11月	—	—	4.6E-06	8.4E+06
	12月	—	—	3.3E-06	6.0E+06
	1 月	—	—	—	—
	2 月	(廃液の放出なし)		—	—
	3 月	—	—	—	—
	年 間	—	—	6.9E-07	2.1E+07

(注1) 液体廃棄物は、放出口ごとに集計している。

原子炉廃止措置研究開発センターの放射性廃棄物実績については、重水精製施設からの放出量も含めて記載した。

(注2) 加圧水型を含む各発電所の液体廃棄物のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

(注3) 敦賀発電所の液体廃棄物放出量については、雑固体減容処理設備からの放出も含まれている。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績 (液体廃棄物)

2007年4月～2008年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム (液体)	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
美浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	1.1E-02	1.6E+12
	5 月	—	—	9.2E-03	1.5E+12
	6 月	—	—	1.7E-02	2.6E+12
	7 月	—	—	3.3E-02	4.2E+12
	8 月	—	—	3.9E-02	2.3E+12
	9 月	—	—	4.6E-03	2.7E+11
	10月	—	—	1.9E-02	1.1E+12
	11月	—	—	1.4E-02	8.1E+11
	12月	—	—	9.7E-03	5.9E+11
	1 月	—	—	1.5E-02	9.3E+11
	2 月	—	—	4.1E-03	2.3E+11
	3 月* ¹	—	—	5.7E-04	3.0E+10
	年 間	—	—	1.5E-02	1.6E+13
美浜発電所 3号機	4 月* ²	—	—	4.0E-03	1.1E+11
	5 月* ²	—	—	—	—
	6 月* ²	—	—	4.3E-03	1.2E+11
	7 月	—	—	1.5E-03	2.1E+11
	8 月	—	—	1.2E-03	1.7E+11
	9 月	—	—	9.6E-04	1.4E+11
	10月	—	—	1.5E-03	2.2E+11
	11月	—	—	1.8E-03	2.5E+11
	12月	—	—	3.2E-03	4.5E+11
	1 月	—	—	1.7E-03	2.4E+11
	2 月	—	—	6.8E-03	8.9E+11
	3 月	—	—	3.7E-03	5.1E+11
	年 間	—	—	2.5E-03	3.3E+12
大飯発電所 1, 2号機	4 月	—	—	4.3E-03	1.3E+12
	5 月	—	—	1.3E-02	5.4E+12
	6 月	—	—	1.8E-02	7.3E+12
	7 月	—	—	6.5E-03	2.8E+12
	8 月	—	—	3.3E-03	1.4E+12
	9 月	—	—	4.2E-03	1.7E+12
	10月	—	—	1.6E-02	3.5E+12
	11月	—	—	2.7E-02	6.2E+12
	12月	—	—	6.7E-03	2.7E+12
	1 月	—	—	1.1E-02	4.7E+12
	2 月	—	—	1.6E-02	6.3E+12
	3 月	—	—	8.6E-03	3.6E+12
	年 間	—	—	1.1E-02	4.7E+13

(注1) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

(注2) *1: 美浜1, 2号機の定期検査に伴い、連結配管により美浜3号放水口から放出した。

(注3) *2: 4/3~6/27の間については、美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜1, 2号機放水口から放出した。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2007年4月～2008年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度	放出量	平均濃度	放出量
		Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq
大飯発電所 3, 4号機	4 月	—	—	1. 6E-02	7. 0E+12
	5 月	—	—	2. 8E-02	8. 2E+12
	6 月	—	—	7. 0E-03	1. 6E+12
	7 月	—	—	8. 8E-03	3. 5E+12
	8 月	—	—	2. 0E-03	9. 4E+11
	9 月	—	—	8. 7E-04	4. 0E+11
	10月	—	—	3. 0E-03	1. 4E+12
	11月	—	—	5. 5E-04	2. 5E+11
	12月	—	—	3. 2E-03	1. 5E+12
	1 月	—	—	1. 8E-02	8. 4E+12
	2 月	—	—	2. 6E-02	6. 2E+12
	3 月	—	—	1. 2E-02	2. 6E+12
	年 間	—	—	9. 1E-03	4. 2E+13
	高浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	1. 1E-02
5 月		—	—	7. 0E-03	2. 0E+12
6 月		—	—	1. 4E-02	3. 9E+12
7 月		—	—	1. 0E-02	3. 0E+12
8 月		—	—	1. 3E-02	2. 9E+12
9 月		—	—	3. 4E-03	5. 8E+11
10月		—	—	6. 6E-03	1. 9E+12
11月		—	—	3. 8E-03	9. 8E+11
12月		—	—	1. 3E-02	3. 4E+12
1 月		—	—	1. 6E-02	4. 4E+12
2 月		—	—	4. 4E-03	1. 1E+12
3 月		—	—	1. 6E-03	3. 6E+11
年 間		—	—	8. 9E-03	2. 7E+13
高浜発電所 3, 4号機		4 月	—	—	2. 3E-02
	5 月	—	—	2. 3E-02	3. 6E+12
	6 月	—	—	9. 8E-03	2. 1E+12
	7 月	—	—	4. 5E-03	1. 5E+12
	8 月	—	—	6. 9E-03	2. 3E+12
	9 月	—	—	1. 3E-02	4. 4E+12
	10月	—	—	7. 8E-03	2. 7E+12
	11月	—	—	1. 2E-02	3. 7E+12
	12月	—	—	2. 3E-02	3. 9E+12
	1 月	—	—	1. 2E-02	2. 0E+12
	2 月	—	—	5. 5E-03	8. 1E+11
	3 月	—	—	2. 0E-04	3. 2E+10
	年 間	—	—	1. 1E-02	3. 2E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2007年4月～2008年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
		敦賀発電所									
	4月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原子炉廃止措置研究開発センター											
	4月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高速増殖原型炉 もんじゅ											
	4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) /は対象外であることを示す。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2007年4月～2008年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
		美浜発電所 1, 2号機									
	4月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3月*1	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美浜発電所 3号機											
	4月*2	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月*2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	6月*2	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大飯発電所 1, 2号機											
	4月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) /は対象外であることを示す。

(注) * 1 ; 美浜 1, 2号機の定期検査に伴い、連絡配管より美浜 3号機放水口から放出した。

(注) * 2 : 4/3～6/27の間については、美浜 3号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜 1, 2号機放水口から放出した。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2007年4月～2008年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²³	⁵¹	⁵⁴	⁵⁹	⁵⁸	⁶⁰	¹³¹	¹³⁴	¹³⁷	その他
		Na	Cr	Mn	Fe	Co	Co	I	Cs	Cs	
大飯発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) /は対象外であることを示す。

(液体廃棄物中のストロンチウム-89、90)

2007年4月～2008年3月

区 分 施 設		ストロンチウム-89		ストロンチウム-90	
		平均濃度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)	平均濃度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)
敦賀発電所	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
ふげん	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高速増殖 原型炉 もんじゅ	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 3号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	気体廃棄物（希ガス）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	6.3×10^{13}					
70	4.8×10^{13}			3.3×10^{13}		
71	1.6×10^{13}			5.2×10^{13}		
72	1.8×10^{14}			3.3×10^{13}		
73	1.9×10^{14}			3.1×10^{13}		
74	2.1×10^{14}			1.5×10^{13}		3.6×10^{12}
75	4.4×10^{13}			1.1×10^{13}		7.8×10^{12}
76	6.7×10^{13}			4.9×10^{13}		7.6×10^{12}
77	7.4×10^{12}			1.5×10^{13}	1.1×10^{12}	5.6×10^{12}
78	2.0×10^{13}	3.1×10^{10}		5.5×10^{12}	9.5×10^{12}	5.1×10^{12}
79	5.6×10^{11}	8.9×10^{10}		2.1×10^{12}	5.0×10^{12}	5.3×10^{12}
80	1.9×10^{10}	4.1×10^{11}		3.0×10^{13}	1.4×10^{12}	7.7×10^{11}
81	1.4×10^{11}	2.2×10^{10}		3.1×10^{12}	2.7×10^{12}	9.6×10^{11}
82	2.1×10^{11}	9.6×10^{10}		1.1×10^{12}	2.2×10^{12}	2.9×10^{12}
83	4.7×10^{10}	2.4×10^{10}		2.4×10^{12}	1.7×10^{12}	3.7×10^{12}
84	2.5×10^9	—		1.9×10^{12}	1.9×10^{12}	1.4×10^{12}
85	1.6×10^9	—		1.4×10^{12}	1.3×10^{12}	2.0×10^{12}
86	8.9×10^{10}	—		1.5×10^{12}	3.8×10^{12}	6.4×10^{11}
87	2.6×10^9	—		9.1×10^{11}	1.5×10^{12}	4.8×10^{11}
88	5.8×10^9	—		2.8×10^{11}	9.1×10^{11}	1.1×10^{12}
89	8.9×10^9	1.2×10^9		2.5×10^{11}	1.0×10^{12}	3.5×10^{11}
90	1.0×10^{10}	—		2.7×10^{11}	6.8×10^{11}	3.5×10^{11}
91	1.0×10^{10}	2.2×10^{10}		2.8×10^{11}	5.6×10^{11}	1.8×10^{12}
92	2.9×10^9	—		1.1×10^{12}	5.3×10^{11}	4.4×10^{11}
93	2.7×10^9	—		2.0×10^{11}	4.7×10^{11}	6.2×10^{11}
94	3.6×10^9	—	—	1.1×10^{11}	6.0×10^{11}	2.0×10^{11}
95	3.8×10^9	—	—	1.6×10^{11}	5.1×10^{11}	2.1×10^{11}
96	3.8×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.3×10^{11}
97	3.0×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.7×10^{11}
98	8.4×10^9	—	—	1.7×10^{11}	6.1×10^{11}	4.2×10^{11}
99	—	—	—	2.3×10^{11}	1.2×10^{11}	4.0×10^{11}
00	2.6×10^9	—	—	1.6×10^{10}	5.7×10^{10}	1.6×10^{10}
01	8.8×10^9	—	—	1.4×10^{10}	1.5×10^{10}	1.8×10^{10}
02	9.1×10^9	1.2×10^{10}	—	1.1×10^{10}	2.8×10^{10}	1.2×10^{10}
03	1.6×10^9	—	—	6.1×10^9	1.8×10^{10}	1.1×10^{10}
04	7.4×10^9	—	—	1.9×10^9	4.1×10^{11}	1.6×10^{10}
05	—	—	—	1.2×10^9	6.2×10^9	1.2×10^{10}
06	—	—	—	2.3×10^9	2.9×10^9	1.5×10^{10}
07	—	—	—	4.6×10^9	2.2×10^9	1.8×10^{10}

（注）ふげんの希ガスはアルゴン-41である。美浜、大飯、高浜の各発電所では1979年度までは検出限界以下の場合、検出限界値を加算していたが、1980年度以降0として集計している（液体廃棄物も同じ）。

美浜、大飯、高浜発電所の気体廃棄物にはそれぞれの発電所の固体廃棄物処理建屋からの放出量も含まれている。1990年度の美浜発電所の希ガスの放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq／年）

年度	気体廃棄物のヨウ素-131					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	1.4×10^{10}					
71	4.1×10^{10}					
72	8.9×10^9					
73	7.4×10^9					
74	1.0×10^{10}					—
75	7.4×10^8			5.6×10^7		5.9×10^7
76	6.7×10^8			2.5×10^8		8.4×10^7
77	2.7×10^8			1.2×10^8	2.5×10^6	1.9×10^7
78	2.0×10^8			3.5×10^7	8.1×10^7	1.4×10^7
79	1.3×10^8	—		3.7×10^7	1.3×10^8	1.3×10^7
80	2.7×10^7	—		1.3×10^8	1.4×10^7	8.0×10^6
81	1.0×10^7	—		9.4×10^7	2.6×10^8	1.4×10^6
82	9.1×10^6	—		6.2×10^7	6.3×10^7	3.4×10^6
83	3.9×10^6	—		4.6×10^6	5.6×10^6	9.0×10^7
84	4.0×10^5	—		8.9×10^7	5.0×10^5	1.8×10^6
85	2.0×10^5	—		2.7×10^7	5.9×10^6	2.1×10^7
86	$4.4 \times 10^7*$	$5.6 \times 10^7*$		$6.8 \times 10^7*$	$2.2 \times 10^8*$	$1.1 \times 10^8*$
87	1.3×10^6	—		3.8×10^6	1.6×10^6	2.7×10^6
88	—	—		1.3×10^6	5.7×10^7	2.0×10^7
89	—	—		2.5×10^6	1.2×10^6	2.2×10^5
90	4.8×10^6	—		3.5×10^8	8.8×10^5	2.9×10^5
91	5.7×10^4	—		6.1×10^6	1.1×10^6	2.2×10^8
92	—	—		1.9×10^7	3.4×10^6	4.3×10^7
93	—	—		1.0×10^7	2.8×10^5	4.4×10^5
94	—	—	—	2.7×10^5	2.2×10^5	3.1×10^5
95	—	—	—	1.6×10^5	—	2.4×10^5
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	1.8×10^6	8.6×10^5	3.8×10^6
98	—	—	—	2.4×10^6	1.2×10^5	9.9×10^6
99	—	—	—	3.2×10^5	1.6×10^5	2.7×10^5
00	3.8×10^5	—	—	—	1.1×10^6	—
01	—	—	—	9.9×10^4	2.7×10^5	1.9×10^5
02	—	—	—	3.8×10^5	—	3.4×10^5
03	—	—	—	2.3×10^5	—	—
04	—	—	—	—	1.9×10^8	—
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—

（注） *印の1986年度の気体状ヨウ素-131の放出実績には、チェルノブイル原子力発電所の影響が含まれている。

1990年度の美浜発電所のヨウ素-131の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウムを除く液体廃棄物					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	1.1 × 10 ¹¹					
70	6.7 × 10 ¹⁰			5.9 × 10 ¹⁰		
71	6.3 × 10 ⁹			5.6 × 10 ⁹		
72	7.8 × 10 ⁹			1.1 × 10 ⁹		
73	7.4 × 10 ⁹			1.1 × 10 ⁹		
74	1.1 × 10 ¹⁰			9.6 × 10 ⁸		1.1 × 10 ⁸
75	1.7 × 10 ¹⁰			5.6 × 10 ⁸		1.5 × 10 ⁸
76	3.4 × 10 ⁹			2.8 × 10 ⁸		3.6 × 10 ⁸
77	2.7 × 10 ⁹			3.3 × 10 ⁸	1.8 × 10 ⁷	8.5 × 10 ⁷
78	8.9 × 10 ⁸	3.3 × 10 ⁷		3.0 × 10 ⁸	3.7 × 10 ⁷	7.0 × 10 ⁷
79	4.8 × 10 ⁸	5.3 × 10 ⁷		4.5 × 10 ⁸	6.3 × 10 ⁷	6.3 × 10 ⁷
80	2.6 × 10 ⁸	3.7 × 10 ⁷		1.4 × 10 ⁸	5.9 × 10 ⁷	4.8 × 10 ⁷
81	1.4 × 10 ⁸	2.9 × 10 ⁸		8.8 × 10 ⁷	1.9 × 10 ⁸	1.1 × 10 ⁷
82	1.8 × 10 ⁷	3.1 × 10 ⁷		8.6 × 10 ⁷	2.9 × 10 ⁷	7.0 × 10 ⁶
83	2.9 × 10 ⁷	4.8 × 10 ⁷		1.0 × 10 ⁸	2.2 × 10 ⁷	8.9 × 10 ⁶
84	2.5 × 10 ⁷	1.9 × 10 ⁷		3.8 × 10 ⁷	1.9 × 10 ⁷	6.2 × 10 ⁶
85	1.9 × 10 ⁷	1.0 × 10 ⁸		2.2 × 10 ⁷	2.1 × 10 ⁷	8.2 × 10 ⁶
86	1.2 × 10 ⁷	4.8 × 10 ⁷		1.5 × 10 ⁷	1.6 × 10 ⁷	1.3 × 10 ⁷
87	1.1 × 10 ⁷	1.9 × 10 ⁷		1.7 × 10 ⁷	4.4 × 10 ⁶	2.6 × 10 ⁶
88	1.1 × 10 ⁷	4.8 × 10 ⁷		2.1 × 10 ⁷	2.1 × 10 ⁶	—
89	4.2 × 10 ⁶	5.8 × 10 ⁷		6.5 × 10 ⁶	—	—
90	5.6 × 10 ⁶	1.4 × 10 ⁷		1.6 × 10 ⁷	7.4 × 10 ⁵	—
91	6.6 × 10 ⁶	4.7 × 10 ⁶		5.1 × 10 ⁵	—	—
92	2.5 × 10 ⁶	1.1 × 10 ⁷		3.0 × 10 ⁶	7.8 × 10 ⁴	—
93	1.5 × 10 ⁵	1.6 × 10 ⁶		3.4 × 10 ⁶	1.4 × 10 ⁶	—
94	—	—	—	1.0 × 10 ⁵	—	—
95	9.4 × 10 ⁴	—	—	4.8 × 10 ⁵	—	—
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	—	—	—
98	—	—	—	—	—	—
99	—	—	—	—	—	—
00	—	—	—	—	—	—
01	—	—	—	—	—	—
02	—	—	—	—	—	—
03	—	—	—	—	—	—
04	—	—	—	—	—	3.1 × 10 ⁵
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—

（注）ふげんの液体廃棄物放出実績については、1984年度年報より重水精製施設からの放出量も含めて記載した。
1990年度の美浜発電所の「トリチウムを除く液体廃棄物」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出による。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウム（液体）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	5.2×10^{11}			1.2×10^{12}		
71	2.3×10^{11}			5.2×10^{12}		
72	2.0×10^{11}			8.9×10^{12}		
73	3.0×10^{11}			1.1×10^{13}		
74	7.8×10^{11}			1.0×10^{13}		4.8×10^{12}
75	1.6×10^{12}			2.4×10^{12}		1.3×10^{13}
76	1.9×10^{12}			8.4×10^{12}		1.3×10^{13}
77	8.5×10^{11}			7.8×10^{12}	6.3×10^{11}	1.1×10^{13}
78	1.1×10^{12}	2.6×10^{11}		1.4×10^{13}	4.8×10^{12}	1.7×10^{13}
79	1.2×10^{12}	2.7×10^{11}		1.2×10^{13}	1.5×10^{13}	1.1×10^{13}
80	1.3×10^{12}	7.7×10^{11}		1.3×10^{13}	2.2×10^{13}	1.1×10^{13}
81	1.2×10^{12}	8.5×10^{11}		1.4×10^{13}	1.1×10^{13}	1.4×10^{13}
82	5.0×10^{11}	1.2×10^{12}		9.8×10^{12}	3.1×10^{13}	1.4×10^{13}
83	4.3×10^{11}	1.3×10^{12}		1.0×10^{13}	3.4×10^{13}	1.6×10^{13}
84	4.2×10^{11}	2.6×10^{12}		1.9×10^{13}	3.0×10^{13}	2.1×10^{13}
85	3.5×10^{11}	3.6×10^{12}		1.6×10^{13}	2.9×10^{13}	3.7×10^{13}
86	5.9×10^{12}	2.2×10^{12}		2.2×10^{13}	4.1×10^{13}	4.3×10^{13}
87	2.4×10^{13}	1.9×10^{12}		2.4×10^{13}	3.3×10^{13}	4.9×10^{13}
88	4.5×10^{12}	4.4×10^{12}		2.1×10^{13}	3.0×10^{13}	7.0×10^{13}
89	1.2×10^{13}	7.0×10^{12}		1.3×10^{13}	2.6×10^{13}	4.0×10^{13}
90	2.3×10^{13}	3.3×10^{12}		2.0×10^{13}	1.6×10^{13}	3.5×10^{13}
91	3.1×10^{13}	1.8×10^{12}		1.3×10^{13}	2.0×10^{13}	3.0×10^{13}
92	7.9×10^{12}	3.9×10^{12}		1.2×10^{13}	2.8×10^{13}	5.5×10^{13}
93	1.6×10^{13}	3.5×10^{12}		1.8×10^{13}	4.2×10^{13}	6.9×10^{13}
94	1.3×10^{13}	4.7×10^{12}	—	1.1×10^{13}	6.3×10^{13}	3.3×10^{13}
95	1.9×10^{13}	4.1×10^{12}	3.9×10^9	1.7×10^{13}	6.1×10^{13}	3.7×10^{13}
96	1.4×10^{13}	5.9×10^{12}	9.7×10^7	1.7×10^{13}	5.9×10^{13}	5.7×10^{13}
97	2.1×10^{13}	5.5×10^{12}	1.3×10^9	1.6×10^{13}	4.6×10^{13}	6.4×10^{13}
98	2.0×10^{13}	3.5×10^{12}	4.7×10^8	1.6×10^{13}	5.7×10^{13}	6.2×10^{13}
99	1.1×10^{13}	4.1×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.9×10^{13}	7.1×10^{13}
00	1.4×10^{13}	3.8×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.6×10^{13}	4.1×10^{13}
01	1.0×10^{13}	4.1×10^{12}	6.2×10^5	1.7×10^{13}	1.3×10^{14}	5.3×10^{13}
02	1.4×10^{13}	1.8×10^{12}	9.3×10^5	1.8×10^{13}	6.4×10^{13}	6.3×10^{13}
03	2.2×10^{13}	4.3×10^{11}	4.9×10^8	2.3×10^{13}	9.0×10^{13}	5.9×10^{13}
04	2.6×10^{13}	1.0×10^{12}	1.3×10^8	1.6×10^{13}	9.8×10^{13}	6.3×10^{13}
05	9.2×10^{12}	1.2×10^{12}	4.7×10^8	1.5×10^{13}	6.6×10^{13}	6.9×10^{13}
06	1.5×10^{13}	1.6×10^{12}	2.0×10^8	1.4×10^{13}	7.7×10^{13}	6.8×10^{13}
07	1.3×10^{13}	1.0×10^{12}	2.1×10^7	2.0×10^{13}	8.9×10^{13}	6.0×10^{13}

（注）1990年度の美浜発電所の「トリチウム（液体）」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出分 1.1×10^7 Bqを含む。

5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

1. 調査方法

(1) 調査期間

平成19年4月～10月

(2) 調査項目

空間 γ 線量率

(3) 測定器等

① 測定器

各機関が有するモニタリングカーに搭載の線量率計による。

機 関 名	検 出 器	検出器位置
県監視センター	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根 (地上高 2.7m)
原 電	3"×3"NaI(Tl)検出器	屋根 (地上高 2.3m)
関 電	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根 (地上高 3.5m)
原子力機構	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根 (地上高 2.9m)

② 測定法

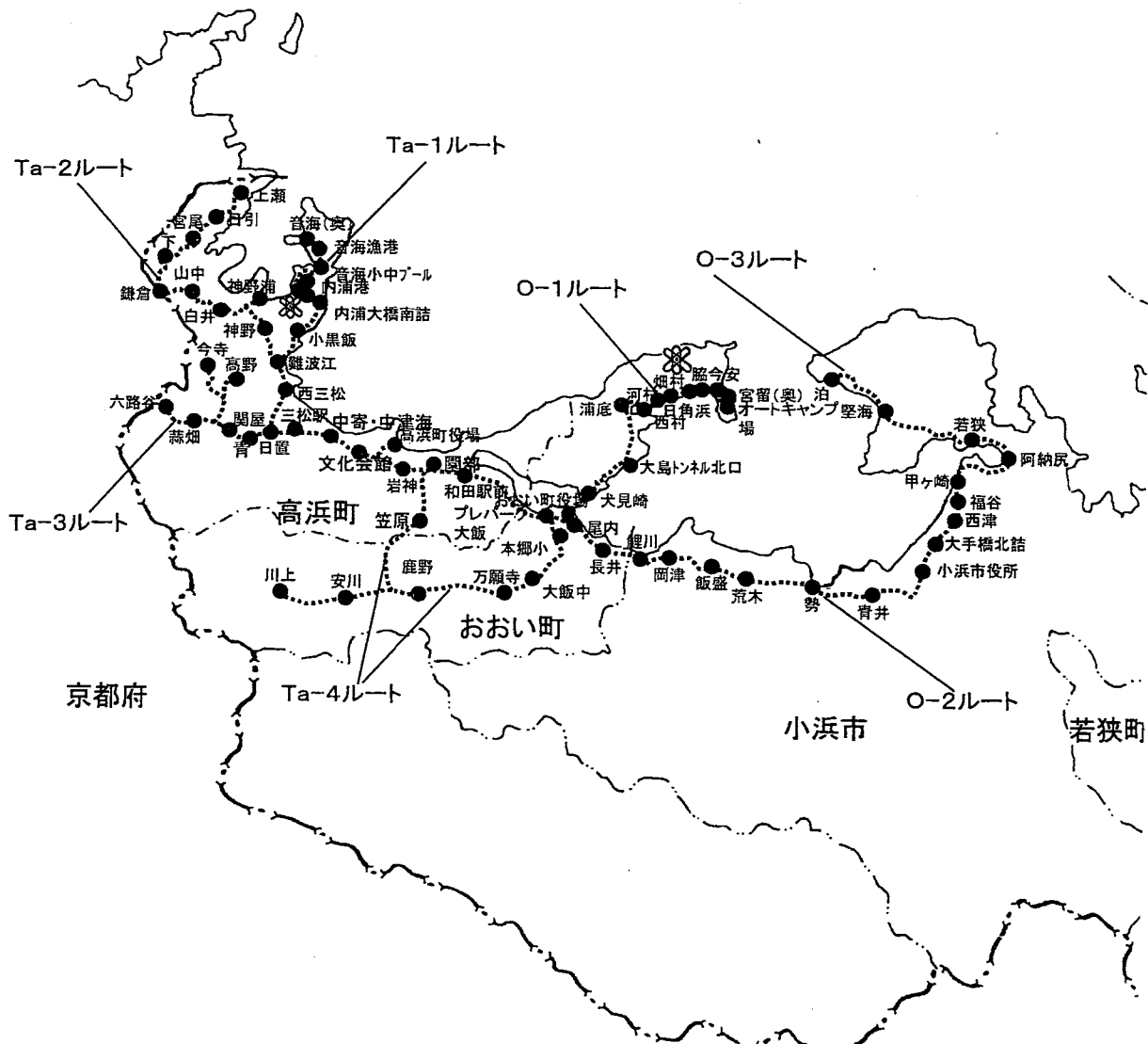
停車し、2分～5分間測定。

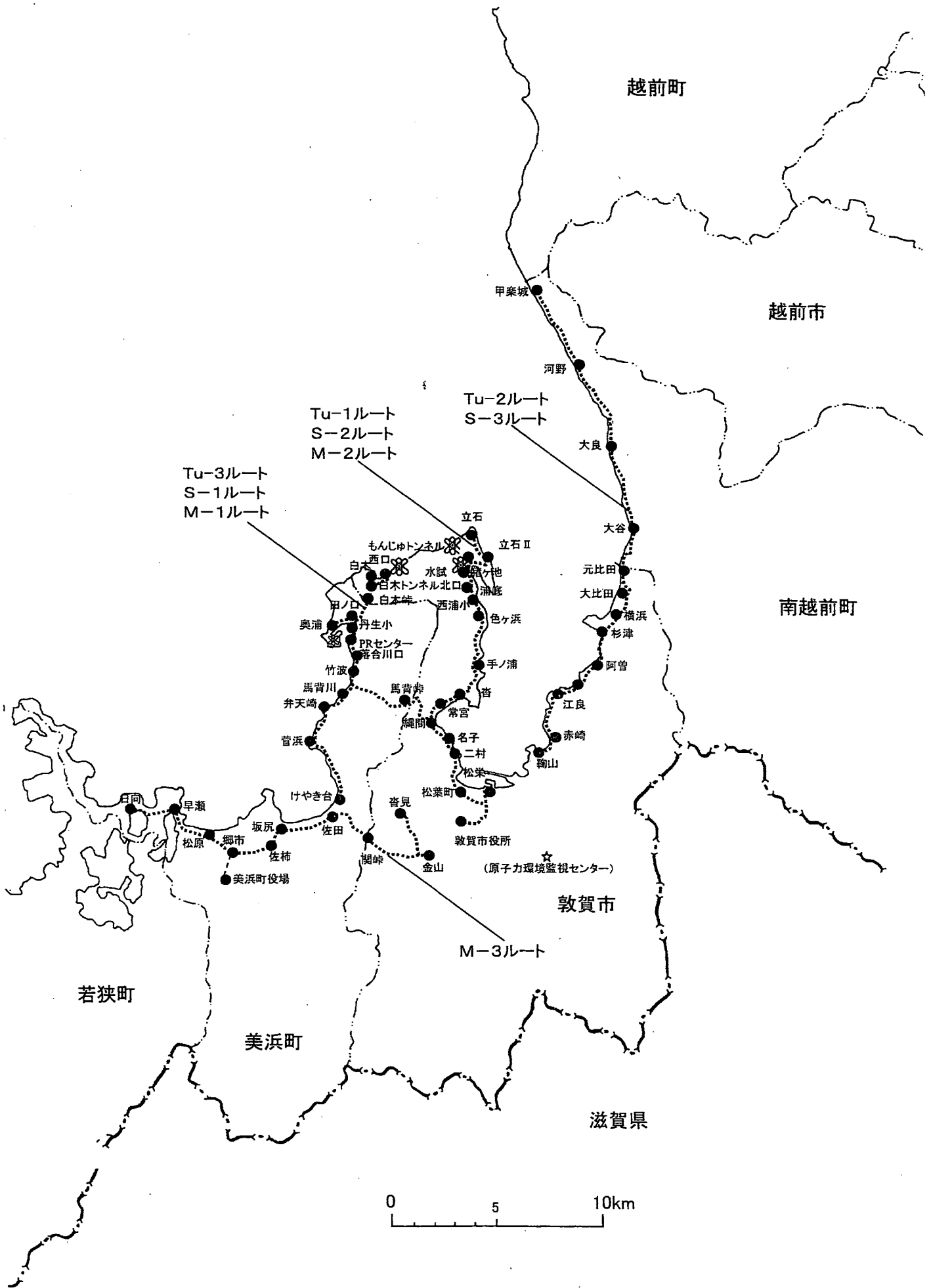
(4) 測定地点

第1図に、各ルートの測定地点を示す。

第1図 緊急時モニタリングルート調査地点

Tu-1ルート:	立石	～	縄間	～	松栄	～	敦賀市役所
Tu-2ルート:	鞠山	～	五幡	～	大比田	～	甲楽城
Tu-3ルート:	白木	～	竹波	～	馬背峠	～	菅浜
S-1ルート:	白木	～	白木峠	～	竹波	～	馬背川 ～ けやき台
S-2ルート:	立石	～	縄間	～	馬背峠	～	松栄 ～ 敦賀市役所
S-3ルート:	鞠山	～	五幡	～	大比田	～	甲楽城
M-1ルート:	白木	～	丹生	～	馬背川	～	けやき台
M-2ルート:	立石	～	縄間	～	馬背峠	～	松栄 ～ 敦賀市役所
M-3ルート:	沓見公会堂	～	佐田	～	郷市	～	日向
O-1ルート:	宮留(奥)	～	日角浜	～	犬見崎	～	大飯中学校
O-2ルート:	高浜町役場	～	長井	～	荒木	～	小浜市役所
O-3ルート:	小浜市役所	～	西津	～	阿納尻	～	泊
Ta-1ルート:	音海(奥)	～	難波江	～	三松駅	～	高浜町役場
Ta-2ルート:	難波江	～	神野浦	～	下	～	上瀬
Ta-3ルート:	六路谷	～	高野	～	今寺	～	日置 ～ おおい町役場
Ta-4ルート:	園部	～	川上	～	鹿野	～	おおい町役場





調査結果その1 敦賀、白木、美浜地区

単位:nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	立石	立石	県テレメータ観測局県道	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	60.7	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	59.6	B
敦賀市	立石	立石II	恵比寿神社前	Tu-1	6月27日	晴れ	76.6	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	79.6	B
敦賀市	浦底	猪ヶ池	原電原子力館昇り口	Tu-1	6月27日	晴れ	60.4	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	66.8	B
敦賀市	浦底	水試	水産試験場玄関前	Tu-1	6月27日	晴れ	51.7	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	59.0	B
敦賀市	浦底	浦底	原電明神寮昇り口	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	64.9	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	67.4	B
敦賀市	色浜	西浦小学校	西浦小・中学校	Tu-1	6月27日	晴れ	58.0	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	60.6	B
敦賀市	色浜	色ヶ浜	旅館みずしま前	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	56.1	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	53.4	B
敦賀市	手	手ノ浦	あけぼの旅館前	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	59.7	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	51.6	B
敦賀市	沓	沓	ひがし旅館駐車場入口	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	57.4	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	62.2	B
敦賀市	常宮	常宮	常宮小学校校門	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	52.1	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	52.8	B
敦賀市	縄間	縄間	西浦児童館前	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	51.8	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	37.8	D
敦賀市	名子	名子	ファーストハーバーツルが横駐車帯	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	50.7	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	45.8	D
美浜町	馬背峠	馬背峠	峠西側駐車帯	Tu-3 M-2・S-2	6月27日	晴れ	82.6	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	78.0	D
敦賀市	二村	二村	二村バス停	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	64.0	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	52.6	D
敦賀市	松葉町	松葉町	市立体育館駐車場	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	47.2	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	39.0	D
敦賀市	松栄町	松栄	漁連製氷冷蔵工場横	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	53.8	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	40.0	D
敦賀市	中央2丁目	敦賀市役所	敦賀市役所玄関前	Tu-1 M-2・S-2	6月27日	晴れ	51.1	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	40.0	D
敦賀市	鞠山	鞠山	北陸電力鞠山寮前	Tu-2・S-3	6月27日	曇	60.3	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	54.8	B
敦賀市	赤崎	赤崎	赤崎小学校入口	Tu-2・S-3	6月27日	曇	55.9	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	52.2	B
敦賀市	江良	江良	おもや旅館駐車場横	Tu-2・S-3	6月27日	曇	53.9	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	57.0	B
敦賀市	五幡	五幡	東浦公民館前	Tu-2・S-3	6月27日	曇	48.3	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	50.0	B
敦賀市	阿曾	阿曾	JA北部富農センター	Tu-2・S-3	6月27日	曇	50.9	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	55.2	B
敦賀市	杉津	杉津	ツボトインすいず前駐車帯	Tu-2・S-3	6月27日	曇	48.2	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	54.0	B
敦賀市	横浜	横浜	ドライブインヤベ清駐車場	Tu-2・S-3	7月12日	曇時々雨	47.0	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	50.2	B

調査結果その2 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位:nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	大比田	大比田	集落下非常用駐車帯	Tu-2・S-3	6月27日	曇	46.4	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	52.2	B
敦賀市	元比田	元比田	非常用駐車帯	Tu-2・S-3	6月27日	曇	44.2	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	48.2	B
南越前町	大谷	大谷	料金ゲート南駐車帯	Tu-2・S-3	6月27日	曇	43.6	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	49.0	B
南越前町	大良	大良	河野洞門南駐車帯	Tu-2・S-3	6月27日	曇	46.9	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	45.8	B
南越前町	河野	河野	南越前町役場河野総合事務所 駐車場入り口	Tu-2・S-3	6月27日	曇	45.3	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	44.6	B
南越前町	甲楽城	甲楽城	下長谷洞門前駐車場	Tu-2・S-3	6月27日	曇	44.2	A
"	"	"	"	"	7月12日	曇時々雨	40.6	B
敦賀市	白木1丁目	白木	白木区営駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	69.6	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	52.8	D
敦賀市	白木1丁目	もんじゅトンネル西口	もんじゅ守衛所横	S-1	10月15日	晴れ	75.0	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	53.8	D
敦賀市	白木1丁目	白木トンネル北口	トンネル北口交差点	S-1	10月15日	晴れ	62.9	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	55.6	D
敦賀市	白木	白木峠	県テレメ白木峠観測局前	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	89.8	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	75.6	D
美浜町	丹生	奥浦	漁協飼料保管解凍施設前	M-1	10月15日	晴れ	57.5	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	50.6	D
美浜町	丹生	丹生	県テレメ丹生観測局前	M-1	10月15日	晴れ	53.5	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	40.2	D
美浜町	丹生	田ノ口	丹生漁協ニューポート前	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	46.6	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	34.8	D
美浜町	丹生	丹生小学校	丹生小学校校門	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	59.7	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	56.2	D
美浜町	丹生	PRセンター	美浜PRセンター玄関前	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	63.7	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	49.4	D
美浜町	竹波	落合川口	落合橋右岸たもと	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	60.5	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	46.2	D
美浜町	竹波	竹波	庄屋旅館駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	47.2	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	32.8	D
美浜町	竹波	水晶浜馬背川	関電水晶浜寮門前	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	61.7	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	48.4	D
美浜町	菅浜	弁天崎	弁天崎駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	59.0	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	43.0	D
美浜町	菅浜	菅浜	農業構造改善センター玄関	Tu-3 M-1・S-1	10月15日	晴れ	43.1	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	33.4	D
美浜町	佐田	けやき台	関電社宅前バス停	M-1・S-1	9月26日	晴れ	42.5	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴れ	34.6	D

調査結果その3 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	沓見	沓見公会堂	沓見公会堂前駐車場	M-3	10月15日	晴れ	60.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴れ	47.0	D
敦賀市	桜ヶ丘町	桜ヶ丘・金山	栗野交番横	M-3	10月15日	晴れ	54.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴れ	50.4	D
敦賀市	関	関峠	関峠散水融雪設備横	M-3	10月15日	晴れ	56.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴れ	38.8	D
美浜町	佐田	佐田	山東郵便局前	M-3	10月15日	晴れ	51.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	4月20日	晴れ	50.1	C
美浜町	坂尻	坂尻	坂尻バス停	M-3	10月15日	晴れ	44.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	4月20日	晴れ	44.7	C
美浜町	佐柿	佐柿	山本工業所前(佐柿口バス停前)	M-3	10月15日	晴れ	39.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	4月20日	晴れ	44.0	C
美浜町	郷市	美浜町役場	美浜町役場 駐車場	Tu-3 M-3・S-1	10月15日	晴れ	34.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	4月20日	晴れ	41.4	C
美浜町	郷市	郷市	関電原子力事業本部前	M-3	10月15日	晴れ	46.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	4月20日	晴れ	44.1	C
美浜町	久々子	久々子・松原	町勤労者体育センター入口	M-3	10月15日	晴れ	48.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	4月20日	晴れ	44.4	C
美浜町	早瀬	早瀬	美浜漁業センター玄関前	M-3	10月15日	晴れ	48.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	4月20日	晴れ	46.5	C
美浜町	日向	日向(バス停)	集落排水処理場前駐車場	M-3	10月15日	晴れ	46.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	4月20日	晴れ	40.6	C

調査結果その4 大飯地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	赤礁崎	オートキャンプ場	オートキャンプ場管理事務所前	O-1	8月9日	晴れ	29.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	37.2	C
おおい町	宮留	宮留(奥)	塩浜海水浴場入口	O-1	8月9日	晴れ	21.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	20.4	C
おおい町	宮留	宮留	県テレメ宮留観測局前	O-1	8月9日	晴れ	27.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	29.1	C
おおい町	脇今安	脇今安	田中旅館前	O-1	8月9日	晴れ	21.3	A
〃	〃	〃	おおい町えこあいらんど	〃	6月21日	晴れ	26.7	C
おおい町	畑村	畑村	区標識下棧橋前(上山旅館前)	O-1	8月9日	晴れ	22.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	24.0	C
おおい町	日角浜	日角浜	大島漁協漁村センター玄関前	O-1	8月9日	晴れ	23.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	35.6	C
おおい町	河村	河村	区標識下三叉路	O-1	8月9日	晴れ	23.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	23.1	C
おおい町	西村	西村	生活改善センター前(区標識下)	O-1	8月9日	晴れ	26.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	25.5	C
おおい町	南浦	南浦・浦底	県道・海岸道路三叉路	O-1	8月9日	晴れ	22.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	21.7	C
おおい町	大島	大島トンネル北口	大島トンネル北口駐車場	O-1	8月9日	晴れ	25.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	29.9	C
おおい町	犬見	犬見崎	青戸大橋北詰犬見入口	O-1	8月9日	晴れ	27.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	28.8	C
おおい町	本郷	おおい町役場	おおい町役場玄関前	O-1・Ta-3 Ta-4	8月9日	晴れ	36.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	曇り	35.4	C
おおい町	本郷	本郷小学校	小学校グラウンド南角	O-1	8月9日	晴れ	36.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	35.6	C
おおい町	野尻	大飯中学校	中学校昇り口	O-1	8月9日	晴れ	37.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	曇り	37.4	C
おおい町	成和	プレーパーク大飯	総合運動公園体育館前	O-2	8月9日	晴れ	27.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	29.7	C
おおい町	尾内	尾内	マツミヤ前	O-2	8月9日	晴れ	36.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	34.1	C

調査結果その5 大飯地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	長井	長井	長井区標識(長井西踏切)	O-2	8月9日	晴れ	34.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	曇り	36.2	C
小浜市	鯉川	鯉川	鯉川海水浴場入口駐車場	O-2	8月9日	晴れ	34.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	30.4	C
小浜市	岡津	岡津	お食事処魚市横 国道・県道交差点	O-2	8月9日	晴れ	33.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	37.1	C
小浜市	飯盛(荒木)	飯盛	加斗小学校前バス停	O-2	8月9日	晴れ	32.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	曇り	32.4	C
小浜市	飯盛(荒木)	荒木	荒木バス停	O-2	8月9日	晴れ	33.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	33.6	C
小浜市	勢	勢	国道・県道235号三叉路	O-2	8月9日	晴れ	27.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	28.6	C
小浜市	青井	青井	リパティールズ浜見台横三叉路	O-2	8月9日	晴れ	32.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	曇り	30.4	C
小浜市	大手6	小浜市役所	小浜市役所前	O-2・O-3	8月9日	晴れ	27.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	曇り	31.1	C
小浜市	城内	大手橋北詰	小浜簡易裁判所玄関前	O-3	8月9日	晴れ	34.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	37.3	C
小浜市	西津	西津	西津公民館・保育所前	O-3	8月9日	晴れ	29.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	34.1	C
小浜市	福谷	福谷	福谷駐在所前(福谷三叉路)	O-3	8月9日	晴れ	26.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	24.3	C
小浜市	甲ヶ崎	甲ヶ崎	内外海郵便局前	O-3	8月9日	晴れ	27.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	28.8	C
小浜市	阿納尻	阿納尻	内外海小学校入口	O-3	8月9日	晴れ	28.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	26.3	C
小浜市	若狭	若狭	土地改良事業記念碑前	O-3	8月9日	晴れ	36.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	39.8	C
小浜市	堅海	堅海	堅海バス停	O-3	8月9日	晴れ	25.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	25.9	C
小浜市	泊	泊	集落西端県道終端	O-3	8月9日	晴れ	24.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月21日	晴れ	29.9	C

調査結果その6 高浜地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	音海	音海(奥)	音海集落奥漁協倉庫横	Ta-1	8月10日	晴れ	32.3	A
"	"	"	"	"	8月24日	晴れ	27.8	C
高浜町	音海	音海漁港	音海漁協・音海郵便局前	Ta-1	8月10日	晴れ	28.8	A
"	"	"	"	"	8月24日	晴れ	31.5	C
高浜町	音海	音海小中プール	県テレメータ観測局前	Ta-1	8月10日	晴れ	32.3	A
"	"	"	"	"	8月27日	晴れ	31.3	C
高浜町	音海	内浦港	日本海港湾側保稅上屋前	Ta-1	8月10日	晴れ	33.2	A
"	"	"	"	"	8月24日	晴れ	24.9	C
高浜町	田の浦	内浦大橋南詰	高浜発電所正門前	Ta-1	8月10日	晴れ	31	A
"	"	"	"	"	8月27日	晴れ	26.6	C
高浜町	小黒飯	小黒飯	白浜トンネル北駐車帯	Ta-1	8月10日	晴れ	32.6	A
"	"	"	"	"	8月27日	晴れ	32.1	C
高浜町	難波江	難波江	難波江三叉路南山側駐車帯	Ta-1 Ta-2	8月10日	晴れ	26.6	A
"	"	"	"	"	8月24日	晴れ	29.4	C
高浜町	西三松	西三松	三松センター 玄関前	Ta-1	8月10日	晴れ	36.8	A
"	"	"	"	"	8月24日	晴れ	37.3	C
高浜町	東三松	三松駅口	三松駅口 信号下	Ta-1	8月9日	晴れ	33.8	A
"	"	"	"	"	8月27日	曇り	27.5	C
高浜町	中寄	中寄・中津海	中津海バス停(中寄信号横)	Ta-1	8月9日	晴れ	25.2	A
"	"	"	"	"	8月24日	晴れ	26.9	C
高浜町	立石	文化会館	中央図書館・文化会館前	Ta-1	8月9日	晴れ	31.9	A
"	"	"	"	"	8月24日	晴れ	31.6	C
高浜町	宮崎	高浜町役場	高浜町役場前	O-2・Ta-1	8月9日	晴れ	25.9	A
"	"	"	"	"	8月27日	曇り	32.9	C
高浜町	神野	神野	内浦電話交換所前駐車帯	Ta-2	8月10日	晴れ	21.5	A
"	"	"	"	"	8月27日	晴れ	22.1	C
高浜町	神野浦	神野浦	神野浦海岸三叉路	Ta-2	8月10日	晴れ	22.1	A
"	"	"	"	"	8月27日	晴れ	25.0	C
高浜町	山中・白井	白井	日枝神社交差点	Ta-2	8月10日	晴れ	24.9	A
"	"	"	"	"	8月27日	曇り	24.3	C
高浜町	山中	山中	五色山公園入口看板前	Ta-2	8月10日	晴れ	20.4	A
"	"	"	"	"	8月27日	曇り	20.6	C
高浜町	鎌倉	鎌倉	集落入口(舞鶴カトリ-)交差点	Ta-2	8月10日	晴れ	32.4	A
"	"	"	"	"	8月27日	曇り	29.6	C

調査結果その7 高浜地区(つづき)

単位:nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	下	下	集落入口三叉路(区標識)	Ta-2	8月10日	晴れ	25.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	曇り	25.3	C
高浜町	宮尾	宮尾	産霊神社参道前	Ta-2	8月10日	晴れ	23.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	曇り	23.1	C
高浜町	日引	日引	日引小学校下駐車帯	Ta-2	8月10日	晴れ	31.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	曇り	30.1	C
高浜町	上瀬	上瀬	山神神社石段前(県道終端)	Ta-2	8月10日	晴れ	23.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	晴れ	23.3	C
高浜町	六路谷	六路谷	六路谷検問所(バス停)	Ta-3	8月9日	晴れ	21.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	晴れ	20.6	C
高浜町	蒜畑	蒜島	蒜島バス停(喫茶らんぶる横)	Ta-3	8月9日	晴れ	23.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	晴れ	21.5	C
高浜町	高野	高野	高野川青葉1号橋脇	Ta-3	8月9日	晴れ	18.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	晴れ	18.1	C
高浜町	今寺	今寺	今寺集落生活改善センター	Ta-3	8月9日	晴れ	22.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	晴れ	25.6	C
高浜町	関屋	関屋	関屋バス停	Ta-3	8月9日	晴れ	21.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	晴れ	22.3	C
高浜町	青	青	森林組合支所(青駐在所横)	Ta-3	8月9日	晴れ	23.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	曇り	36.3	C
高浜町	日置	日置	日置バス停(青梅神社参道)	Ta-3	8月10日	晴れ	26.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月24日	晴れ	25.3	C
高浜町	岩神	岩神	国交省高浜スノーベース前	Ta-3	8月9日	晴れ	28.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	曇り	28.9	C
高浜町	和田	和田駅前	JR若狭和田駅前	O-2・Ta-3	8月9日	晴れ	30.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	晴れ	28.9	C

調査結果その8 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	園部	園部	高浜原子力防災センター	Ta-4	8月9日	晴れ	26.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月27日	晴れ	28.2	C
高浜町	笠原	笠原	高浜町浄化ランド	Ta-4	8月9日	晴れ	35.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月24日	晴れ	42.5	C
おおい町	川上	川上	川上公民館	Ta-4	8月9日	晴れ	49.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月24日	晴れ	40.0	C
おおい町	安川	安川	安川・久保バス停	Ta-4	8月9日	晴れ	24.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月24日	晴れ	25.9	C
おおい町	鹿野	鹿野	佐分利小学校体育館前	O-1・Ta-4	8月9日	晴れ	29.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月24日	晴れ	29.5	C
おおい町	父子	父子・万願寺	さぶり川公園南西角	O-1・Ta-4	8月9日	晴れ	30.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月24日	晴れ	33.8	C

平成19年度に刊行した技術会議報告書等の訂正

報告書	ページ	項目または表題	行数または欄	誤	正
平成19年度第1報	56	(参考)今期のセシウム-137分 析結果	敦賀地区の陸 土の04~06年 度	13~32	2.1~32
平成19年度第2報	57			13~32	2.1~32
平成19年度第3報	56			13~32	2.1~32
平成19年度第4報	54			13~32	2.1~32
平成19年度第2報	59	第19表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分の浦底A	採取期間	07.09.05~ 07.10.03	07.09.05~ 07.10.04
平成19年度第3報	58	第18表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分の浦底A	採取期間	07.10.03~ 07.11.07	07.10.04~ 07.11.07
平成19年度第4報	6	表-2 目的核種が検出された 試料数と濃度範囲	海産食品(藻類) の調査試料数	3	4
平成20年度計画書	57	参考資料IV 軽水型原子力発電所 に対する線量目標値の(注1)	ふげん*	8.5×10^{12} 注2	8.5×10^{12} 注2
			もんじゅ	2×10^{12}	9.2×10^{12}

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成19年度（2007年度）年報

〔FERC第40巻 5号〕

福井県環境放射能測定技術会議

Fukui Environmental Radiation Monitoring Council
(FERC)

平成20年9月 発行

発行所 福井県環境放射能測定技術会議事務局
敦賀市吉河37-1 (〒914-0024)
福井県原子力環境監視センター
Tel. (0770) 25-6110

発行責任者 寺川 和良